

東大和市高齢者福祉計画・
第10期介護保険事業計画準備調査

調査結果報告書

令和8年3月
東大和市

【目 次】

第1章 調査の概要

1. 調査の種類と目的	3
2. 調査対象及び回収状況	3
3. 調査期間及び調査方法	3
4. 本報告書の留意点	4
5. 標本誤差	4

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査対象者・回答者の属性	9
2. あなたのご家族や生活状況について	11
3. からだを動かすことについて	17
4. 食べることについて	22
5. 毎日の生活について	28
6. 地域での活動について	35
7. 就労について	39
8. たすけあいについて	40
9. 健康について	50
10. 認知症にかかる相談窓口の把握等について	55
11. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について	61
12. 回答結果によるリスク集計	63

第3章 介護保険事業計画準備調査

1. 調査対象者・回答者の属性	77
2. 封筒の宛名のご本人について	79
3. 生活の状況・今後の生活等について	80
4. 人とのつきあいについて	84
5. 今後介護が必要になったとき・介護予防について	87
6. 医療・在宅での療養について	91
7. デジタル技術の活用について	99
8. 市の一般介護予防事業・高齢者の福祉サービス等について	101
9. 自由回答	103

第4章 在宅介護実態調査

1. 調査対象者・回答者の属性	107
2. A票 調査対象者様ご本人について	109
3. B票 主な介護者の方について	120

第5章 事業者に対する調査

1. 貴事業所の基本情報について	133
2. 人材確保・定着等について	136
3. 経営状態や課題等について	143
4. 在宅生活の継続と利用者のニーズ等について.....	147
5. ICT 機器等の活用について.....	152
6. BCP（業務継続計画）について	154
7. 市に望むこと	156

第 1 章 調査の概要

1. 調査の種類と目的

本調査は、令和9年度を初年度とする東大和市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画を策定するにあたり、高齢者等のご意見・ご要望等を把握し、計画策定及び今後の施策の推進の基礎資料として活用するため、次の4種類のアンケート調査を実施した。

種類	目的と概要
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【国調査】	国から示された調査項目を基本とし、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的として実施するものです。 からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査します。
②介護保険事業計画準備調査【市調査】	地域の高齢者がどのような生活をして、どのようなサービスを必要としているか等、地域のニーズや課題等を把握し、高齢者福祉施策や介護保険事業に反映することを目的として実施するものです。
③在宅介護実態調査【国調査】	国から示された調査項目を基本とし、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として実施するものです。
④事業者に対する調査【市調査（一部国の調査）】	市内で事業を実施している事業所における、従業員の確保や育成、事業運営上の課題等に対する取り組み状況から、市内の事業所の実態を把握することを目的に実施するものです。 なお、一部項目は国から示された調査（介護人材実態調査等）の項目とします。

2. 調査対象及び回収状況

調査の種類	調査対象	配布数	有効回答数	有効回答率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（A）	要支援認定を受けている65歳以上の市民（施設入所者を除く）の中から無作為抽出（A）	800件	1,201件	60.1%
	要介護（要支援）認定を受けていない65歳以上の市民の中から無作為抽出（B）	1,200件		
②介護保険事業計画準備調査	要介護（要支援）認定を受けていない65歳以上の市民の中から無作為抽出 （Bで抽出した者を除く）	1,200件	723件	60.3%
③在宅介護実態調査	在宅で生活している要支援・要介護者のうち「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」をしている者（Aで抽出した者を除く）	850件	426件	50.1%
④事業者に対する調査	市内の介護保険サービス事業所	110件	85件	77.3%

3. 調査期間及び調査方法

- 調査期間：令和7年12月15日～令和8年1月9日
- 調査方法：郵送配布・回収（Web回収も含む）

4. 本報告書の留意点

- (1) 比率はすべて百分率 (%) で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって合計が 100.0%を上下する場合もある
- (2) 基数となるべき実数 (回収者数) は、“全体 (n=〇〇)”として掲載し、各比率は回答者数を 100.0%として算出した。なお、「n」は number of case の略であり、設問の回答数である。
- (3) 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が 100.0%を超える場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 「 」は1つの選択肢を、『 』は複数の選択肢を合わせた表現を示している。〈 〉は調査項目を表す。
- (6) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のリスク判定において、判定基準となる設問のうち1つでも無回答があれば、判定対象から除外している。
- (7) 「標本名簿の属性」に使用しているデータは、調査票の回答結果と照合可能な標本名簿から取得している。
- (8) クロス分析の「孤独の状況別」とは、孤独に関連する設問回答をスコア化して孤独感を評価したものである。以下の設問から「ない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点としてスコア化し、合計スコア (3点~12点) によって孤独の状況を分類している。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：「8. たすけあいについて」の間12~間15

介護保険事業計画準備調査：「4. 人とのつきあいについて」の間2~間4

5. 標本誤差

全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差といい、信頼度 95% (同一の調査を 100 回行えば 95 回まではこの結果になるであろうという推定) における標本誤差は、次の式で統計学的に得られる。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{\left\{ \frac{(N-n)}{(N-1)} \right\} \times \left\{ \frac{p \times (1-p)}{n} \right\}}$$

※N=母集団 n=比率算出の基数 (サンプル数) P=回答比率

表の見方：ある設問の回答者数が 1,201 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも 2.7%以内 (57.3~62.7%) と見ることができる。また、標本誤差の幅は、比率算出の基数 (n) 及び回答比率 (P) によって異なる。

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【国調査】 (母集団 N=23,680※)

n \ p	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,201	±1.7%	±2.2%	±2.5%	±2.7%	±2.8%
1,000	±1.8%	±2.4%	±2.8%	±3.0%	±3.0%
500	±2.6%	±3.5%	±4.0%	±4.2%	±4.3%
200	±4.1%	±5.5%	±6.3%	±6.8%	±6.9%
100	±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%
50	±8.3%	±11.1%	±12.7%	±13.6%	±13.8%

※令和7年11月30日現在の65歳以上人口 (住民基本台帳人口) 23,680人

②介護保険事業計画準備調査【市調査】(母集団 N=23,680※)

n \ p	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
723	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.5%	±3.6%
500	±2.6%	±3.5%	±4.0%	±4.2%	±4.3%
200	±4.1%	±5.5%	±6.3%	±6.8%	±6.9%
100	±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%
50	±8.3%	±11.1%	±12.7%	±13.6%	±13.8%

※令和7年11月30日現在の65歳以上人口(住民基本台帳人口)23,680人

③在宅介護実態調査【国調査】(母集団 N=4,599※)

n \ p	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
426	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
200	±4.1%	±5.4%	±6.2%	±6.6%	±6.8%
100	±5.8%	±7.8%	±8.9%	±9.5%	±9.7%
50	±8.3%	±11.0%	±12.6%	±13.5%	±13.8%

※令和7年11月末日現在の要支援・要介護認定者数から、施設入所者数を除いた人数(介護保険事業状況報告月報)4,599人

④事業者に対する調査【市調査(一部国の調査)】(母集団 N=110※)

n \ p	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
85	±3.1%	±4.1%	±4.7%	±5.0%	±5.1%
50	±6.2%	±8.2%	±9.4%	±10.1%	±10.3%

※市内介護保険サービス事業所数 110件

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査対象者・回答者の属性

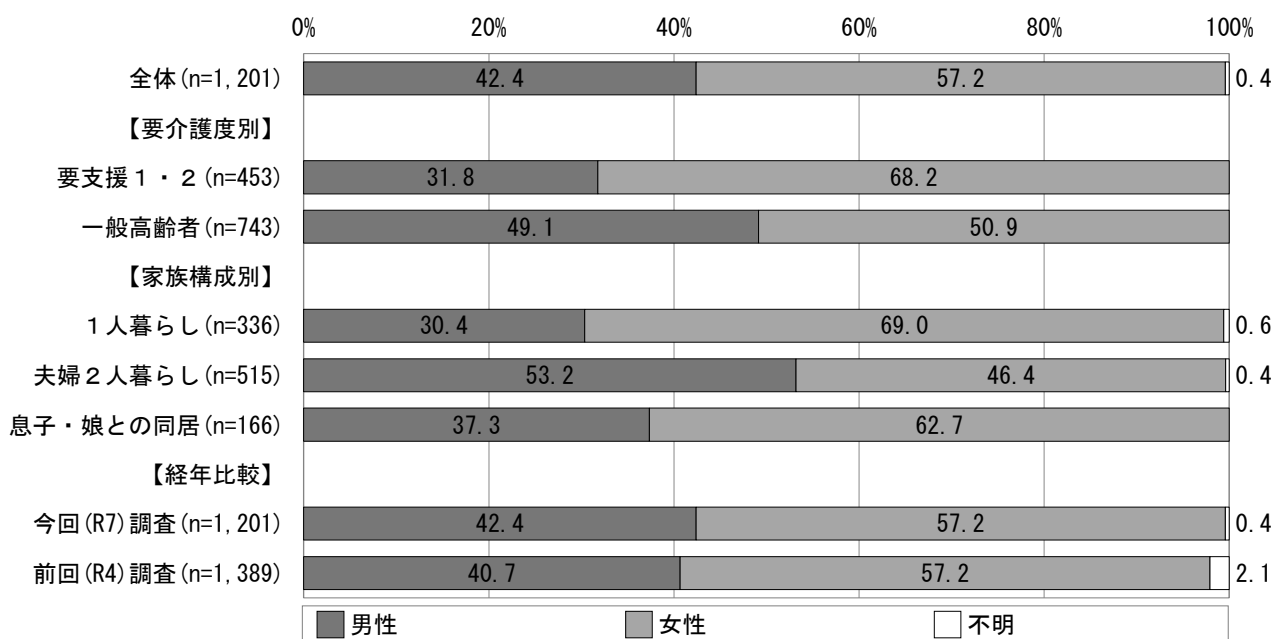
標本名簿の属性

(1) 性別

全体では、「男性」が42.4%、「女性」が57.2%となっている。

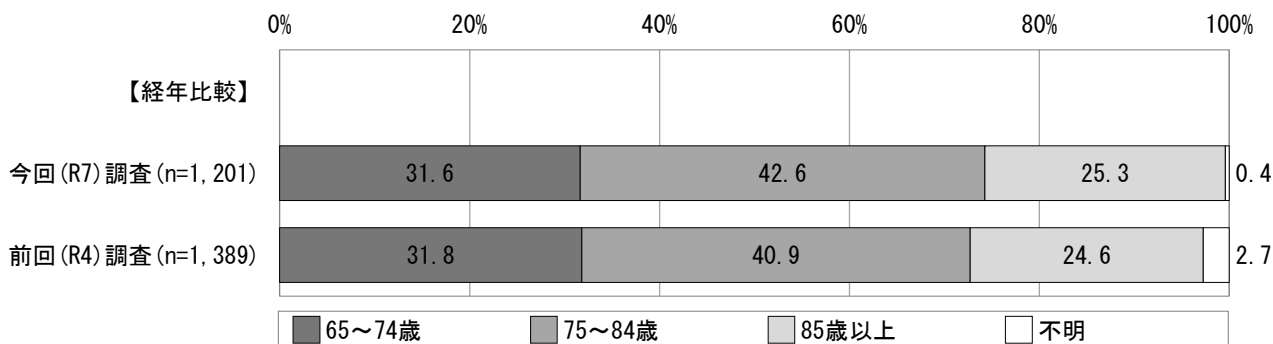
要介護度別では「男性」は、一般高齢者（49.1%）が要支援1・2（31.8%）を17.3ポイント上回っている。

家族構成別では、夫婦2人暮らしで「男性」が53.2%と高くなっている。



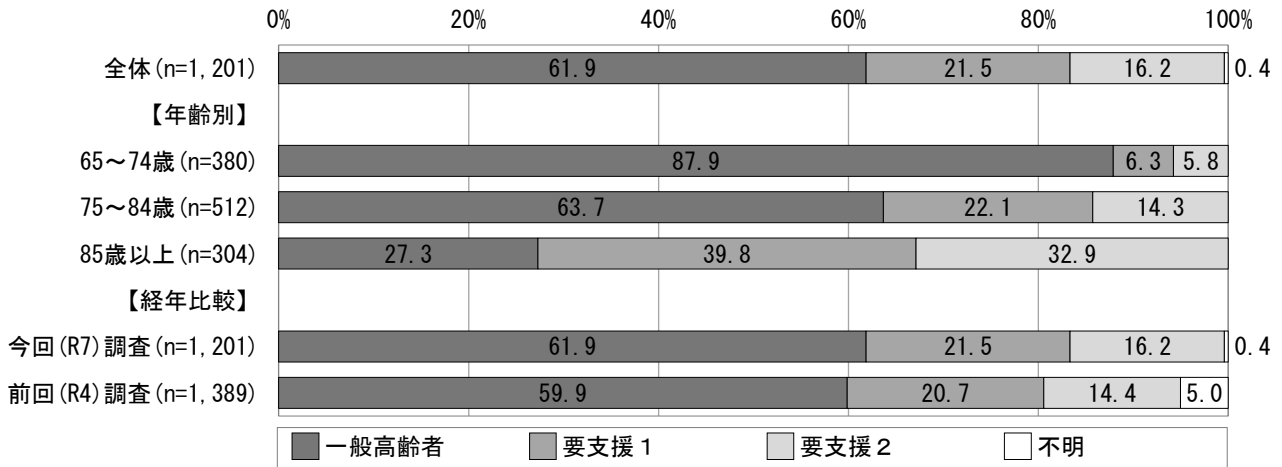
(2) 年齢

全体では、「75～84歳」が42.6%と最も高く、「65～74歳」が31.6%、「85歳以上」が25.3%と続いている。



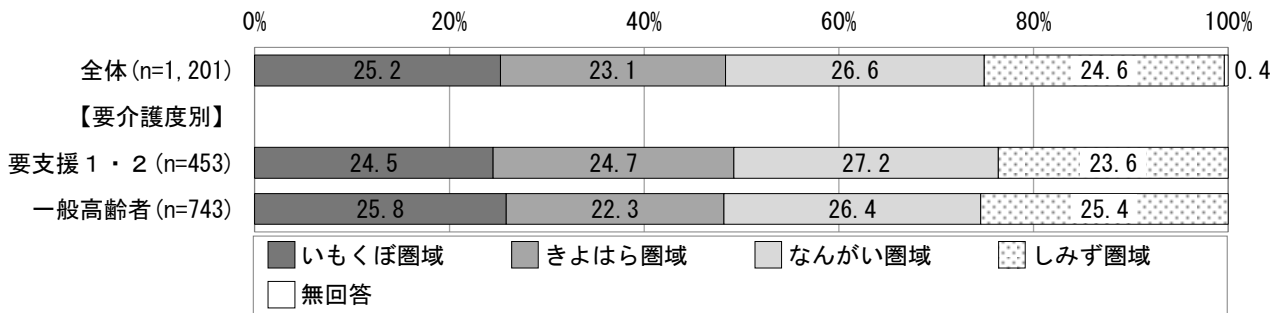
(3) 要介護度

全体では、「一般高齢者」が61.9%と最も高く、「要支援1」が21.5%、「要支援2」が16.2%と続いている。



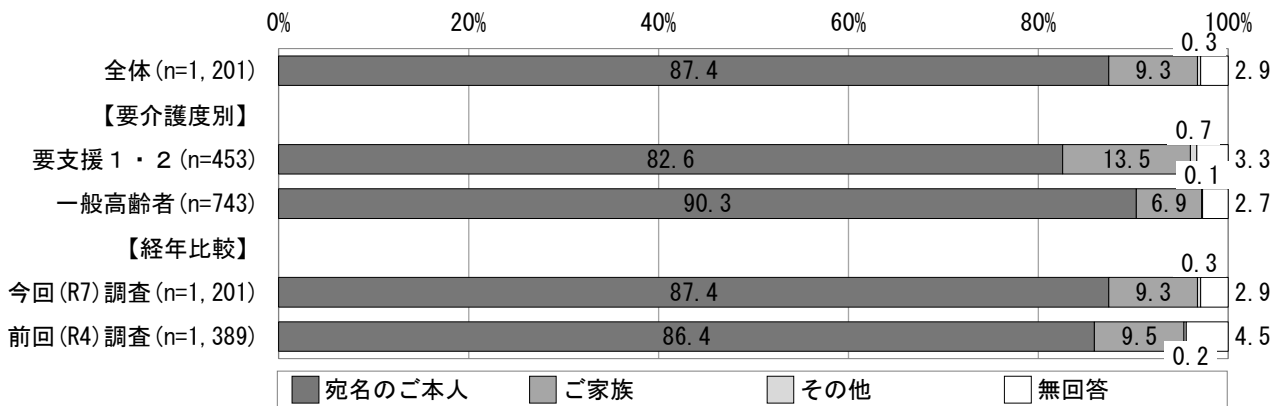
(4) 日常生活圏域

全体では、「なんがい圏域」が26.6%と最も高く、「いもくぼ圏域」が25.2%、「しみず圏域」が24.6%と続いている。



この調査票をご記入されるのはどなたですか。番号に○をつけてください。

全体では、「宛名のご本人」が87.4%と最も高くなっている。



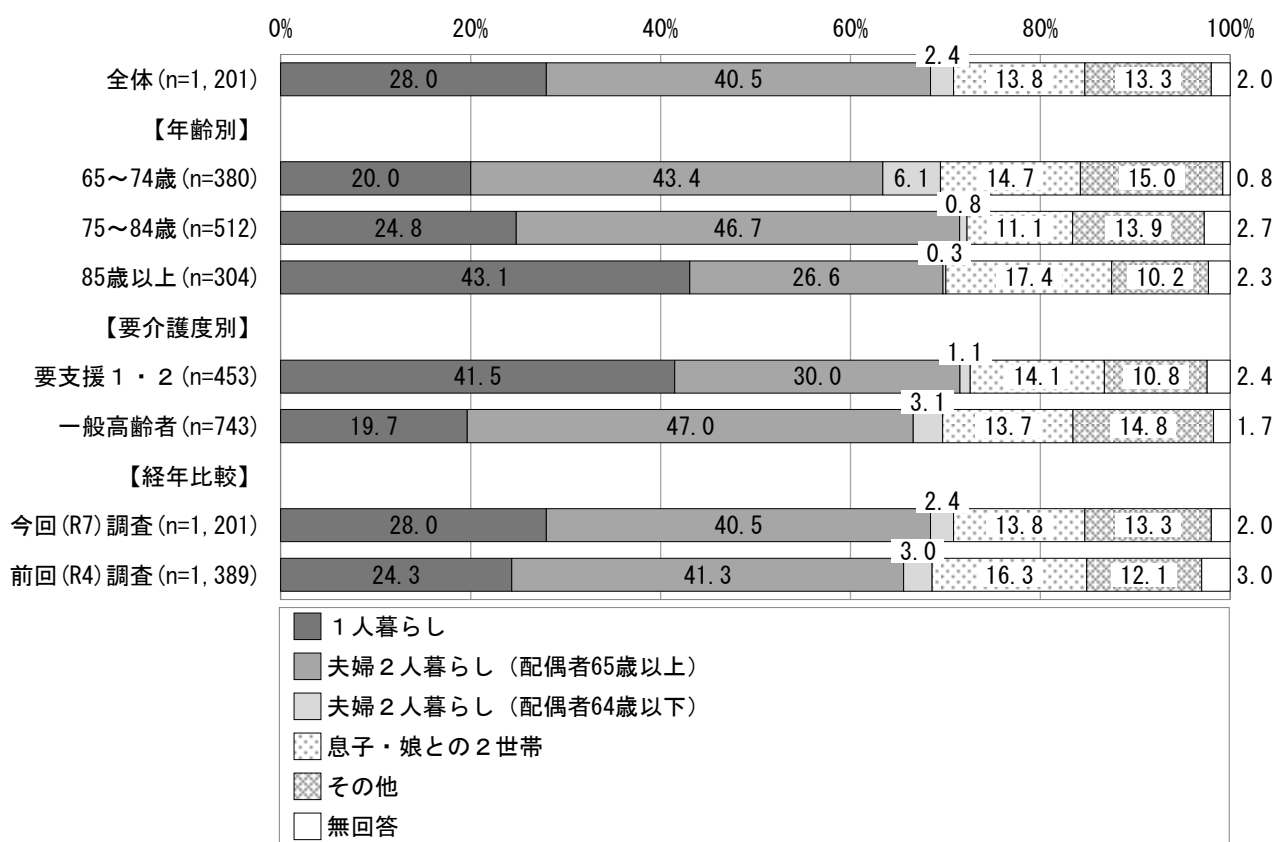
2. あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えてください。

全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が40.5%と最も高く、「1人暮らし」が28.0%、「息子・娘との2世帯」が13.8%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「1人暮らし」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「1人暮らし」は、要支援1・2（41.5%）が一般高齢者（19.7%）を21.8ポイント上回っている。



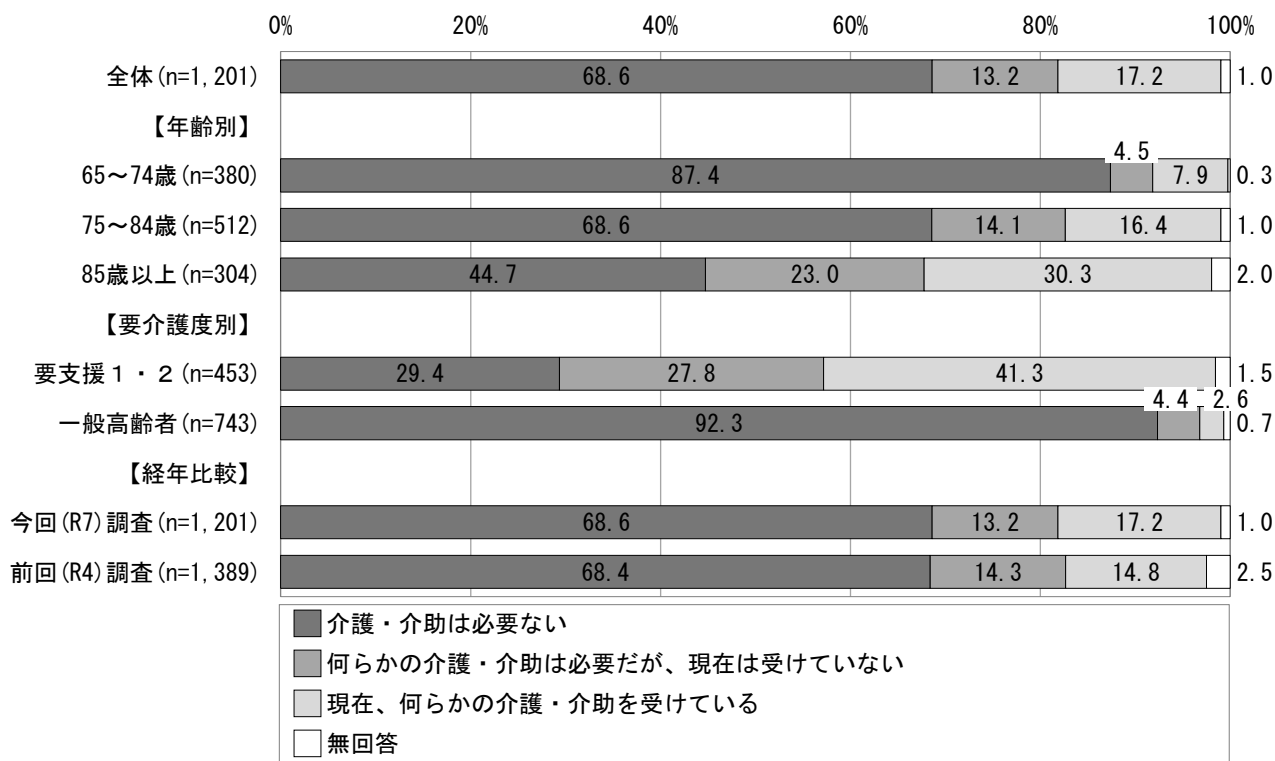
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

全体では、「介護・介助は必要ない」が68.6%と最も高く、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が17.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が13.2%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「介護・介助は必要ない」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「介護・介助は必要ない」は、一般高齢者（92.3%）が要支援1・2（29.4%）を62.9ポイント上回っている。



問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも）

※問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）」と回答した方に質問

全体では、「高齢による衰弱」が23.6%と最も高く、「骨折・転倒」が20.0%、「心臓病」が12.9%と続いている。

要介護度別では「骨折・転倒」は、要支援1・2（21.4%）が一般高齢者（11.5%）を9.9ポイント上回っている。

(%)	高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	脊椎損傷	関節の病気（リウマチ等）	糖尿病	視覚・聴覚障害	がん（悪性新生物）	パーキンソン病	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	認知症（アルツハイマー病等）	腎疾患（透析）	その他	不明	無回答
全体 (n=365)	23.6	20.0	12.9	10.7	9.9	9.0	8.8	7.1	6.8	4.4	4.1	3.0	2.5	19.2	0.0	14.8
【要介護度別】																
要支援1・2 (n=313)	24.3	21.4	12.1	11.5	10.5	9.3	8.9	6.4	7.7	3.8	4.8	2.6	1.3	18.8	0.0	15.3
一般高齢者 (n=52)	19.2	11.5	17.3	5.8	5.8	7.7	7.7	11.5	1.9	7.7	0.0	5.8	9.6	21.2	0.0	11.5
【経年比較】																
今回 (R7) 調査 (n=365)	23.6	20.0	12.9	10.7	9.9	9.0	8.8	7.1	6.8	4.4	4.1	3.0	2.5	19.2	0.0	14.8
前回 (R4) 調査 (n=404)	18.1	19.1	11.1	10.4	12.4	9.7	12.1	5.7	3.5	2.7	5.9	5.0	0.2	19.3	1.0	14.6

問2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

※問2で「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）」と回答した方に質問

全体では、「介護サービスのヘルパー」が35.0%と最も高く、「娘」が29.6%、「配偶者（夫・妻）」が26.7%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「配偶者（夫・妻）」は、一般高齢者（47.4%）が要支援1・2（24.6%）を22.8ポイント上回っている。

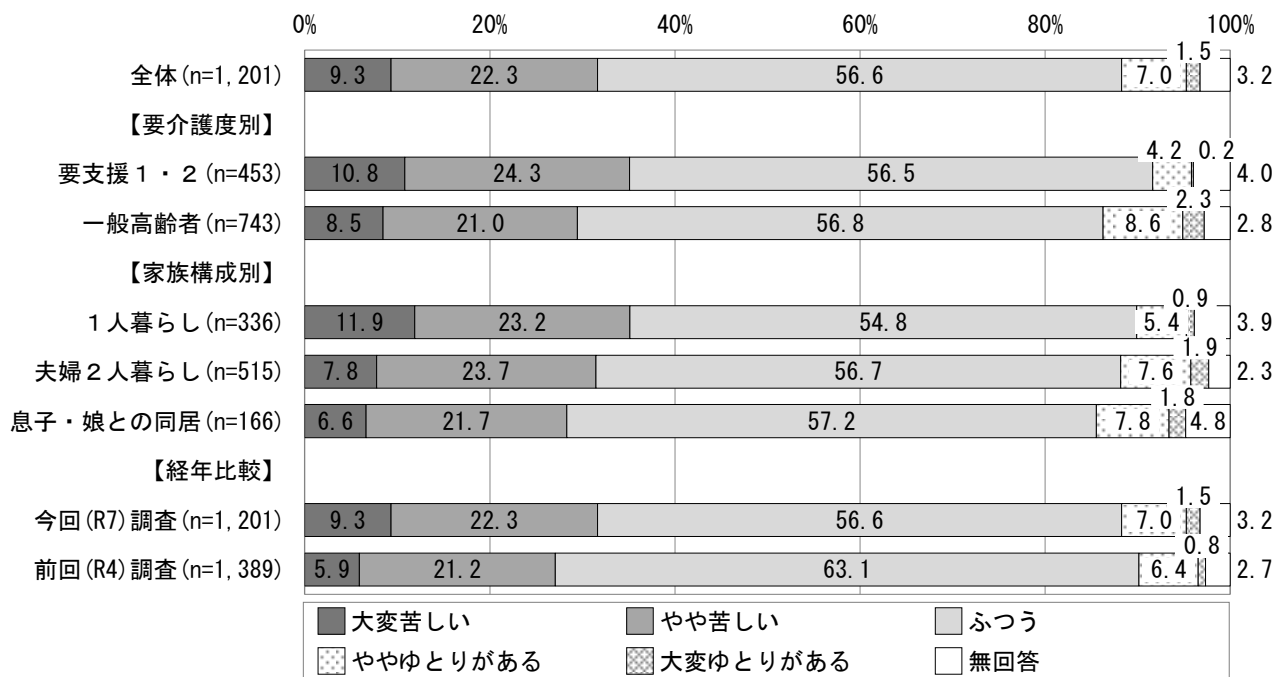
(%)	介護サービスのヘルパー	娘	配偶者（夫・妻）	息子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体 (n=206)	35.0	29.6	26.7	21.8	4.4	3.9	2.4	13.1	5.3
【年齢別】									
65～74歳 (n=30)	40.0	16.7	36.7	16.7	3.3	0.0	3.3	20.0	3.3
75～84歳 (n=84)	35.7	21.4	32.1	11.9	0.0	3.6	4.8	14.3	6.0
85歳以上 (n=92)	32.6	41.3	18.5	32.6	8.7	5.4	0.0	9.8	5.4
【要介護度別】									
要支援1・2 (n=187)	36.4	30.5	24.6	23.0	4.8	4.3	2.1	12.8	5.3
一般高齢者 (n=19)	21.1	21.1	47.4	10.5	0.0	0.0	5.3	15.8	5.3
【経年比較】									
今回 (R7) 調査 (n=206)	35.0	29.6	26.7	21.8	4.4	3.9	2.4	13.1	5.3
前回 (R4) 調査 (n=206)	33.5	32.5	27.2	26.2	7.3	2.9	1.5	10.7	3.9

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

全体では、「ふつう」が56.6%と最も高く、「やや苦しい」が22.3%、「大変苦しい」が9.3%と続いている。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は31.6%となっている。

要介護度別では、要支援1・2で『苦しい』が35.1%となっている。

家族構成別では、1人暮らしで『苦しい』が35.1%となっている。



問4 お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。

全体では、「持家（一戸建て）」が59.7%と最も高く、「持家（集合住宅）」が16.5%、「公営賃貸住宅」が13.8%と続いている。

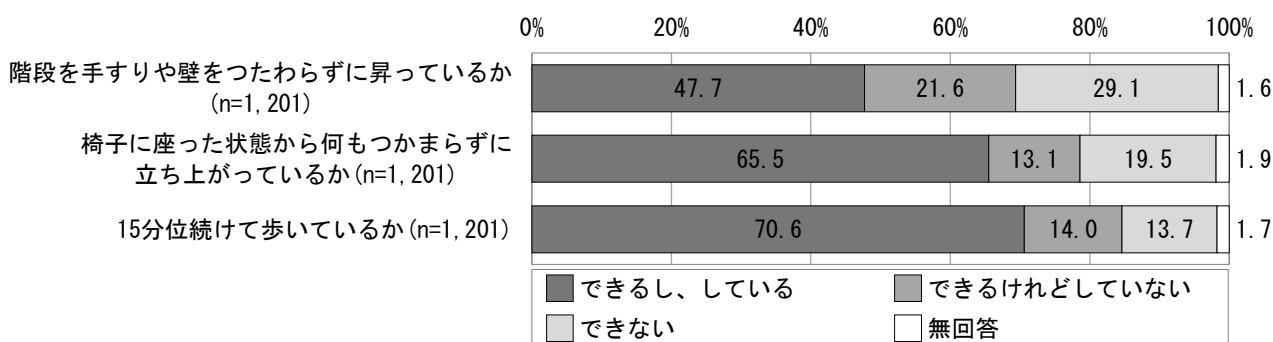
日常生活圏域別では、しみず圏域で「持家（一戸建て）」が89.2%と高くなっている。

(%)	持家 （一戸建て）	持家 （集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅 （集合住宅）	借家	民間賃貸住宅 （一戸建て）	その他	無回答
全体 (n=1,201)	59.7	16.5	13.8	6.4	0.6	0.2	1.2	1.7
【要介護度別】								
要支援1・2 (n=453)	58.9	12.8	18.1	6.6	0.7	0.2	1.3	1.3
一般高齢者 (n=743)	60.0	18.8	11.2	6.3	0.5	0.1	1.1	1.9
【日常生活圏域別】								
いもくぼ圏域 (n=303)	54.5	21.8	13.9	6.6	1.0	0.3	0.3	1.7
きよはら圏域 (n=278)	60.1	4.0	25.2	6.1	0.7	0.0	1.8	2.2
なんがい圏域 (n=319)	36.7	36.7	16.0	6.0	0.3	0.3	2.2	1.9
しみず圏域 (n=296)	89.2	1.4	0.7	7.1	0.3	0.0	0.3	1.0
【経年比較】								
今回 (R7) 調査 (n=1,201)	59.7	16.5	13.8	6.4	0.6	0.2	1.2	1.7
前回 (R4) 調査 (n=1,389)	61.8	17.4	13.7	4.2	0.4	0.1	1.1	1.4

3. からだを動かすことについて

- 問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。
 問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。
 問3 15分位続けて歩いていますか。

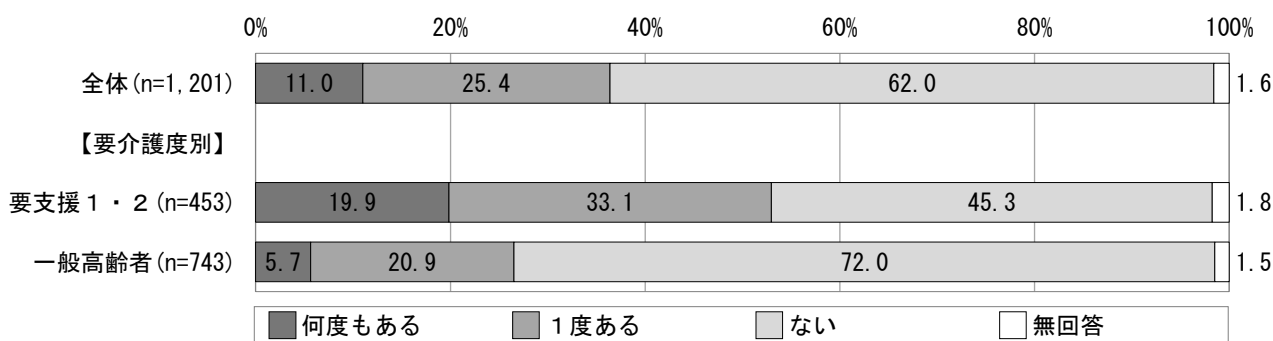
運動器機能に関するそれぞれの設問をみると、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』が大半を占めているが、＜階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか＞は、「できない」が29.1%と相対的に高くなっている。



- 問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。

全体では、「ない」が62.0%と最も高く、「1度ある」が25.4%、「何度もある」が11.0%と続いている。「何度もある」と「1度ある」を合わせた『ある』は36.4%となっている。

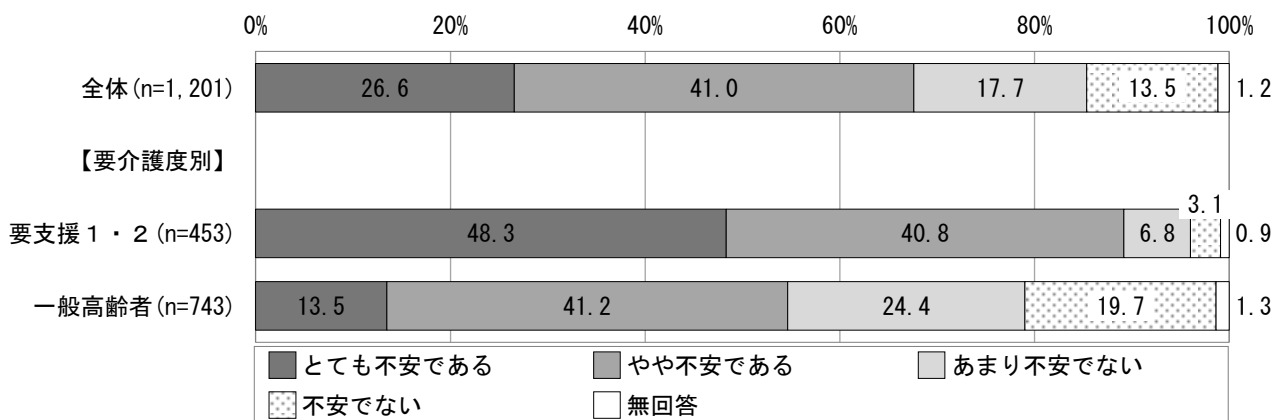
要介護度別では、要支援1・2で『ある』が53.0%となっている。



問5 転倒に対する不安は大きいですか。

全体では、「やや不安である」が41.0%と最も高く、「とても不安である」が26.6%、「あまり不安でない」が17.7%と続いている。「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安がある』は67.6%となっている。

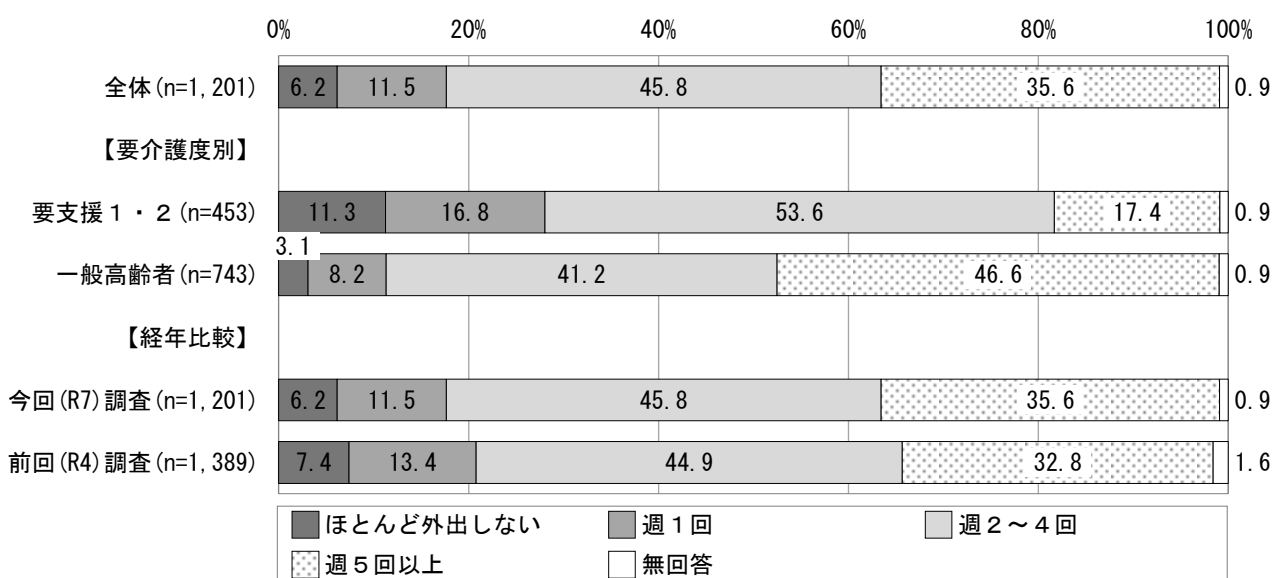
要介護度別では、要支援1・2で『不安がある』が89.1%となっている。



問6 週に1回以上は外出していますか。

全体では、「週2～4回」が45.8%と最も高く、「週5回以上」が35.6%、「週1回」が11.5%と続いている。

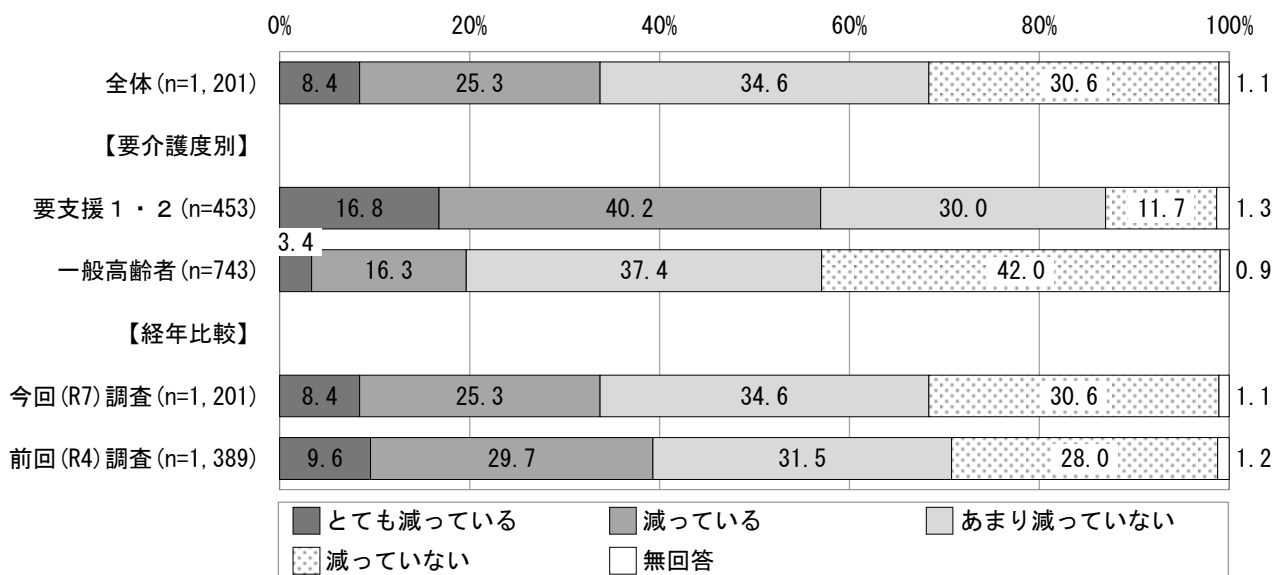
要介護度別では「週5回以上」は、一般高齢者（46.6%）が要支援1・2（17.4%）を29.2ポイント上回っている。



問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

全体では、「あまり減っていない」が34.6%と最も高く、「減っていない」が30.6%、「減っている」が25.3%と続いている。「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』は33.7%となっている。

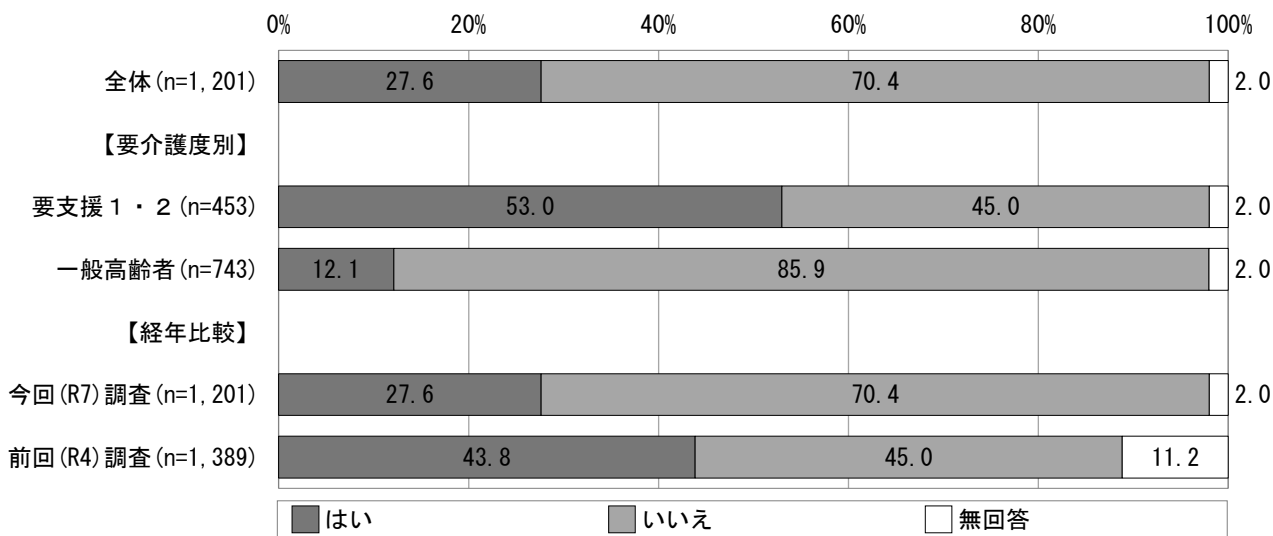
要介護度別では、要支援1・2で『減っている』が57.0%となっている。



問8 外出を控えていますか。

全体では、「はい」が27.6%、「いいえ」が70.4%となっている。

要介護度別では「はい」は、要支援1・2 (53.0%) が一般高齢者 (12.1%) を40.9ポイント上回っている。



問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

※問8で「はい」と回答した方に質問

全体では、「足腰などの痛み」が59.9%と最も高く、「トイレの心配（失禁など）」が19.6%、「交通手段がない」が18.1%と続いている。

要介護度別では「足腰などの痛み」は、要支援1・2（65.8%）が一般高齢者（45.6%）を20.2ポイント上回っている。

経年比較では「足腰などの痛み」は、今回(R7)調査（59.9%）が前回(R4)調査（46.1%）を13.8ポイント上回っている。

(%)	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	交通手段がない	病気	外での楽しみがない	耳の障害（聞こえの問題など）	経済的に出られない	目の障害	障害（脳卒中の後遺症など）	その他	無回答
全体 (n=332)	59.9	19.6	18.1	15.7	15.7	10.2	9.6	8.1	5.7	14.8	2.1
【要介護度別】											
要支援1・2 (n=240)	65.8	22.5	20.8	16.3	13.3	12.9	7.1	9.2	7.5	13.3	1.7
一般高齢者 (n=90)	45.6	11.1	11.1	14.4	21.1	3.3	16.7	5.6	1.1	18.9	2.2
【経済的な状況別】											
苦しい (n=143)	65.0	21.7	17.5	18.9	18.9	12.6	20.3	8.4	8.4	13.3	2.1
ふつう (n=160)	56.9	19.4	16.9	11.9	14.4	7.5	1.9	8.8	4.4	15.0	2.5
ゆとりあり (n=17)	41.2	11.8	23.5	17.6	5.9	17.6	0.0	5.9	0.0	29.4	0.0
【経年比較】											
今回 (R7) 調査 (n=332)	59.9	19.6	18.1	15.7	15.7	10.2	9.6	8.1	5.7	14.8	2.1
前回 (R4) 調査 (n=609)	46.1	15.3	10.0	10.7	11.7	9.2	5.1	6.2	2.6	5.6	0.5

問9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

全体では、「徒歩」が69.4%と最も高く、「電車」が43.6%、「路線バス」が43.3%と続いている。性別では「自動車(自分で運転)」は、男性(49.5%)が女性(17.5%)を32.0ポイント上回っている。年齢別では、年齢が下がるほど「徒歩」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「自動車(自分で運転)」は、一般高齢者(45.2%)が要支援1・2(7.9%)を37.3ポイント上回っている。

(%)	徒歩	電車	路線バス	自転車	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	タクシー	歩行器・シルバーカー	病院や施設のバス	バイク	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答
全体(n=1,201)	69.4	43.6	43.3	32.8	31.1	25.4	19.7	7.5	4.3	2.1	1.0	1.0	0.2	1.1
【性別】														
男性(n=509)	72.1	44.6	37.9	37.5	49.5	11.8	14.7	1.6	2.9	4.3	1.2	1.2	0.0	1.4
女性(n=687)	67.5	42.8	47.2	29.1	17.5	35.5	23.6	11.9	5.4	0.4	0.9	0.9	0.4	0.9
【年齢別】														
65~74歳(n=380)	79.2	58.9	42.6	43.4	52.6	23.9	8.7	1.1	2.1	4.7	0.5	0.3	0.0	1.3
75~84歳(n=512)	69.3	42.0	45.3	33.0	29.5	22.7	18.4	4.9	4.7	1.4	1.2	0.8	0.4	0.8
85歳以上(n=304)	57.6	27.0	40.5	18.8	6.9	31.9	36.2	20.1	6.6	0.0	1.3	2.3	0.3	1.3
【要介護度別】														
要支援1・2(n=453)	56.7	25.2	39.7	12.6	7.9	35.5	35.3	19.4	8.6	0.2	2.4	2.6	0.4	1.1
一般高齢者(n=743)	77.3	54.8	45.4	45.0	45.2	19.2	10.4	0.3	1.7	3.2	0.1	0.0	0.1	1.1
【家族構成別】														
1人暮らし(n=336)	68.8	40.5	49.1	24.4	17.9	20.8	26.5	10.7	5.7	2.1	2.1	1.5	0.3	0.3
夫婦2人暮らし(n=515)	72.6	50.5	43.1	38.6	41.7	25.8	16.1	3.3	3.7	2.3	0.8	1.0	0.0	0.4
息子・娘との同居(n=166)	63.3	34.3	38.0	34.3	25.9	31.9	17.5	10.2	4.2	2.4	0.6	0.6	0.0	3.0
【経年比較】														
今回(R7)調査(n=1,201)	69.4	43.6	43.3	32.8	31.1	25.4	19.7	7.5	4.3	2.1	1.0	1.0	0.2	1.1
前回(R4)調査(n=1,389)	69.5	39.7	42.0	37.4	28.6	29.2	21.1	7.7	4.0	1.5	0.9	0.1	2.4	3.0

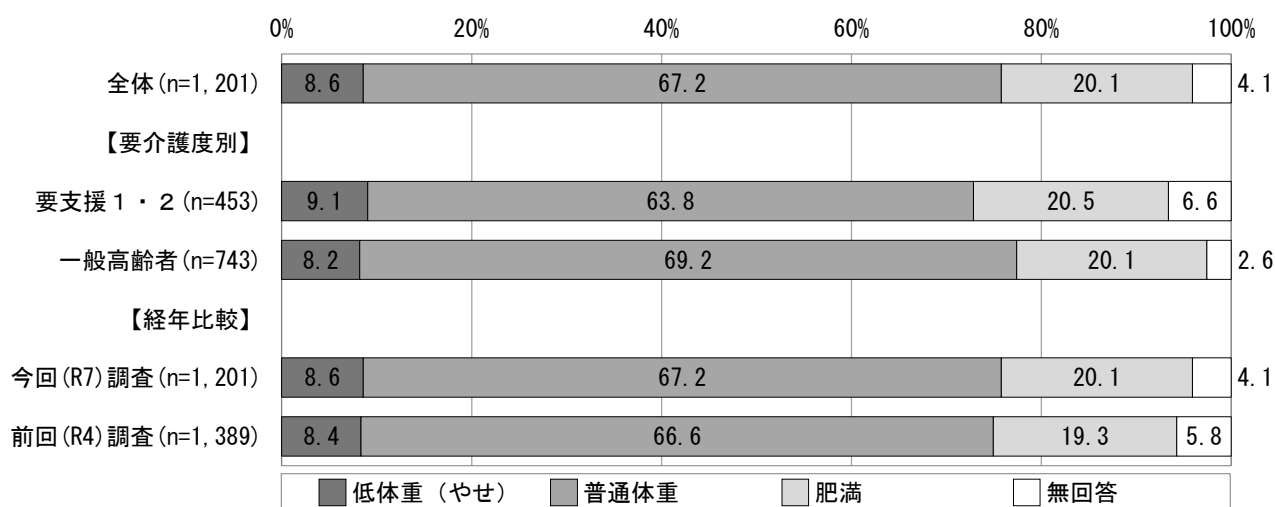
4. 食べることについて

問1 身長

問1 体重

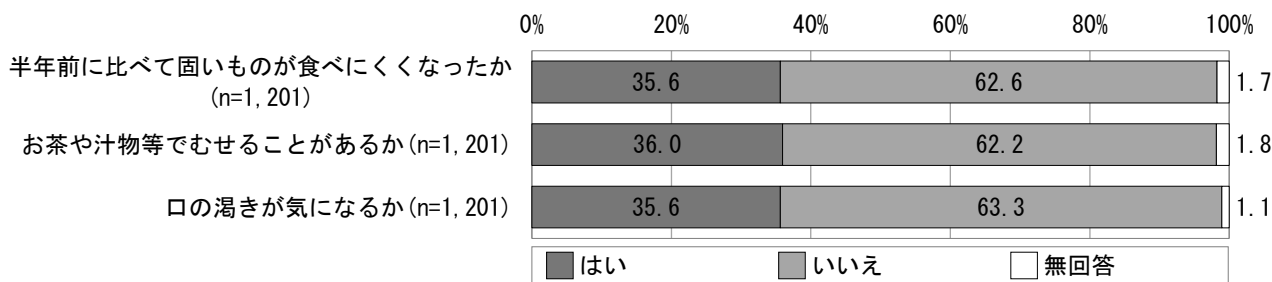
身長と体重から算出したBMI（肥満度を表す体格指数）について、BMIが25以上を「肥満」、18.5～25を「普通体重」、18.5未満を「低体重（やせ）」と判定した。

全体では、「普通体重」が67.2%と最も高く、「肥満」が20.1%、「低体重（やせ）」が8.6%と続いている。



問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。
 問3 お茶や汁物等でむせることがありますか（「はい」の場合は、頻度に回答）
 問4 口の渇きが気になりますか。

口腔機能に関するそれぞれの設問をみると、「いいえ」が約6割となっている。「はい」が最も高いのは、
 <お茶や汁物等でむせることがあるか>で36.0%となっている。



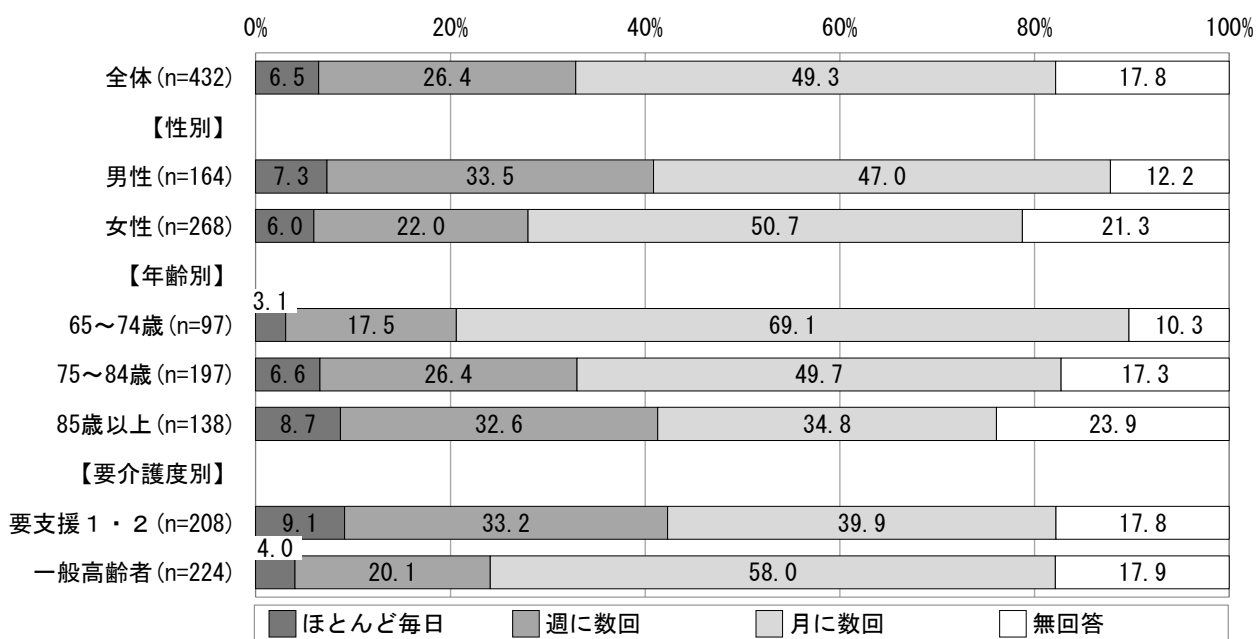
問3-1 頻度を教えてください
 ※問3で「はい」と回答した方に質問

全体では、「月に数回」が49.3%と最も高く、「週に数回」が26.4%、「ほとんど毎日」が6.5%と続いている。

性別では「週に数回」は、男性（33.5%）が女性（22.0%）を11.5ポイント上回っている。

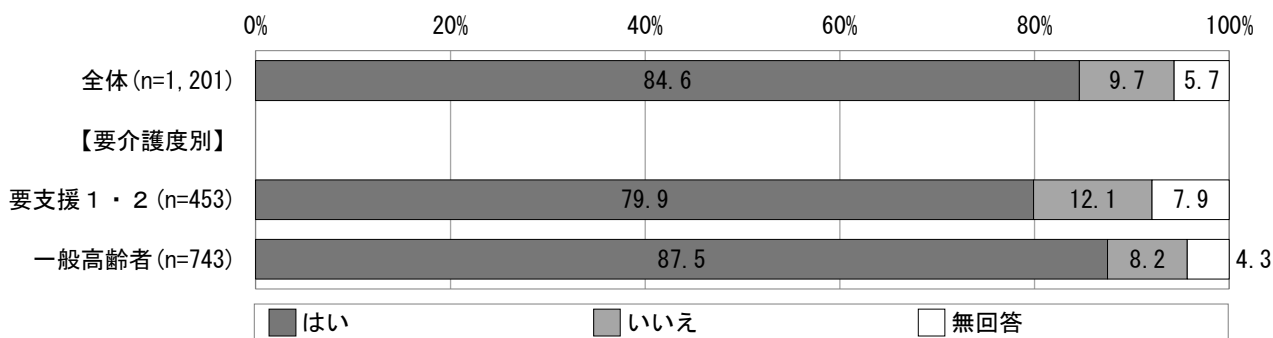
年齢別では、年齢が下がるほど「月に数回」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「月に数回」は、一般高齢者（58.0%）が要支援1・2（39.9%）を18.1ポイント上回っている。



問5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

全体では、「はい」が84.6%、「いいえ」が9.7%となっている。



問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

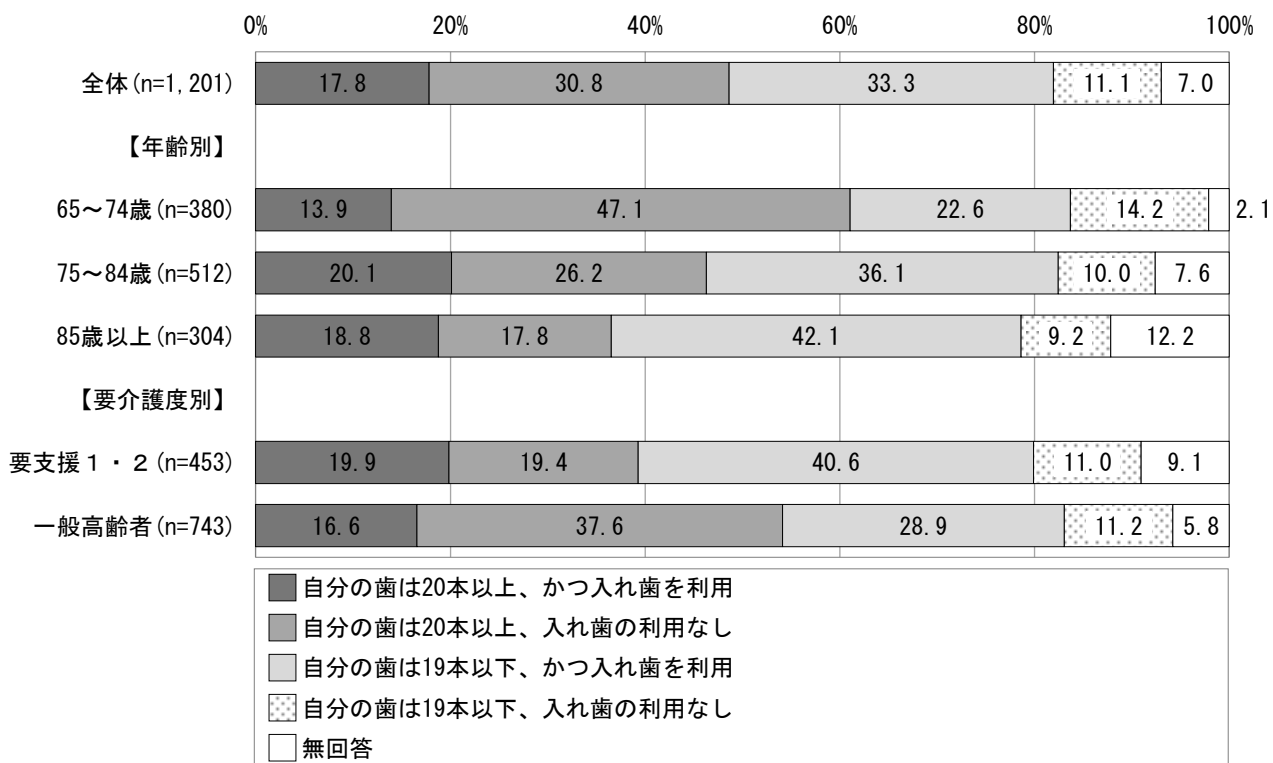
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

全体では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.3%と最も高く、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が30.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.8%と続いている。

「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は20本以上』は48.6%となっている。

年齢別では、年齢が下がるほど『自分の歯は20本以上』の割合が高くなる傾向にある。

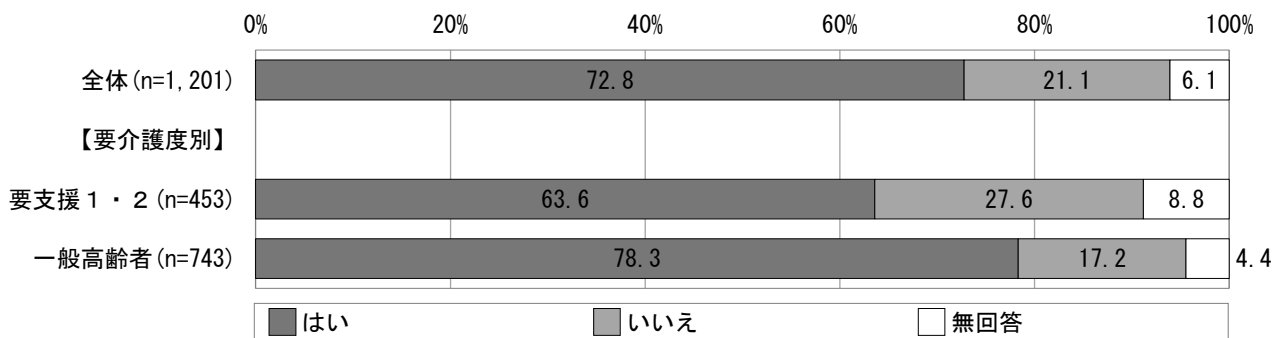
要介護度別では、一般高齢者で『自分の歯は20本以上』が54.2%となっている。



問6-1 噛み合わせは良いですか。

全体では、「はい」が72.8%、「いいえ」が21.1%となっている。

要介護度別では「はい」は、一般高齢者（78.3%）が要支援1・2（63.6%）を14.7ポイント上回っている。



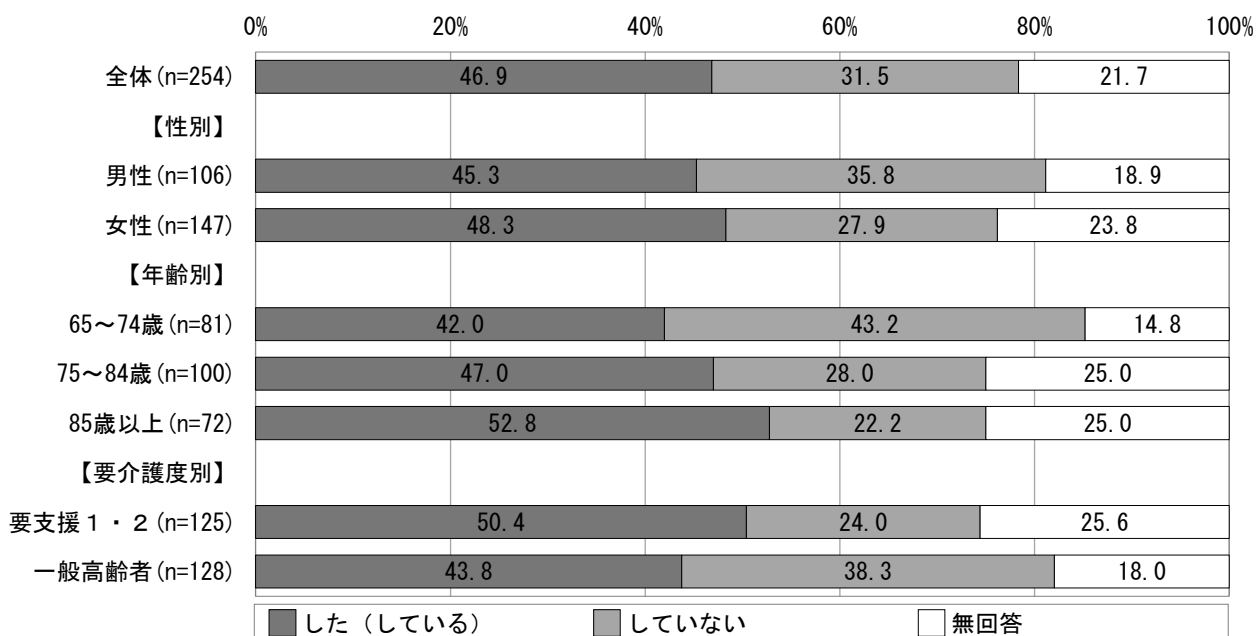
問6-1 歯科医師へ相談しましたか。

※問6-1で「いいえ」と回答した方に質問

全体では、「した（している）」が46.9%、「していない」が31.5%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「した（している）」の割合が高くなる傾向にある。

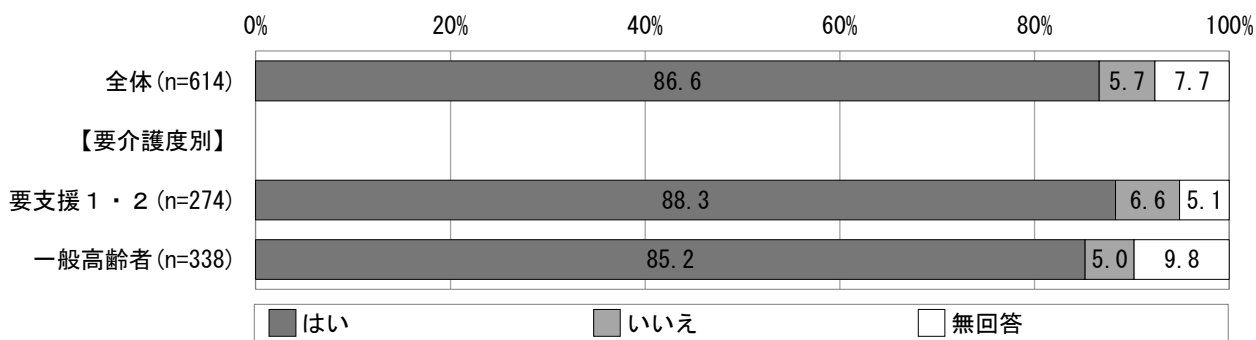
要介護度別では「していない」は、一般高齢者（38.3%）が要支援1・2（24.0%）を14.3ポイント上回っている。



問6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。

※問6で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方に質問

全体では、「はい」が86.6%、「いいえ」が5.7%となっている。

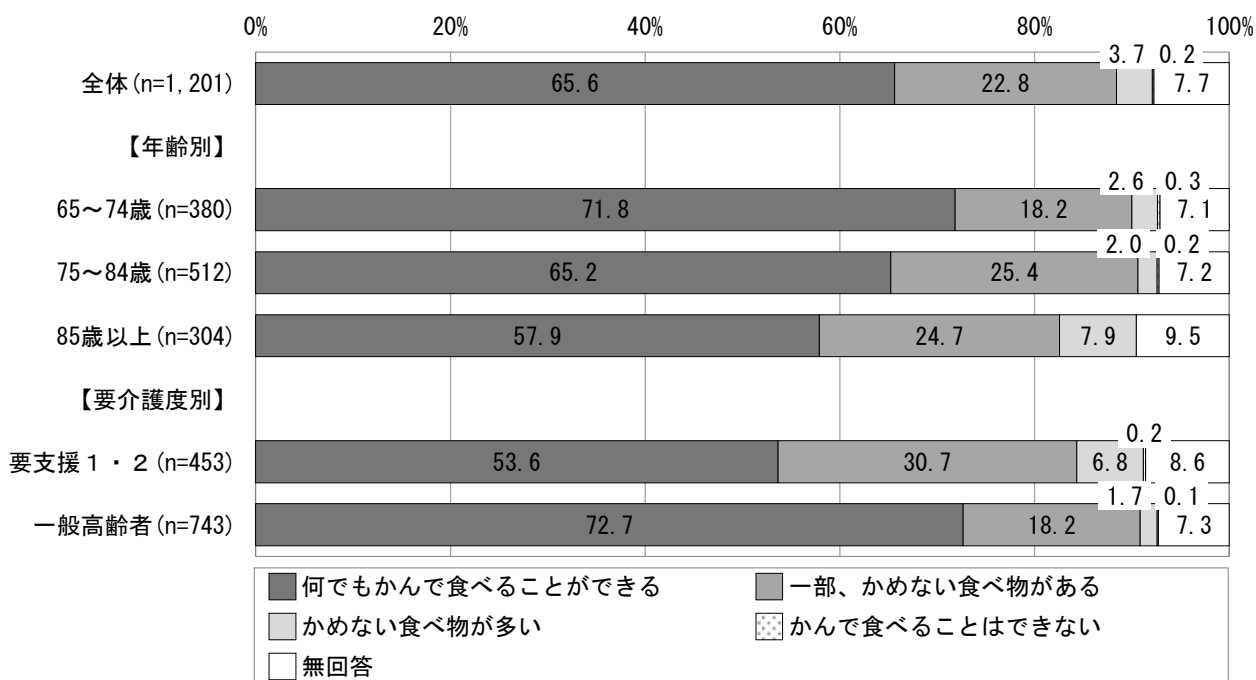


問6-3 自分が食べたいものを、何でもかんで食べることができますか。

全体では、「何でもかんで食べることができる」が65.6%と最も高く、「一部、かめない食べ物がある」が22.8%、「かめない食べ物が多い」が3.7%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「何でもかんで食べることができる」の割合が高くなる傾向にある。

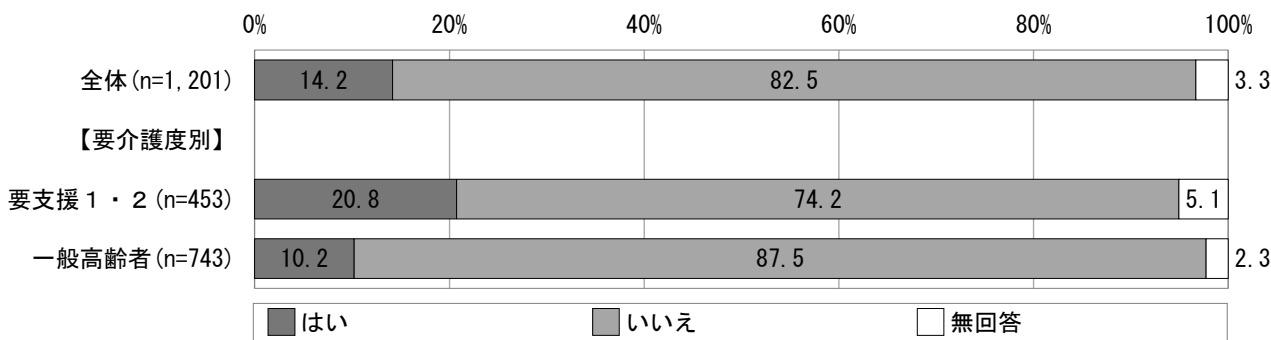
要介護度別では「何でもかんで食べることができる」は、一般高齢者(72.7%)が要支援1・2(53.6%)を19.1ポイント上回っている。



問7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

全体では、「はい」が14.2%、「いいえ」が82.5%となっている。

要介護度別では「いいえ」は、一般高齢者（87.5%）が要支援1・2（74.2%）を13.3ポイント上回っている。

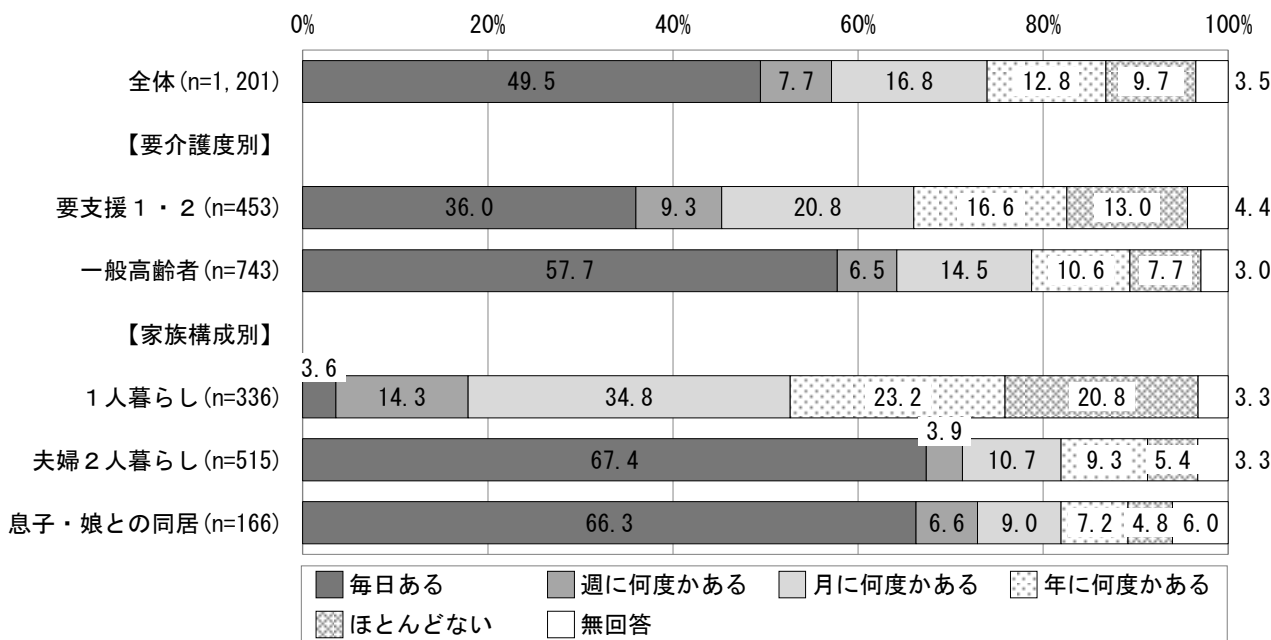


問8 どなたかと食事をともにする機会がありますか。

全体では、「毎日ある」が49.5%と最も高く、「月に何度かある」が16.8%、「年に何度かある」が12.8%と続いている。

要介護度別では「毎日ある」は、一般高齢者（57.7%）が要支援1・2（36.0%）を21.7ポイント上回っている。

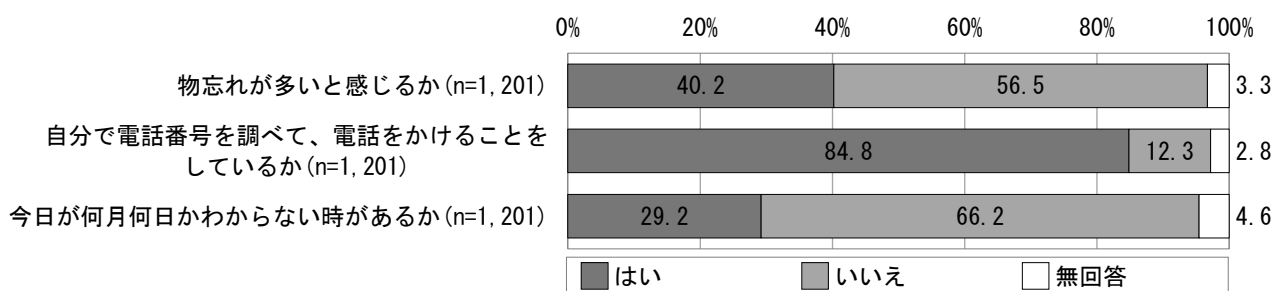
家族構成別では、1人暮らしで「月に何度かある」が34.8%と高くなっている。



5. 毎日の生活について

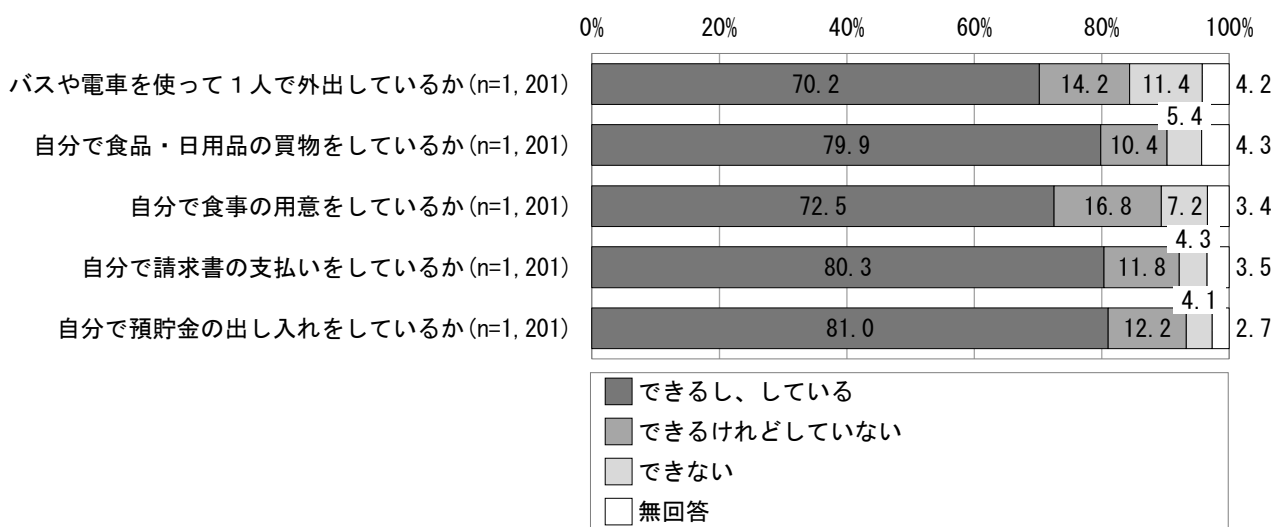
- 問1 物忘れが多いと感じますか。
 問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。
 問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。

認知機能に関するそれぞれの設問で「はい」の割合をみると、＜自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか＞で84.8%、＜物忘れが多いと感じるか＞で40.2%、＜今日が何月何日かわからない時があるか＞で29.2%となっている。



- 問4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)
 問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。
 問6 自分で食事の用意をしていますか。
 問7 自分で請求書の支払いをしていますか。
 問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

手段的日常生活動作 (IADL) に関するそれぞれの設問をみると、「できるし、している」と「できるだけしていない」を合わせた『できる』が約9割となっているが、＜バスや電車を使って1人で外出しているか＞は、「できない」が11.4%と相対的に高くなっている。



問5—1 食品・日用品の買い物はどのようにしていますか。

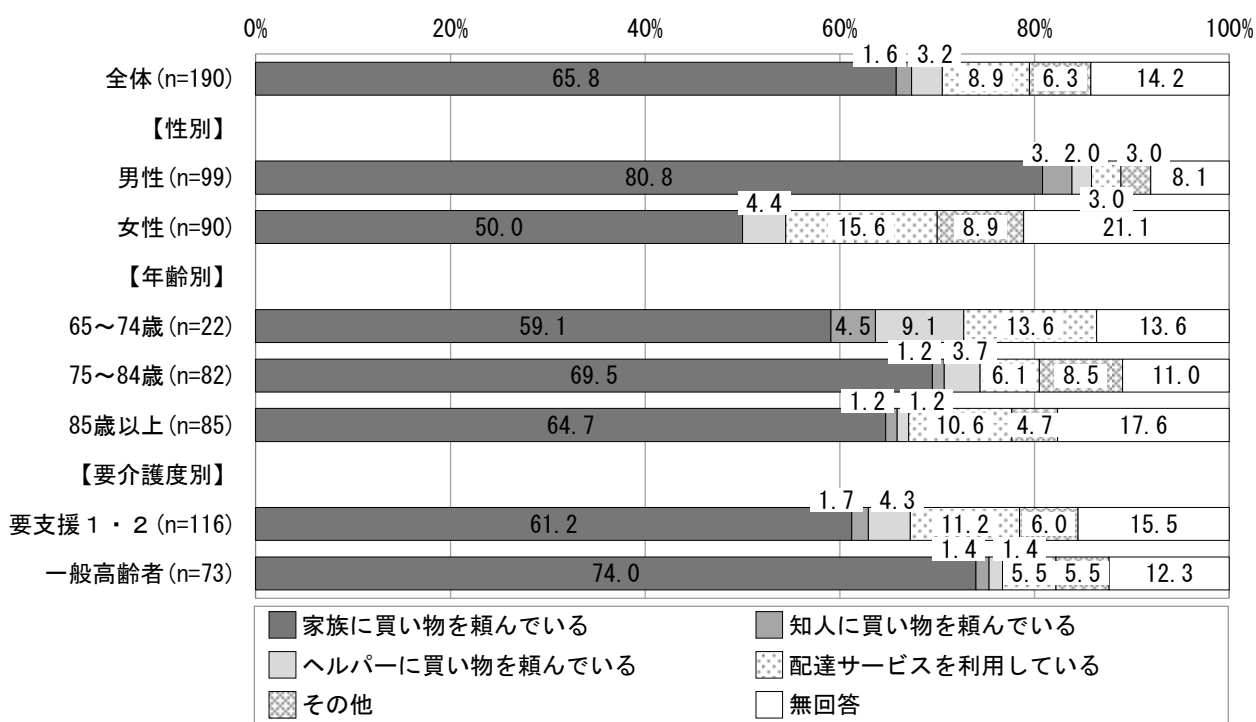
※問5で「できるけれどしていない」「できない」と回答した方に質問

全体では、「家族に買い物を頼んでいる」が65.8%と最も高く、「配達サービスを利用している」が8.9%、「ヘルパーに買い物を頼んでいる」が3.2%と続いている。

性別では「家族に買い物を頼んでいる」は、男性（80.8%）が女性（50.0%）を30.8ポイント上回っている。

年齢別では、年齢が下がるほど「ヘルパーに買い物を頼んでいる」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「家族に買い物を頼んでいる」は、一般高齢者（74.0%）が要支援1・2（61.2%）を12.8ポイント上回っている。



問5—2 食品・日用品の買い物において不便や不安に感じることはありますか。

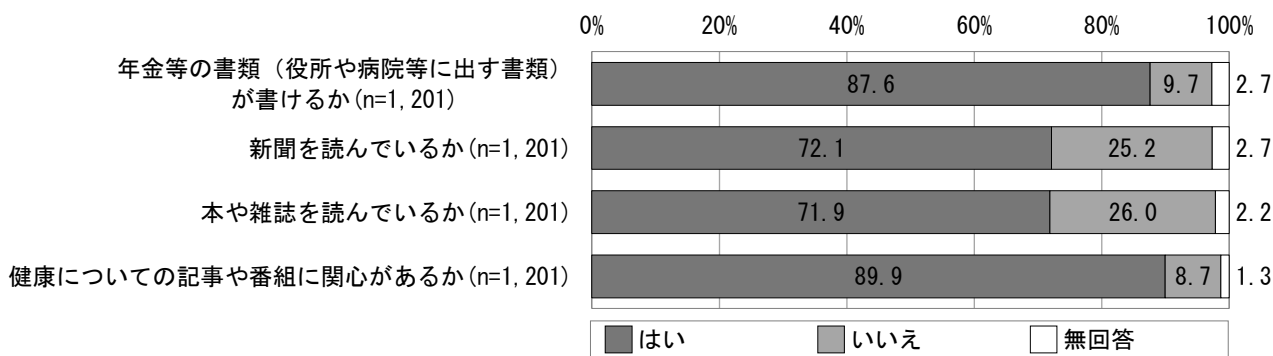
全体では、「特に不便や不安はない」が50.0%と最も高く、「歩いて買い物に行くことが大変」が14.9%、「自転車の運転・操作が不安」が2.7%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「歩いて買い物に行くことが大変」の割合が高くなる傾向にある。

(%)	特に不便や不安はない	歩いて買い物に行くことが大変	自転車の運転・操作が不安	バス等、交通の便がよくない	自分で車の運転ができない	その他	無回答
全体 (n=1,201)	50.0	14.9	2.7	1.7	0.9	4.2	25.5
【性別】							
男性 (n=509)	61.5	9.2	3.1	0.8	0.8	2.8	21.8
女性 (n=687)	41.2	19.2	2.3	2.5	1.0	5.4	28.4
【年齢別】							
65～74歳 (n=380)	69.2	6.3	2.9	1.1	0.8	3.4	16.3
75～84歳 (n=512)	47.1	14.5	2.5	2.0	1.2	3.7	29.1
85歳以上 (n=304)	30.3	26.6	2.6	2.3	0.7	6.3	31.3
【要介護度別】							
要支援1・2 (n=453)	25.8	29.4	2.2	3.5	1.5	6.6	30.9
一般高齢者 (n=743)	64.5	6.2	3.0	0.7	0.5	2.8	22.3

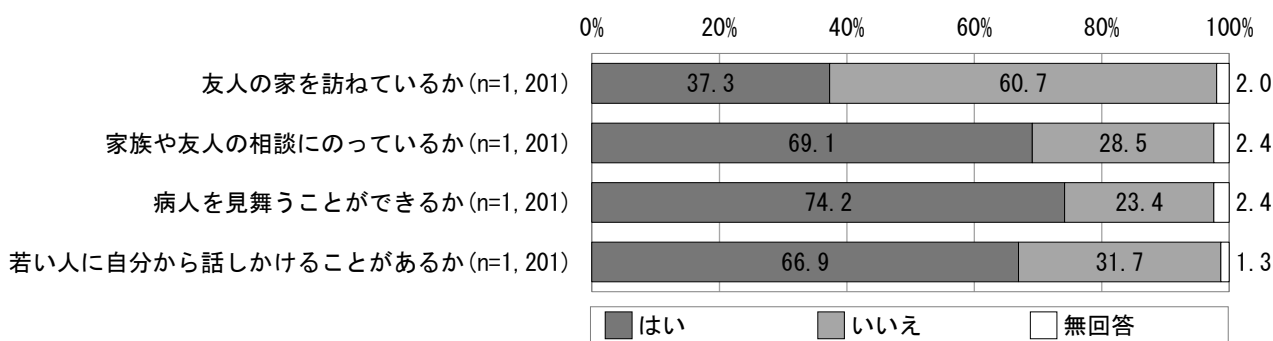
- 問9 年金などの書類（市役所や病院などに出す書類）が書けますか。
 問10 新聞を読んでいますか。（「はい」は、紙面・電子版どちらも含みます）
 問11 本や雑誌を読んでいますか。（「はい」は、紙面・電子版どちらも含みます）
 問12 健康についての記事や番組に関心がありますか。

知的能動性に関するそれぞれの設問について、「はい」の割合をみると＜健康についての記事や番組に関心があるか＞（89.9%）、＜年金等の書類（役所や病院等に出す書類）が書けるか＞（87.6%）で高くなっている。



- 問13 友人の家を訪ねていますか。
 問14 家族や友人の相談にのっていますか。
 問15 病人を見舞うことができますか。
 問16 若い人に自分から話しかけることがありますか。

社会的役割に関するそれぞれの設問について、「はい」の割合をみると＜病人を見舞うことができるか＞（74.2%）、＜家族や友人の相談にのっているか＞（69.1%）で高くなっている。



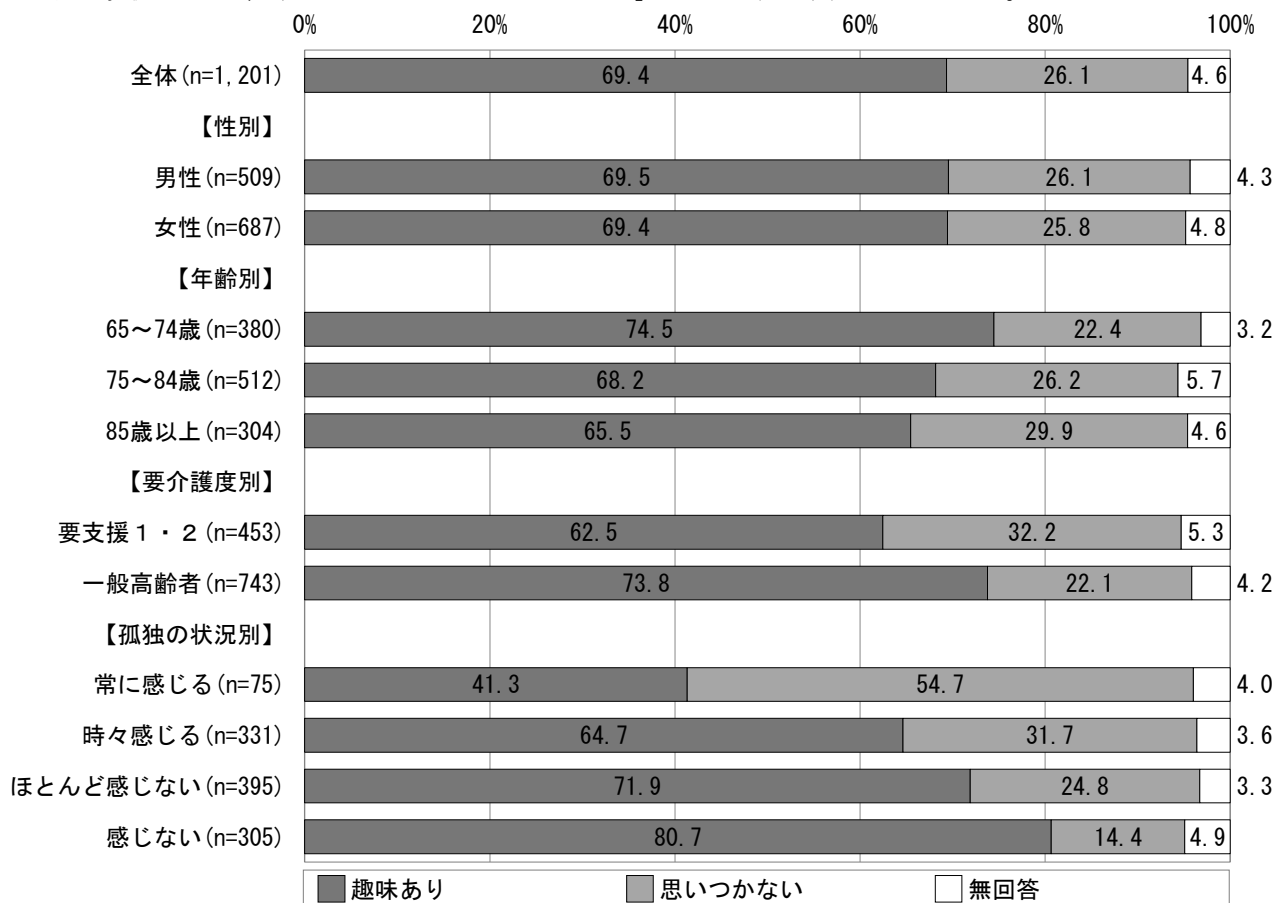
問 17 趣味はありますか。

全体では、「趣味あり」が69.4%、「思いつかない」が26.1%となっている。

年齢別では、年齢が下がるほど「趣味あり」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「趣味あり」は、一般高齢者（73.8%）が要支援1・2（62.5%）を11.3ポイント上回っている。

孤独の状況別では、常を感じるで「思いつかない」が54.7%と高くなっている。



趣味の内容をみると、「音楽鑑賞・演奏」が最も多く、「読書」が続いている。

回答	件数
音楽鑑賞・演奏	128件
読書	116件
運動	112件
手芸・編み物	100件
ガーデニング・園芸	89件
映画鑑賞	43件
ゴルフ	42件
旅行	39件
囲碁・麻雀	31件
スポーツ観戦	30件
意見総数（回答者数741名）	730件

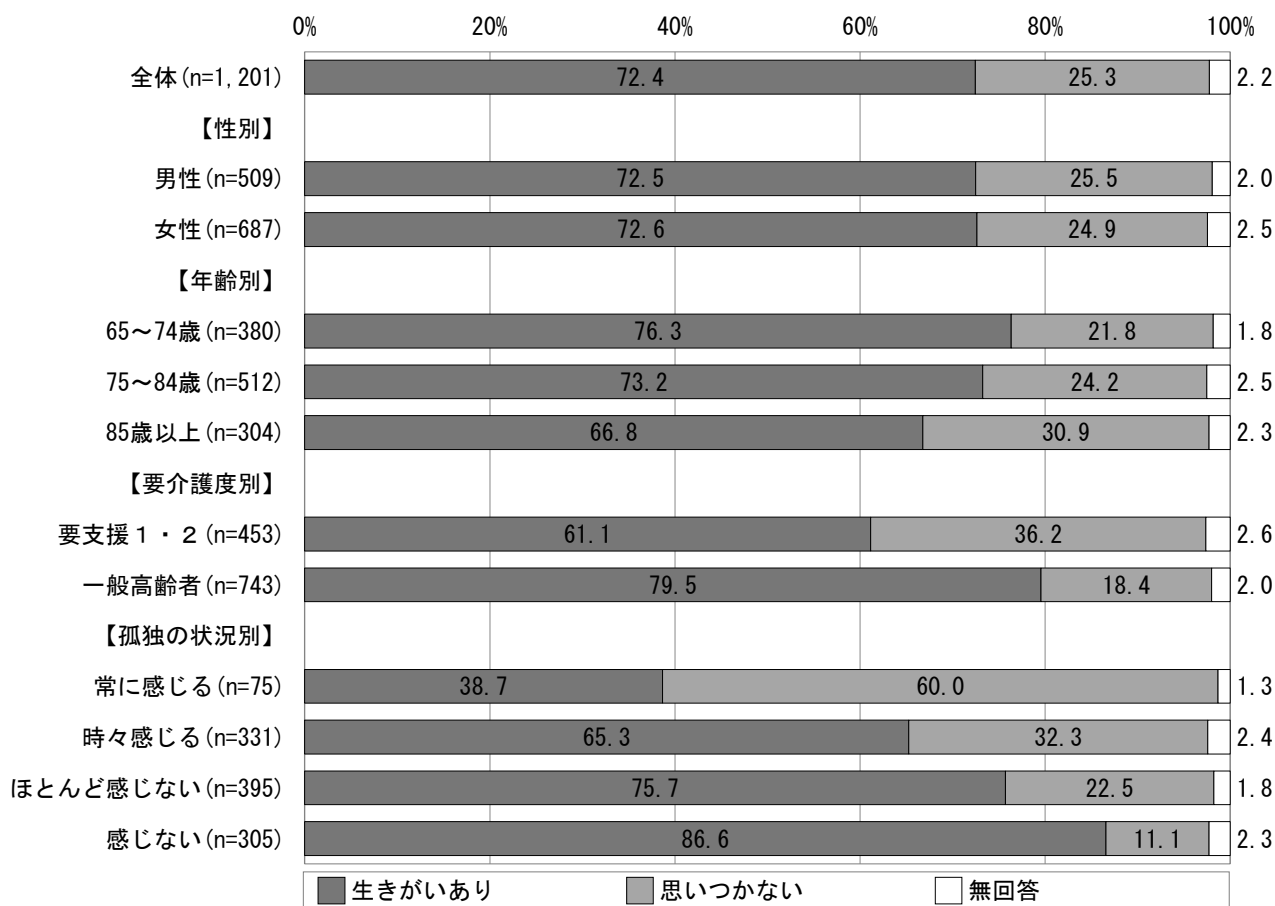
問 18 生きがいがありますか。

全体では、「生きがいあり」が72.4%、「思いつかない」が25.3%となっている。

年齢別では、年齢が下がるほど「生きがいあり」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「生きがいあり」は、一般高齢者（79.5%）が要支援1・2（61.1%）を18.4ポイント上回っている。

孤独の状況別では、常を感じるで「思いつかない」が60.0%と高くなっている。



問 18-1 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのはどのような時ですか。（いくつでも）
 ※問 18 で「生きがいあり」と回答した方に質問

全体では、「おいしい物を食べているとき」が 62.5%と最も高く、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が 56.9%、「孫など家族との団らんのとき」が 51.4%と続いている。

要介護度別では「旅行に行っているとき」は、一般高齢者（45.2%）が要支援1・2（23.5%）を 21.7ポイント上回っている。

(%)	おいしい物を食べているとき	テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	孫など家族との団らんのとき	友人や知人と食事、雑談しているとき	趣味やスポーツに熱中しているとき	旅行に行っているとき	他人から感謝されたとき	夫婦団らんのとき	収入があつたとき	仕事に打ち込んでいるとき	若い世代と交流しているとき	勉強や教養などに身を入れているとき	社会奉仕や地域活動をしているとき	その他	わからない	無回答
全体 (n=870)	62.5	56.9	51.4	50.9	49.3	38.3	30.7	26.9	22.2	20.0	18.7	17.6	10.9	4.8	0.3	0.9
【要介護度別】																
要支援1・2 (n=277)	62.1	65.3	46.9	42.6	38.3	23.5	25.3	13.0	15.5	8.7	19.5	16.6	7.9	6.5	0.7	1.1
一般高齢者 (n=591)	62.8	53.0	53.5	55.0	54.5	45.2	33.3	33.2	25.2	25.4	18.4	18.1	12.2	4.1	0.2	0.8
【経年比較】																
今回 (R7) 調査 (n=870)	62.5	56.9	51.4	50.9	49.3	38.3	30.7	26.9	22.2	20.0	18.7	17.6	10.9	4.8	0.3	0.9
前回 (R4) 調査 (n=1,073)	63.1	62.7	54.9	51.4	54.0	33.2	31.7	30.0	23.1	22.4	18.7	21.2	11.4	6.2	1.2	0.0

6. 地域での活動について

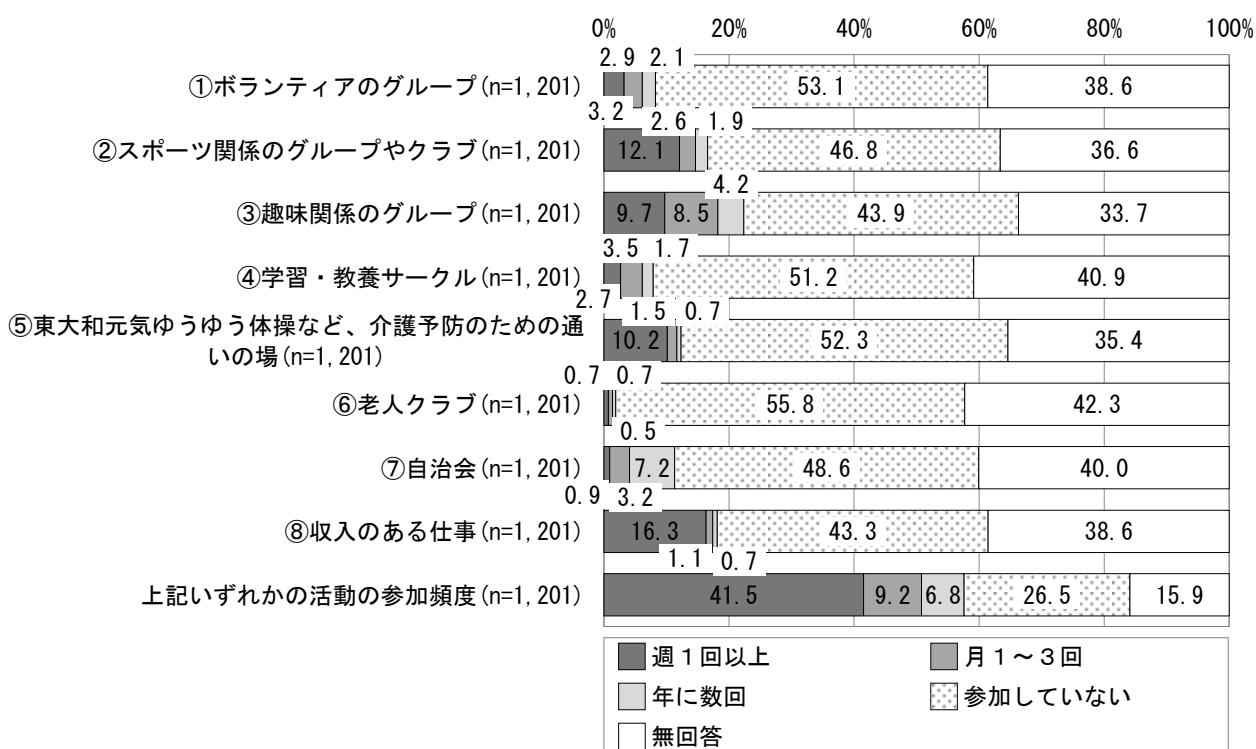
問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。

- ①ボランティアのグループ
- ②スポーツ関係のグループやクラブ
- ③趣味関係のグループ
- ④学習・教養サークル
- ⑤東大和元気ゆうゆう体操など、介護予防のための通いの場
- ⑥老人クラブ
- ⑦自治会
- ⑧収入のある仕事

地域での活動に関するそれぞれの設問について、「週1回以上」の割合をみると、<⑧収入のある仕事> (16.3%)、<②スポーツ関係のグループやクラブ> (12.1%)、<⑤東大和元気ゆうゆう体操など、介護予防のための通いの場> (10.2%) で高くなっている。一方、「参加していない」が最も高いのは、<⑥老人クラブ>で55.8%となっている。

また、①～⑧のいずれかに参加している頻度は、「週1回以上」が41.5%となっている。



問1—1 上記のグループ活動等に参加していない理由があれば教えてください。(いくつでも)
 ※問1でいずれかに参加していない方に質問

全体では、「健康・体力に自信がない」が30.6%と最も高く、「参加するきっかけがない」が28.0%、「人との付き合いがおっくう」が24.0%と続いている。

性別では「健康・体力に自信がない」は、女性(34.8%)が男性(25.9%)を8.9ポイント上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど「健康・体力に自信がない」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「健康・体力に自信がない」は、要支援1・2(58.2%)が一般高齢者(15.1%)を43.1ポイント上回っている。

(%)	健康・体力に自信がない	参加するきっかけがない	人との付き合いがおっくう	興味のある活動内容がない	時間的余裕がない	気軽に参加できる活動がない	同好の友人・仲間がない	活動の情報がない	活動場所が遠い	家庭の事情	交通費がかかる	その他	無回答
全体(n=900)	30.6	28.0	24.0	22.1	19.0	16.9	16.6	12.7	5.8	5.6	2.4	6.3	9.3
【性別】													
男性(n=406)	25.9	30.8	23.4	26.1	20.4	16.7	20.7	12.8	3.2	5.7	2.0	5.9	9.4
女性(n=489)	34.8	26.0	24.3	19.0	17.6	17.2	13.3	12.7	8.0	5.5	2.9	6.7	9.0
【年齢別】													
65～74歳(n=322)	14.0	33.5	23.0	30.4	28.9	14.6	14.9	13.4	3.4	4.7	2.2	6.5	10.9
75～84歳(n=374)	32.1	28.1	23.5	19.8	15.5	19.3	16.3	13.6	7.0	6.7	2.7	6.4	9.1
85歳以上(n=199)	55.3	19.6	26.1	13.6	9.0	16.6	20.1	10.1	7.5	5.0	2.5	6.0	6.5
【要介護度別】													
要支援1・2(n=325)	58.2	23.1	26.8	18.2	8.9	18.2	17.5	11.4	10.5	5.8	3.7	6.2	4.9
一般高齢者(n=570)	15.1	31.1	22.3	24.6	24.6	16.3	16.1	13.5	3.2	5.4	1.8	6.5	11.6

問2 あなたが、趣味などの活動や自由時間における活動を活発に行うためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

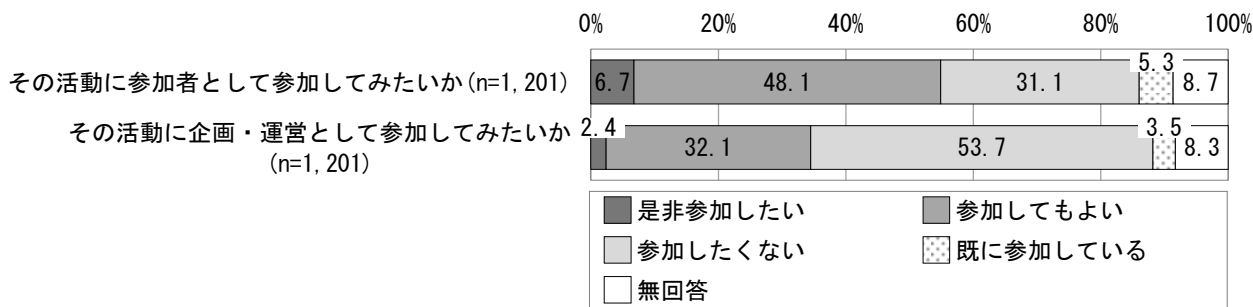
全体では、「一緒に活動する仲間」が36.5%と最も高く、「経済的なゆとり」が33.7%、「施設や場所」が32.7%と続いている。

(%)	一緒に活動する仲間	経済的なゆとり	施設や場所	時間的なゆとり	活動しやすい組織・団体	よい指導者	趣味などに関する情報、自由時間の過ごし方	得意とする技術・技能	その他	わからない	無回答
全体(n=1,201)	36.5	33.7	32.7	25.1	23.2	16.8	15.9	7.8	7.0	10.1	8.7
【要介護度別】											
要支援1・2(n=453)	31.6	21.9	33.8	14.1	18.3	19.0	13.7	6.8	11.5	13.9	12.4
一般高齢者(n=743)	39.4	40.9	32.0	31.8	26.4	15.5	17.4	8.5	4.3	7.5	6.6
【経年比較】											
今回(R7)調査(n=1,201)	36.5	33.7	32.7	25.1	23.2	16.8	15.9	7.8	7.0	10.1	8.7
前回(R4)調査(n=1,389)	40.1	44.8	32.8	27.3			21.1	8.6	7.3	9.9	11.2

※「よい指導者」「活動しやすい組織・団体」の選択肢は前回調査にはない

問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
 問4 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

地域での活動に関する参加意欲をみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加の意欲がある』は、<その活動に参加者として参加してみたいか>で54.8%となっている一方で、<その活動に企画・運営として参加してみたいか>では34.5%となっている。



問5 あなたは、どのようなきっかけがあれば、個人又は友人と、あるいはグループや団体に自主的に行われている活動に参加すると思いますか。(いくつでも)

全体では、「友人、仲間のすすめ」が34.6%と最も高く、「個人の意思（問題意識や解決したい課題をもつこと）」が21.4%、「市の広報誌やホームページなどからの情報」が19.5%と続いている。

要介護度別では「個人の意思（問題意識や解決したい課題をもつこと）」は、一般高齢者（25.8%）が要支援1・2（14.3%）を11.5ポイント上回っている。

(%)	友人、仲間のすすめ	個人の意思（問題意識や解決したい課題をもつこと）	市の広報誌やホームページなどからの情報	活動団体からの呼びかけ	家族のすすめ	自治会の誘い	その他	特にない	無回答
全体 (n=1,201)	34.6	21.4	19.5	12.3	11.4	7.2	4.9	26.0	9.0
【要介護度別】									
要支援1・2 (n=453)	28.7	14.3	14.6	10.2	9.9	9.3	7.9	31.6	11.3
一般高齢者 (n=743)	38.2	25.8	22.5	13.7	12.4	6.1	3.1	22.3	7.7
【経年比較】									
今回 (R7) 調査 (n=1,201)	34.6	21.4	19.5	12.3	11.4	7.2	4.9	26.0	9.0
前回 (R4) 調査 (n=1,389)	36.3	19.0	23.8	12.9	13.8	5.8	4.5	24.8	9.7

7. 就労について

問1 現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも)

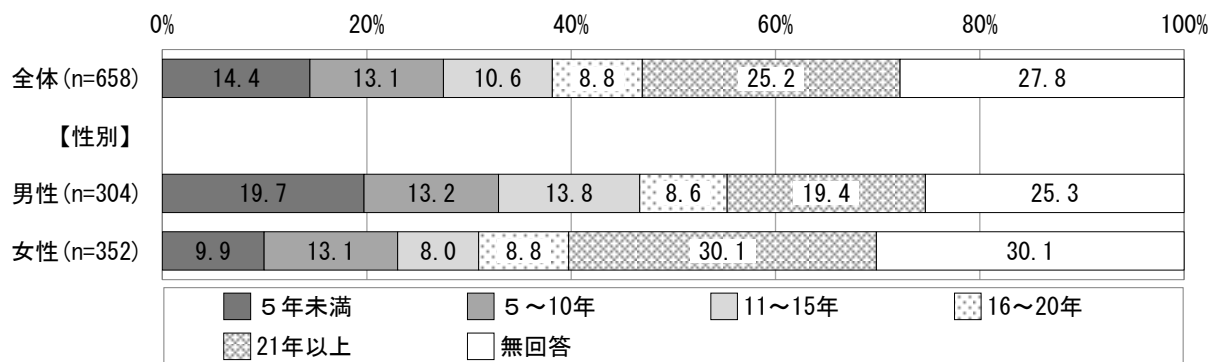
全体では、「引退した」が54.8%と最も高く、「非常勤（パート・アルバイト等）」が14.5%、「職に就いたことがない」が8.7%と続いている。

(%)	引退した	(パート・アルバイト等)非常勤	職に就いたことがない	自営業	常勤(フルタイム)	求職中	その他	無回答
全体(n=1,201)	54.8	14.5	8.7	8.1	7.4	0.6	3.7	12.4
【性別】								
男性(n=509)	59.7	13.8	5.1	9.6	10.0	1.0	3.1	6.1
女性(n=687)	51.2	15.1	11.5	7.0	5.4	0.3	3.9	17.0
【年齢別】								
65～74歳(n=380)	45.3	26.3	5.0	7.4	11.6	1.1	3.4	5.3
75～84歳(n=512)	60.2	10.0	7.4	9.4	5.1	0.4	3.5	14.3
85歳以上(n=304)	57.9	7.6	15.8	6.9	5.9	0.3	3.9	18.1
【要介護度別】								
要支援1・2(n=453)	61.8	8.6	12.6	4.9	4.6	0.2	3.3	18.5
一般高齢者(n=743)	50.6	18.2	6.5	10.1	9.0	0.8	3.8	8.6

問1—1 引退してからの経過年数

※問1で「引退した」と回答した方に質問

引退した年から、引退してからの年数を算出すると、「21年以上」が25.5%と最も高くなっている。

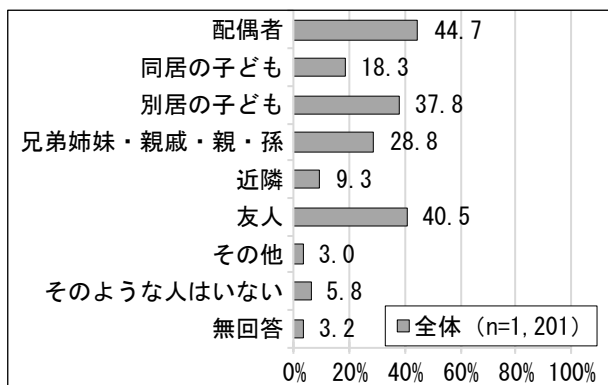


8. たすけあいについて

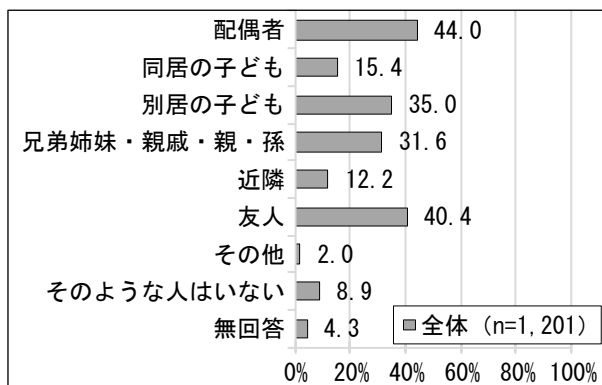
- 問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）
 問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）
 問3 あなたのちょっとした手伝いや用事をお願いできる人（いくつでも）
 問4 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）
 問5 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

たすけあいの状況を把握する5つの設問については、いずれの設問でも「配偶者」が最も高くなっている。また、＜心配事や愚痴を聞いてくれる人＞や＜心配事や愚痴を聞いてあげる人＞では、「友人」等の親族以外の回答も多くみられるが、＜看病や世話をしてくれる人＞や＜看病や世話をしてあげる人＞では親族以外の回答は少なくなっている。

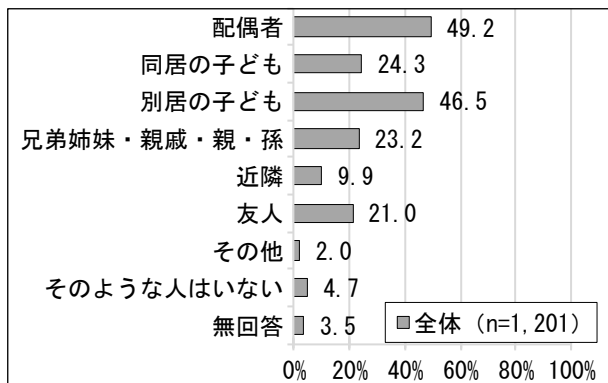
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人



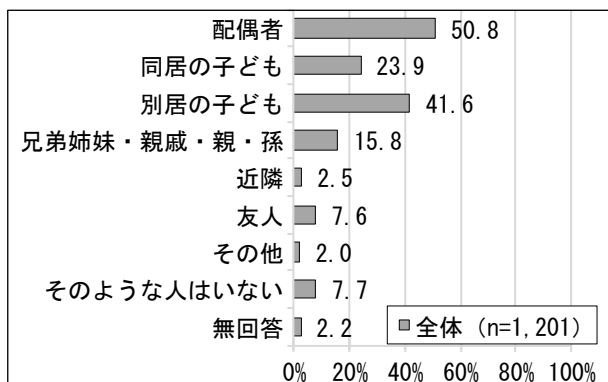
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人



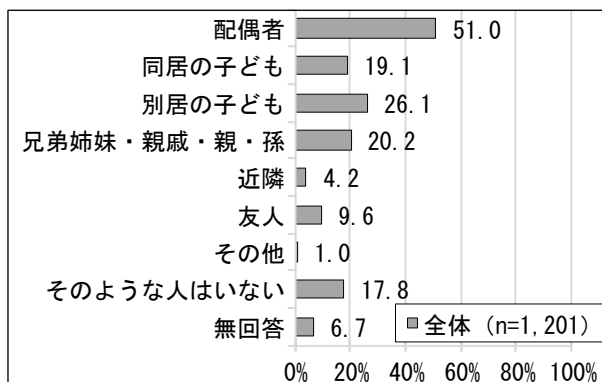
(3) ちょっとした手伝いや用事をお願いできる人



(4) 看病や世話をしてくれる人



(5) 看病や世話をしてあげる人



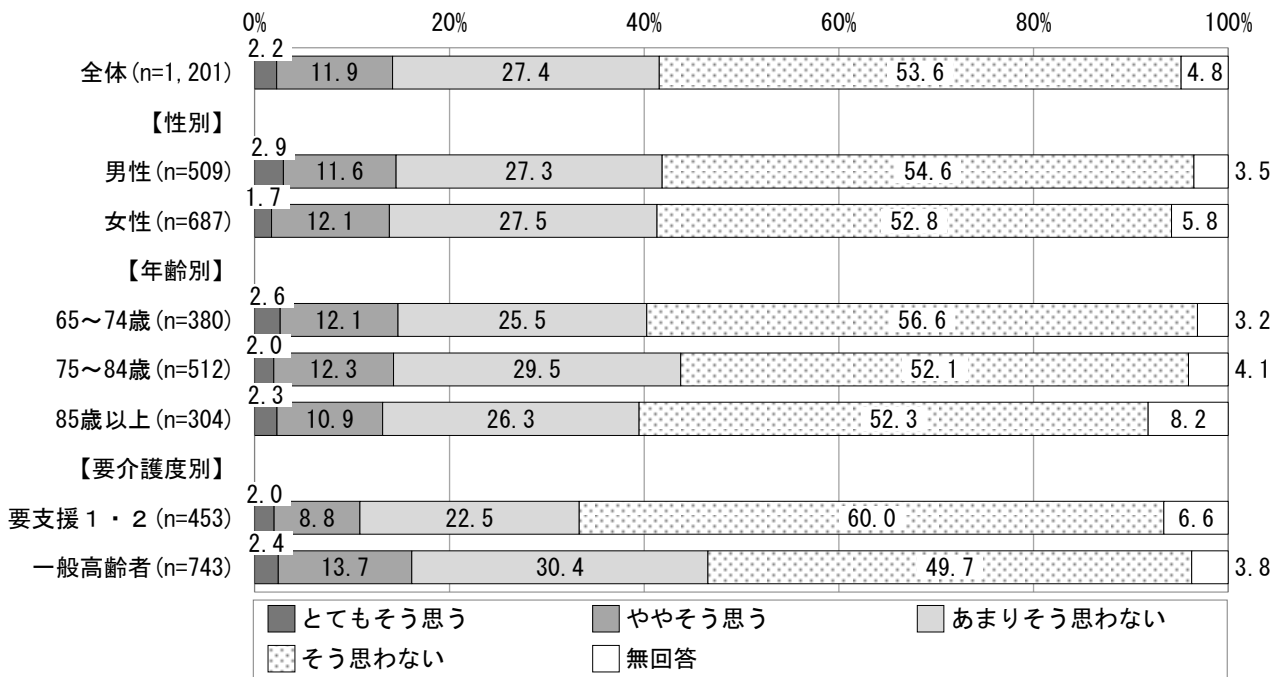
問6 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

全体では、「高齢者ほっと支援センター（地域包括支援センター）・市役所」が27.9%と最も高く、「医師・歯科医師・看護師」が26.3%、「ケアマネジャー」が15.8%と続いている。

(%)	(地域包括支援センター・市役所)	医師・歯科医師・看護師	ケアマネジャー	社会福祉協議会・民生委員	自治会・老人クラブ	その他	そのような人はいない	無回答
全体 (n=1,201)	27.9	26.3	15.8	4.2	2.2	4.3	36.7	6.7
【年齢別】								
65～74歳 (n=380)	17.4	28.2	7.6	2.6	2.4	4.7	47.6	4.5
75～84歳 (n=512)	29.3	24.4	15.6	4.7	1.6	4.5	35.0	8.0
85歳以上 (n=304)	39.1	27.3	26.6	5.3	3.3	3.6	25.3	7.6
【要介護度別】								
要支援1・2 (n=453)	43.3	24.5	36.2	5.1	2.9	5.1	20.3	6.8
一般高齢者 (n=743)	18.7	27.5	3.5	3.6	1.9	3.9	46.4	6.7
【日常生活圏域別】								
いもくぼ圏域 (n=303)	22.1	25.7	12.5	3.6	1.0	6.3	38.6	8.9
きよはら圏域 (n=278)	31.7	19.8	15.1	4.7	1.4	4.7	35.6	7.9
なんがい圏域 (n=319)	29.2	27.6	15.7	3.4	4.7	3.4	38.2	4.7
しみず圏域 (n=296)	29.4	31.8	20.3	5.1	1.7	3.0	33.4	5.7
【家族構成別】								
1人暮らし (n=336)	38.4	22.3	20.2	5.1	1.8	6.0	31.3	6.5
夫婦2人暮らし (n=515)	22.1	28.5	11.5	3.5	2.5	3.7	40.6	6.8
息子・娘との同居 (n=166)	28.3	28.3	19.3	3.6	0.6	1.8	35.5	9.0
【経年比較】								
今回 (R7) 調査 (n=1,201)	27.9	26.3	15.8	4.2	2.2	4.3	36.7	6.7
前回 (R4) 調査 (n=1,389)	30.4	26.9	13.0	4.7	3.0	4.2	36.0	9.1

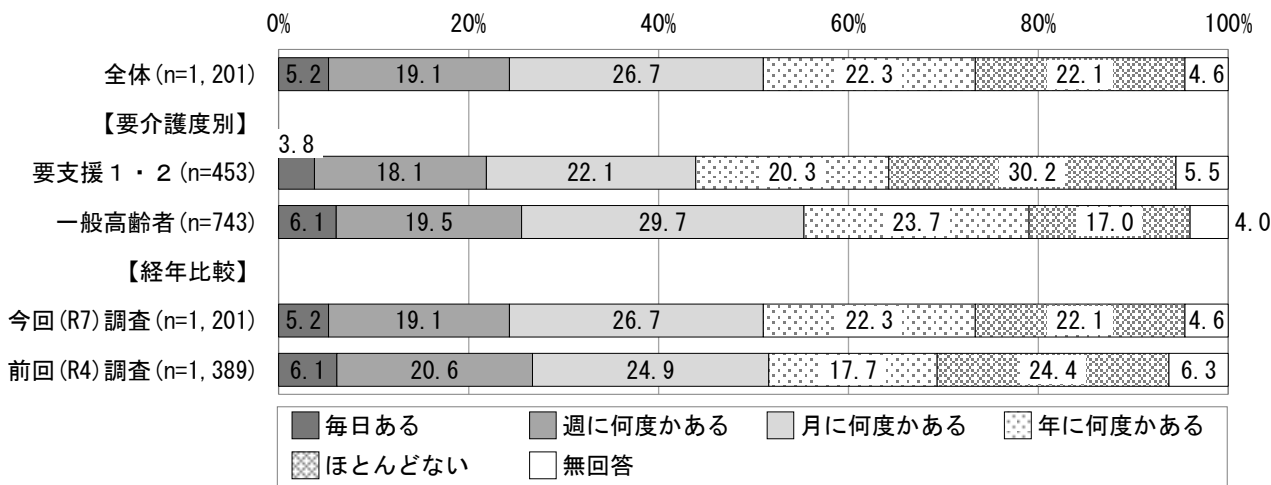
問7 あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。

全体では、「そう思わない」が53.6%と最も高く、「あまりそう思わない」が27.4%、「ややそう思う」が11.9%と続いている。



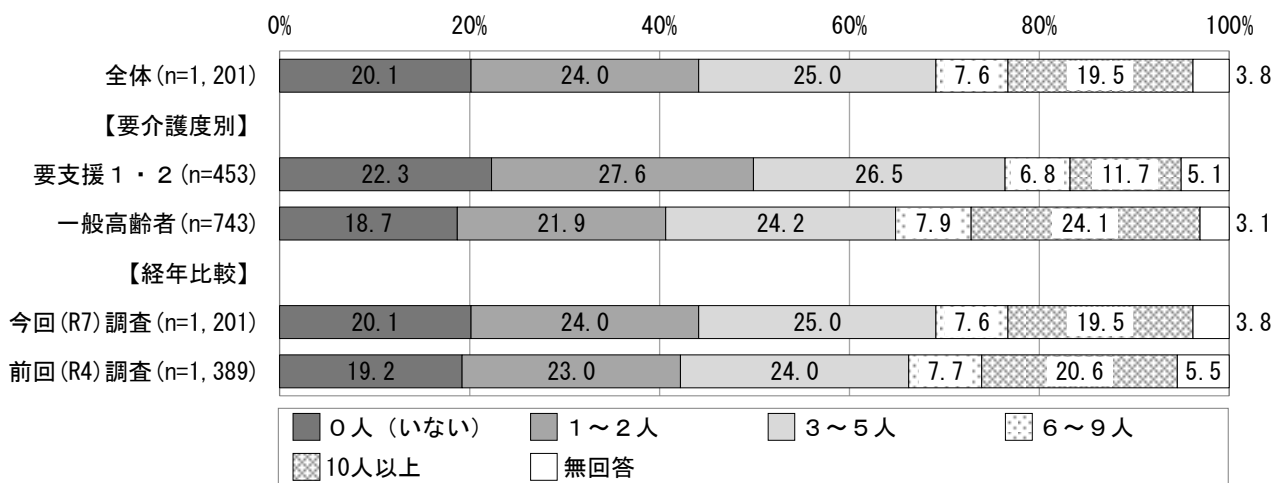
問8 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

全体では、「月に何度かある」が26.7%と最も高く、「年に何度かある」が22.3%、「ほとんどない」が22.1%と続いている。



問9 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(同じ人には何度会っても1人と数える)

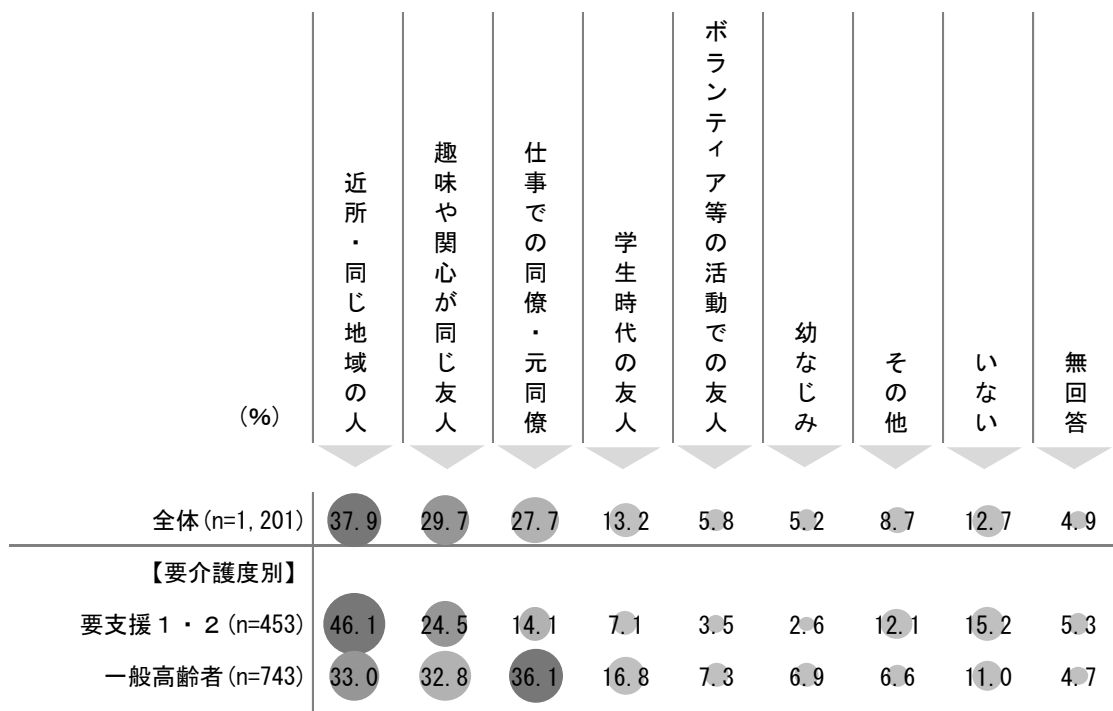
全体では、「3～5人」が25.0%と最も高く、「1～2人」が24.0%、「0人(いない)」が20.1%と続いている。



問10 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

全体では、「近所・同じ地域の人」が37.9%と最も高く、「趣味や関心が同じ友人」が29.7%、「仕事での同僚・元同僚」が27.7%と続いている。

要介護度別では「仕事での同僚・元同僚」は、一般高齢者(36.1%)が要支援1・2(14.1%)を22.0ポイント上回っている。

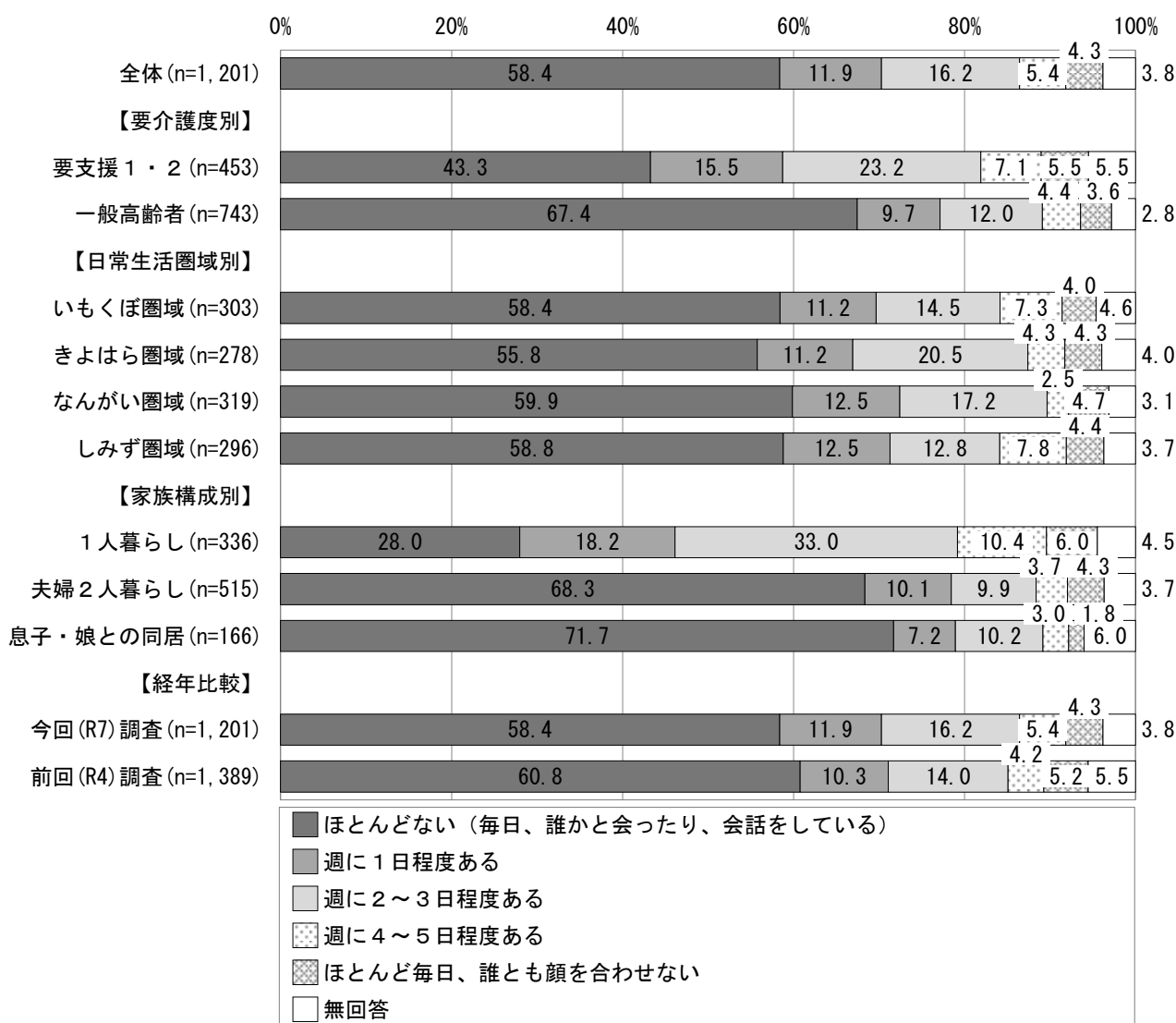


問 11 一日中、誰とも顔を合わせない（会わない）、誰とも話をしないという日が、どのくらいありますか。電話やメールのやり取りは話をしたことに含みます。

全体では、「ほとんどない（毎日、誰かと会ったり、会話をしている）」が 58.4%と最も高く、「週に2～3日程度ある」が 16.2%、「週に1日程度ある」が 11.9%と続いている。

要介護度別では「ほとんどない（毎日、誰かと会ったり、会話をしている）」は、一般高齢者（67.4%）が要支援1・2（43.3%）を 24.1ポイント上回っている。

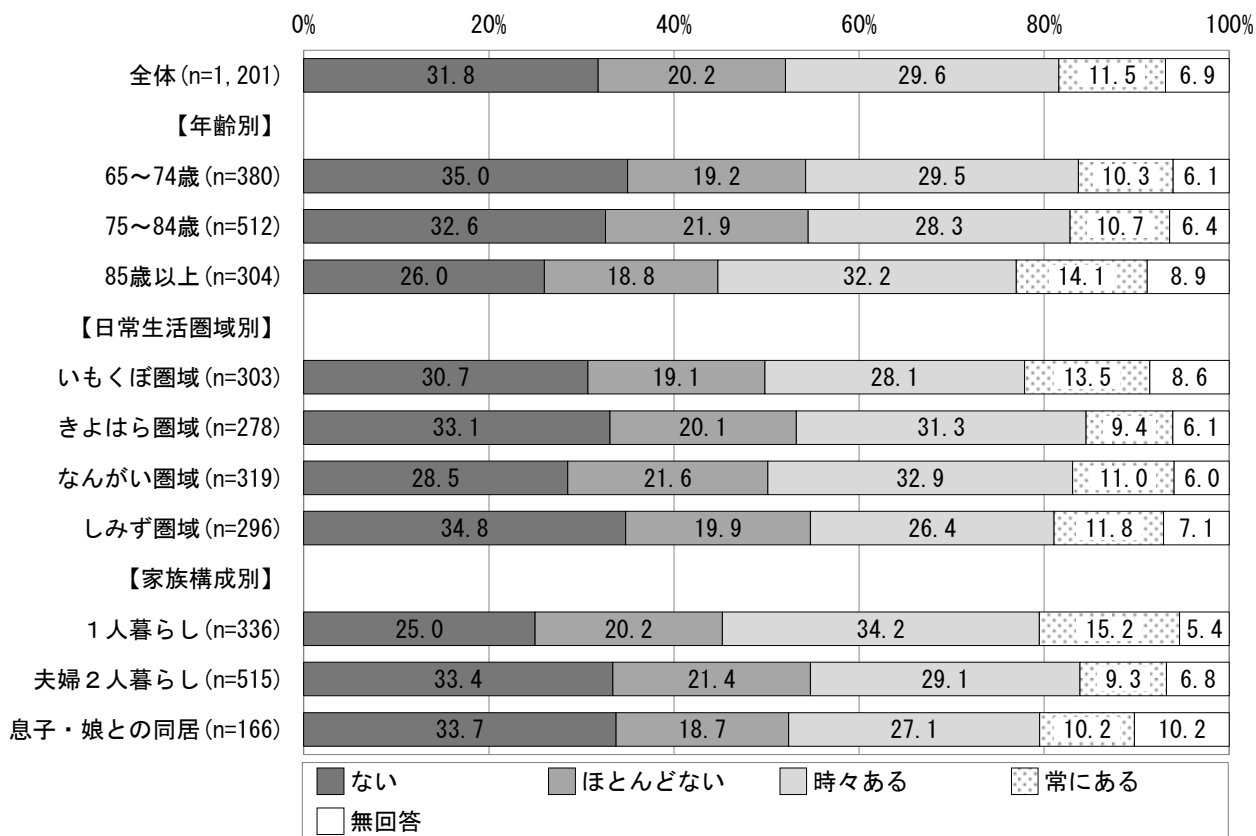
家族構成別では、1人暮らしで「週に2～3日程度ある」が 33.0%と高くなっている。



問12 人とのつきあいがないと感じることはありませんか。

全体では、「ない」が31.8%と最も高く、「時々ある」が29.6%、「ほとんどない」が20.2%と続いている。

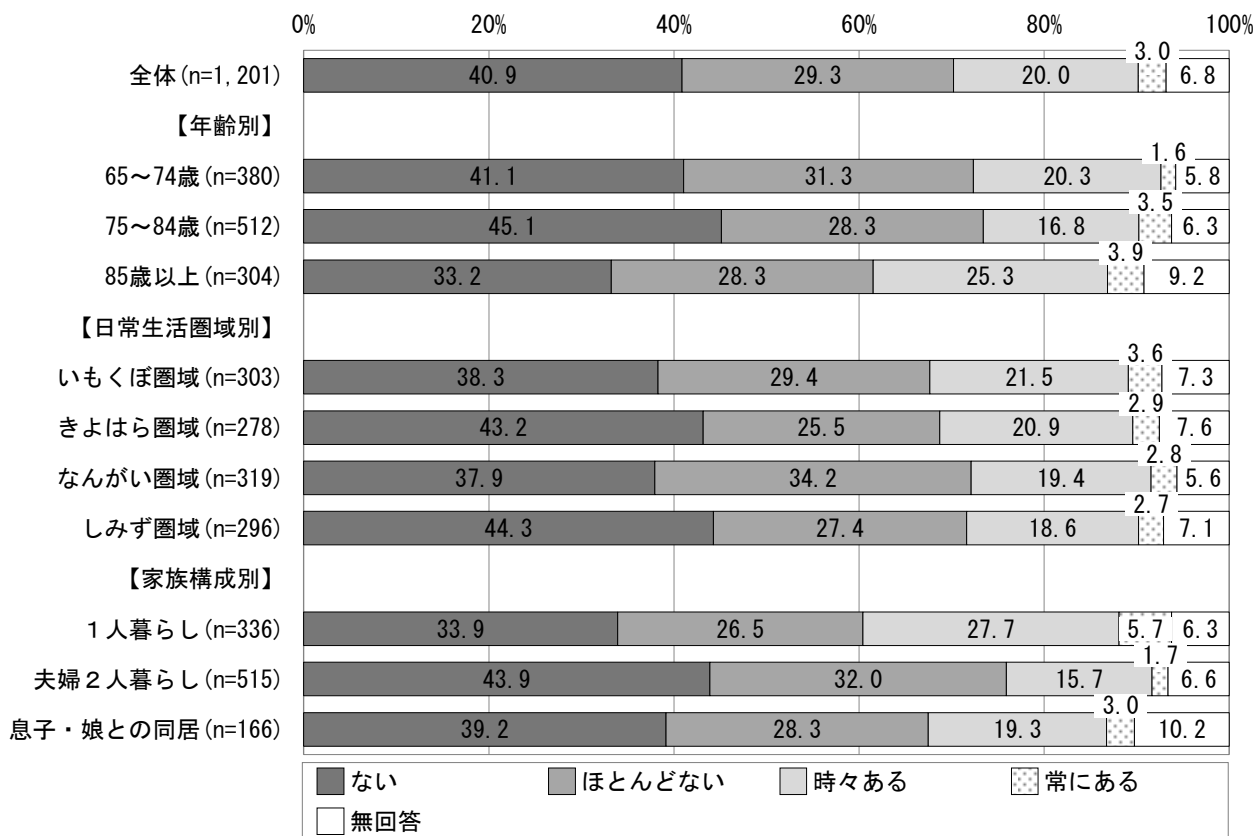
年齢別では、年齢が下がるほど「ない」の割合が高くなる傾向にある。



問 13 自分が取り残されていると感じることがありますか。

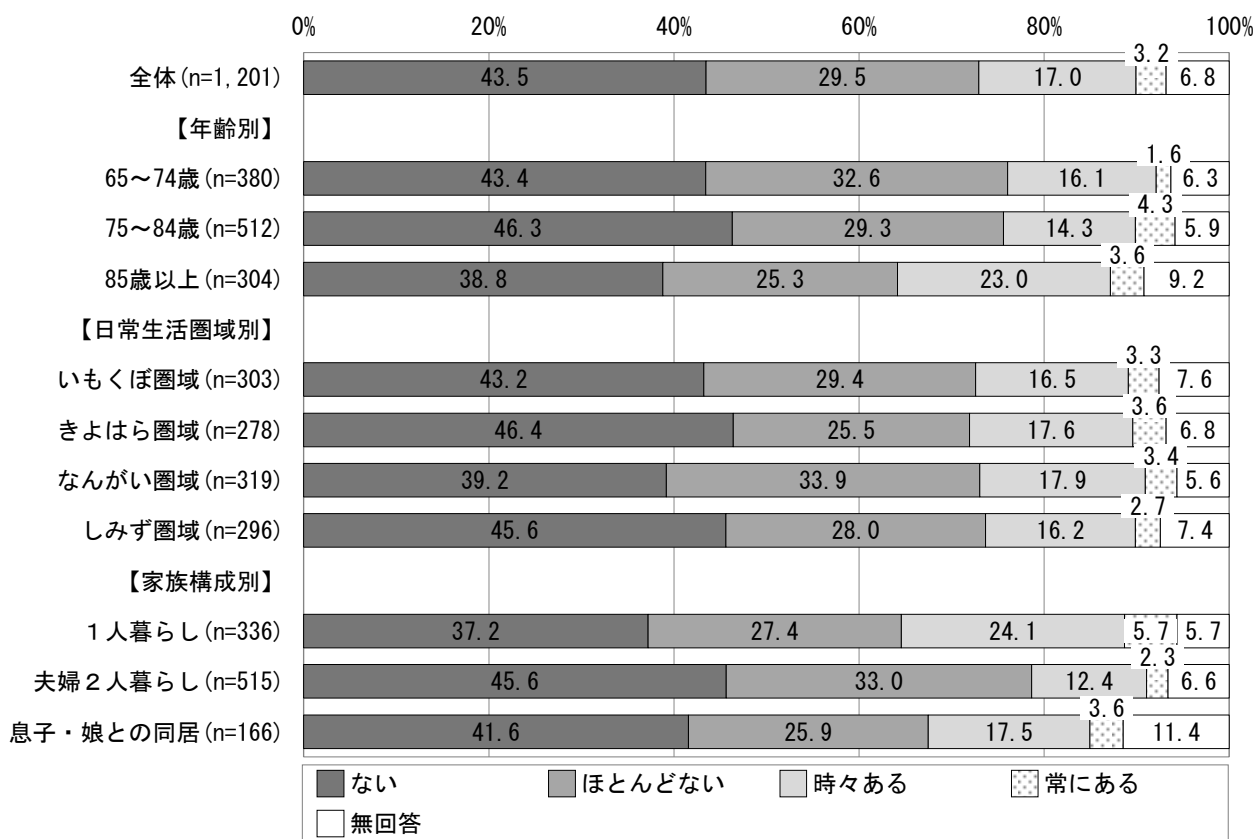
全体では、「ない」が40.9%と最も高く、「ほとんどない」が29.3%、「時々ある」が20.0%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「常にある」の割合が高くなる傾向にある。



問 14 自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。

全体では、「ない」が43.5%と最も高く、「ほとんどない」が29.5%、「時々ある」が17.0%と続いている。

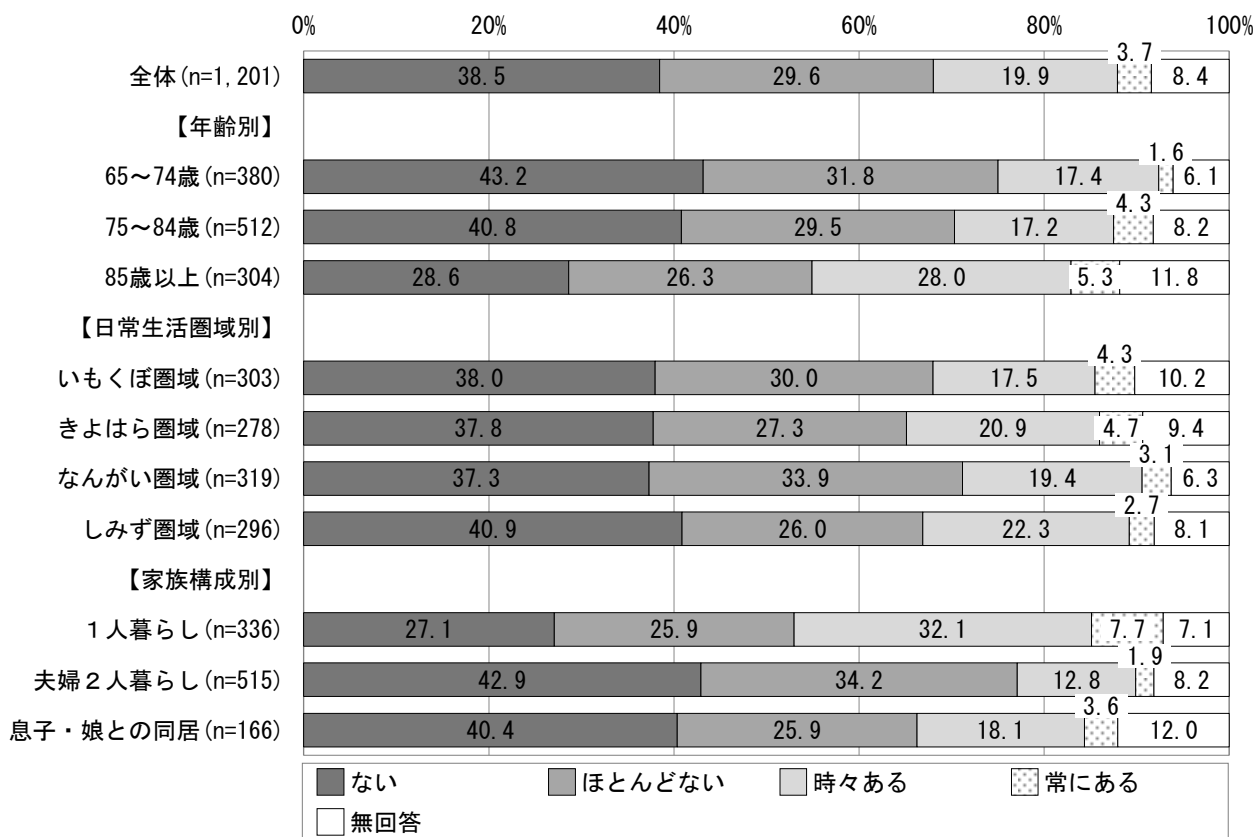


問 15 どの程度、孤独であると感じることがありますか。

全体では、「ない」が38.5%と最も高く、「ほとんどない」が29.6%、「時々ある」が19.9%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「ない」の割合が高くなる傾向にある。

日常生活圏域別では、しみず圏域で「ない」が40.9%と高くなっている。



問 15-1 現在の孤独感に強く影響を与えたと思われる出来事は何ですか。(いくつでも)

※問 15 で「時々ある」「常にある」と回答した方に質問

全体では、「ひとり暮らし」が 46.3%と最も高く、「心身のトラブル（病気・けが等）」が 33.9%、「家族との離別・死別」が 21.6%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「ひとり暮らし」の割合が高くなる傾向にある。

家族構成別では、夫婦2人暮らしで「心身のトラブル（病気・けが等）」が 42.1%と高くなっている。

(%)	ひとり暮らし	心身のトラブル（病気・けが等）	家族との離別・死別	家族以外の親しい知人等との死別	生活困窮・貧困	転職・離職・退職（失業を除く）	人間関係によるトラブル	家族の介護・介助	家族間のトラブル（DV・虐待を含む）	転居	金銭によるトラブル	仕事上（職場）のトラブル	失業・求職	その他	特に影響を与えたと思われる出来事はない	無回答
全体 (n=283)	46.3	33.9	21.6	12.0	9.2	7.1	5.7	4.2	3.5	3.2	1.8	1.1	0.7	6.7	7.4	4.9
【年齢別】																
65～74歳 (n=72)	34.7	34.7	16.7	4.2	11.1	11.1	9.7	6.9	5.6	2.8	1.4	4.2	2.8	9.7	8.3	4.2
75～84歳 (n=110)	44.5	38.2	20.0	11.8	7.3	6.4	5.5	4.5	4.5	4.5	0.9	0.0	0.0	8.2	10.0	5.5
85歳以上 (n=101)	56.4	28.7	26.7	17.8	9.9	5.0	3.0	2.0	1.0	2.0	3.0	0.0	0.0	3.0	4.0	5.0
【日常生活圏域別】																
いもくぼ圏域 (n=66)	48.5	28.8	25.8	15.2	3.0	6.1	3.0	3.0	1.5	6.1	0.0	0.0	1.5	7.6	4.5	6.1
きよはら圏域 (n=71)	57.7	33.8	15.5	8.5	12.7	7.0	7.0	4.2	5.6	2.8	2.8	0.0	0.0	4.2	7.0	5.6
なんがい圏域 (n=72)	45.8	37.5	22.2	11.1	11.1	8.3	6.9	2.8	2.8	4.2	0.0	1.4	1.4	11.1	9.7	4.2
しみず圏域 (n=74)	33.8	35.1	23.0	13.5	9.5	6.8	5.4	6.8	4.1	0.0	4.1	2.7	0.0	4.1	8.1	4.1
【家族構成別】																
1人暮らし (n=134)	88.1	32.1	35.1	13.4	11.9	5.2	5.2	2.2	3.0	3.7	1.5	0.0	0.0	1.5	0.7	0.7
夫婦2人暮らし (n=76)	2.6	42.1	5.3	9.2	5.3	11.8	6.6	9.2	6.6	2.6	1.3	1.3	1.3	13.2	10.5	7.9
息子・娘との同居 (n=36)	19.4	16.7	22.2	8.3	8.3	5.6	8.3	2.8	2.8	5.6	2.8	2.8	2.8	5.6	13.9	11.1

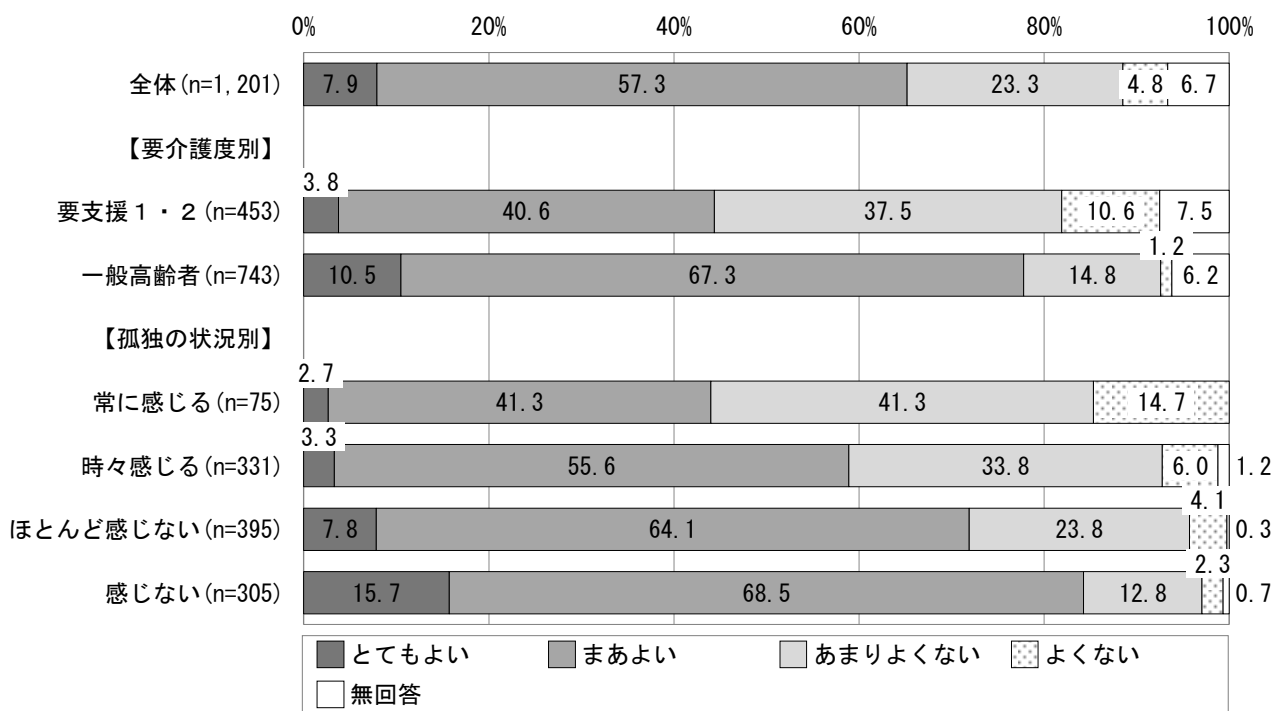
9. 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

全体では、「まあよい」が57.3%と最も高く、「あまりよくない」が23.3%、「とてもよい」が7.9%と続いている。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』は65.2%となっている。

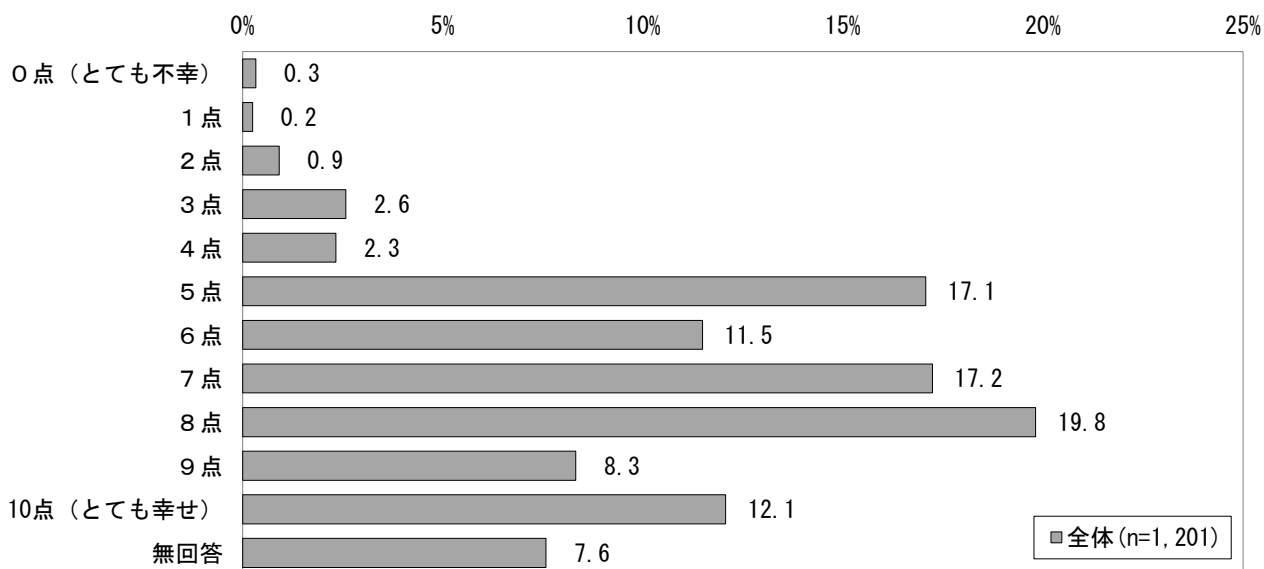
要介護度別では、一般高齢者で『よい』が77.8%となっている。

孤独の状況別では、感じないで『よい』が84.2%となっている。



問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。

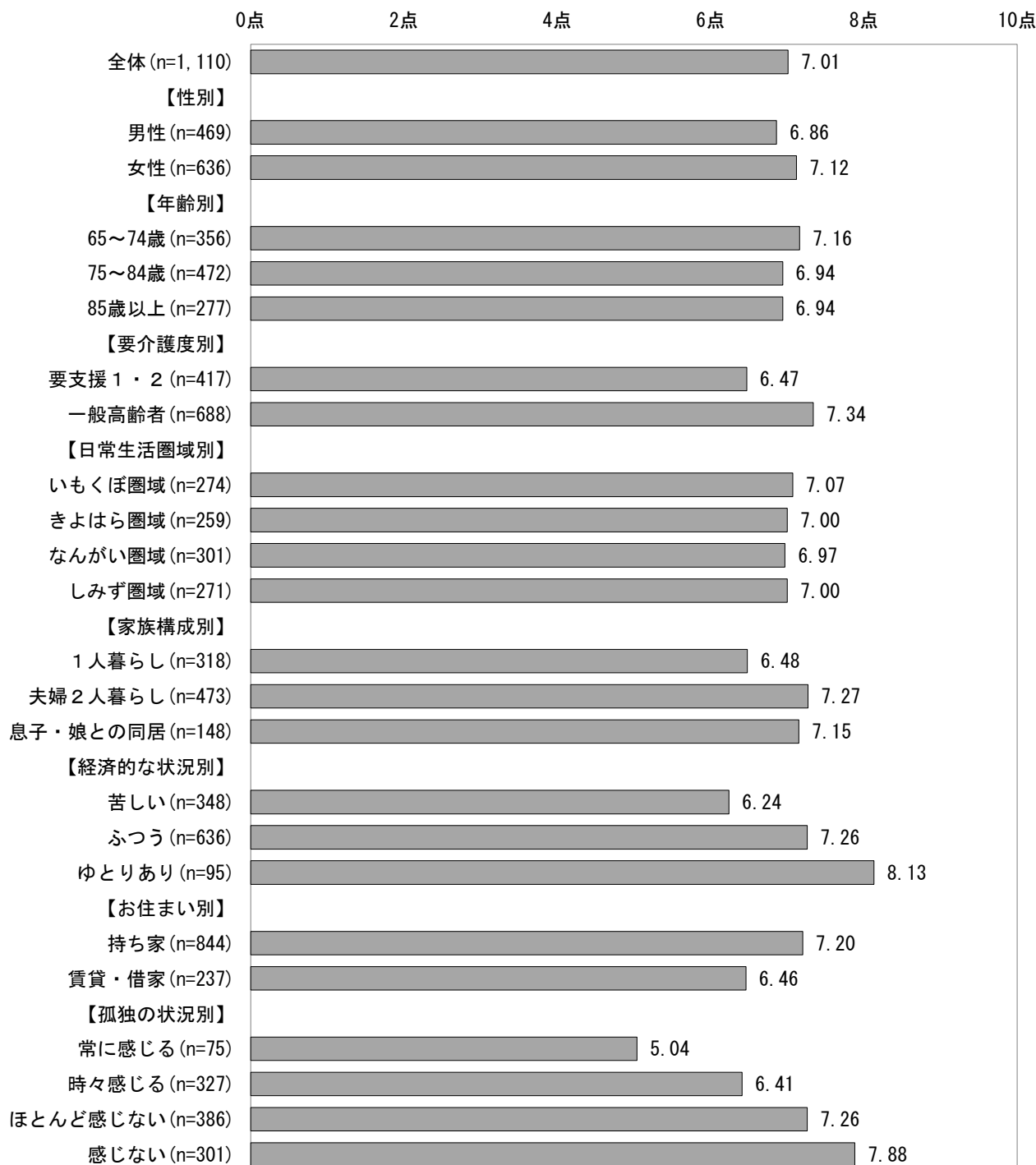
主観的幸福感を問う本設問では、「8点」が19.8%と最も高く、「7点」が17.2%と続いている。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

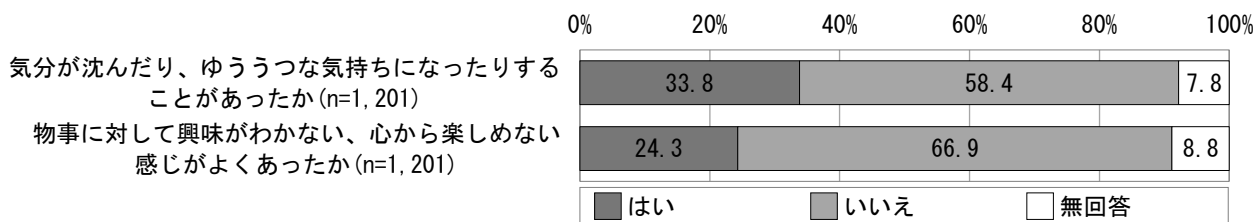
以下は属性別の平均点（n数から無回答を除いて算出）を示している。全体では7.01点である。

属性別では、性別で「女性」、年齢別で「65～74歳」、要介護度別で「一般高齢者」、日常生活圏域別で「いもくぼ圏域」、家族構成別で「夫婦2人暮らし」、経済的な状況別で「ゆとりあり」、お住まい別で「持ち家」、孤独の状況別で「感じない」が他と比べて高くなっている。



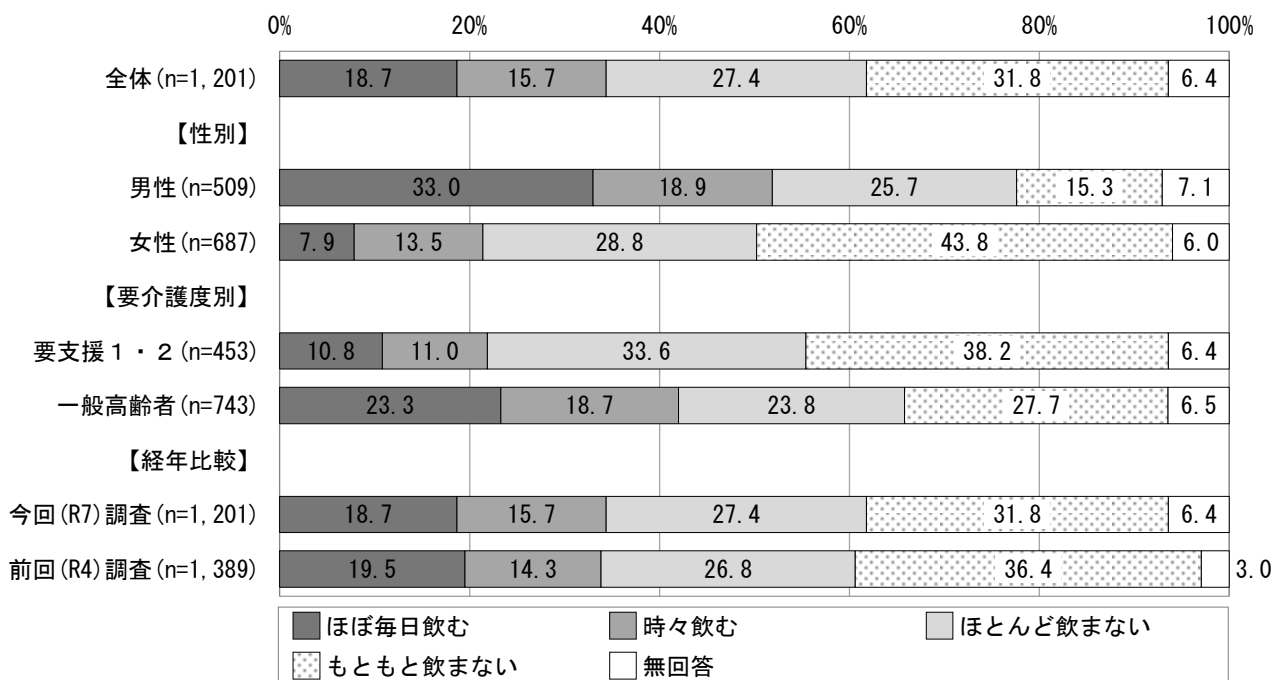
問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
 問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

<気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか>について、「はい」は33.8%となっている。<物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか>について、「はい」は24.3%となっている。



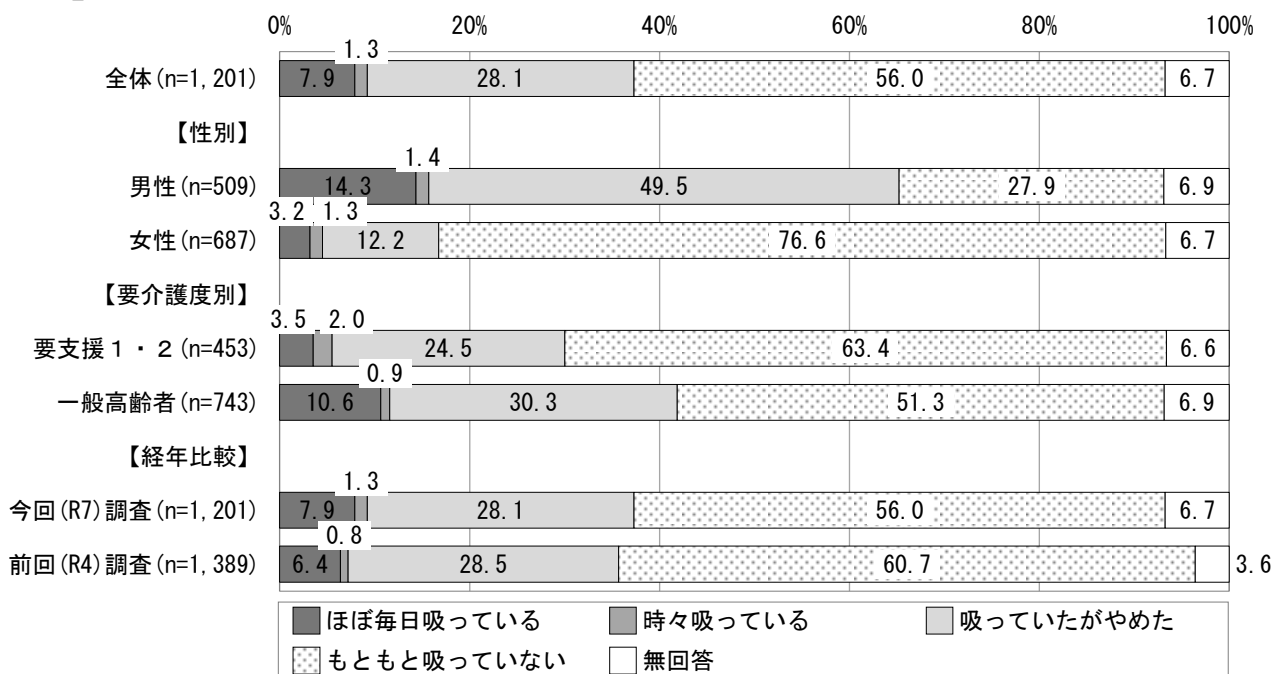
問5 お酒は飲みますか。

全体では、「もともと飲まない」が31.8%と最も高く、「ほとんど飲まない」が27.4%、「ほぼ毎日飲む」が18.7%と続いている。「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲む』は34.4%となっている。性別では、男性で『飲む』が51.9%となっている。要介護度別では、一般高齢者で『飲む』が42.0%となっている。



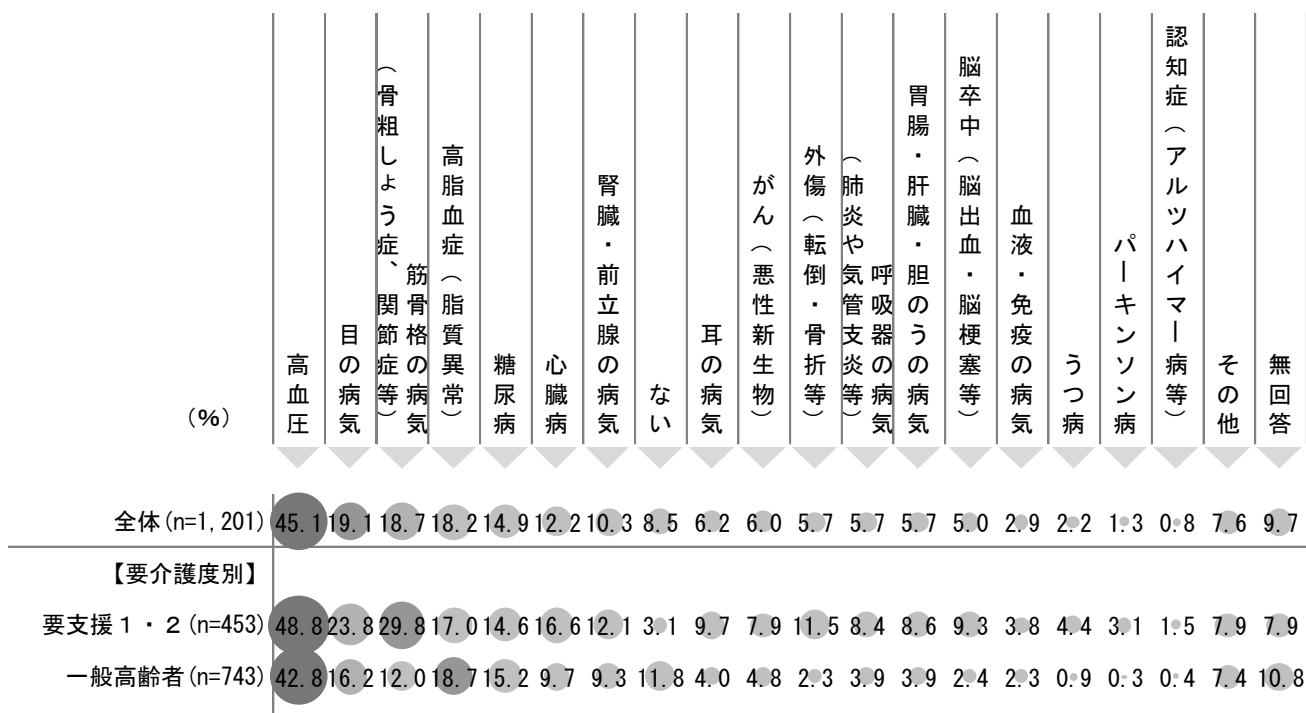
問6 タバコは吸っていますか。

全体では、「もともと吸っていない」が56.0%と最も高く、「吸っていたがやめた」が28.1%、「ほぼ毎日吸っている」が7.9%と続いている。「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』は9.2%となっている。



問7 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

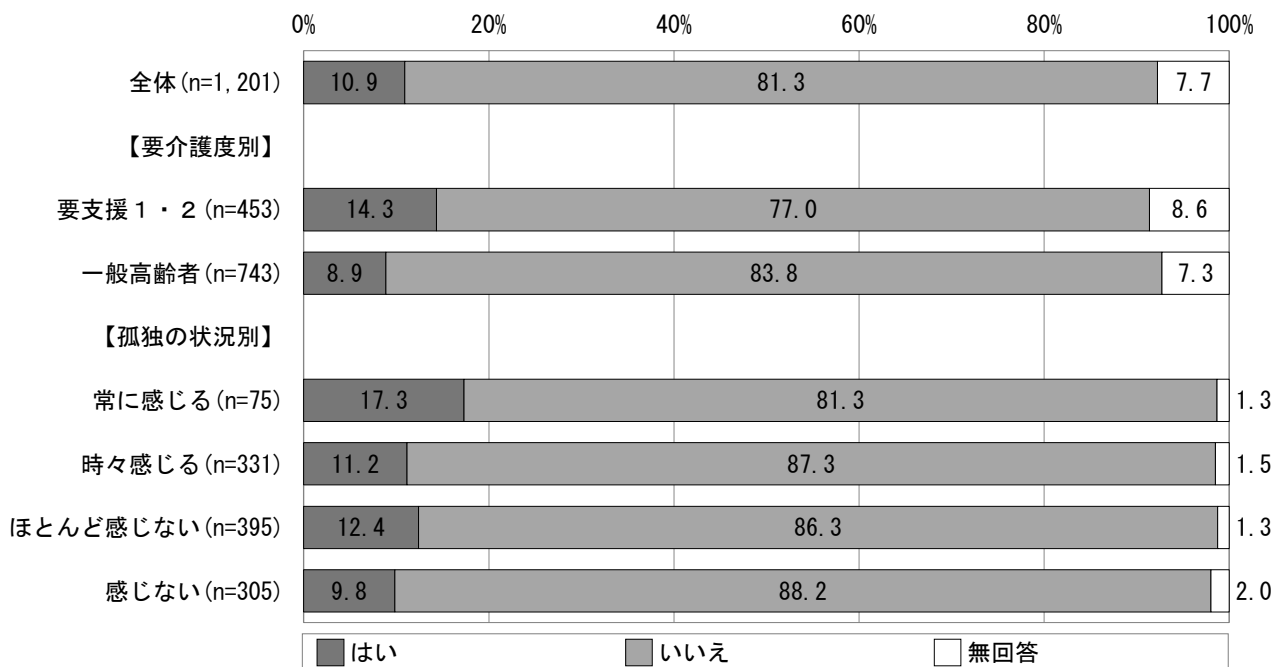
全体では、「高血圧」が45.1%と最も高く、「目の病気」が19.1%、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」が18.7%と続いている。



10. 認知症にかかる相談窓口の把握等について

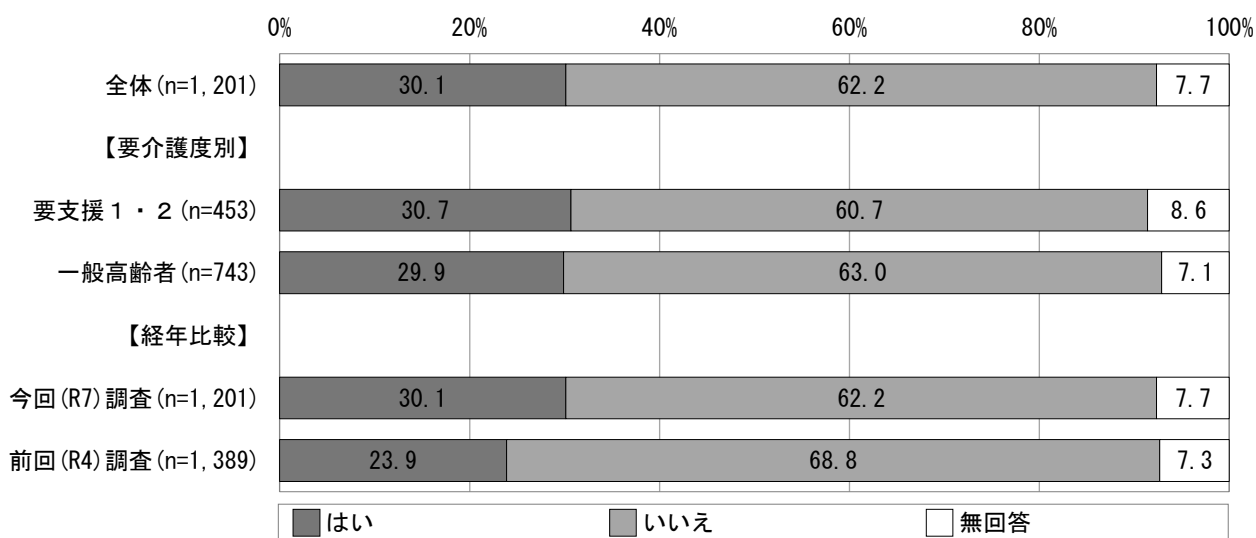
問1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

全体では、「はい」が10.9%、「いいえ」が81.3%となっている。



問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

全体では、「はい」が30.1%、「いいえ」が62.2%となっている。



問3 あなたは、あなた自身あるいは身近な方に認知症の疑いがあるとき、どこに相談すると思いますか。(いくつでも)

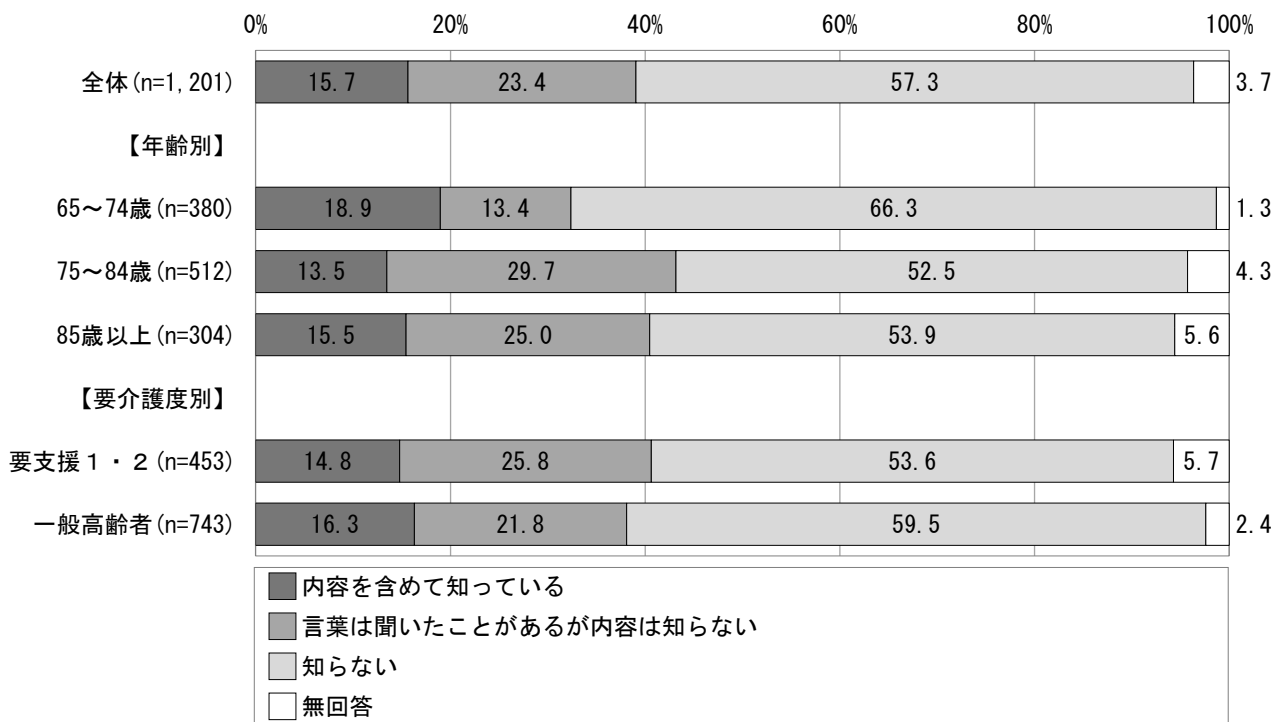
全体では、「病院・診療所」が74.2%と最も高く、「高齢者ほっと支援センター（地域包括支援センター）」が37.5%、「市役所」が23.2%と続いている。

要介護度別では「ケアマネジャー（介護支援専門員）」は、要支援1・2（41.9%）が一般高齢者（10.8%）を31.1ポイント上回っている。

(%)	病院・診療所	高齢者ほっと支援センター (地域包括支援センター)	市役所	ケアマネジャー (介護支援専門員)	高齢者見守りほっとす 見守り支援を専門とした相談窓口	介護サービス事業者 (ホームヘルパーなど)	その他	無回答
全体 (n=1,201)	74.2	37.5	23.2	22.6	13.0	7.4	2.9	2.9
【要介護度別】								
要支援1・2 (n=453)	66.2	43.9	14.8	41.9	15.2	12.4	2.6	4.2
一般高齢者 (n=743)	79.3	33.6	28.3	10.8	11.7	4.3	3.1	2.2
【経年比較】								
今回 (R7) 調査 (n=1,201)	74.2	37.5	23.2	22.6	13.0	7.4	2.9	2.9
前回 (R4) 調査 (n=1,389)	71.9	35.9	23.5	17.7	13.5	7.4	2.3	8.0

問4 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。その内容についてご存じですか。

全体では、「知らない」が57.3%と最も高く、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が23.4%、「内容を含めて知っている」が15.7%と続いている。



問5 認知症の人及び家族等が地域において安心して日常生活を営むにあたり、地域において実現できていると思うこと（ある程度実現できていることを含む）は次のどれですか。（いくつでも）

全体では、「わからない」が49.0%と最も高く、「認知症の人が自分の思いを伝えられる家族、友人、仲間がいること」が24.2%、「認知症の人が自分らしく暮らせること」が21.2%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「わからない」の割合が高くなる傾向にある。

(%)	わからない	認知症の人が自分の思いを伝えられる家族、友人、仲間がいること	認知症の人が自分らしく暮らせること	認知症の人が自分の意思が継続できていること、本人が望む生活が尊重され、本人が	「新しい認知症観」について多くの市民が理解していること	いずれも実現できていない	認知症の人が地域で役割を果たしていること	無回答
全体 (n=1,201)	49.0	24.2	21.2	18.7	10.7	6.2	3.7	7.6
【年齢別】								
65～74歳 (n=380)	55.3	23.4	20.3	19.7	12.1	7.4	4.7	2.1
75～84歳 (n=512)	46.7	24.8	22.9	18.4	9.6	6.3	3.3	8.6
85歳以上 (n=304)	44.7	24.3	20.1	18.1	10.9	4.6	3.0	12.8
【要介護度別】								
要支援1・2 (n=453)	46.1	22.7	22.3	18.1	11.5	6.0	3.3	10.6
一般高齢者 (n=743)	50.6	25.2	20.7	19.1	10.2	6.3	3.9	5.8

問6 認知症についてどのようなことを知りたいですか。(いくつでも)

全体では、「認知症に関する相談窓口」が40.8%と最も高く、「認知症の人が利用できるサービス」が40.0%、「認知症の人に対する接し方」が33.8%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「認知症に関する相談窓口」の割合が高くなる傾向にある。

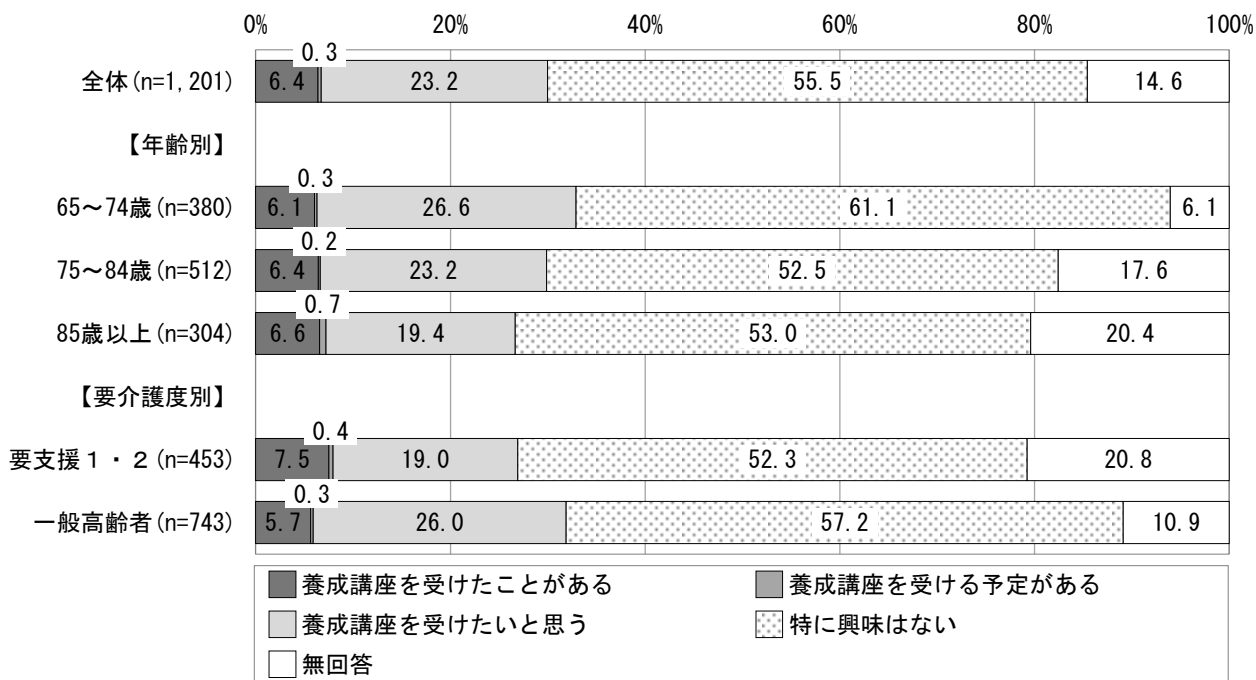
要介護度別では「認知症に関する相談窓口」は、一般高齢者(44.0%)が要支援1・2(35.5%)を8.5ポイント上回っている。

(%)	認知症に関する相談窓口	認知症の人が利用できるサービス	認知症の人に対する接し方	認知症の症状	認知症の人に対する介護の方法	認知症の人の施設やグループホームなど	その他	特に知りたいことはない・わからない	無回答
全体 (n=1,201)	40.8	40.0	33.8	31.6	26.6	23.3	1.2	19.2	5.9
【年齢別】									
65～74歳 (n=380)	43.2	47.4	37.4	35.3	30.5	25.5	0.8	22.1	2.1
75～84歳 (n=512)	41.6	38.3	33.0	28.9	27.0	22.3	1.6	17.0	6.6
85歳以上 (n=304)	36.5	34.2	30.9	31.9	21.1	22.7	1.0	18.8	9.5
【要介護度別】									
要支援1・2 (n=453)	35.5	35.8	29.4	29.6	23.4	24.1	0.9	20.8	8.8
一般高齢者 (n=743)	44.0	42.8	36.6	33.0	28.5	23.0	1.3	18.0	4.2

問7 「認知症サポーター」についてどのように思いますか。

全体では、「特に興味はない」が55.5%と最も高く、「養成講座を受けたいと思う」が23.2%、「養成講座を受けたことがある」が6.4%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「養成講座を受けたいと思う」の割合が高くなる傾向にある。

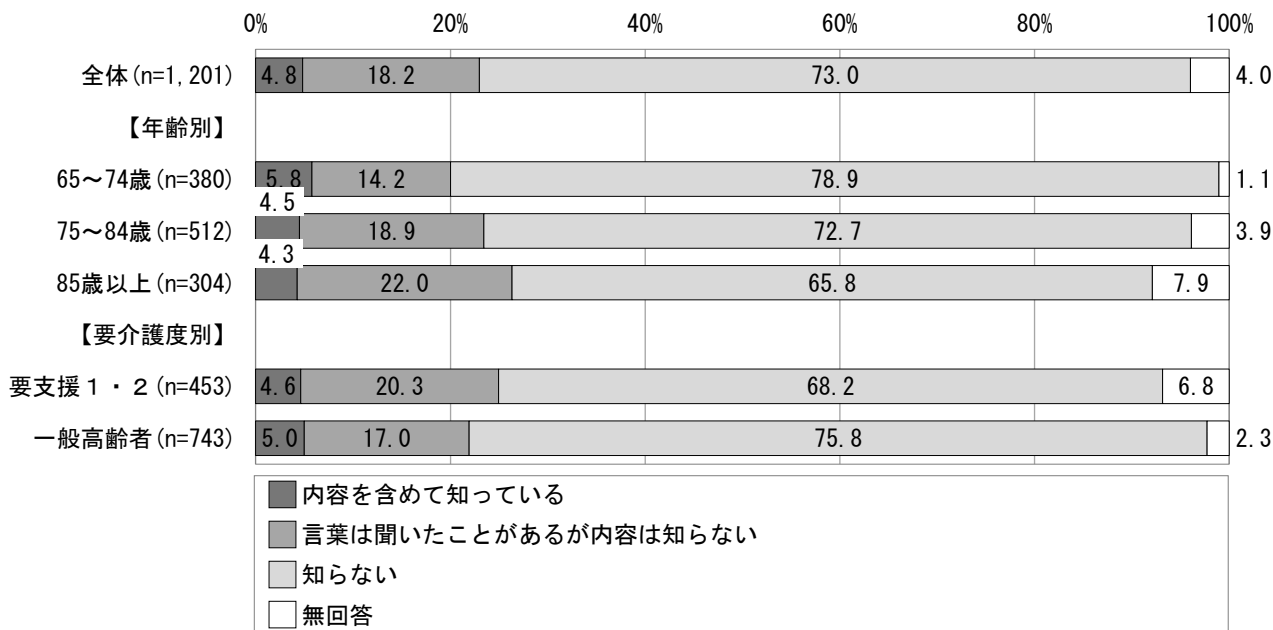


11. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について

問1 あなたは、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について知っていますか。

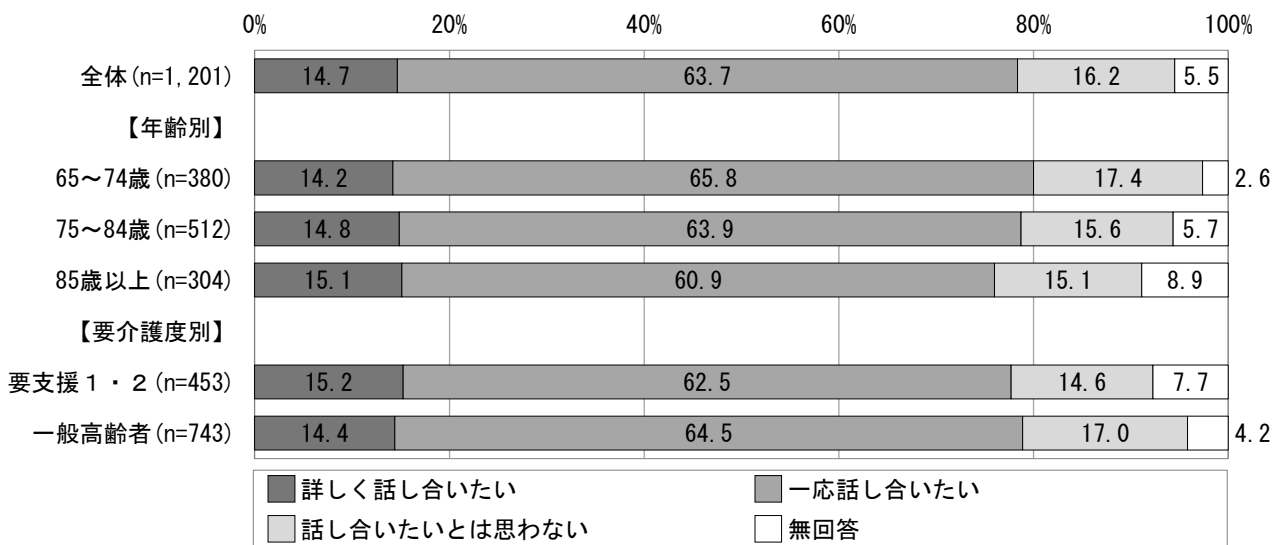
全体では、「知らない」が73.0%と最も高く、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が18.2%、「内容を含めて知っている」が4.8%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「知らない」の割合が高くなる傾向にある。



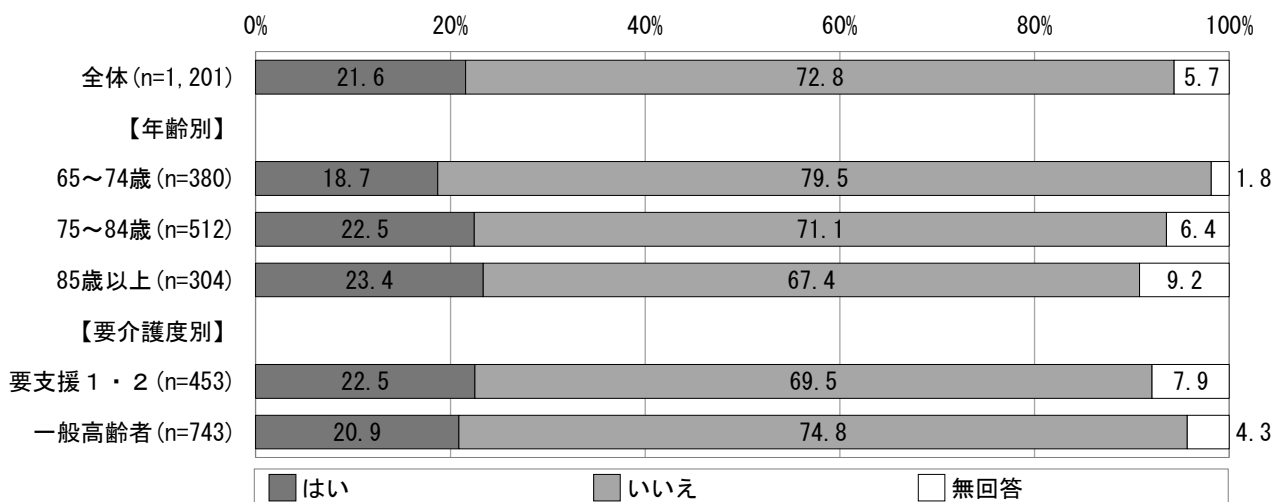
問2 あなたは、人生の最終段階で受けたい、あるいは受けたくない医療やケアについて、ご家族や医療・介護の関係者と、どの程度話し合っておきたいと考えていますか。

全体では、「一応話し合いたい」が63.7%と最も高く、「話し合いたいとは思わない」が16.2%、「詳しく話し合いたい」が14.7%と続いている。



問3 問2のような話し合いをしたことはありますか。

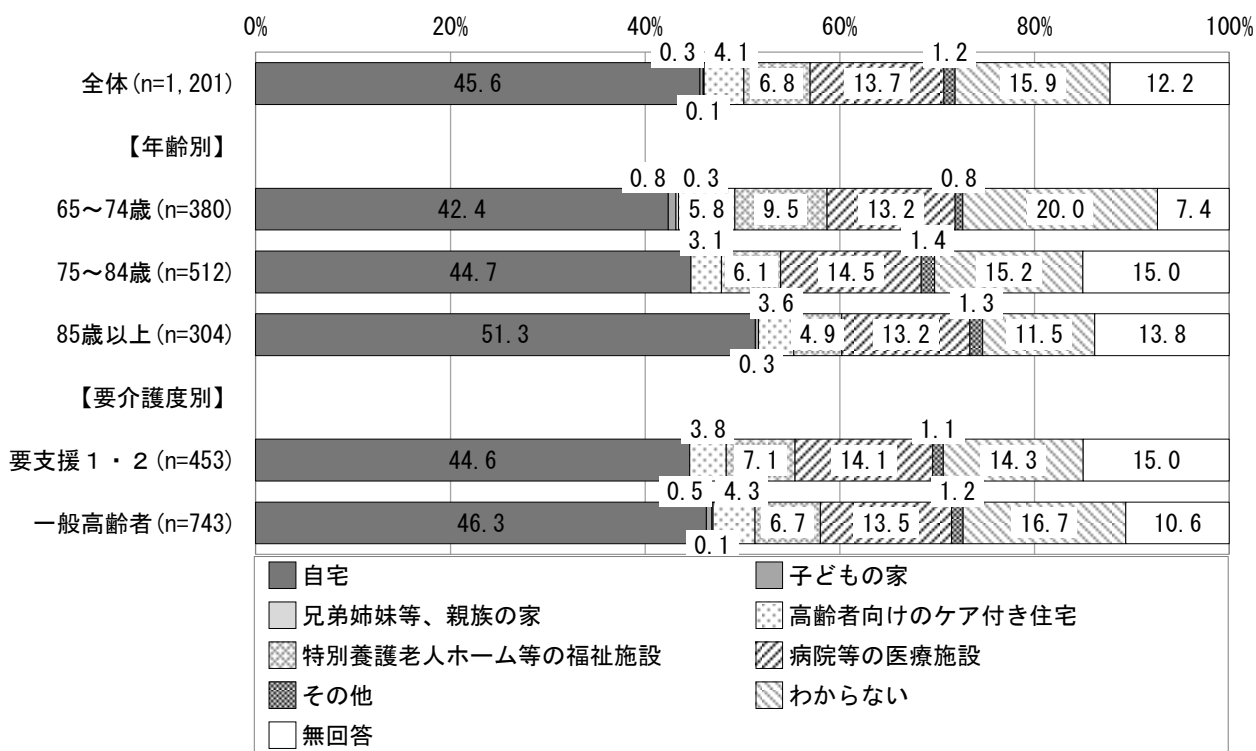
全体では、「はい」が21.6%、「いいえ」が72.8%となっている。
 年齢別では、年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなる傾向にある。



問4 あなたは、人生の最期のときを、どこで過ごしたいと思いますか。

全体では、「自宅」が45.6%と最も高く、「病院等の医療施設」が13.7%、「特別養護老人ホーム等の福祉施設」が6.8%と続いている。

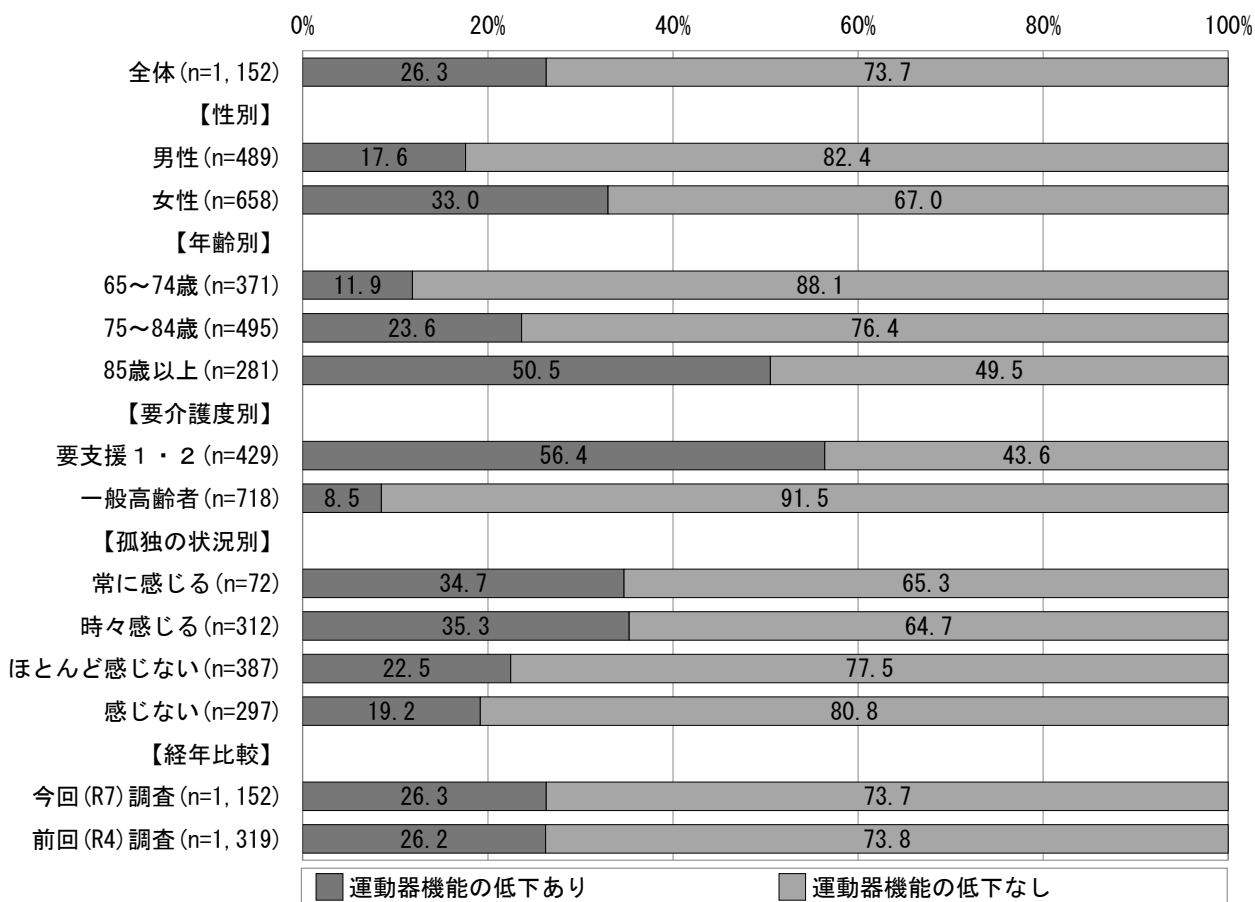
年齢別では、年齢が上がるほど「自宅」の割合が高くなる傾向にある。



12. 回答結果によるリスク集計

運動器機能のリスク判定

全体では、「運動器機能の低下あり」が26.3%、「運動器機能の低下なし」が73.7%となっている。



判定基準：運動器機能リスク高齢者の割合

設問項目		回答				判定基準
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できるし、している	できるけどしていない	できない	該当	3項目以上が該当
		非該当		該当		
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できるし、している	できるけどしていない	できない	該当	
		非該当		該当		
問2(3)	15分位続けて歩いていきますか	できるし、している	できるけどしていない	できない	該当	
		非該当		該当		
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある	1度ある	ない	非該当	
		該当		非該当		
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	
		該当		非該当		

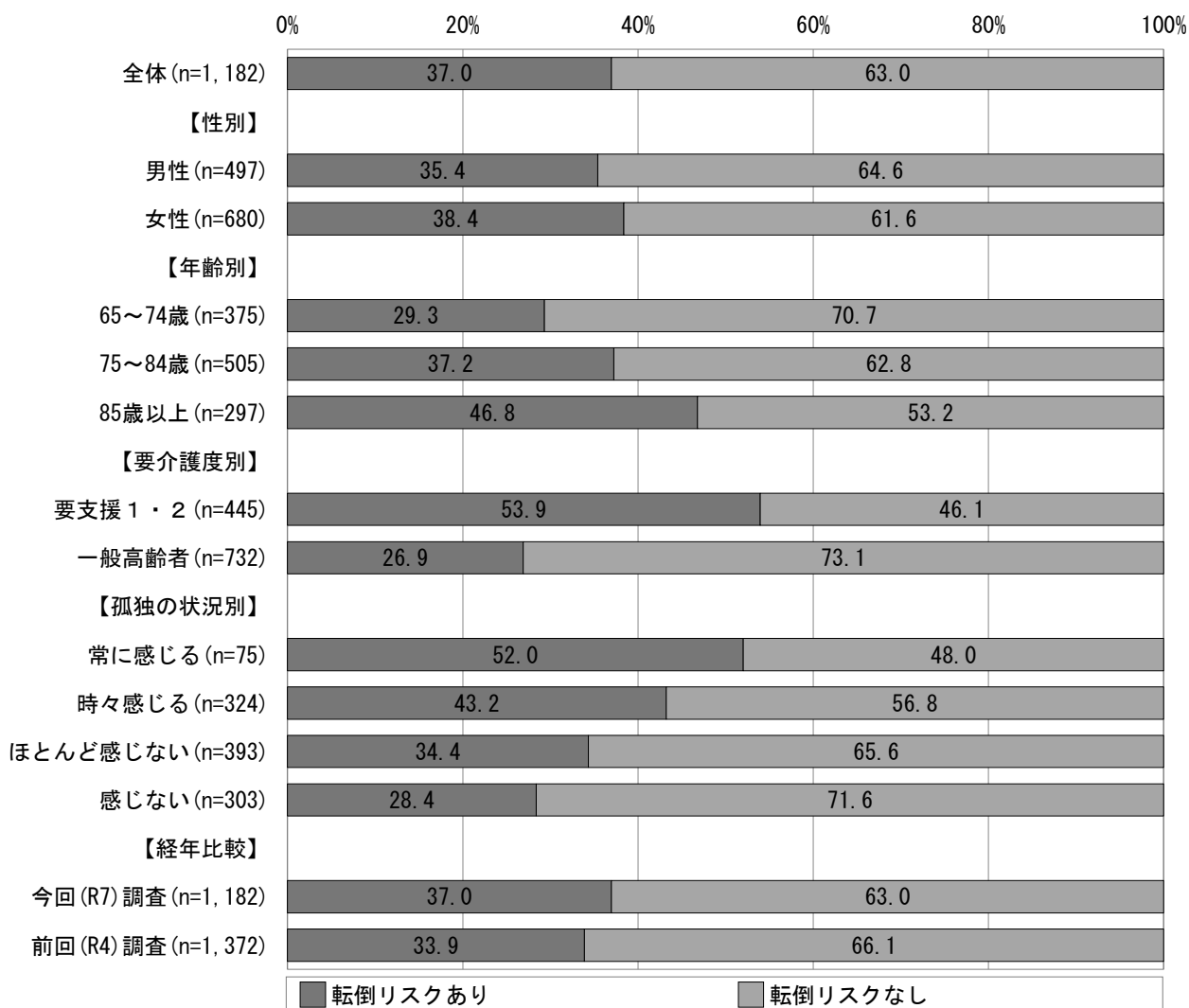
転倒のリスク判定

全体では、「転倒リスクあり」が37.0%、「転倒リスクなし」が63.0%となっている。

年齢別では、年齢が下がるほど「転倒リスクなし」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「転倒リスクあり」は、要支援1・2（53.9%）が一般高齢者（26.9%）を27.0ポイント上回っている。

孤独の状況別では、常に感じるで「転倒リスクあり」が52.0%と高くなっている。



判定基準：転倒リスク高齢者の割合

設問項目	回答			判定基準
	何度もある	1度ある	ない	
問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	該当	該当	非該当	該当

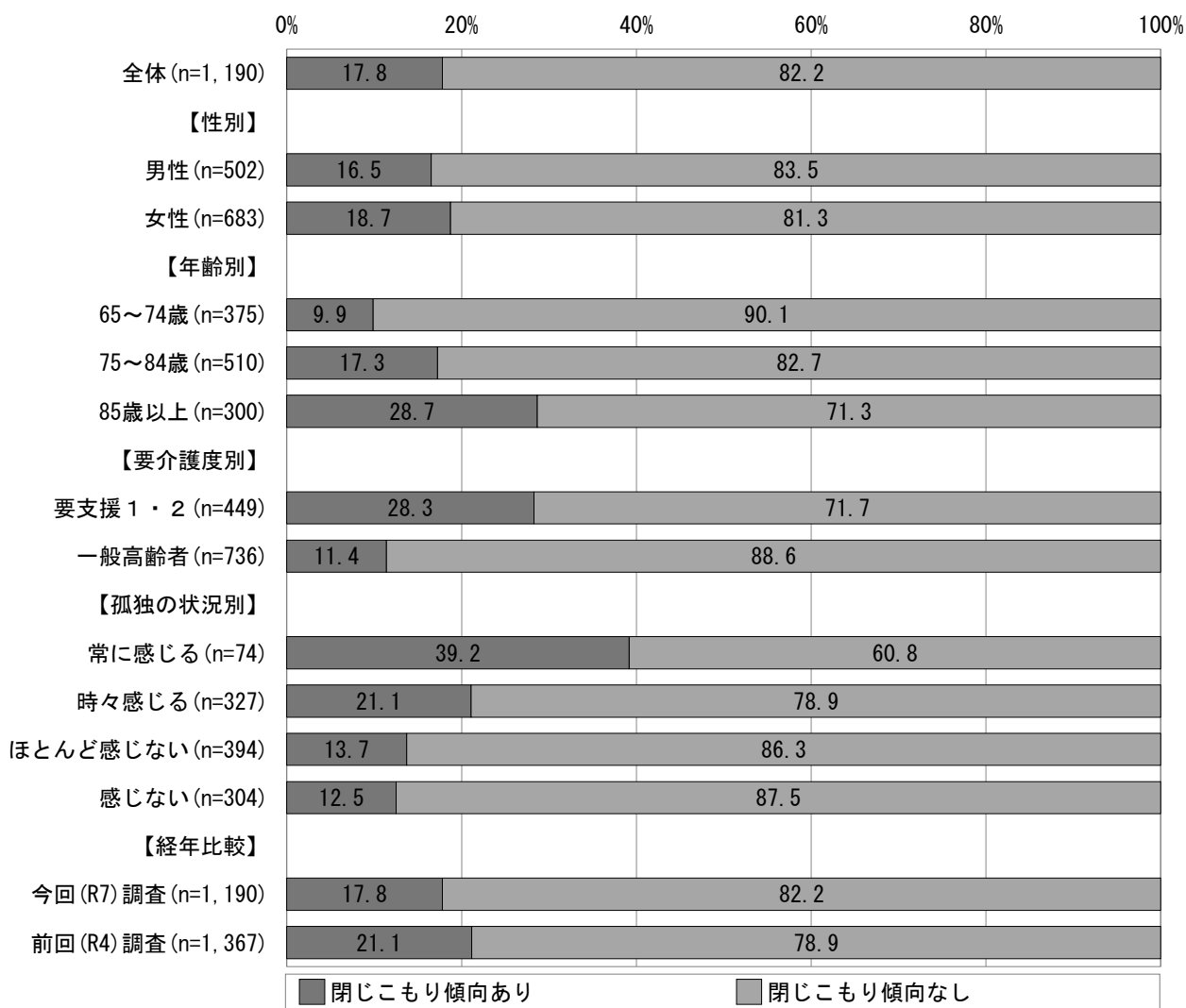
閉じこもり傾向

全体では、「閉じこもり傾向あり」が17.8%、「閉じこもり傾向なし」が82.2%となっている。

年齢別では、年齢が下がるほど「閉じこもり傾向なし」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「閉じこもり傾向あり」は、要支援1・2（28.3%）が一般高齢者（11.4%）を16.9ポイント上回っている。

孤独の状況別では、感じないで「閉じこもり傾向なし」が87.5%と高くなっている。

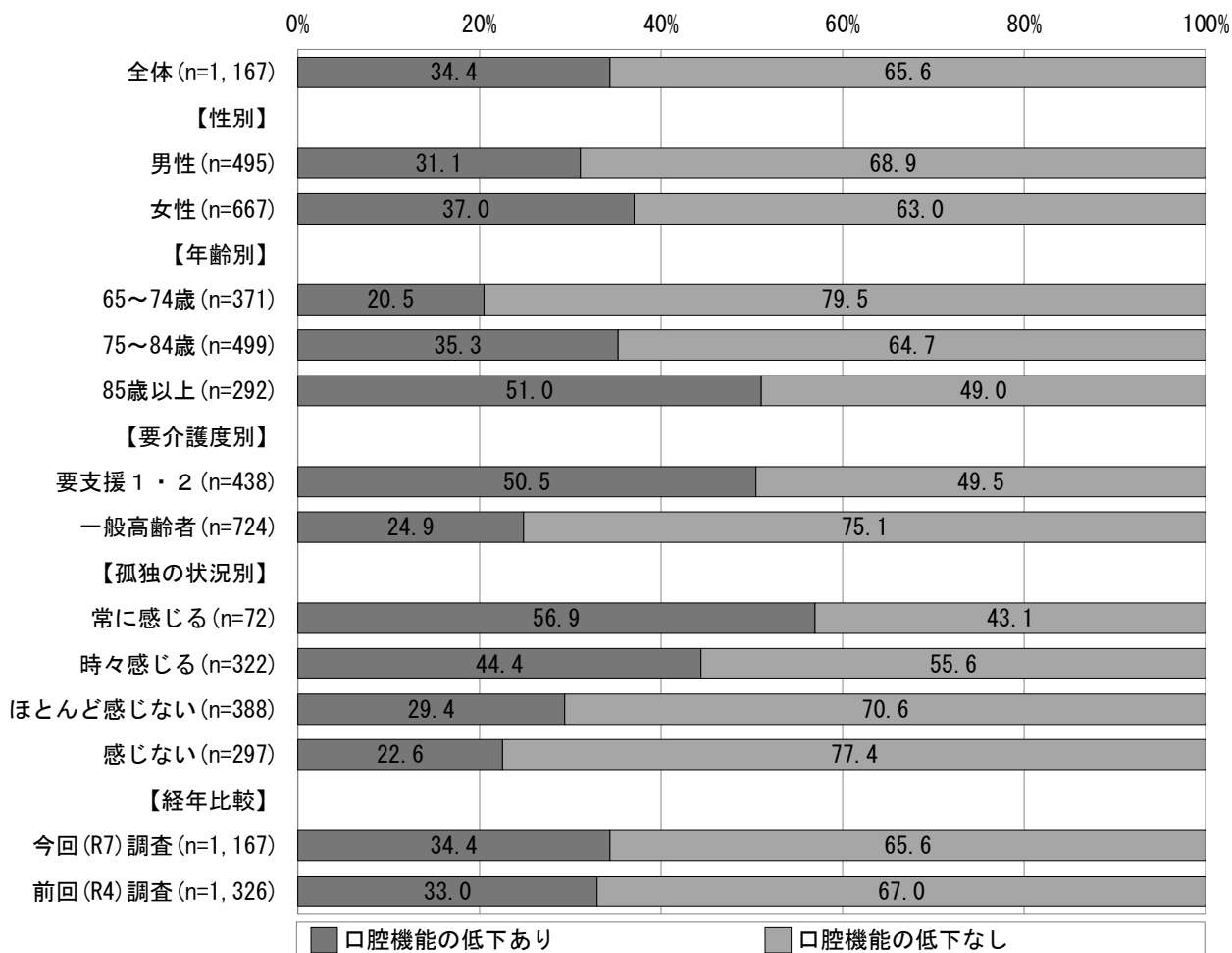


判定基準：閉じこもりリスク高齢者の割合

設問項目		回答				判定基準
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	該当
		該当		非該当		

口腔機能が低下している高齢者

全体では、「口腔機能の低下あり」が34.4%、「口腔機能の低下なし」が65.6%となっている。
 年齢別では、年齢が下がるほど「口腔機能の低下なし」の割合が高くなる傾向にある。
 孤独の状況別では、常に感じるで「口腔機能の低下あり」が56.9%と高くなっている。

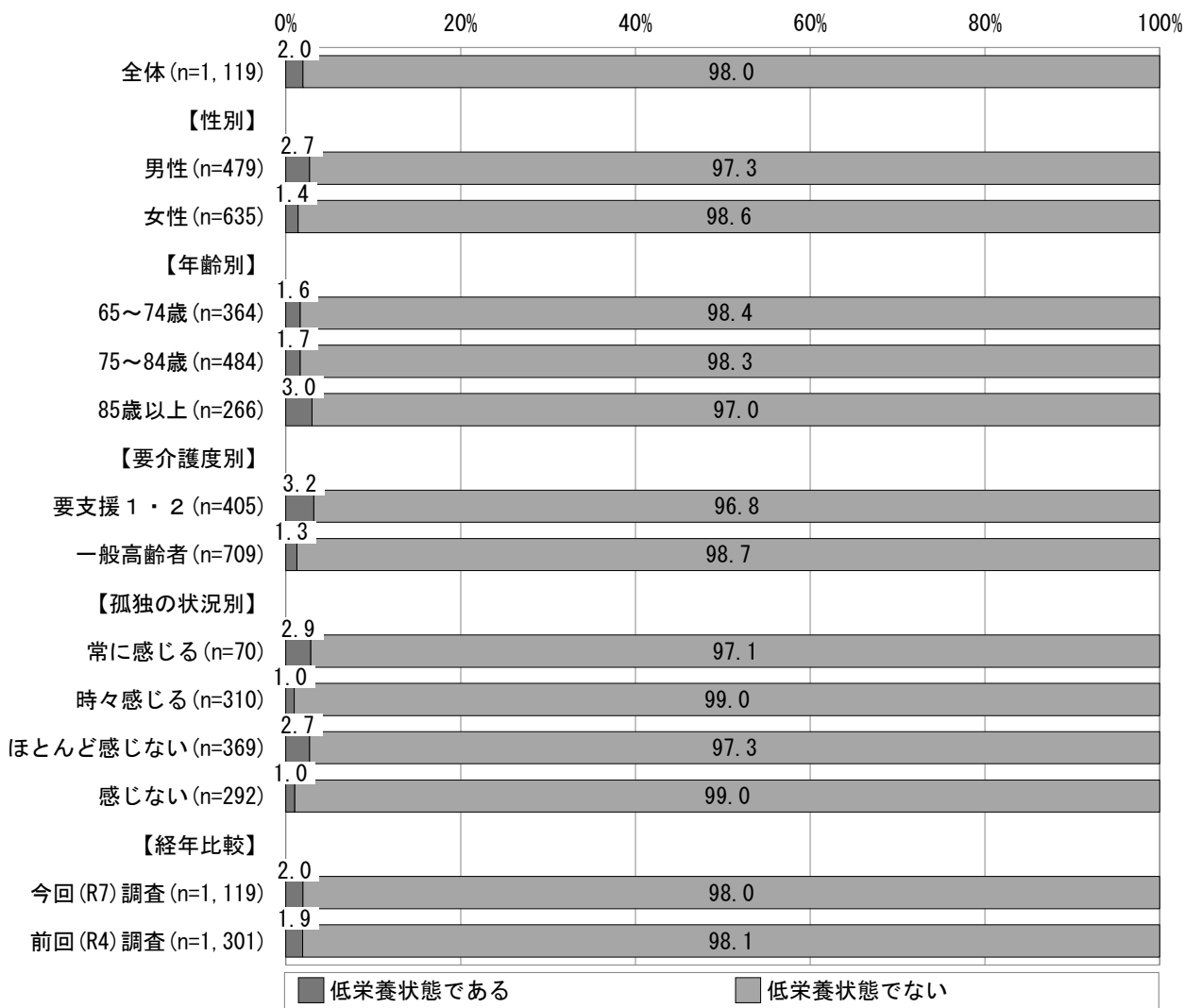


判定基準：口腔機能リスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい	いいえ	
		該当	非該当	
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい	いいえ	
		該当	非該当	
問3(4)	口の渇きが気になりますか	はい	いいえ	
		該当	非該当	

低栄養状態にある高齢者

全体では、「低栄養状態である」が2.0%、「低栄養状態でない」が98.0%となっている。
 年齢別では、年齢が下がるほど「低栄養状態でない」の割合が高くなる傾向にある。
 孤独の状況別では、時々感じるで「低栄養状態でない」が99.0%と高くなっている。



判定基準：栄養改善リスク高齢者の割合

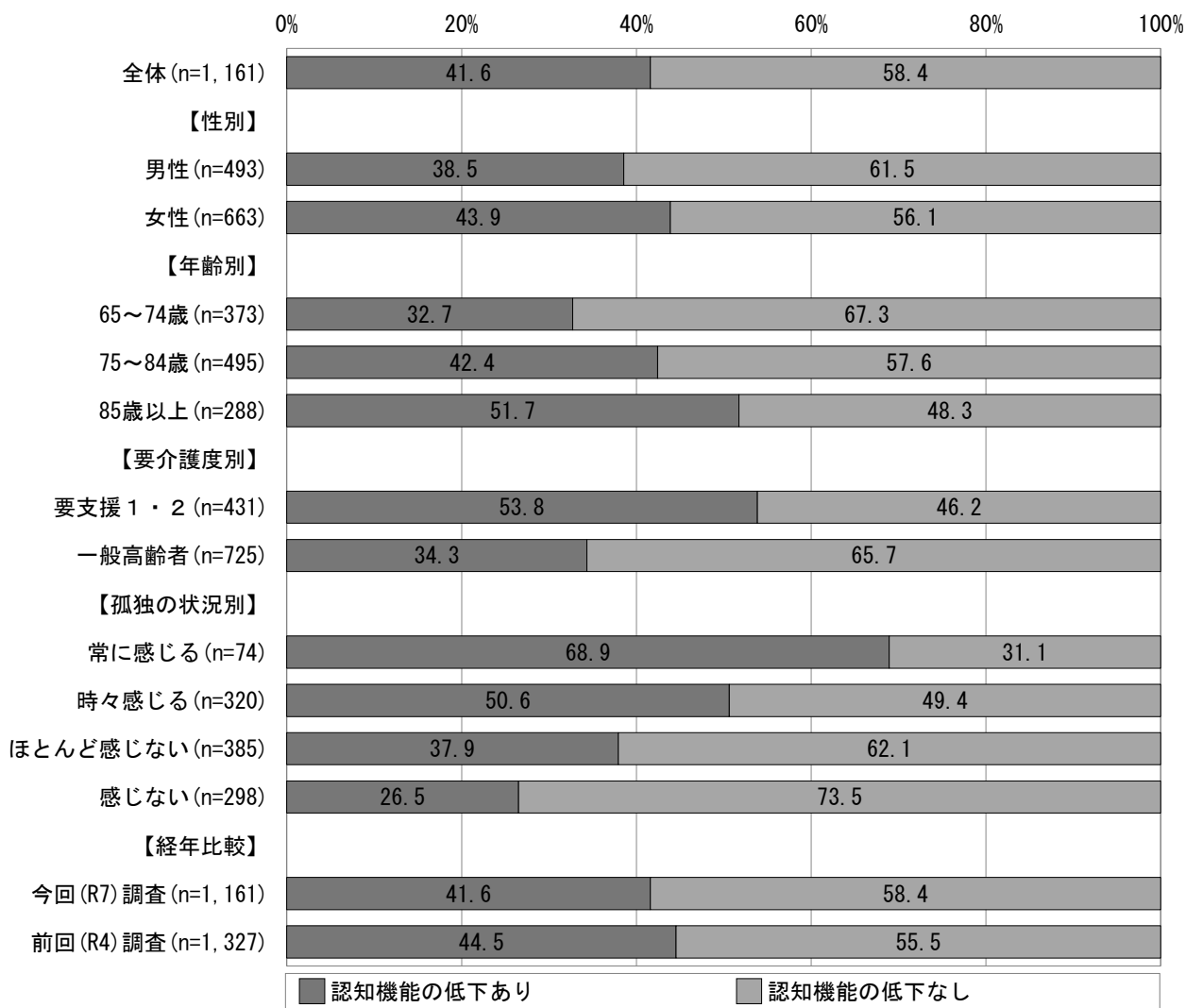
設問項目		回答		判定基準
問3(1)	BMI= 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))	BMIが 18.5未満	/	2項目とも に該当
		該当		
問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重 減少がありましたか	はい	いいえ	
		該当	非該当	

認知機能が低下している高齢者

全体では、「認知機能の低下あり」が41.6%、「認知機能の低下なし」が58.4%となっている。
 年齢別では、年齢が下がるほど「認知機能の低下なし」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「認知機能の低下あり」は、要支援1・2（53.8%）が一般高齢者（34.3%）を19.5ポイント上回っている。

孤独の状況別では、常を感じるで「認知機能の低下あり」が68.9%と高くなっている。



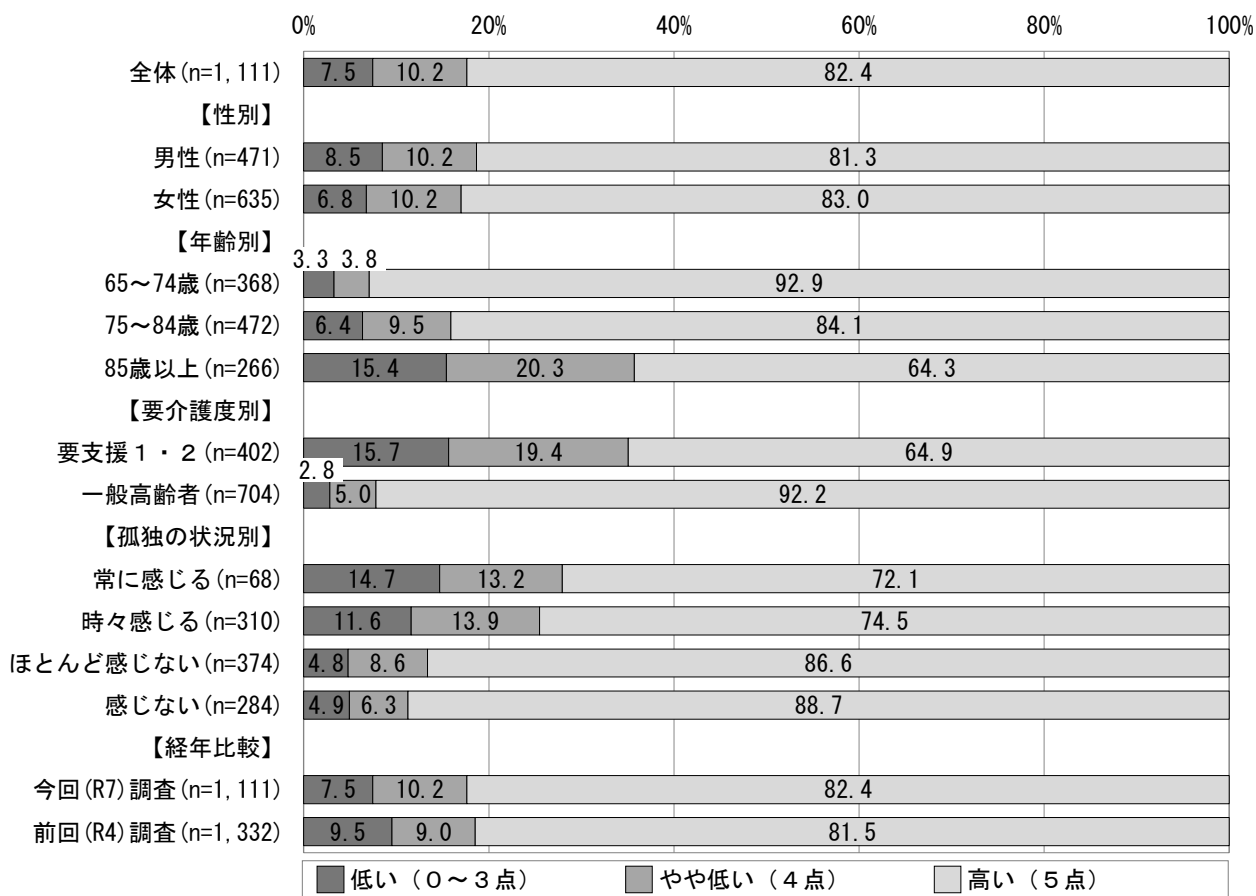
判定基準：認知症リスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	はい	いいえ	該当
		該当	非該当	

IADL が低下している高齢者

全体では、「高い（5点）」が 82.4%と最も高く、「やや低い（4点）」が 10.2%、「低い（0～3点）」が 7.5%と続いている。

孤独の状況別では、感じないで「高い（5点）」が 88.7%と高くなっている。



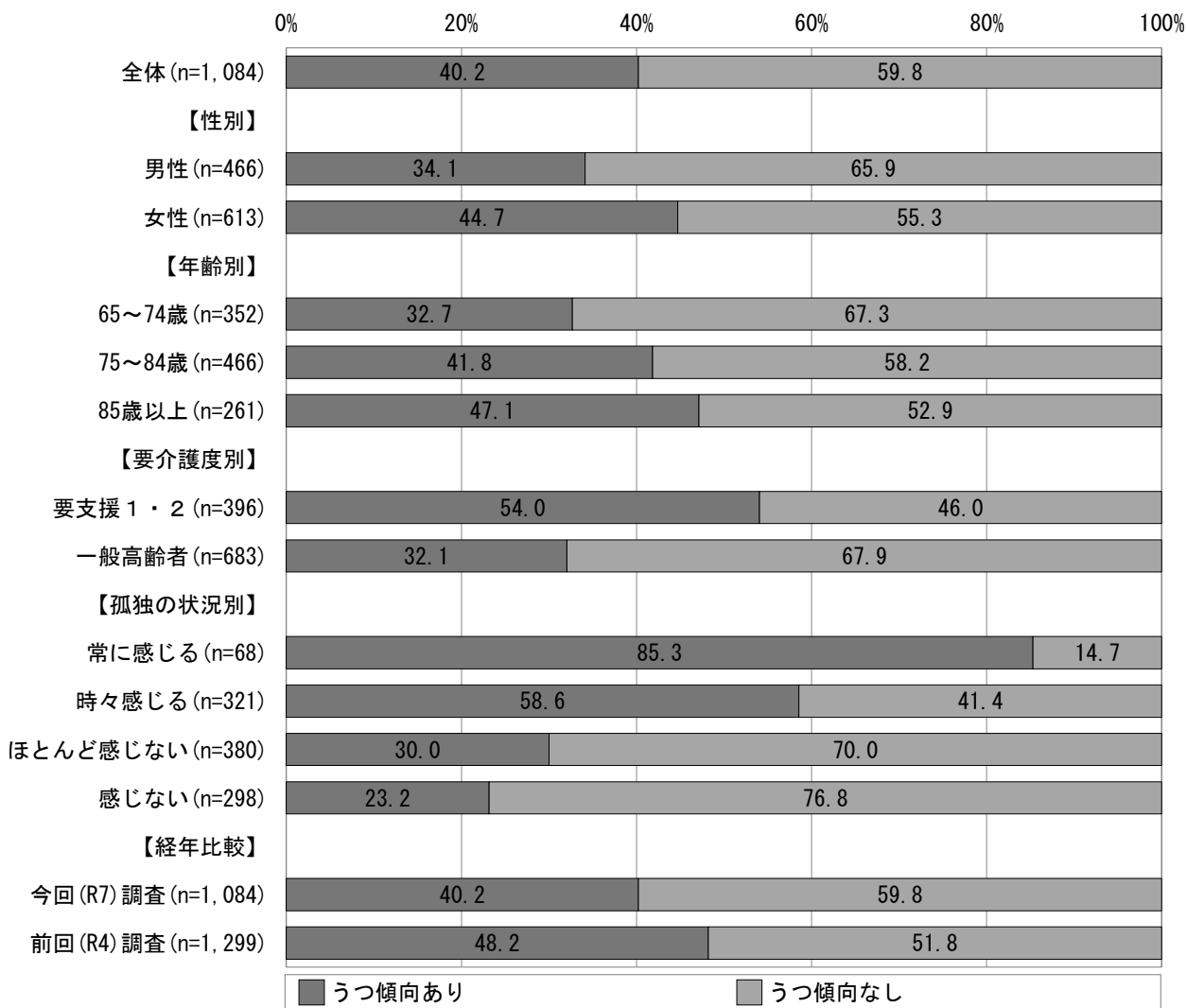
判定基準：手段的日常生活動作（IADL）の状況

設問項目		回答と点数					
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(5)	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点

※低い：3点以下 やや低い：4点 高い：5点以上

うつ傾向の高齢者

全体では、「うつ傾向あり」が40.2%、「うつ傾向なし」が59.8%となっている。
 性別では「うつ傾向あり」は、女性（44.7%）が男性（34.1%）を10.6ポイント上回っている。
 年齢別では、年齢が下がるほど「うつ傾向なし」の割合が高くなる傾向にある。
 孤独の状況別では、常に感じるで「うつ傾向あり」が85.3%と高くなっている。



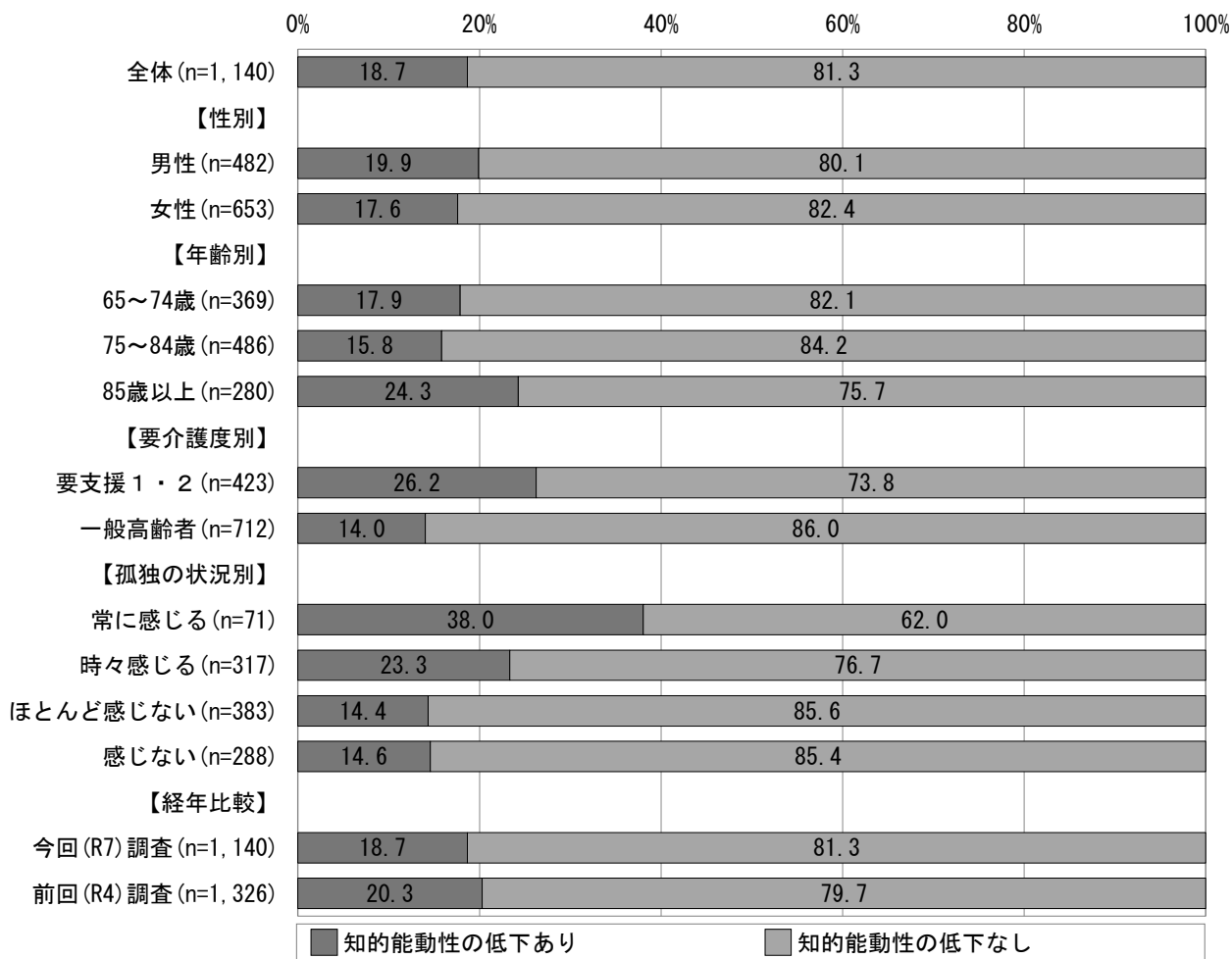
判定基準：うつリスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問8(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい	いいえ	1項目以上が該当
		該当	非該当	
問8(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい	いいえ	
		該当	非該当	

知的能動性の低下リスク

全体では、「知的能動性の低下あり」が18.7%、「知的能動性の低下なし」が81.3%となっている。
 要介護度別では「知的能動性の低下あり」は、要支援1・2（26.2%）が一般高齢者（14.0%）を12.2ポイント上回っている。

孤独の状況別では、ほとんど感じないで「知的能動性の低下なし」が85.6%と高くなっている。

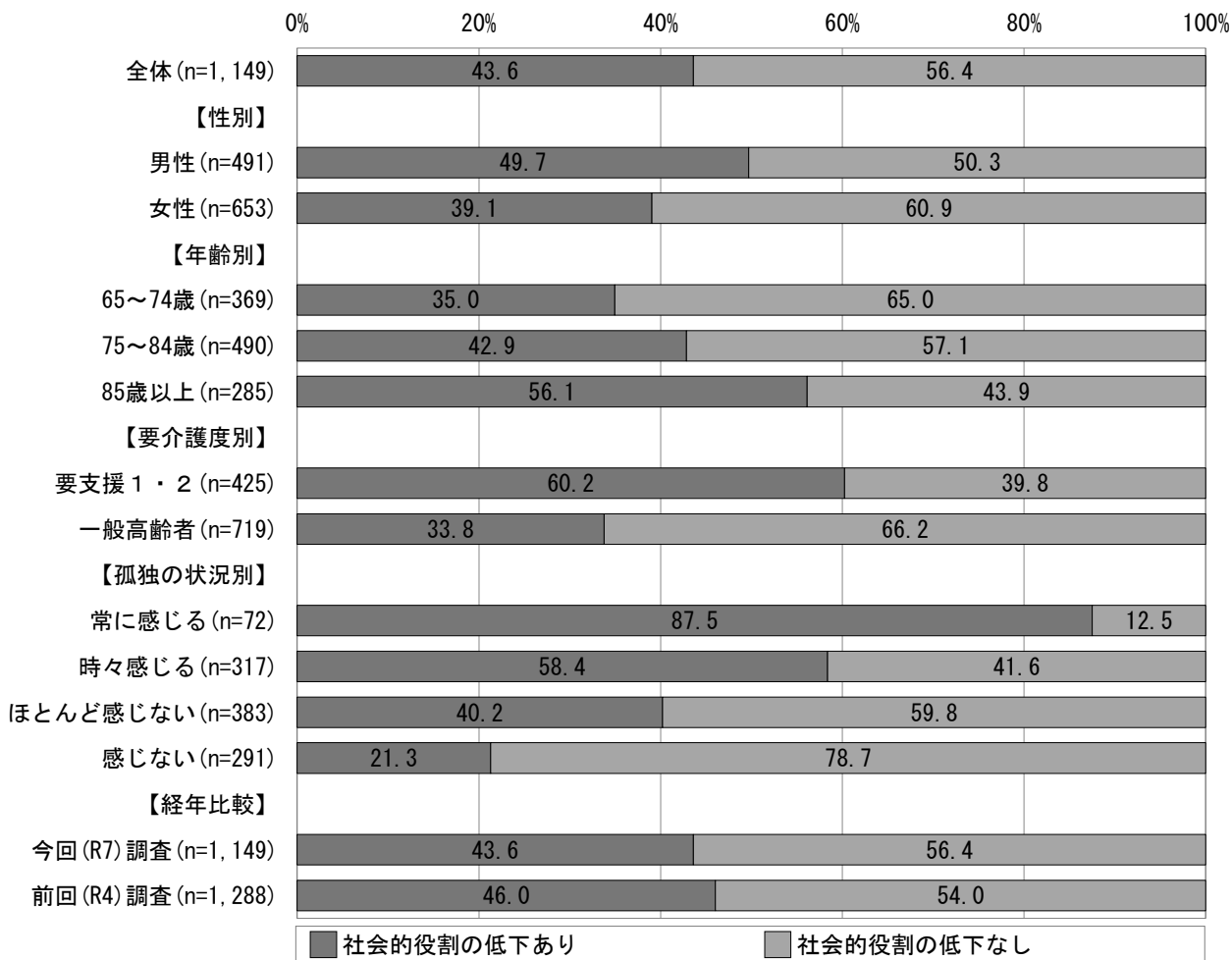


判定基準：知的能動性の低下リスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問4(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	はい	いいえ	
		非該当	該当	
問4(10)	新聞を読んでいますか	はい	いいえ	
		非該当	該当	
問4(11)	本や雑誌を読んでいますか	はい	いいえ	
		非該当	該当	
問4(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	はい	いいえ	
		非該当	該当	

社会的役割の低下リスク

全体では、「社会的役割の低下あり」が43.6%、「社会的役割の低下なし」が56.4%となっている。年齢別では、年齢が下がるほど「社会的役割の低下なし」の割合が高くなる傾向にある。孤独の状況別では、常に感じるで「社会的役割の低下あり」が87.5%と高くなっている。



判定基準：社会的役割の低下リスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問 4 (13)	友人の家を訪ねていますか	はい	いいえ	2項目以上が該当
		非該当	該当	
問 4 (14)	家族や友人の相談にのっていますか	はい	いいえ	
		非該当	該当	
問 4 (15)	病人を見舞うことができますか	はい	いいえ	
		非該当	該当	
問 4 (16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	はい	いいえ	
		非該当	該当	

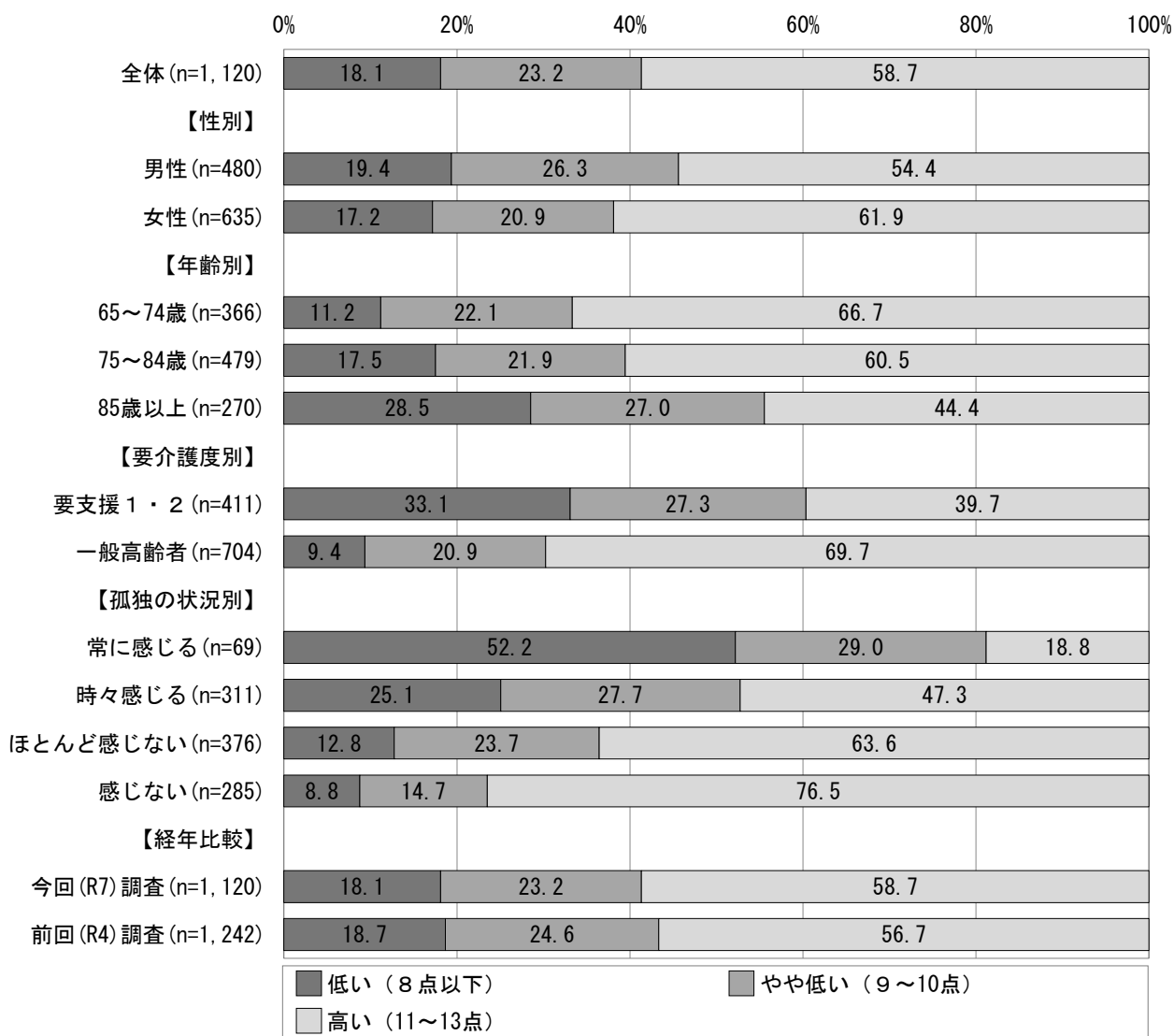
活動能力指数評価

全体では、「高い（11～13点）」が58.7%と最も高く、「やや低い（9～10点）」が23.2%、「低い（8点以下）」が18.1%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「高い（11～13点）」の割合が高くなる傾向にある。

要介護度別では「高い（11～13点）」は、一般高齢者（69.7%）が要支援1・2（39.7%）を30.0ポイント上回っている。

孤独の状況別では、常を感じるで「低い（8点以下）」が52.2%と高くなっている。



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

判定基準：活動能力指数評価

設問項目		回答と点数					
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(5)	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	はい	1点	いいえ	0点		
問4(10)	新聞を読んでいますか	はい	1点	いいえ	0点		
問4(11)	本や雑誌を読んでいますか	はい	1点	いいえ	0点		
問4(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	はい	1点	いいえ	0点		
問4(13)	友人の家を訪ねていますか	はい	1点	いいえ	0点		
問4(14)	家族や友人の相談にのっていますか	はい	1点	いいえ	0点		
問4(15)	病人を見舞うことができますか	はい	1点	いいえ	0点		
問4(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	はい	1点	いいえ	0点		

※低い：8点以下 やや低い：9～10点 高い：11～13点

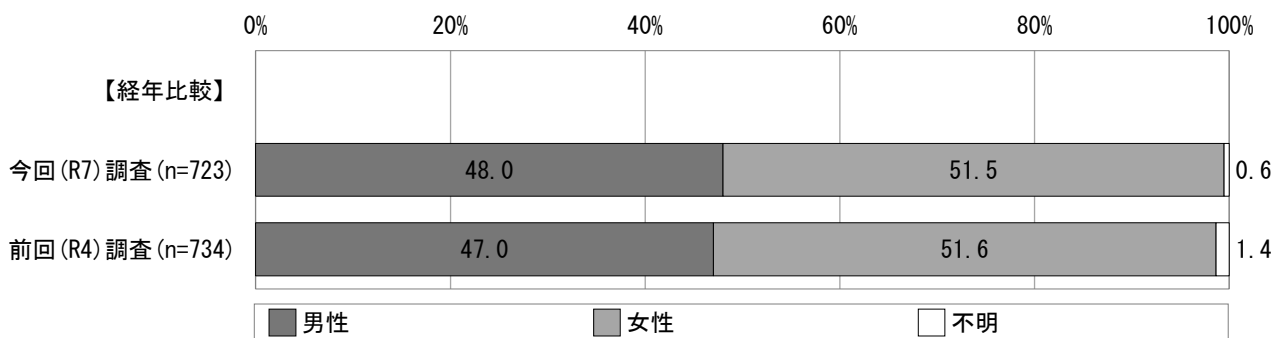
第3章 介護保険事業計画準備調査

1. 調査対象者・回答者の属性

標本名簿の属性

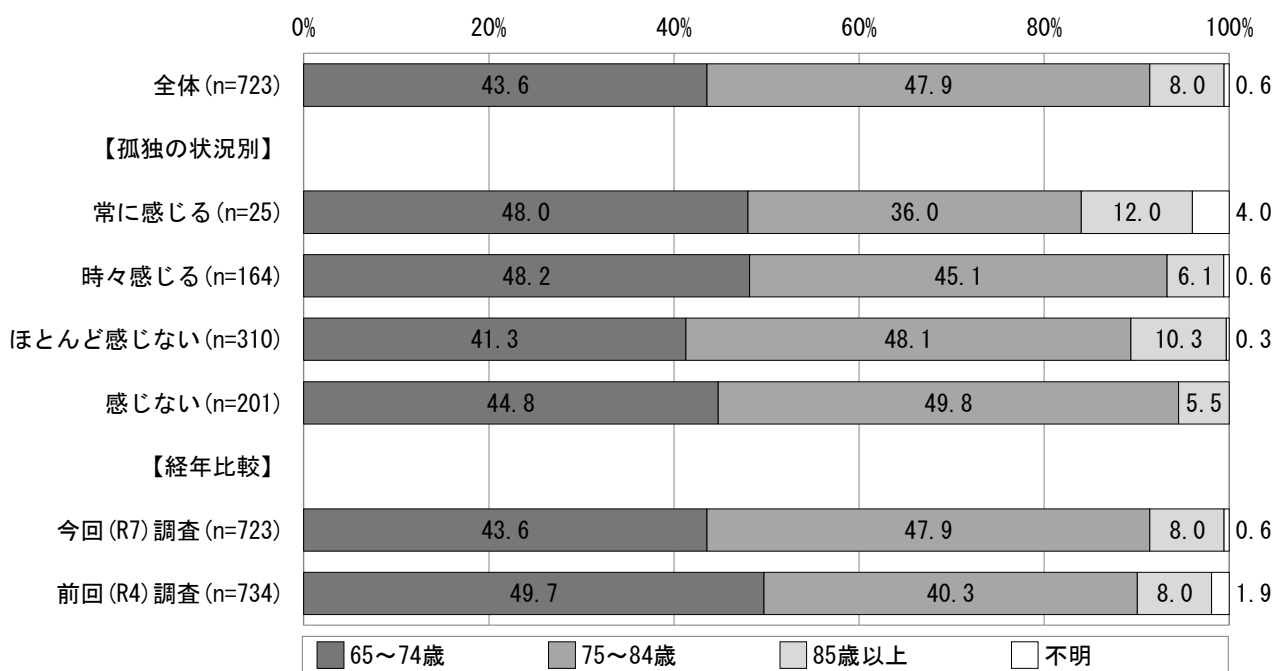
(1) 性別

全体では、「男性」が48.0%、「女性」が51.5%となっている。



(2) 年齢

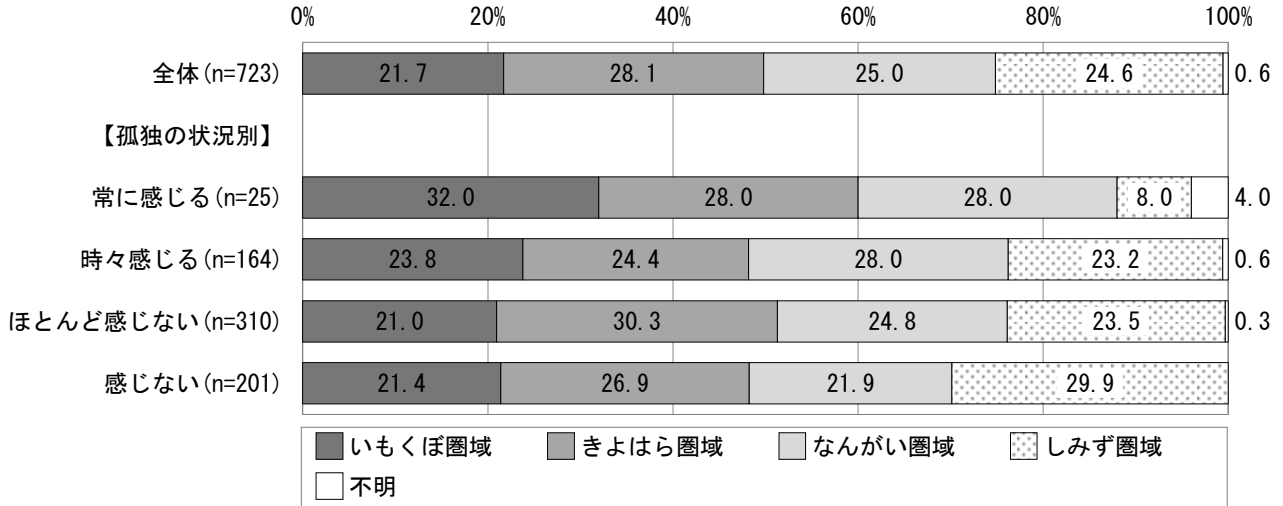
全体では、「75～84歳」が47.9%と最も高く、「65～74歳」が43.6%、「85歳以上」が8.0%と続いている。



(3) 日常生活圏域

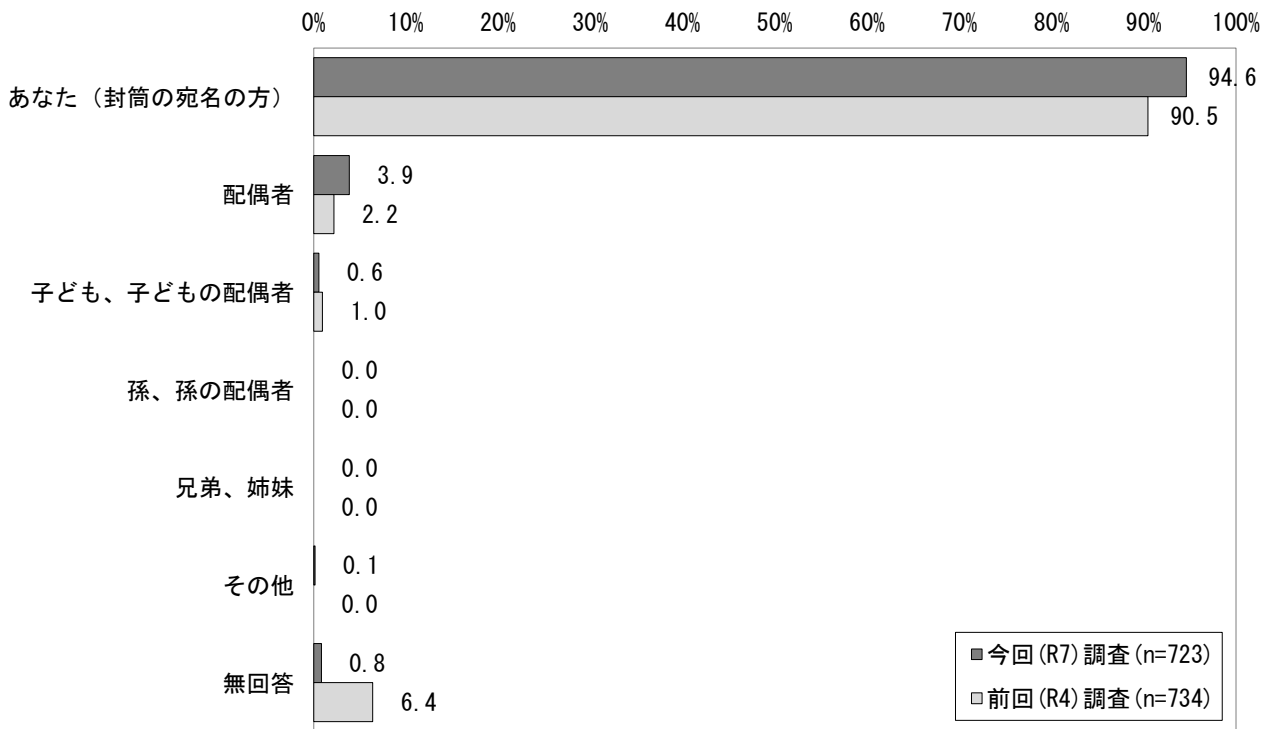
全体では、「きよはら圏域」が28.1%と最も高く、「なんがい圏域」が25.0%、「しみず圏域」が24.6%と続いている。

孤独の状況別では、常を感じるで「いもくぼ圏域」が32.0%と高くなっている。



この調査票をご記入されるのは、どなたですか。

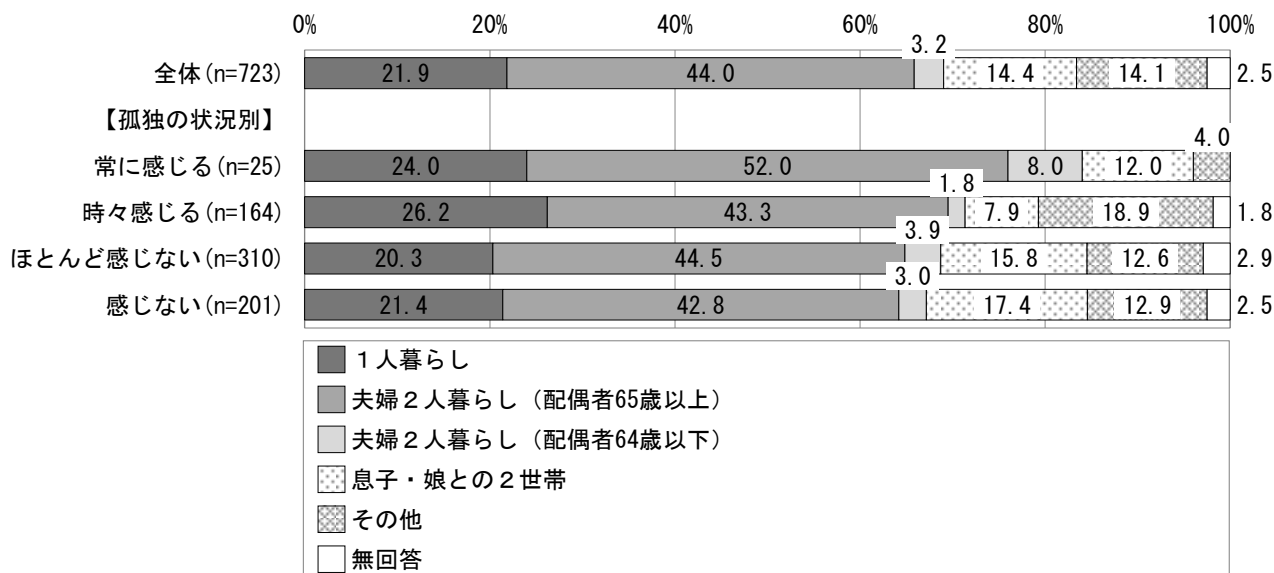
全体では、「あなた（封筒の宛名の方）」が94.6%と最も高く、「配偶者」が3.9%、「子ども、子どもの配偶者」が0.6%と続いている。



2. 封筒の宛名のご本人について

問1 家族構成をお教えてください。

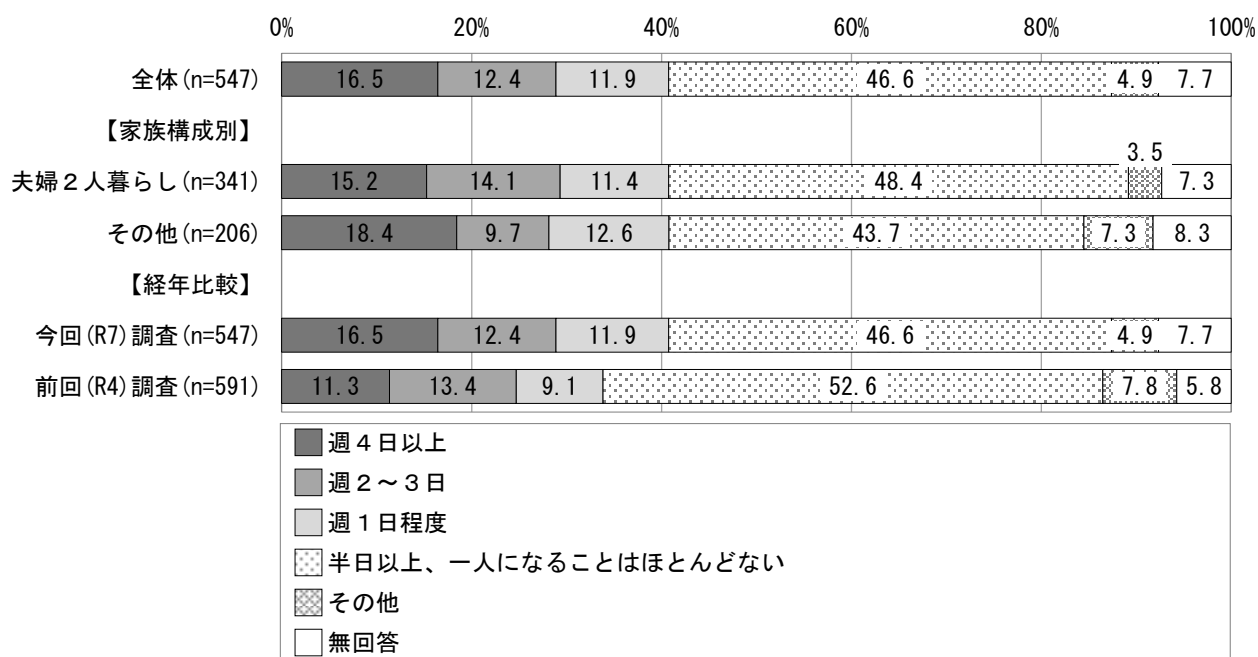
全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が44.0%と最も高く、「1人暮らし」が21.9%、「息子・娘との2世帯」が14.4%と続いている。



問1-1 同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、あなたが自宅で一人になることがどのくらいありますか。

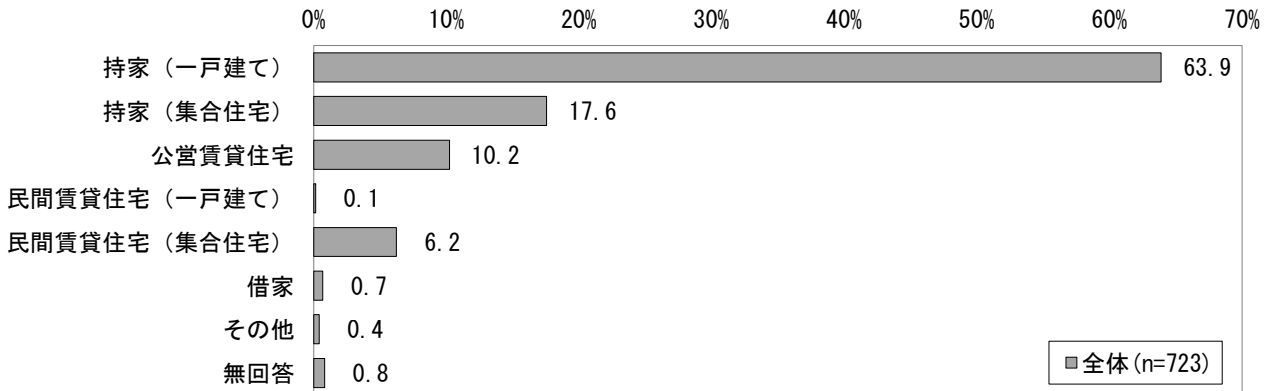
※問1で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」「息子・娘との2世帯」「その他」と回答した方に質問

全体では、「半日以上、一人になることはほとんどない」が46.6%と最も高く、「週4日以上」が16.5%、「週2～3日」が12.4%と続いている。



問2 お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。

全体では、「持家（一戸建て）」が63.9%と最も高く、「持家（集合住宅）」が17.6%、「公営賃貸住宅」が10.2%と続いている。

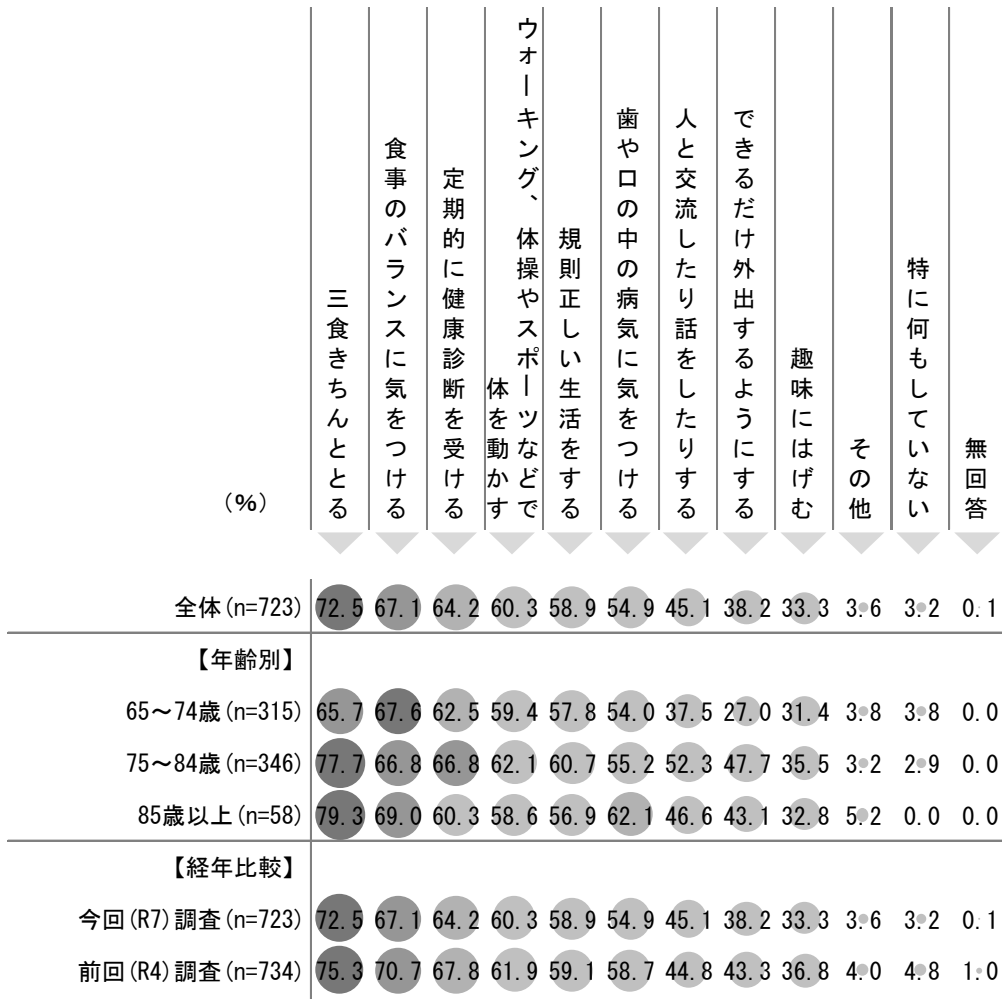


3. 生活の状況・今後の生活等について

問1 以下の中に、あなた自身が、身体の状態が悪くならないように取り組んでいることはありますか。（いくつでも）

全体では、「三食きちんととる」が72.5%と最も高く、「食事のバランスに気をつける」が67.1%、「定期的に健康診断を受ける」が64.2%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「三食きちんととる」の割合が高くなる傾向にある。



問2 以下の中に、今、生活をしていて不安に感じていること・困っていることはありますか。
(いくつでも)

全体では、「自分に介護が必要になった場合のこと」が49.8%と最も高く、「認知症になった場合のこと」が43.8%、「自分自身の健康・病気のこと」が36.2%と続いている。

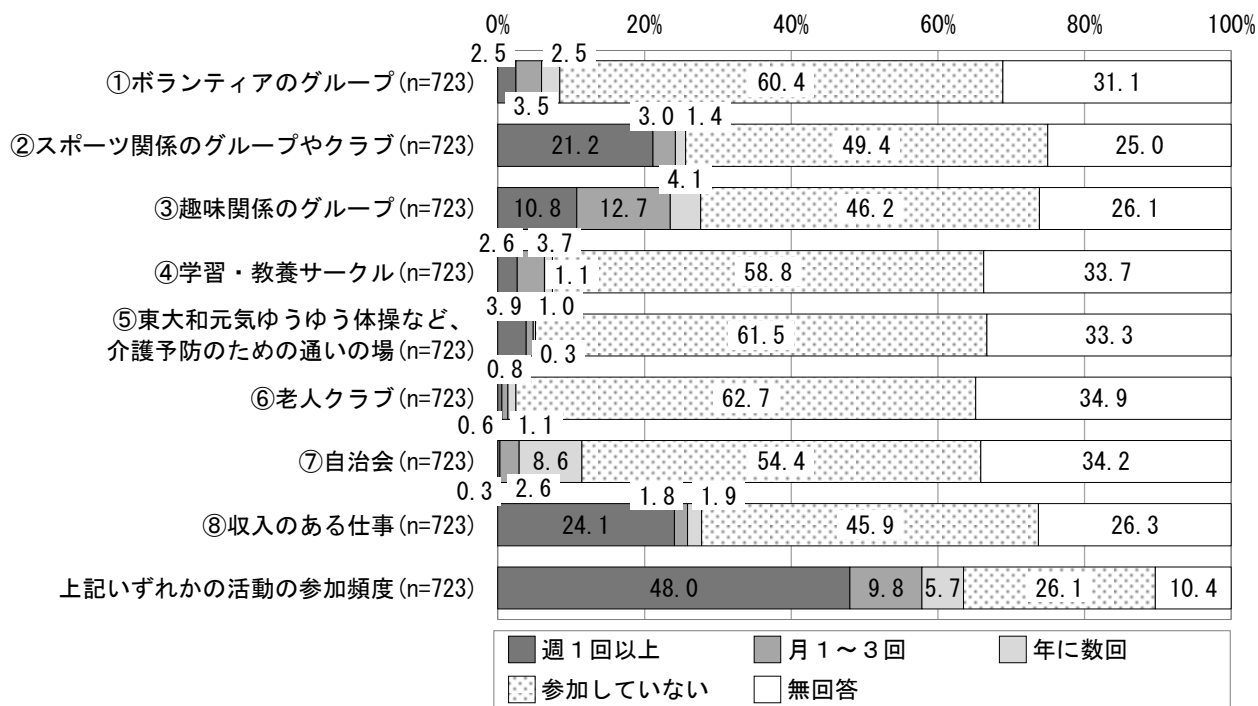
家族構成別では、夫婦2人暮らしで「家族に介護が必要になった場合のこと」が50.1%と高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「自分に介護が必要になった場合のこと」の割合が高くなる傾向にある。

(%)	自分に介護が必要になった場合のこと	認知症になった場合のこと	自分自身の健康・病気のこと	家族に介護が必要になった場合のこと	災害などの緊急時の対応のこと	経済的なこと	買い物や通院などの外出	人と触れ合ったり、交流する機会がないこと	金銭や財産の管理	日常の家事	その他	感染症のこと	特になし	無回答
全体 (n=723)	49.8	43.8	36.2	33.7	22.5	16.7	5.9	5.8	4.6	3.9	1.7	10.5	19.9	5.0
【家族構成別】														
1人暮らし (n=158)	58.9	47.5	42.4	4.4	21.5	17.7	6.3	10.1	2.5	6.3	1.9	7.6	17.7	3.2
夫婦2人暮らし (n=341)	49.9	45.2	35.5	50.1	22.0	15.0	6.7	5.6	5.3	4.1	1.5	12.0	17.3	5.3
その他 (n=206)	42.2	38.3	33.0	29.6	25.2	18.4	4.4	2.9	4.9	1.9	1.9	9.7	25.7	5.8
【年齢別】														
65～74歳 (n=315)	47.9	45.4	37.5	37.5	26.3	21.6	3.8	6.3	6.0	2.9	1.0	10.8	18.1	3.8
75～84歳 (n=346)	51.4	43.6	34.4	30.9	19.9	13.6	6.6	4.6	2.9	4.6	1.4	9.8	21.7	5.5
85歳以上 (n=58)	51.7	37.9	41.4	32.8	19.0	10.3	12.1	8.6	6.9	5.2	6.9	13.8	19.0	6.9
【経年比較】														
今回 (R7) 調査 (n=723)	49.8	43.8	36.2	33.7	22.5	16.7	5.9	5.8	4.6	3.9	1.7	10.5	19.9	5.0
前回 (R4) 調査 (n=734)	53.0	44.0	41.4	33.4	20.3	18.8	4.8	8.2	4.2	5.6	1.6	19.5	18.4	3.3

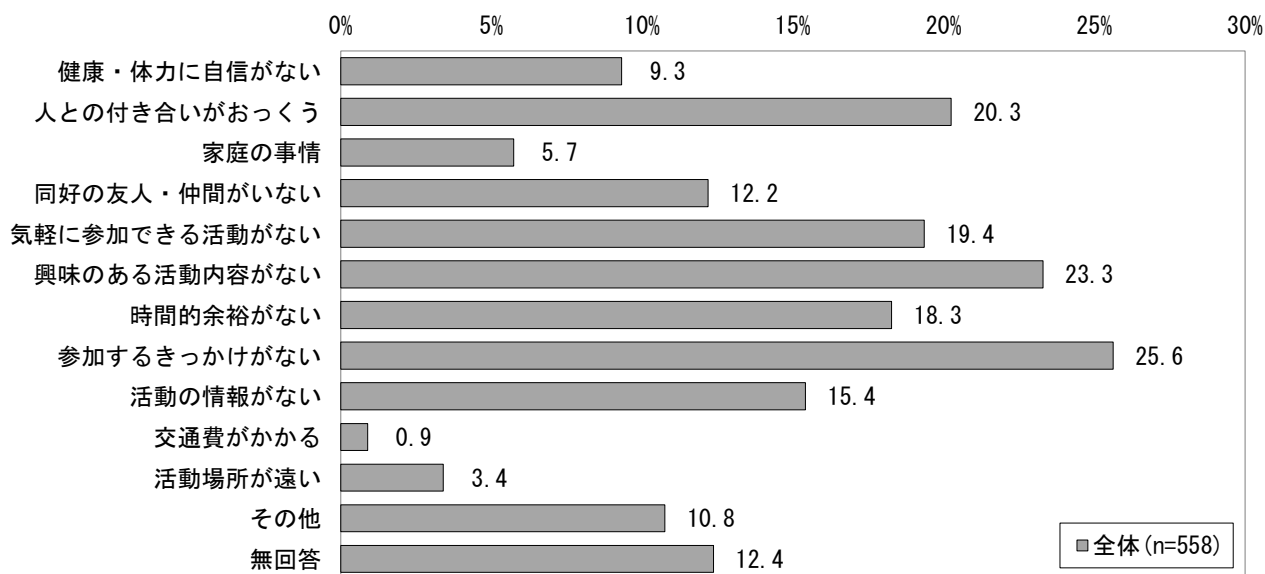
問3 ①～⑧のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

地域での活動に関するそれぞれの設問について、「週1回以上」の割合をみると、<⑧収入のある仕事> (24.1%)、<②スポーツ関係のグループやクラブ> (21.2%)、<③趣味関係のグループ> (10.8%) で高くなっている。一方、「参加していない」が最も高いのは、<⑥老人クラブ> で62.7%となっている。また、①～⑧のいずれかに参加している頻度は、「週1回以上」が48.0%となっている。



問3-1 上記のグループ活動等に参加していない理由があれば教えてください。(いくつでも)
※問3でいずれかに参加していない方に質問

全体では、「参加するきっかけがない」が25.6%と最も高く、「興味のある活動内容がない」が23.3%、「人との付き合いがおっくう」が20.3%と続いている。



問4 現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも)

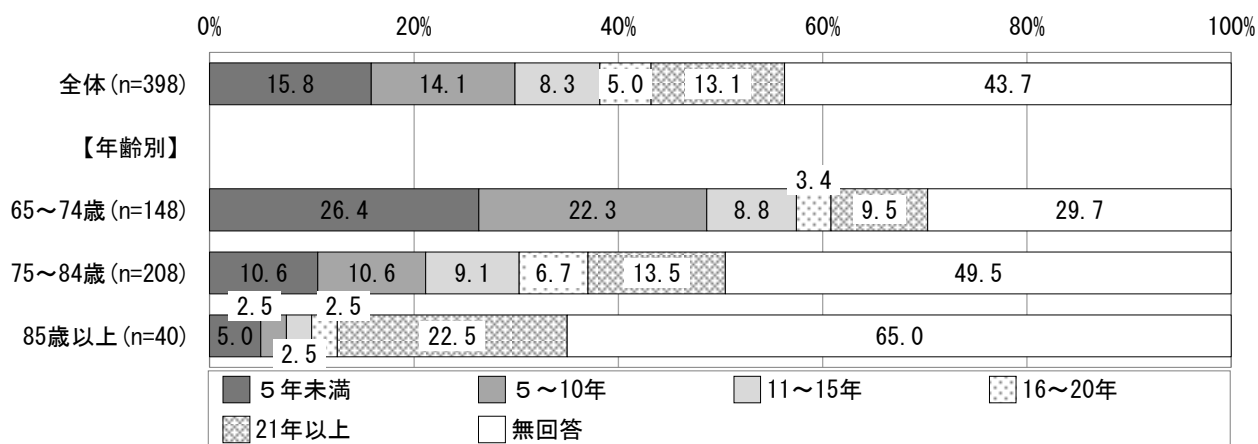
全体では、「引退した」が55.0%と最も高く、「非常勤(パート・アルバイト等)」が20.6%、「常勤(フルタイム)」が7.3%と続いている。

(%)	引退した	非常勤 (パート・アルバイト等)	常勤 (フルタイム)	職に就いたことがない	自営業	求職中	その他	無回答
全体(n=723)	55.0	20.6	7.3	7.2	6.8	1.2	3.5	7.7
【年齢別】								
65~74歳(n=315)	47.0	29.5	11.4	4.4	7.3	2.9	2.9	3.5
75~84歳(n=346)	60.1	14.5	4.6	9.2	6.1	0.0	3.8	11.3
85歳以上(n=58)	69.0	10.3	1.7	10.3	8.6	0.0	3.4	8.6

問4-1 引退した年

※問4で「引退した」と回答した方に質問

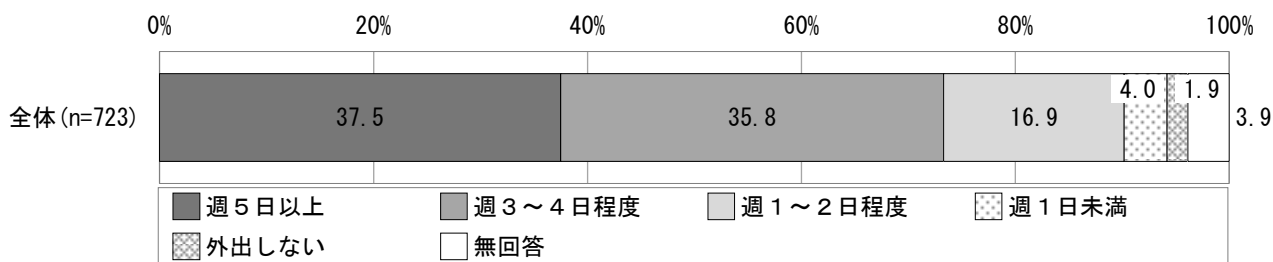
全体では、「5年未満」が15.8%と最も高く、「5~10年」が14.1%、「21年以上」が13.1%と続いている。



4. 人とのつきあいについて

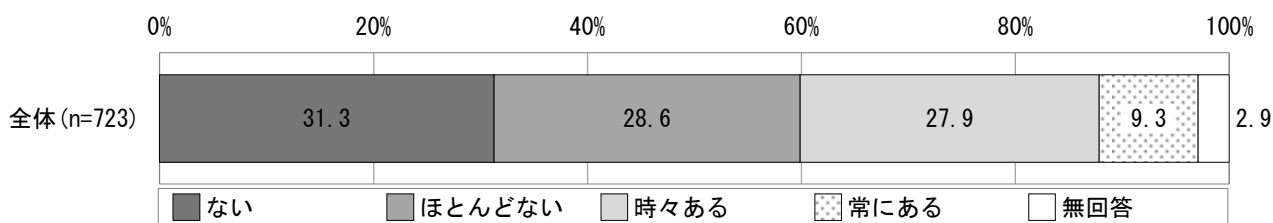
問1 あなたは日頃どの程度、外出していますか。

全体では、「週5日以上」が37.5%と最も高く、「週3～4日程度」が35.8%、「週1～2日程度」が16.9%と続いている。



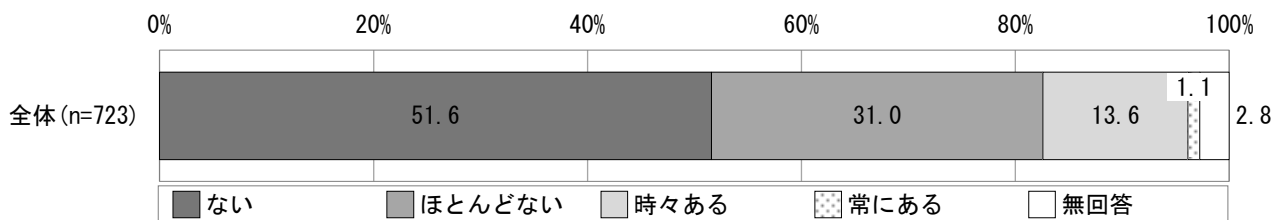
問2 人とのつきあいが無いと感じることがありますか。

全体では、「ない」が31.3%と最も高く、「ほとんどない」が28.6%、「時々ある」が27.9%と続いている。



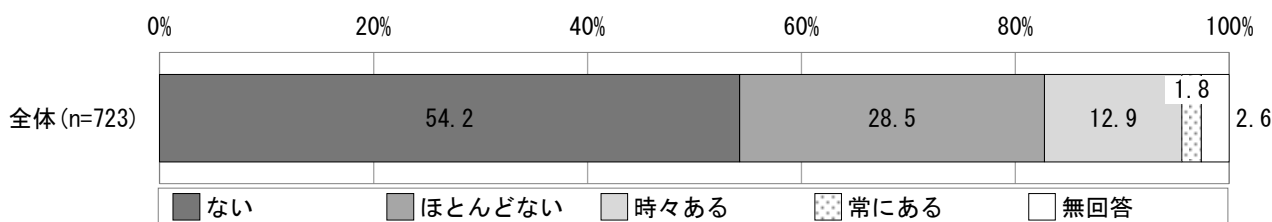
問3 自分が取り残されていると感じることがありますか。

全体では、「ない」が51.6%と最も高く、「ほとんどない」が31.0%、「時々ある」が13.6%と続いている。



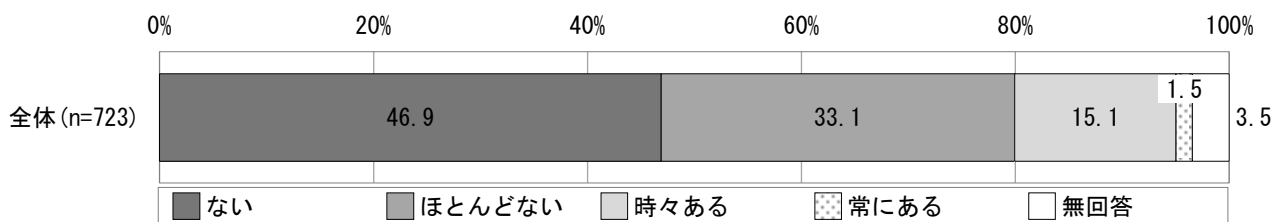
問4 自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。

全体では、「ない」が54.2%と最も高く、「ほとんどない」が28.5%、「時々ある」が12.9%と続いている。



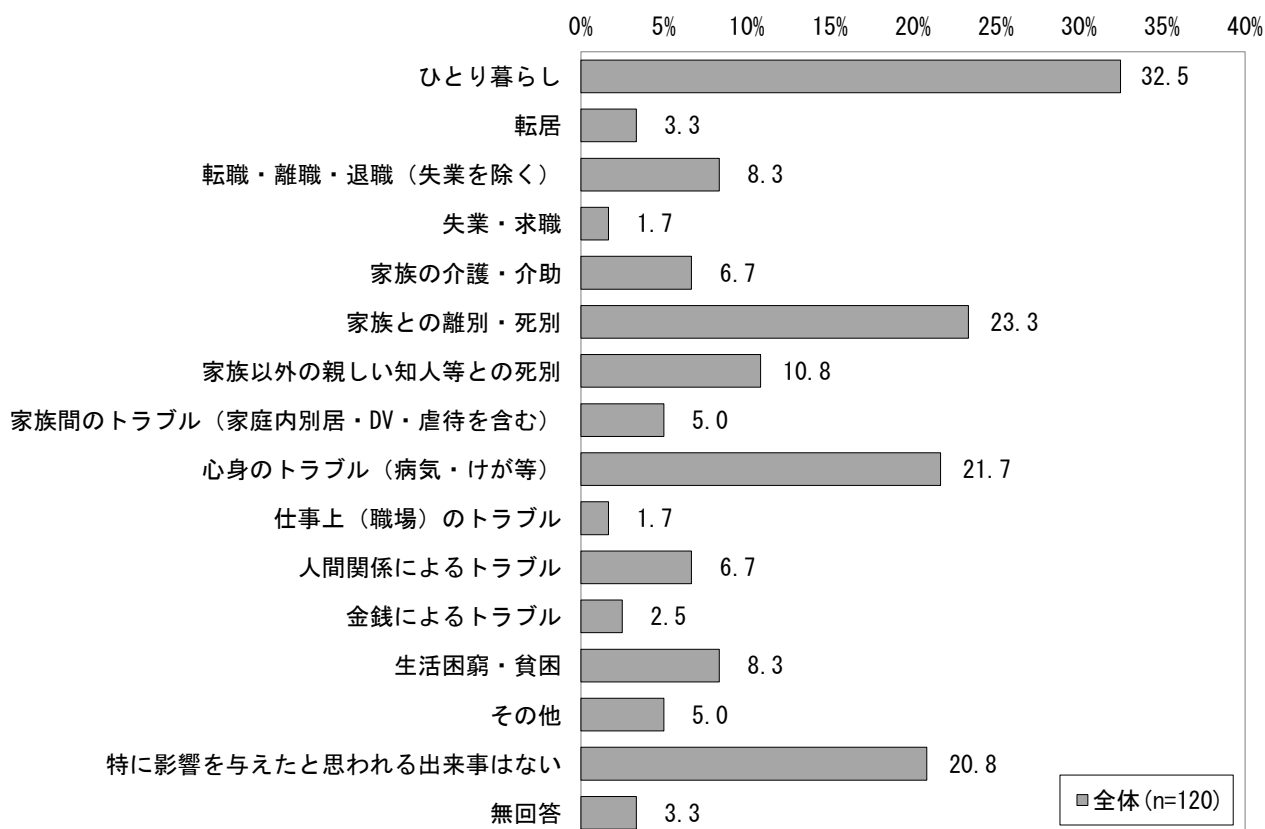
問5 どの程度、孤独であると感じることがありますか。

全体では、「ない」が46.9%と最も高く、「ほとんどない」が33.1%、「時々ある」が15.1%と続いている。



問5-1 現在の孤独感に強く影響を与えたと思われる出来事は何ですか。(いくつでも)
 ※問5で「時々ある」「常にある」と回答した方に質問

全体では、「ひとり暮らし」が32.5%と最も高く、「家族との離別・死別」が23.3%、「心身のトラブル(病気・けが等)」が21.7%と続いている。



5. 今後介護が必要になったとき・介護予防について

問1 あなたは、今後、介護が必要になった場合、どこで生活したいと考えていますか。

全体では、「自宅」が46.3%と最も高く、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が9.5%、「介護保険を利用しながら住み続けられる高齢者向け賃貸住宅」が8.4%と続いている。

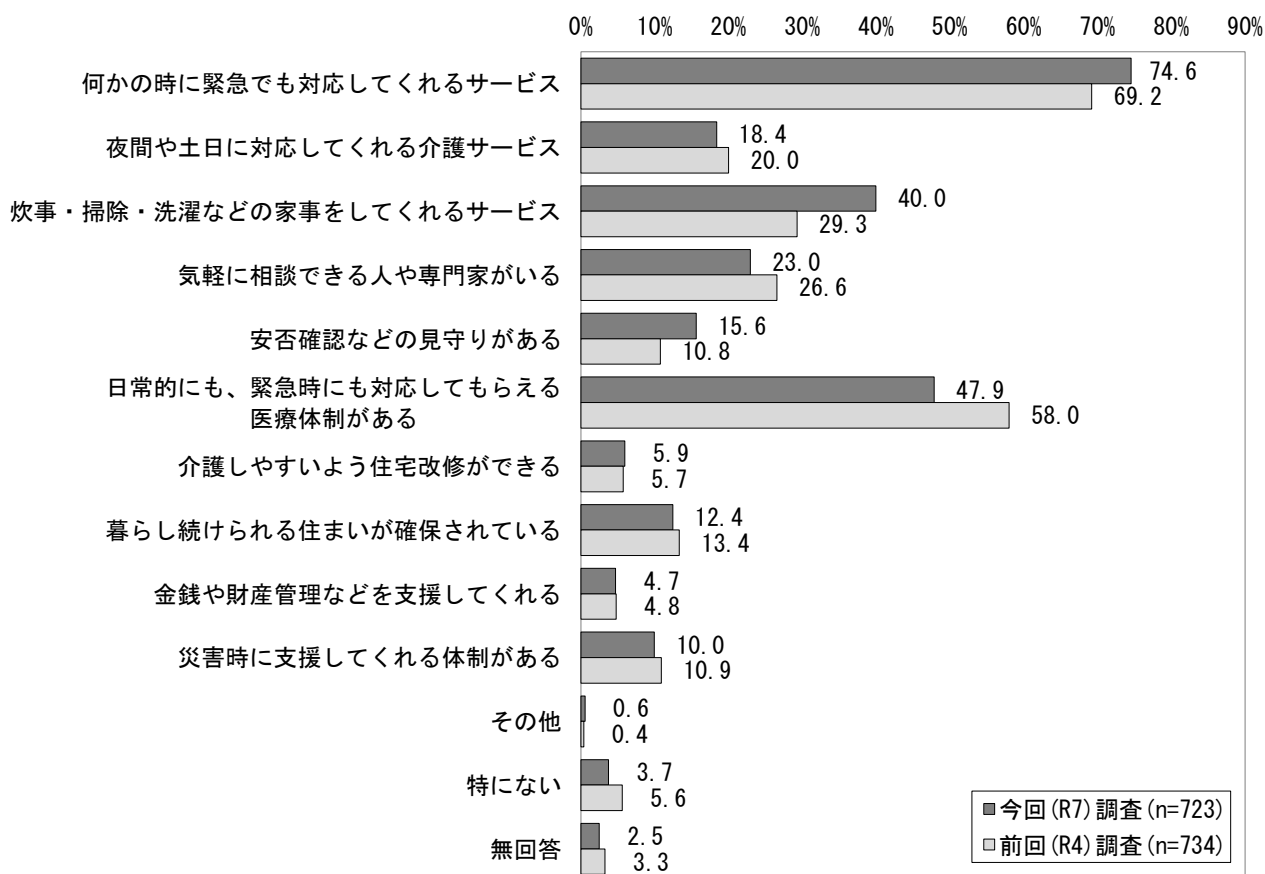
家族構成別では、その他で「自宅」が52.4%と高くなっている。

(%)	自宅	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	介護保険を利用しながら住み 続けられる高齢者向け賃貸住宅	有料老人ホーム	介護老人保健施設 (老人保健施設)	子どもや親族の家	認知症高齢者グループホーム	その他	わからない	無回答
全体 (n=723)	46.3	9.5	8.4	6.9	6.2	1.7	0.3	1.1	14.0	5.5
【家族構成別】										
1人暮らし (n=158)	38.0	8.2	13.3	8.2	7.0	3.2	0.0	0.6	16.5	5.1
夫婦2人暮らし (n=341)	46.6	9.7	8.5	7.9	5.9	1.2	0.6	0.9	13.5	5.3
その他 (n=206)	52.4	10.2	4.9	4.9	6.3	1.5	0.0	1.5	12.6	5.8
【経年比較】										
今回 (R7) 調査 (n=723)	46.3	9.5	8.4	6.9	6.2	1.7	0.3	1.1	14.0	5.5
前回 (R4) 調査 (n=734)	49.2	7.9	7.8	4.9	5.4	0.5	0.8	1.1	15.3	7.1

問2 将来、ご自身に介護が必要になった場合に、どのようなサービスが利用できたり、どのような条件を整えば、自宅で暮らし続けていくことができると思いますか。(3つまで)

全体では、「何かの時に緊急でも対応してくれるサービス」が74.6%と最も高く、「日常的にも、緊急時にも対応してもらえる医療体制がある」が47.9%、「炊事・掃除・洗濯などの家事をしてくれるサービス」が40.0%と続いている。

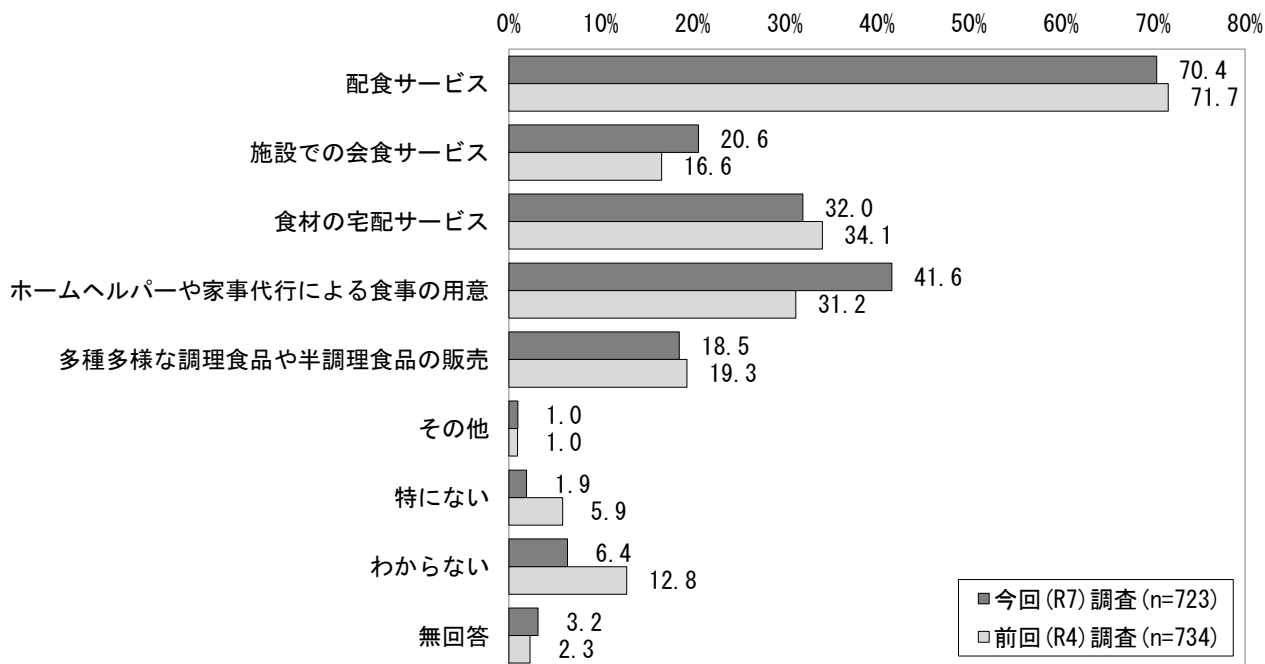
経年比較では「炊事・掃除・洗濯などの家事をしてくれるサービス」は、今回(R7)調査(40.0%)が前回(R4)調査(29.3%)を10.7ポイント上回っている。



問3 あなたは今後、仮に自分で食事の用意ができなくなったり、用意してくれる人がいなくなった場合、どのようなサービスを利用したいと思いますか。(3つまで)

全体では、「配食サービス」が70.4%と最も高く、「ホームヘルパーや家事代行による食事の用意」が41.6%、「食材の宅配サービス」が32.0%と続いている。

経年比較では「ホームヘルパーや家事代行による食事の用意」は、今回(R7)調査(41.6%)が前回(R4)調査(31.2%)を10.4ポイント上回っている。



第3章 介護保険事業計画準備調査

問4 あなたは、介護予防について、どのようなテーマに興味がある、又は参加したいと思いますか。
(いくつでも)

全体では、「筋力向上トレーニング」が53.1%と最も高く、「認知症予防」が48.4%、「腰痛・膝痛の予防・軽減」が37.2%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「筋力向上トレーニング」の割合が高くなる傾向にある。

(%)	筋力向上トレーニング	認知症予防	腰痛・膝痛の予防・軽減	脳トレ	転倒予防・骨折予防	栄養バランス	口と歯の健康	閉じこもり予防	その他	特にない	無回答
全体 (n=723)	53.1	48.4	37.2	30.4	30.2	21.4	20.5	6.2	1.4	12.2	2.8
【年齢別】											
65～74歳 (n=315)	56.2	54.9	37.8	33.3	27.9	23.2	24.1	7.0	1.3	9.5	1.9
75～84歳 (n=346)	51.7	45.4	35.8	28.9	31.5	20.2	18.5	5.8	1.4	13.6	2.6
85歳以上 (n=58)	48.3	32.8	41.4	24.1	32.8	20.7	13.8	5.2	1.7	17.2	6.9
【経年比較】											
今回 (R7) 調査 (n=723)	53.1	48.4	37.2	30.4	30.2	21.4	20.5	6.2	1.4	12.2	2.8
前回 (R4) 調査 (n=734)	48.6	52.5	46.6		35.4	25.2	26.7	15.7	1.1	13.6	2.6

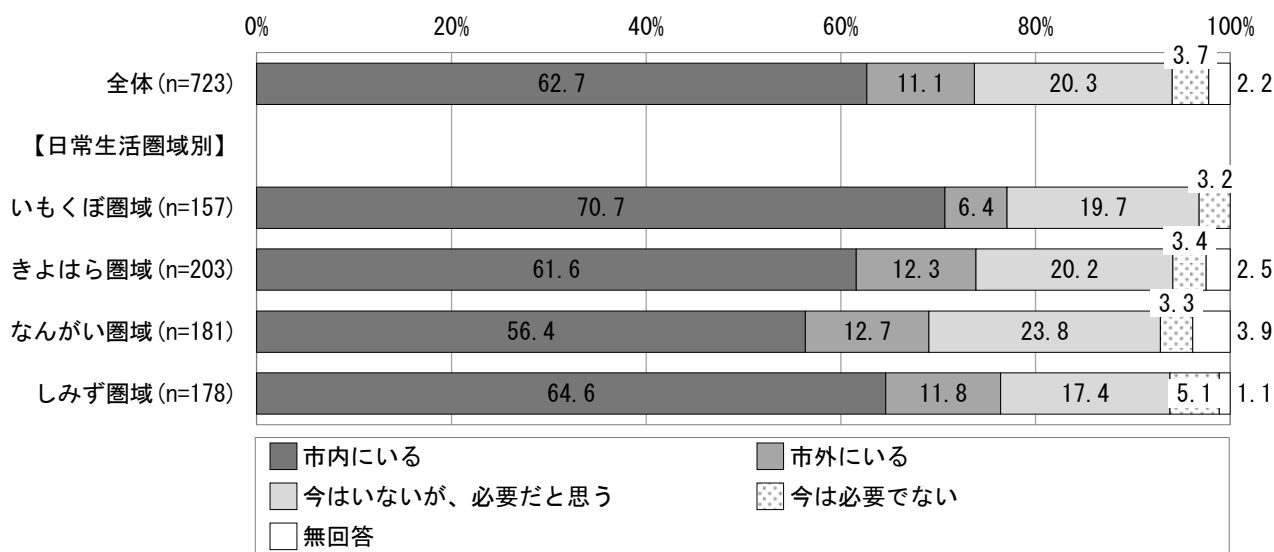
6. 医療・在宅での療養について

問1 あなたの体調や病気などについて相談できる「かかりつけ医」等はいますか。

問1-1 かかりつけ医師

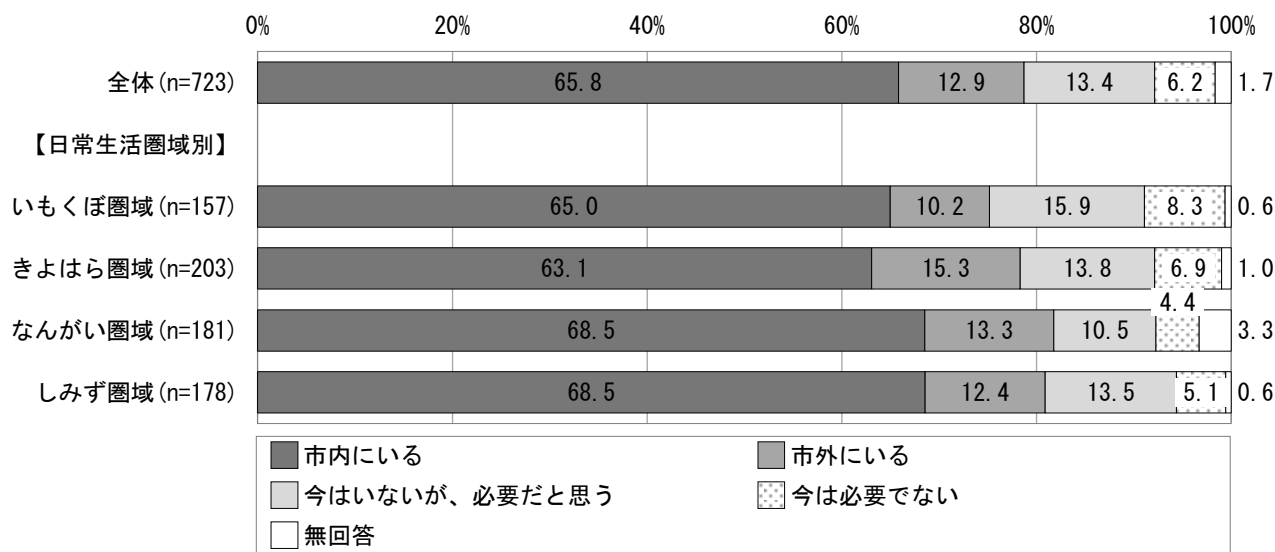
全体では、「市内にいる」が62.7%と最も高く、「今はいないが、必要だと思う」が20.3%、「市外にいる」が11.1%と続いている。

日常生活圏域別では、いもくぼ圏域で「市内にいる」が70.7%と高くなっている。



問1-2 かかりつけ歯科医師

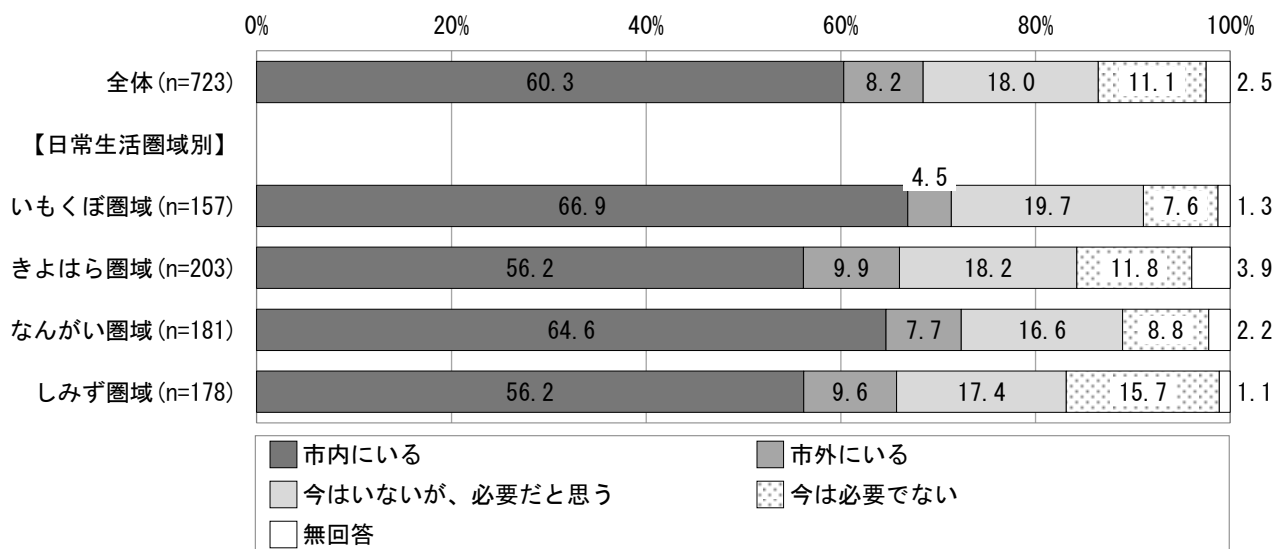
全体では、「市内にいる」が65.8%と最も高く、「今はいないが、必要だと思う」が13.4%、「市外にいる」が12.9%と続いている。



問1-3 かかりつけ薬局

全体では、「市内にいる」が60.3%と最も高く、「今はいないが、必要だと思う」が18.0%、「今は必要でない」が11.1%と続いている。

日常生活圏域別では、いもくぼ圏域で「市内にいる」が66.9%と高くなっている。



問2 あなたは、どのくらいの頻度で通院をしていますか。

全体では、「通院はしていない」が36.7%と最も高く、「週に1日未満」が35.4%、「週に1日程度」が6.5%と続いている。

(%)	通院はしていない	週に1日未満	週に1日程度	週に2~3日	週に4~5日	ほぼ毎日	無回答
全体 (n=723)	36.7	35.4	6.5	3.5	0.6	0.1	17.3
【年齢別】							
65~74歳 (n=315)	41.6	38.4	6.0	3.8	0.3	0.0	9.8
75~84歳 (n=346)	35.0	32.7	6.1	3.2	0.9	0.0	22.3
85歳以上 (n=58)	20.7	36.2	12.1	3.4	0.0	1.7	25.9
【経年比較】							
今回 (R7) 調査 (n=723)	36.7	35.4	6.5	3.5	0.6	0.1	17.3
前回 (R4) 調査 (n=734)	36.6	33.7	4.1	3.3	0.8	0.3	21.3

問3 あなたが通院するときの移動手段は何ですか。(いくつでも)

全体では、「徒歩」が44.4%と最も高く、「自転車」が38.2%、「自動車（自分で運転）」が35.4%と続いている。

日常生活圏域別では、しみず圏域で「自動車（自分で運転）」が45.5%と高くなっている。

(%)	徒歩	自転車	自動車（自分で運転）	路線バス	電車	自動車（人に乗せてもらう）	タクシー	病院や施設のバス	バイク	歩行者・シルバーカー	車いす（自分で操作）	車いす（他の人が操作）	電動車いす（カート）	その他	無回答	
全体 (n=723)	44.4	38.2	35.4	17.6	12.3	10.4	5.9	2.5	2.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.6	5.8	
【家族構成別】																
1人暮らし (n=158)	43.0	34.8	27.8	20.3	10.1	5.1	6.3	3.2	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	
夫婦2人暮らし (n=341)	46.0	38.1	37.8	19.6	15.5	10.6	6.7	2.9	1.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	5.0	
その他 (n=206)	43.7	41.7	37.4	12.6	8.7	12.6	4.9	1.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	6.3	
【日常生活圏域別】																
いもくぼ圏域 (n=157)	43.3	32.5	39.5	14.6	5.7	12.1	7.0	0.6	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	
きよはら圏域 (n=203)	40.9	43.8	32.0	23.2	12.8	9.9	5.9	2.5	4.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	4.4	
なんがい圏域 (n=181)	61.3	38.1	26.5	16.6	17.7	5.5	6.1	3.9	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	7.2	
しみず圏域 (n=178)	32.6	37.6	45.5	15.2	11.8	14.0	4.5	2.8	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	5.1	
【経年比較】																
今回 (R7) 調査 (n=723)	44.4	38.2	35.4	17.6	12.3	10.4	5.9	2.5	2.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.6	5.8	
前回 (R4) 調査 (n=734)	57.8	43.6	31.3	19.5	11.0	9.7	9.7	2.5	1.2	0.1	0.0	0.1	0.0	1.8	2.5	

第3章 介護保険事業計画準備調査

問4 在宅で療養が必要となった時に、不安となる要因はどのようなものと思いますか。
(いくつでも)

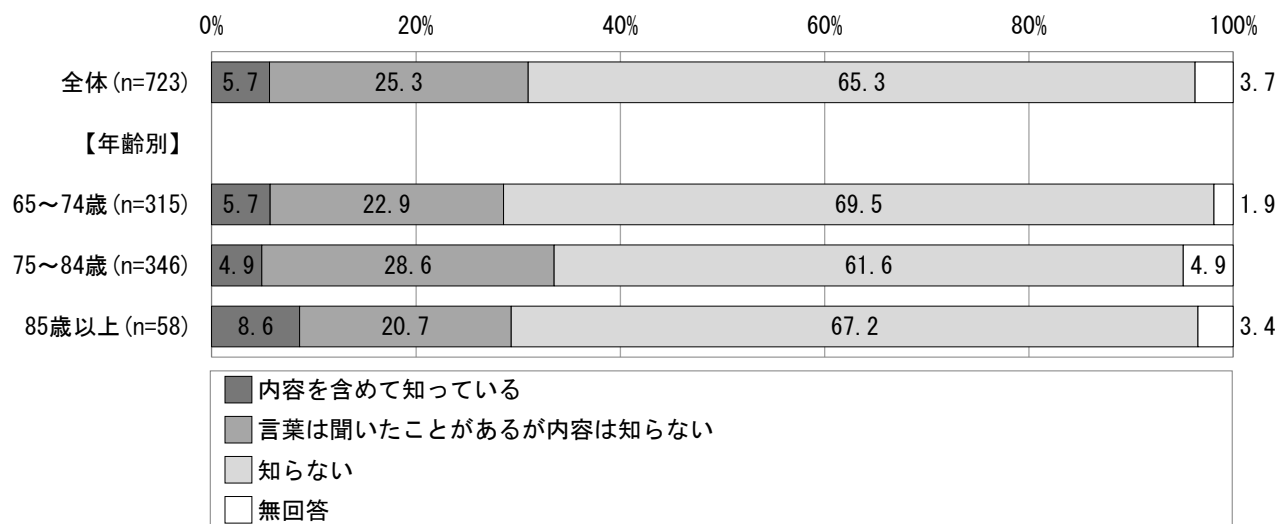
全体では、「急変したときのこと」が48.4%と最も高く、「経済的なこと」が41.5%、「介護保険認定の申請・利用のこと」が37.5%と続いている。

(%)	急変したときのこと	経済的なこと	介護保険認定の申請・利用のこと	見てくれる人への気兼ね	見てくれる人がいないこと	薬の管理を行うこと	胃ろうなどの医療的ケアを自宅で行うこと	その他	特にない	無回答
全体 (n=723)	48.4	41.5	37.5	22.4	19.4	7.7	5.7	1.8	9.7	5.0
【家族構成別】										
1人暮らし (n=158)	50.0	39.9	36.7	13.3	34.2	5.7	3.8	1.9	7.0	6.3
夫婦2人暮らし (n=341)	51.0	41.3	39.6	25.5	17.3	8.8	6.2	1.5	8.8	4.4
その他 (n=206)	43.7	43.7	35.0	23.3	11.7	7.8	6.3	1.9	13.1	4.9
【経年比較】										
今回 (R7) 調査 (n=723)	48.4	41.5	37.5	22.4	19.4	7.7	5.7	1.8	9.7	5.0
前回 (R4) 調査 (n=734)	43.6	46.0	26.3	34.9	18.4	6.3	8.6	3.5	11.4	4.8

問5 あなたは、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について知っていますか。

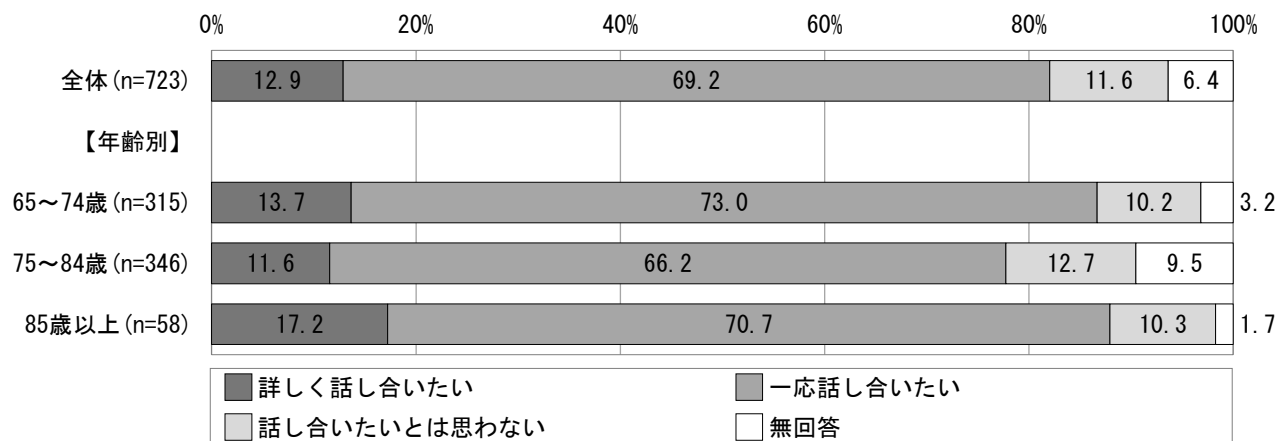
※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは、将来、意思決定能力の低下等といった、もしもの時に備えて、あらかじめご家族や、親しい人、かかりつけ医等と一緒に、ご本人が大切にしていることや、人生の最期をどこで暮らしたいか、どのような治療や介護サービスを受けたい（受けたくない）のか等を話し合うことを言います。

全体では、「知らない」が65.3%と最も高く、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が25.3%、「内容を含めて知っている」が5.7%と続いている。



問6 あなたは、人生の最終段階で受けたい、あるいは受けたくない医療やケアについて、ご家族や医療・介護の関係者と、どの程度話し合っておきたいと考えていますか。

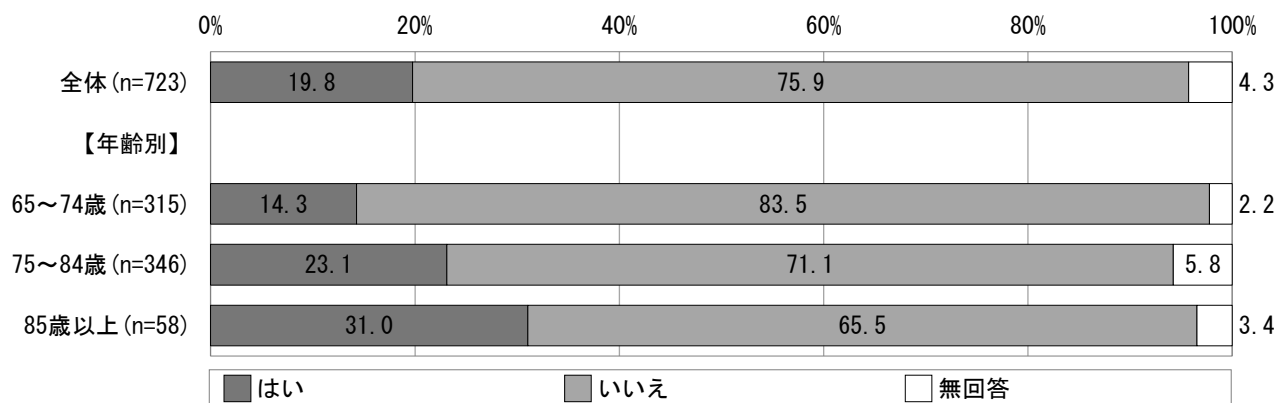
全体では、「一応話し合いたい」が69.2%と最も高く、「詳しく話し合いたい」が12.9%、「話し合いたいとは思わない」が11.6%と続いている。



第3章 介護保険事業計画準備調査

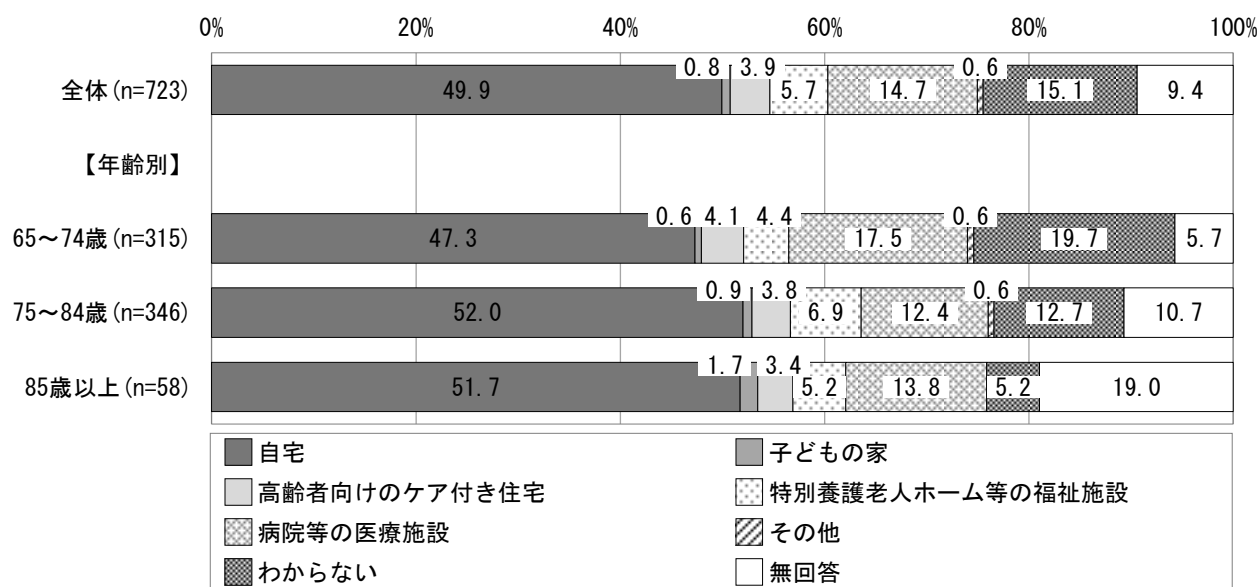
問7 問6のような話し合いをしたことはありますか。

全体では、「はい」が19.8%、「いいえ」が75.9%となっている。
 年齢別では、年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなる傾向にある。



問8 あなたは、人生の最期のときを、どこで過ごしたいと思いますか。

全体では、「自宅」が49.9%と最も高く、「病院等の医療施設」が14.7%、「特別養護老人ホーム等の福祉施設」が5.7%と続いている。

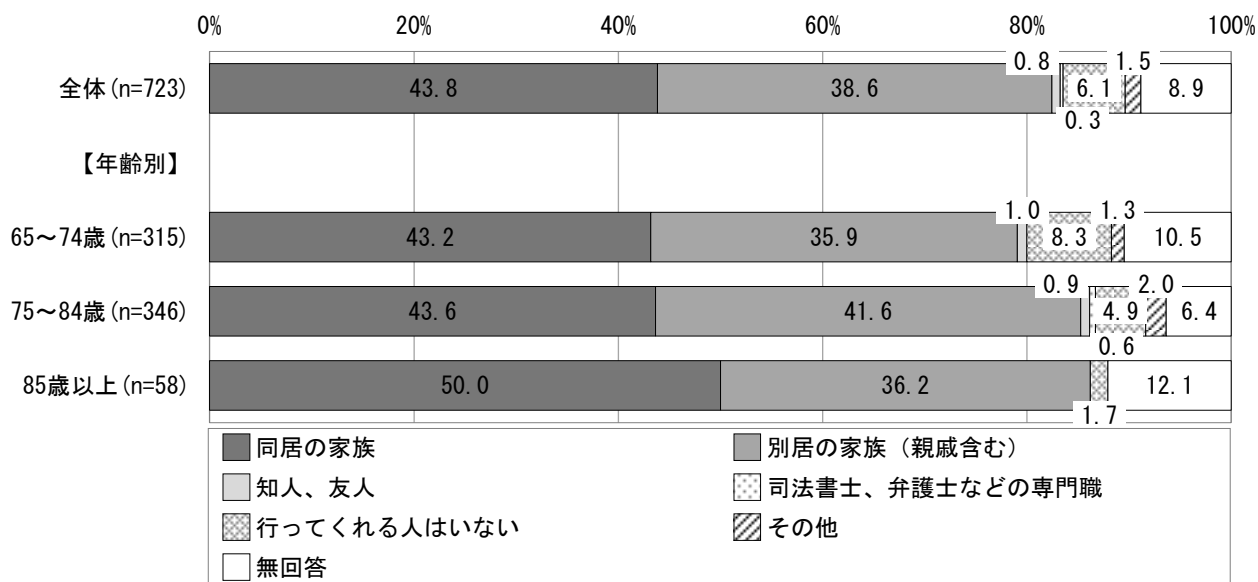


※ 「兄弟姉妹等、親族の家」との回答は見られない

問9 あなたの終末期の支援や、亡くなった後の事務手続きを行ってくれる人はいますか。

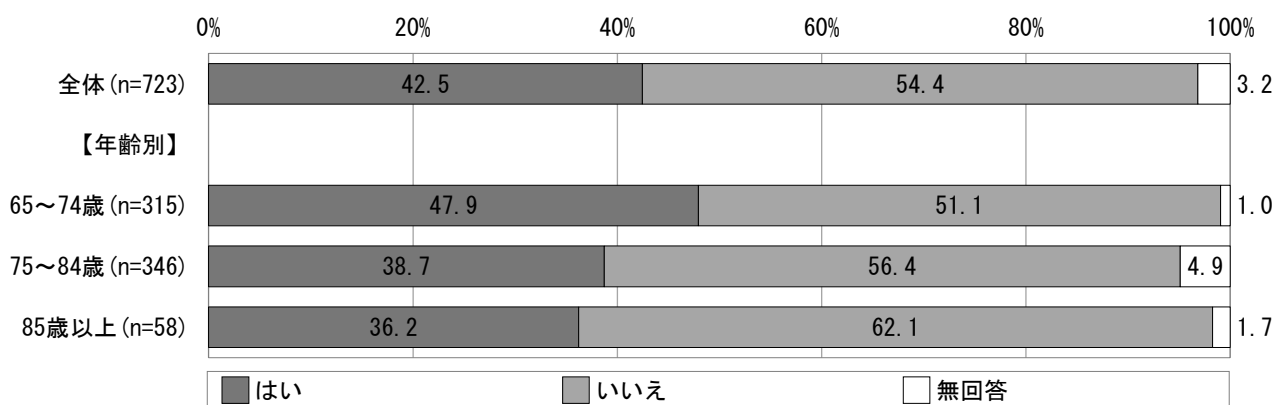
全体では、「同居の家族」が43.8%と最も高く、「別居の家族（親戚含む）」が38.6%、「行ってくれる人はいない」が6.1%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「同居の家族」の割合が高くなる傾向にある。



問 10 終末期や亡くなった後の事務手続きのことで不安はありますか。

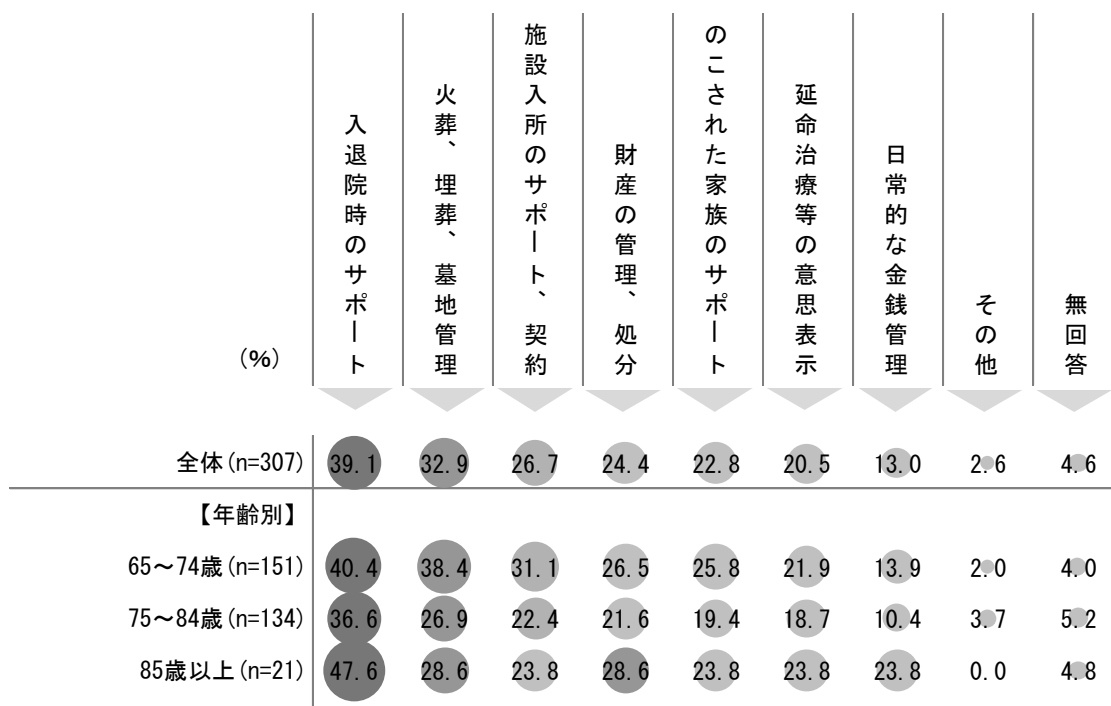
全体では、「はい」が42.5%、「いいえ」が54.4%となっている。
 年齢別では、年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなる傾向にある。



問 10-1 受けたいと思う支援に○をつけてください。(いくつでも)

※問 10 で「はい」と回答した方に質問

全体では、「入退院時のサポート」が39.1%と最も高く、「火葬、埋葬、墓地管理」が32.9%、「施設入所のサポート、契約」が26.7%と続いている。



7. デジタル技術の活用について

問1 あなたは、通信・通話機器を使用していますか。(いくつでも)

全体では、「スマートフォン」が78.7%と最も高く、「パソコン」が33.6%、「携帯電話（スマートフォン以外）」が15.1%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「スマートフォン」の割合が高くなる傾向にある。

(%)	スマートフォン	パソコン	(スマートフォン 携帯電話 以外)	タブレット 端末	どれも 使っていない	無 回答
全体 (n=723)	78.7	33.6	15.1	12.6	5.3	2.8
【年齢別】						
65～74歳 (n=315)	89.8	43.8	8.3	15.9	1.9	1.3
75～84歳 (n=346)	74.3	26.3	17.9	9.5	5.8	4.0
85歳以上 (n=58)	46.6	22.4	36.2	12.1	20.7	0.0

問2 あなたは、通信・通話機器を、どのようなことに使用していますか。(いくつでも)

※問1で「スマートフォン」「タブレット端末」「パソコン」と回答した方に質問

全体では、「通話」が91.8%と最も高く、「メール」が83.3%、「LINE（ライン）」が69.8%と続いている。

(%)	通話	メール	LINE (ライン)	写真・ 動画撮影	イン ター ネッ ト 検 索	動 画 ・ T V 視 聴	決 済 サ ー ビ ス	ネ ッ ト シ ョ ッ ピ ン グ	ビ デ オ 通 話	行 政 サ ー ビ ス	S N S	ゲ ー ム	健 康 管 理	そ の 他	無 回 答
全体 (n=587)	91.8	83.3	69.8	67.8	55.5	32.7	30.2	27.4	24.5	16.7	15.8	15.3	15.2	1.9	0.3
【年齢別】															
65～74歳 (n=292)	90.8	84.2	77.7	68.2	67.1	43.8	42.8	39.7	30.1	26.4	25.0	16.8	18.8	1.0	0.0
75～84歳 (n=262)	93.1	83.2	66.4	69.5	43.9	22.5	17.9	16.0	19.8	6.9	6.9	14.9	11.8	2.7	0.8
85歳以上 (n=31)	90.3	74.2	29.0	48.4	45.2	16.1	12.9	3.2	9.7	9.7	3.2	3.2	9.7	3.2	0.0

第3章 介護保険事業計画準備調査

問3 スマートフォン、タブレット、パソコンを使っていない理由を教えてください。
 ※問1で「携帯電話（スマートフォン以外）」「どれも使っていない」と回答した方に質問

全体では、「今の生活に必要なでない」が25.9%と最も高く、「使い方がわからない」が10.2%、「必要な時は家族等に頼んでいる」が6.1%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「使い方がわからない」の割合が高くなる傾向にある。

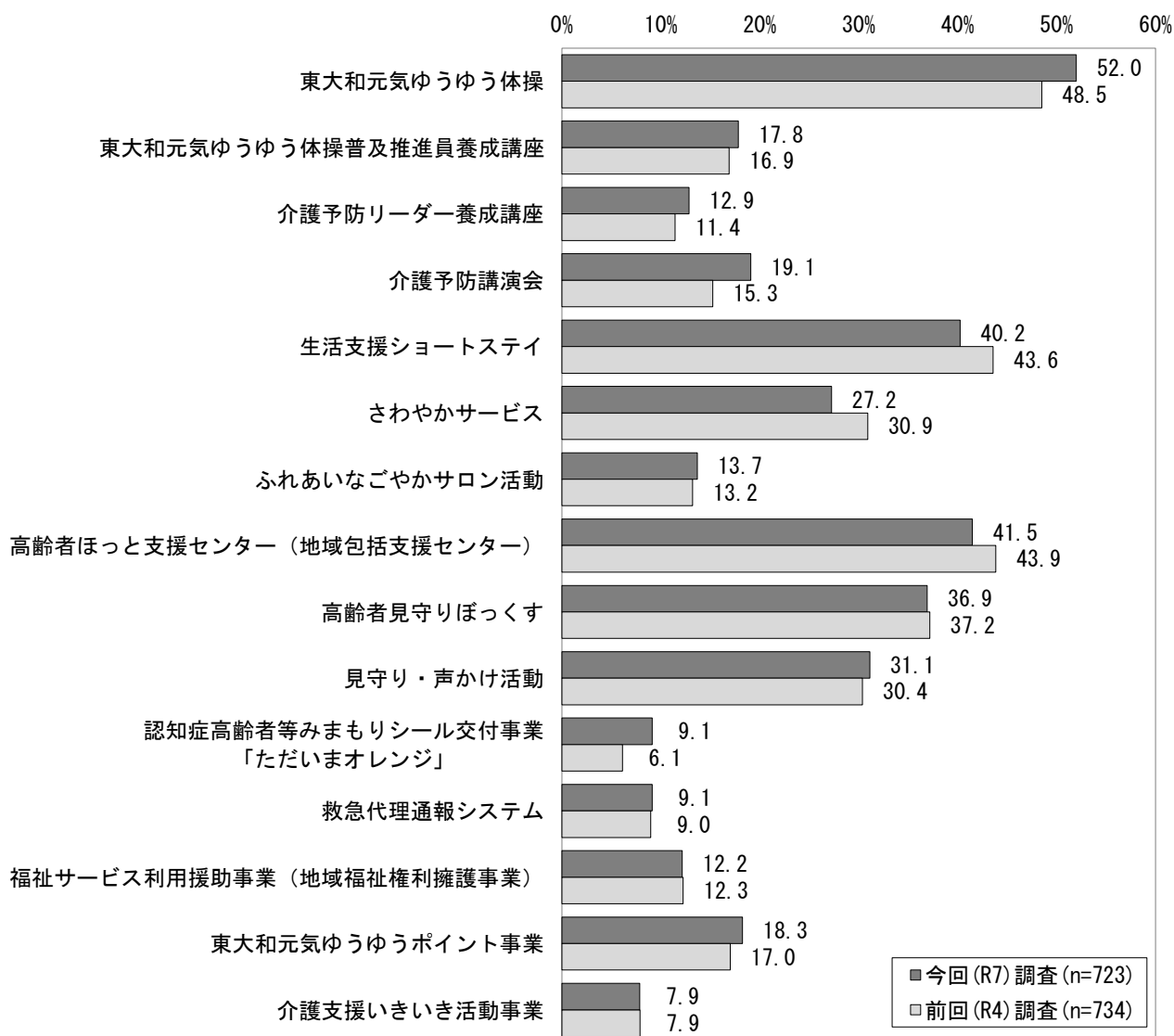
(%)	今の生活に必要なでない	使い方がわからない	必要な時は家族等に頼んでいる	情報漏えいや、詐欺被害等のトラブルが不安	購入費用や、月々の利用料が高い	購入の仕方が分からない	以前使っていたが、うまく使えなかった	その他	無回答
全体 (n=147)	25.9	10.2	6.1	2.0	1.4	0.7	0.7	3.4	49.7
【年齢別】									
65～74歳 (n=32)	18.8	3.1	3.1	6.3	0.0	0.0	0.0	3.1	65.6
75～84歳 (n=82)	29.3	11.0	8.5	1.2	2.4	1.2	1.2	3.7	41.5
85歳以上 (n=33)	24.2	15.2	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	54.5

8. 市の一般介護予防事業・高齢者の福祉サービス等について

問1 一般介護予防事業・高齢者福祉サービス等について、お答えください。

問1-1 周知の状況

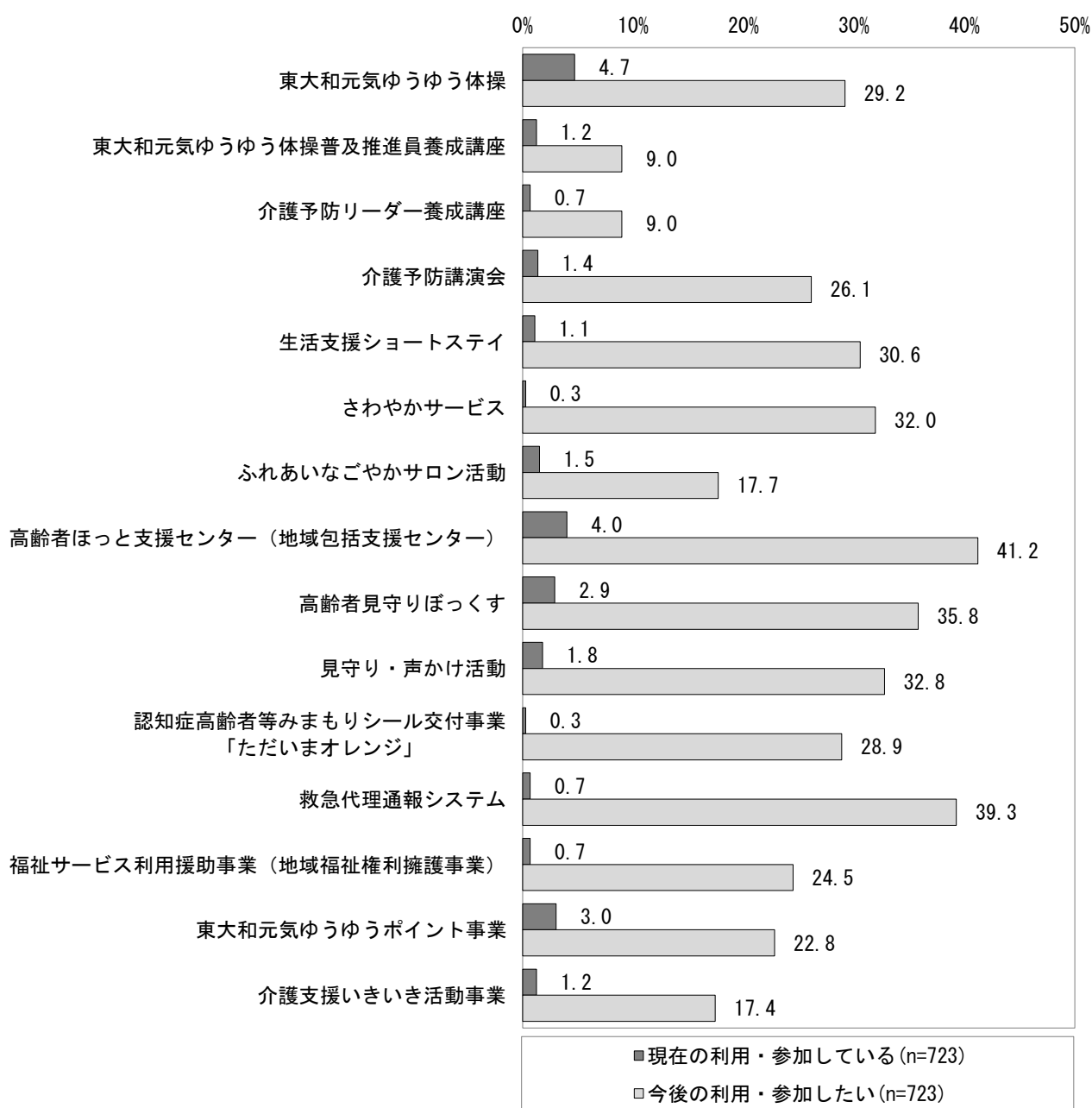
周知の状況について「知っている」の割合とみると、＜東大和元気ゆうゆう体操＞が52.0%と最も高く、＜高齢者ほっと支援センター（地域包括支援センター）＞が41.5%、＜生活支援ショートステイ＞が40.2%と続いている。



問1-2 現在の利用・参加の状況と今後の利用・参加の意向

現在の利用・参加の状況について「参加している」の割合とみると、＜東大和元気ゆうゆう体操＞が4.7%と最も高く、＜高齢者ほっと支援センター（地域包括支援センター）＞が4.0%、＜東大和元気ゆうゆうポイント事業＞が3.0%と続いている。

また、今後の利用・参加の意向について「参加したい」の割合とみると、＜高齢者ほっと支援センター（地域包括支援センター）＞が41.2%と最も高く、＜救急代理通報システム＞が39.3%、＜高齢者見守りぼっくす＞が35.8%と続いている。



9. 自由回答

市の介護保険事業や高齢福祉サービスに関して、ご意見等ございましたら、ご記入ください。

回答	件数
相談・支援体制の充実について	30件
介護・福祉サービスに関する情報不足について	23件
わかりやすい情報提供・冊子作成について	17件
地域の居場所・交流の場づくりについて	17件
介護予防・健康づくりへの関心について	15件
将来の生活・健康への不安について	15件
介護保険料・福祉費用の負担感について	13件
サービス利用の実感不足について	13件
ひとり暮らし・孤独への不安について	10件
高齢者の活動・交流機会の充実について	6件
趣味・生きがい活動への支援について	6件
その他	20件
意見総数（回答者数116名）	185件

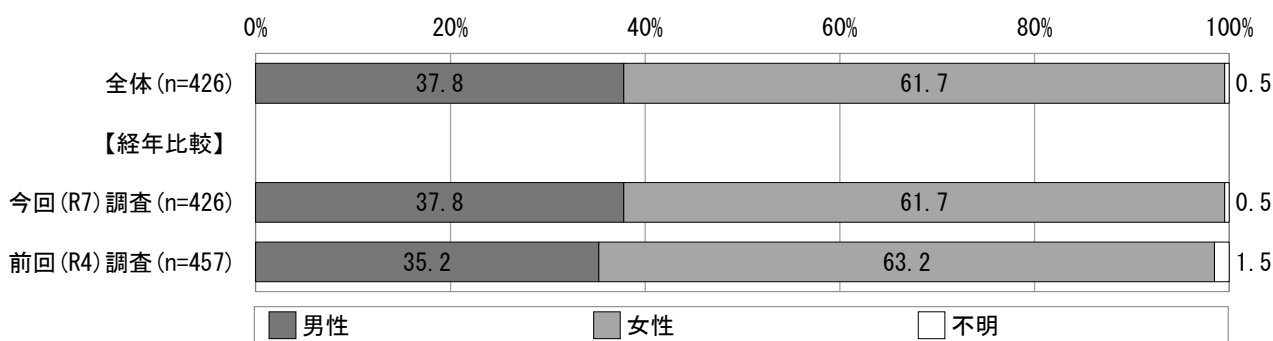
第4章 在宅介護実態調査

1. 調査対象者・回答者の属性

標本名簿の属性

(1) 性別

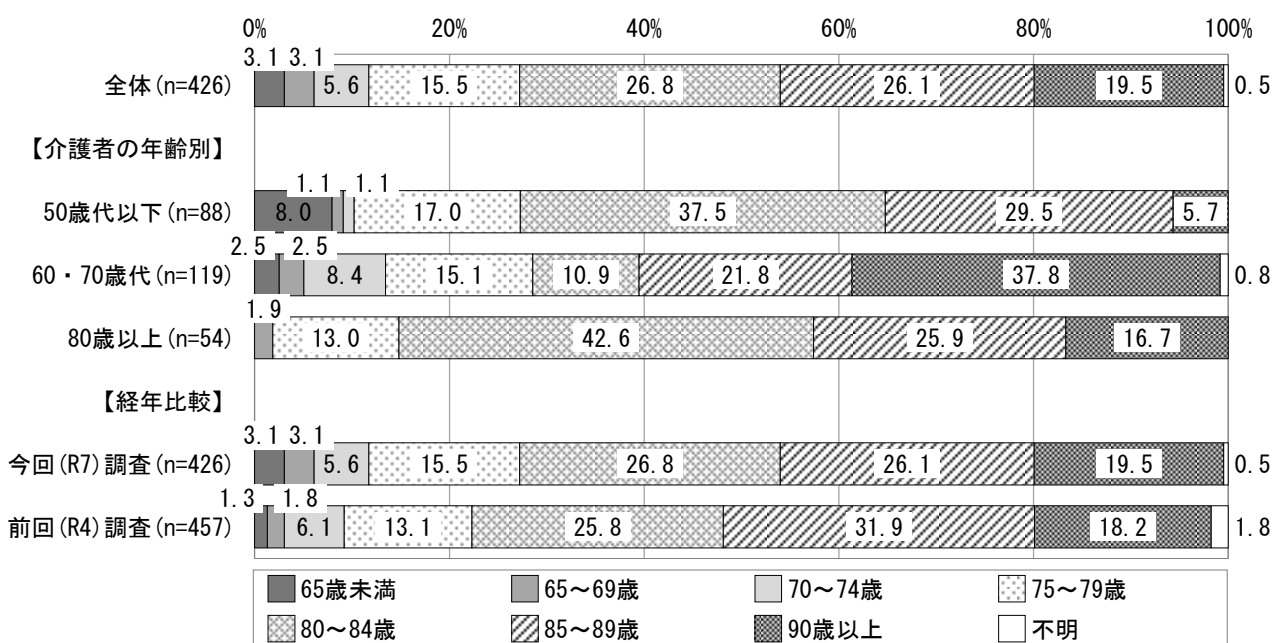
全体では、「男性」が37.8%、「女性」が61.7%となっている。



(2) 年齢

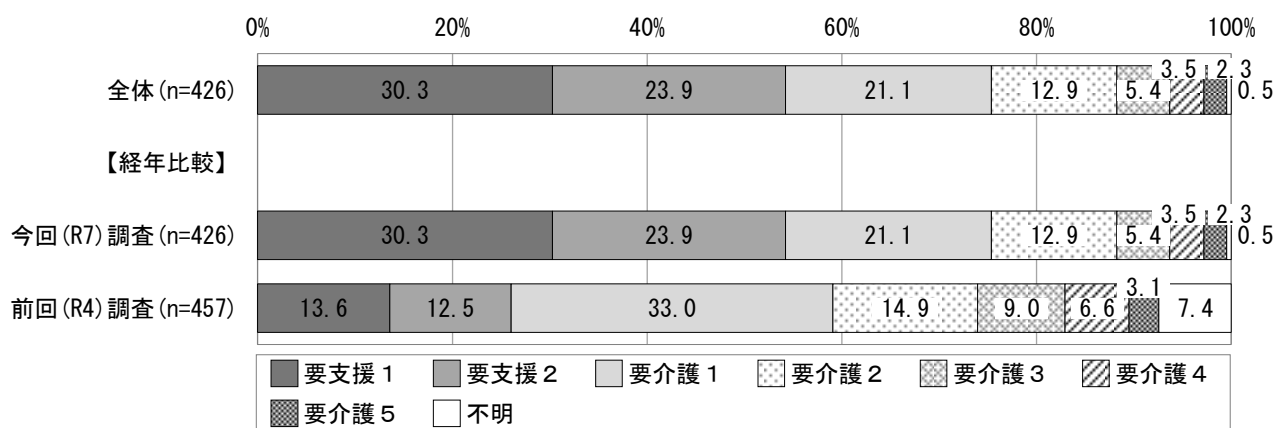
全体では、「80～84歳」が26.8%と最も高く、「85～89歳」が26.1%、「90歳以上」が19.5%と続いている。

介護者の年齢別では、60・70歳代で「90歳以上」が37.8%と高くなっている。



(3) 要介護度

全体では、「要支援1」が30.3%と最も高く、「要支援2」が23.9%、「要介護1」が21.1%と続いている。



現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(いくつでも)

全体では、「調査対象者（あて名）のご本人」が57.7%と最も高く、「主な介護者となっている家族・親族」が35.7%、「主な介護者以外の家族・親族」が1.9%と続いている。

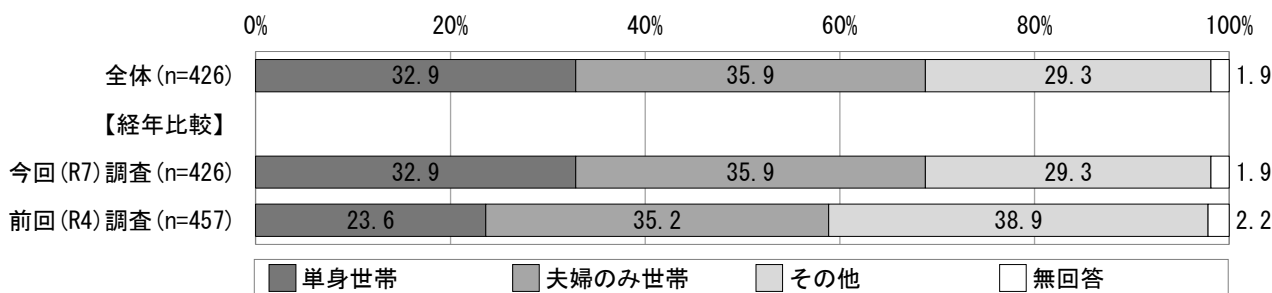
(%)	調査対象者（あて名）のご本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	調査対象者のケアマネジャー	その他	無回答
全体 (n=426)	57.7	35.7	1.9	0.2	0.0	8.7
【要介護度別】						
要支援1・2 (n=231)	71.4	19.9	2.2	0.4	0.0	10.4
要介護1・2 (n=145)	49.7	44.8	2.1	0.0	0.0	7.6
要介護3～5 (n=48)	14.6	85.4	0.0	0.0	0.0	4.2
【経年比較】						
今回 (R7) 調査 (n=426)	57.7	35.7	1.9	0.2	0.0	8.7
前回 (R4) 調査 (n=457)	58.9	41.6	3.3		0.7	3.1

2. A票 調査対象者様ご本人について

問1 世帯類型について、ご回答ください。

全体では、「単身世帯」が32.9%、「夫婦のみ世帯」が35.9%となっている。

経年比較では「単身世帯」は、今回(R7)調査(32.9%)が前回(R4)調査(23.6%)を9.3ポイント上回っている。

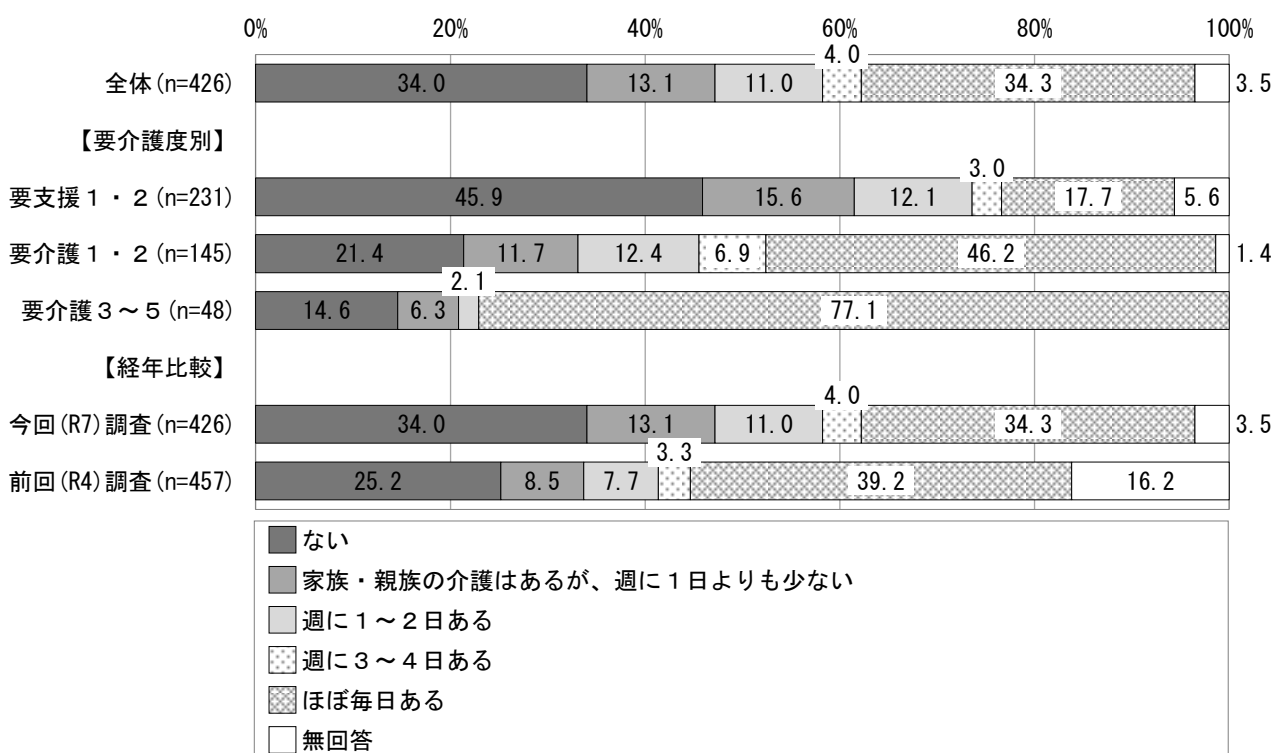


問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

全体では、「ほぼ毎日ある」が34.3%と最も高く、「ない」が34.0%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が13.1%と続いている。

要介護度別では、要支援1・2で「ない」が45.9%と高くなっている。

経年比較では「ない」は、今回(R7)調査(34.0%)が前回(R4)調査(25.2%)を8.8ポイント上回っている。

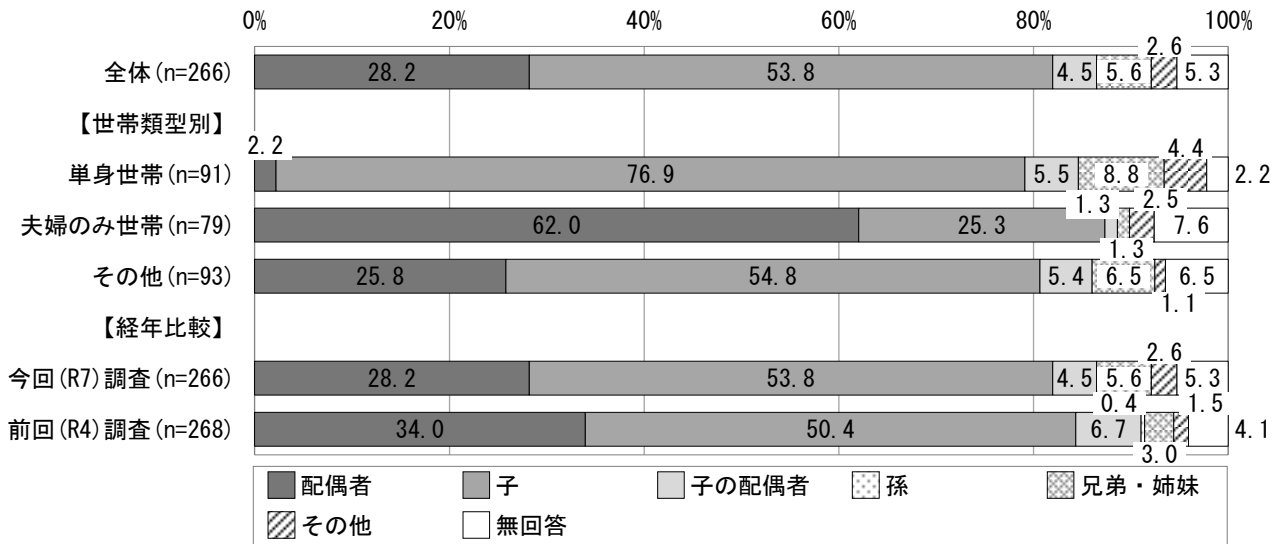


第4章 在宅介護実態調査

※以下問3～問7は、問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」と回答した方に質問

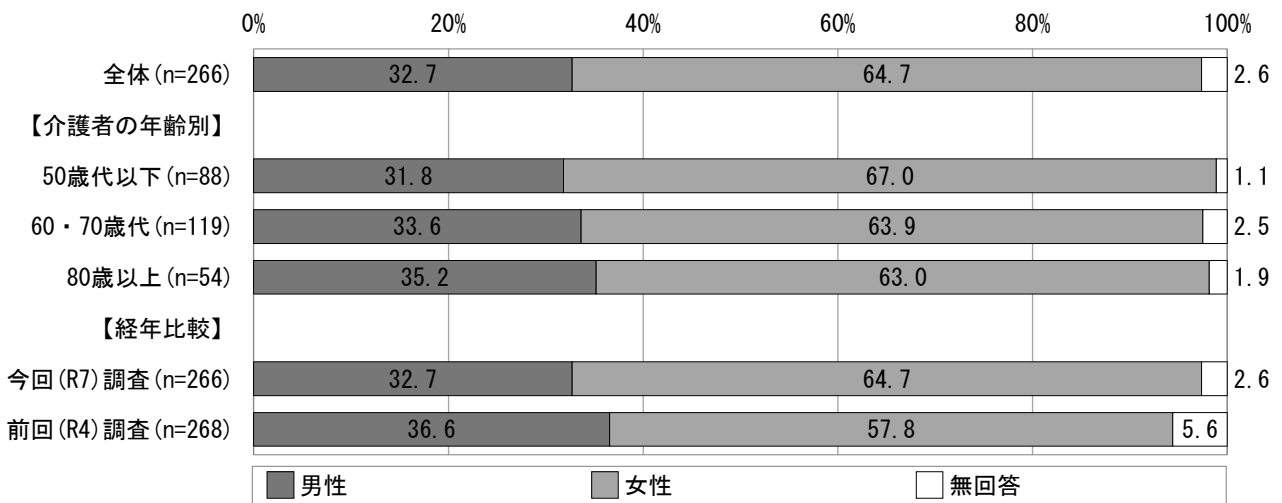
問3 主な介護者の方は、どなたですか

全体では、「子」が53.8%と最も高く、「配偶者」が28.2%、「兄弟・姉妹」が5.6%と続いている。世帯類型別では、夫婦のみ世帯で「配偶者」が62.0%と高くなっている。



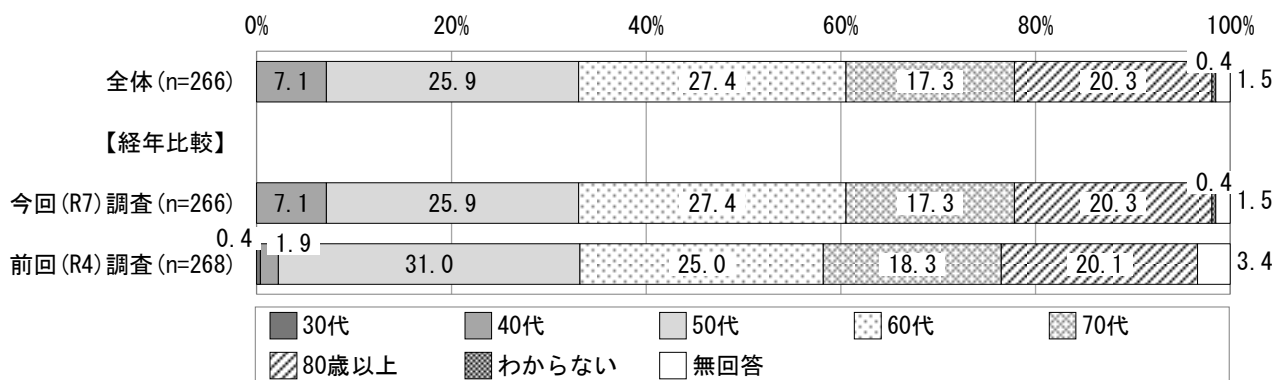
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください

全体では、「男性」が32.7%、「女性」が64.7%となっている。介護者の年齢別では、50歳代以下で「女性」が67.0%と高くなっている。



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

全体では、「60代」が27.4%と最も高く、「50代」が25.9%、「80歳以上」が20.3%と続いている。



※「20歳未満」「20代」との回答は見られない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください (いくつでも)

全体では、「その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)」が71.8%と最も高く、「外出の付き添い、送迎等」が66.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続」が60.9%と続いている。

要介護度別では、要支援1・2で「外出の付き添い、送迎等」が67.9%と高くなっている。

(%)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	外出の付き添い、送迎等	金銭管理や生活面に必要な諸手続	食事の準備 (調理等)	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	入浴・洗身	屋内の移乗・移動	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	その他	わからない	無回答
全体 (n=266)	71.8	66.9	60.9	57.9	35.0	22.6	22.2	19.2	16.5	16.2	12.8	11.7	11.3	9.0	4.5	0.0	3.8
【要介護度別】																	
要支援1・2 (n=112)	62.5	67.9	38.4	43.8	15.2	6.3	9.8	8.0	7.1	5.4	1.8	3.6	1.8	4.5	4.5	0.0	4.5
要介護1・2 (n=112)	72.3	65.2	71.4	62.5	37.5	24.1	29.5	22.3	14.3	11.6	8.0	9.8	8.0	11.6	5.4	0.0	3.6
要介護3~5 (n=41)	95.1	68.3	92.7	85.4	82.9	63.4	36.6	41.5	48.8	58.5	56.1	39.0	46.3	14.6	2.4	0.0	2.4
【経年比較】																	
今回 (R7) 調査 (n=266)	71.8	66.9	60.9	57.9	35.0	22.6	22.2	19.2	16.5	16.2	12.8	11.7	11.3	9.0	4.5	0.0	3.8
前回 (R4) 調査 (n=268)	76.1	67.5	66.4	67.2	47.8	30.2	32.8	23.1	18.7	21.6	16.0	15.7	16.8	7.8	7.8	1.5	4.9

第4章 在宅介護実態調査

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
（いくつでも）

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が64.3%と最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.3%、「わからない」が2.6%と続いている。

(%)	介護の 家族・ 親族に 仕事を 辞めた ない	主な 介護者 が仕事 を辞め た (転職 除く)	わ か ら な い	主 な 介 護 者 が 転 職 し た	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が (転職 除く)	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が 転 職 し た	無 回 答
全体 (n=266)	64.3	8.3	2.6	1.5	1.1	0.4	22.2
【介護者の年齢別】							
50歳代以下 (n=88)	71.6	4.5	2.3	3.4	1.1	1.1	17.0
60・70歳代 (n=119)	64.7	11.8	2.5	0.8	1.7	0.0	18.5
80歳以上 (n=54)	53.7	5.6	3.7	0.0	0.0	0.0	37.0
【経年比較】							
今回 (R7) 調査 (n=266)	64.3	8.3	2.6	1.5	1.1	0.4	22.2
前回 (R4) 調査 (n=268)	67.9	10.1	5.2	3.0	2.2	0.7	12.3

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(いくつでも)

全体では、「外出同行（通院、買い物など）」が10.8%と最も高く、「掃除・洗濯」と「買い物（宅配は含まない）」が、それぞれ10.6%と続いている。

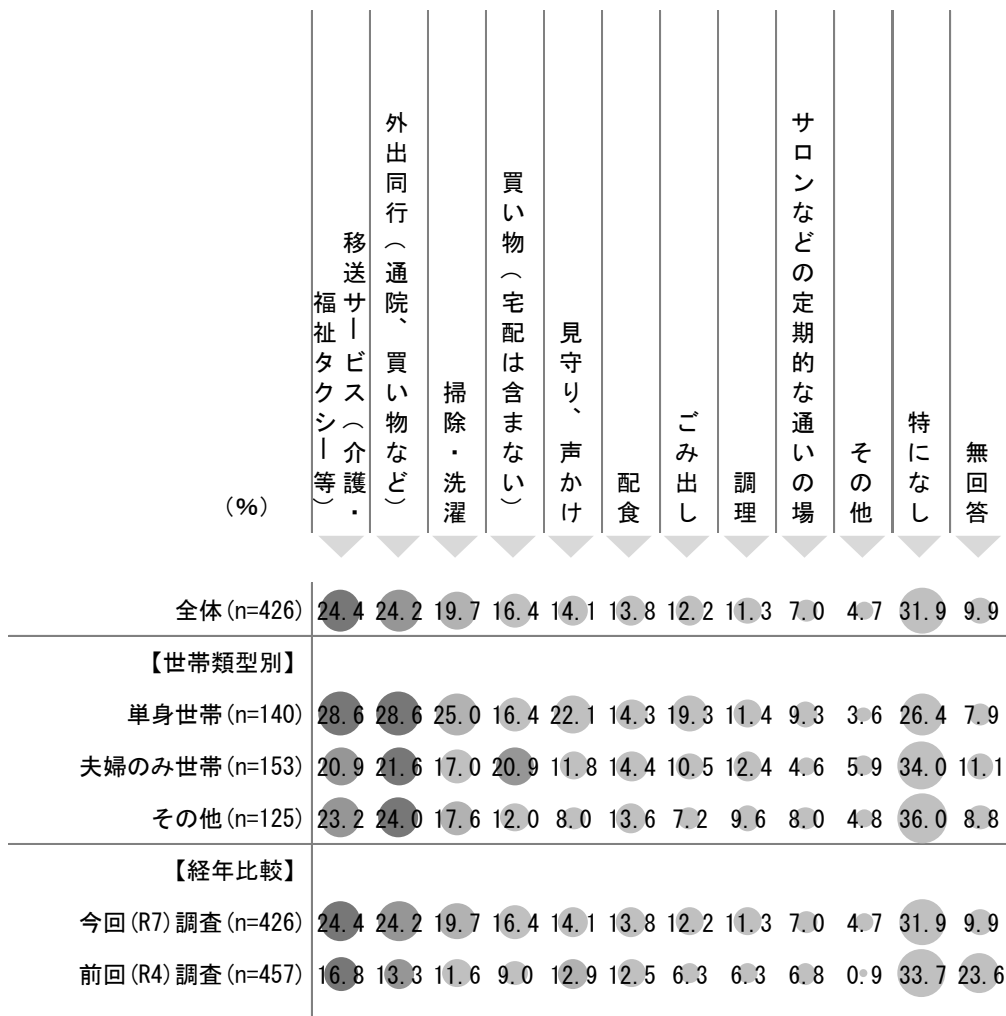
世帯類型別では、単身世帯で「掃除・洗濯」が13.6%と高くなっている。

(%)	外出同行（通院、買い物など）	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	配食	ごみ出し	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	調理	その他	利用していない	無回答
全体 (n=426)	10.8	10.6	10.6	9.4	7.0	6.8	6.1	4.0	3.5	6.8	51.9	11.5
【世帯類型別】												
単身世帯 (n=140)	8.6	13.6	13.6	10.7	7.9	2.9	10.7	6.4	2.1	7.1	49.3	9.3
夫婦のみ世帯 (n=153)	14.4	11.1	11.1	7.8	7.8	10.5	4.6	2.6	4.6	7.8	51.0	9.2
その他 (n=125)	8.8	7.2	6.4	10.4	5.6	7.2	3.2	3.2	4.0	5.6	57.6	13.6
【経年比較】												
今回 (R7) 調査 (n=426)	10.8	10.6	10.6	9.4	7.0	6.8	6.1	4.0	3.5	6.8	51.9	11.5
前回 (R4) 調査 (n=457)	3.1	4.8	3.5	9.4	2.4	3.7	2.8	1.3	1.5	1.1	58.4	22.8

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも）

全体では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.4%と最も高く、「外出同行（通院、買い物など）」が24.2%、「掃除・洗濯」が19.7%と続いている。

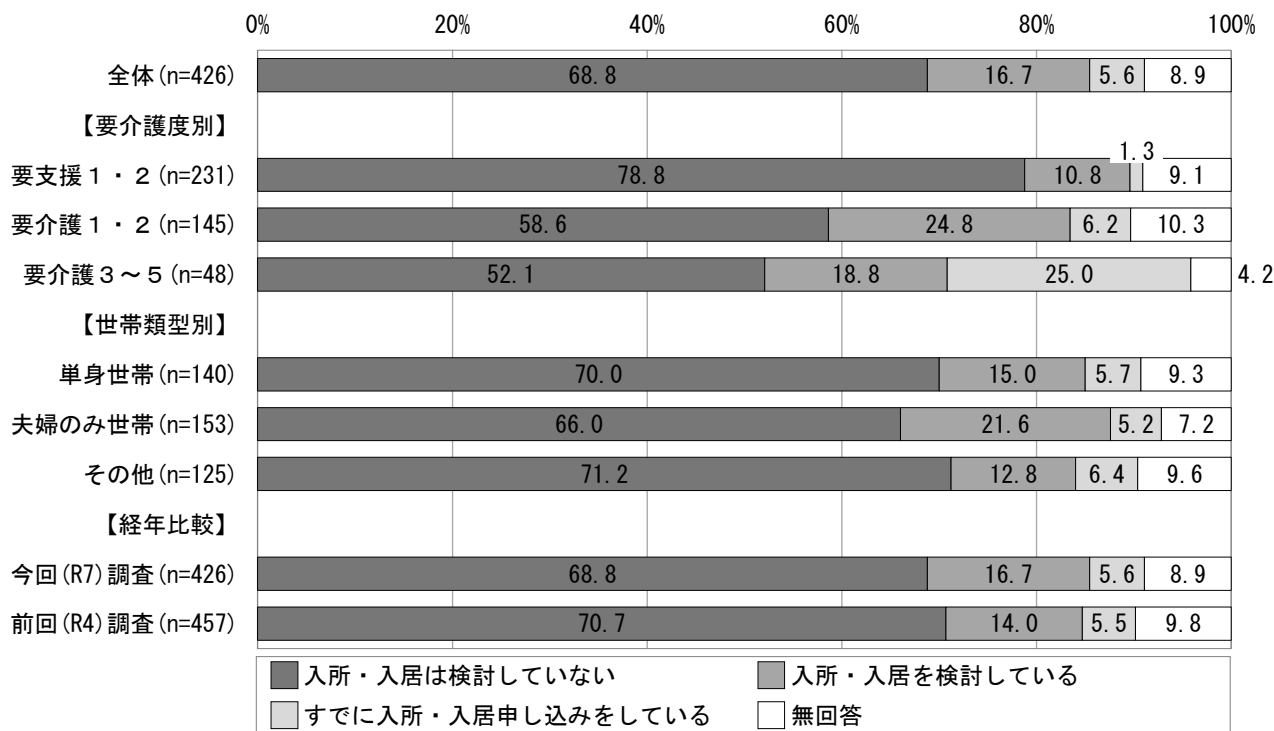
経年比較では「外出同行（通院、買い物など）」は、今回(R7)調査（24.2%）が前回(R4)調査（13.3%）を10.9ポイント上回っている。



問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

全体では、「入所・入居は検討していない」が68.8%と最も高く、「入所・入居を検討している」が16.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が5.6%と続いている。

要介護度別では、要支援1・2で「入所・入居は検討していない」が78.8%と高くなっている。



問 11 ご本人（調査対象者様）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（いくつでも）

全体では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 28.4%と最も高く、「認知症」が 21.8%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 18.8%と続いている。

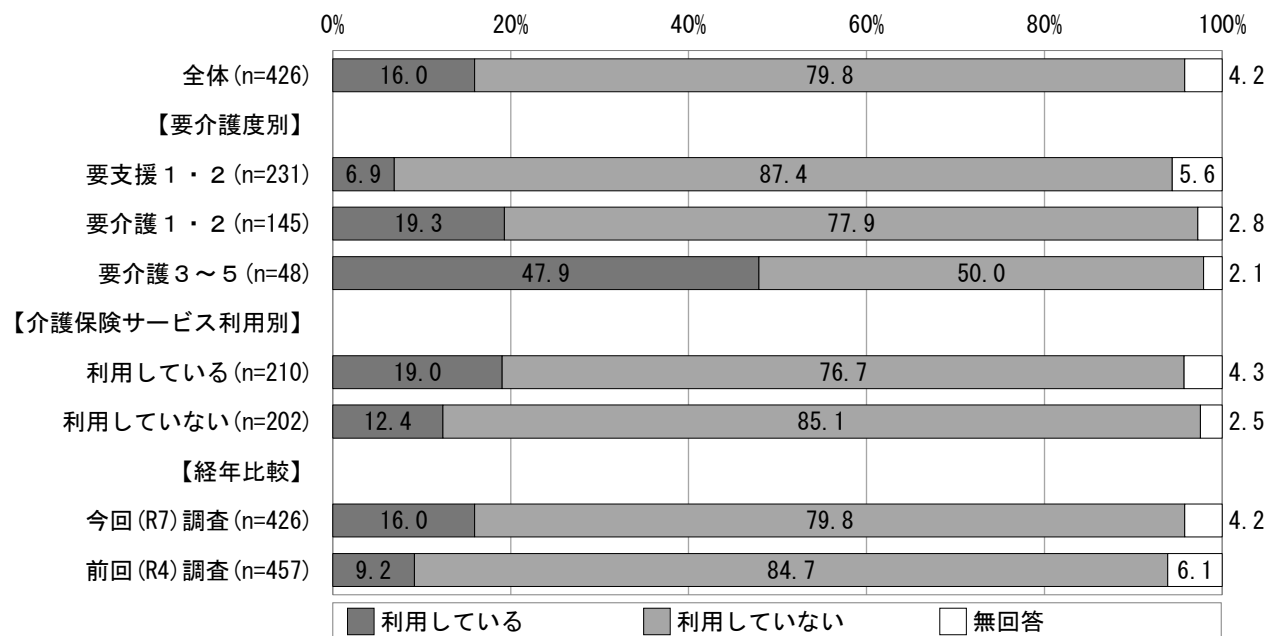
要介護度別では、要介護3～5で「認知症」が 50.0%と高くなっている。

経年比較では「認知症」は、今回(R7)調査（21.8%）が前回(R4)調査（30.4%）を 8.6ポイント下回っている。

(%)	筋骨格系疾患 （骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等）	認知症	眼科・耳鼻科疾患 （視覚・聴覚障害を伴うもの）	心疾患（心臓病）	糖尿病	変形性関節疾患	脳血管疾患 （脳卒中）	呼吸器疾患	悪性新生物（がん）	腎疾患（透析）	膠原病（関節リウマチ含む）	難病（パーキンソン病を除く）	パーキンソン病	その他	なし	わからない	無回答
全体 (n=426)	28.4	21.8	18.8	18.3	14.6	11.0	7.0	7.0	6.8	4.2	4.2	3.8	2.8	17.4	5.2	0.9	4.7
【要介護度別】																	
要支援 1・2 (n=231)	30.7	6.5	24.2	19.5	13.0	12.1	4.3	7.8	5.6	4.8	3.9	3.9	2.2	16.0	5.2	1.3	6.5
要介護 1・2 (n=145)	22.8	37.2	13.1	18.6	19.3	6.9	9.7	6.2	9.7	4.1	2.8	3.4	2.1	18.6	6.2	0.7	2.8
要介護 3～5 (n=48)	33.3	50.0	10.4	12.5	6.3	18.8	12.5	6.3	4.2	2.1	10.4	4.2	8.3	20.8	2.1	0.0	2.1
【経年比較】																	
今回 (R7) 調査 (n=426)	28.4	21.8	18.8	18.3	14.6	11.0	7.0	7.0	6.8	4.2	4.2	3.8	2.8	17.4	5.2	0.9	4.7
前回 (R4) 調査 (n=457)	22.5	30.4	14.7	13.6	19.5	11.6	8.3	7.0	7.2	2.2	3.7	0.7	2.6	18.4	5.3	1.8	4.8

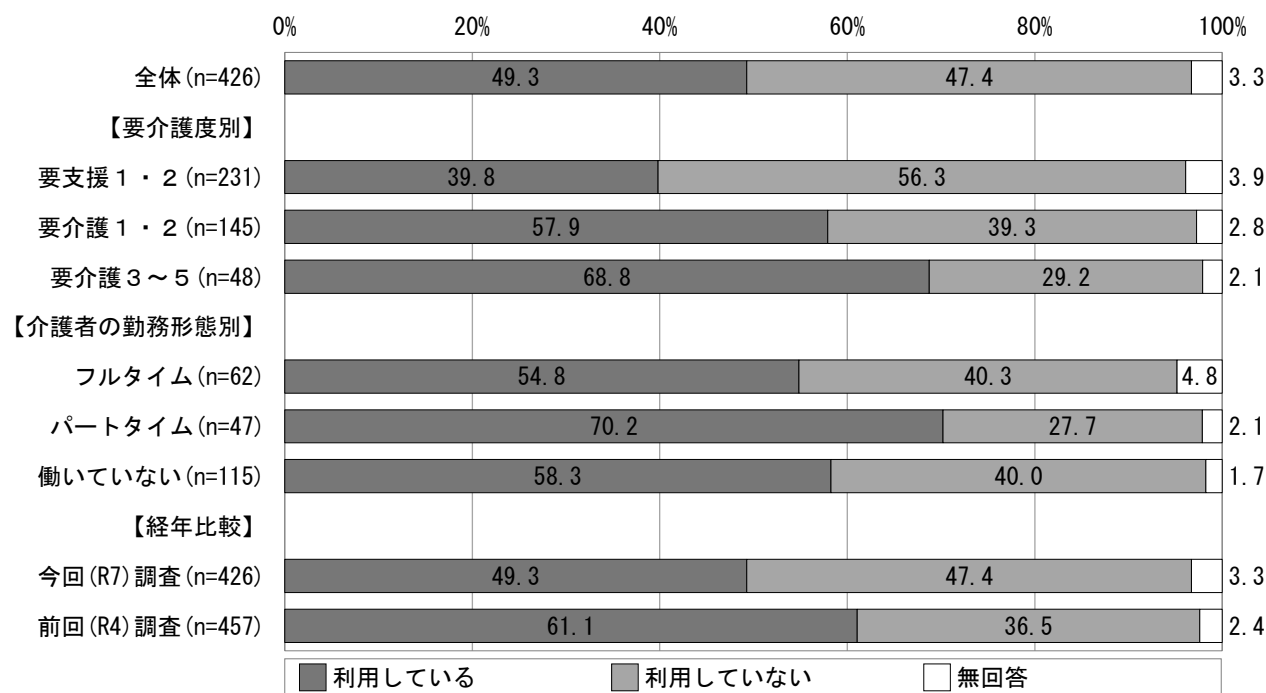
問12 ご本人（調査対象者様）は、現在、訪問診療を利用していますか。

全体では、「利用している」が16.0%、「利用していない」が79.8%となっている。
 要介護度別では、要支援1・2で「利用していない」が87.4%と高くなっている。
 介護保険サービス利用別では「利用していない」は、利用していない(85.1%)が利用している(76.7%)
 を8.4ポイント上回っている。



問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。

全体では、「利用している」が49.3%、「利用していない」が47.4%となっている。
 要介護度別では、要支援1・2で「利用していない」が56.3%と高くなっている。
 介護者の勤務形態別では、パートタイムで「利用している」が70.2%と高くなっている。



第4章 在宅介護実態調査

問 13-1 介護保険サービスを利用することで、生活に次のような変化がありましたか。
(いくつでも)

※問 13で「利用している」と回答した方に質問

全体では、「日頃の生活が楽になった」が49.5%と最も高く、「精神的に楽になった」が24.3%、「外出する機会が増えた」が22.4%と続いている。

経年比較では「日頃の生活が楽になった」は、今回(R7)調査(49.5%)が前回(R4)調査(36.6%)を12.9ポイント上回っている。

(%)	日頃の生活が楽になった	精神的に楽になった	外出する機会が増えた	人と会ったり、話したりするようになった	健康を意識するようになった	特に変化はない	体調がよくなった	自分で身の回りのことができ、また、しようという意欲が出てきた	家族に対する気兼ねが減った	その他の変化	無回答
全体(n=210)	49.5	24.3	22.4	19.0	14.3	12.4	11.4	11.0	6.2	3.8	1.4
【要介護度別】											
要支援1・2(n=92)	54.3	20.7	23.9	16.3	21.7	12.0	12.0	8.7	3.3	2.2	1.1
要介護1・2(n=84)	45.2	23.8	25.0	17.9	9.5	15.5	8.3	10.7	8.3	4.8	0.0
要介護3～5(n=33)	48.5	36.4	12.1	27.3	6.1	6.1	18.2	18.2	9.1	6.1	6.1
【回答者別】											
本人(n=99)	53.5	21.2	17.2	20.2	18.2	12.1	12.1	14.1	7.1	4.0	0.0
家族・親族等(n=88)	45.5	27.3	27.3	19.3	10.2	12.5	12.5	6.8	6.8	4.5	2.3
【経年比較】											
今回(R7)調査(n=210)	49.5	24.3	22.4	19.0	14.3	12.4	11.4	11.0	6.2	3.8	1.4
前回(R4)調査(n=279)	36.6	35.5	17.2	23.3	21.9	19.0	19.7	17.9	9.0	6.1	6.1

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

※問 13 で「利用していない」と回答した方に質問

全体では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 58.4%と最も高く、「本人にサービス利用の希望がない」が 12.9%、「家族が介護をするため必要ない」が 9.9%と続いている。

経年比較では「本人にサービス利用の希望がない」は、今回(R7)調査(12.9%)が前回(R4)調査(22.2%)を 9.3 ポイント下回っている。

(%)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	サービスを受けたいが手続や利用方法が分からない	利用料を支払うのが難しい	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答
全体 (n=202)	58.4	12.9	9.9	5.9	5.4	5.4	2.5	2.0	7.9	6.9
【要介護度別】										
要支援 1・2 (n=130)	63.1	13.1	9.2	6.9	3.1	5.4	0.8	3.1	6.9	3.8
要介護 1・2 (n=57)	54.4	12.3	10.5	3.5	10.5	5.3	3.5	0.0	10.5	12.3
要介護 3～5 (n=14)	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	7.1	14.3
【経年比較】										
今回 (R7) 調査 (n=202)	58.4	12.9	9.9	5.9	5.4	5.4	2.5	2.0	7.9	6.9
前回 (R4) 調査 (n=167)	49.7	22.2	10.8	6.6	4.2	4.2	0.0	0.6	7.8	14.4

3. B票 主な介護者の方について

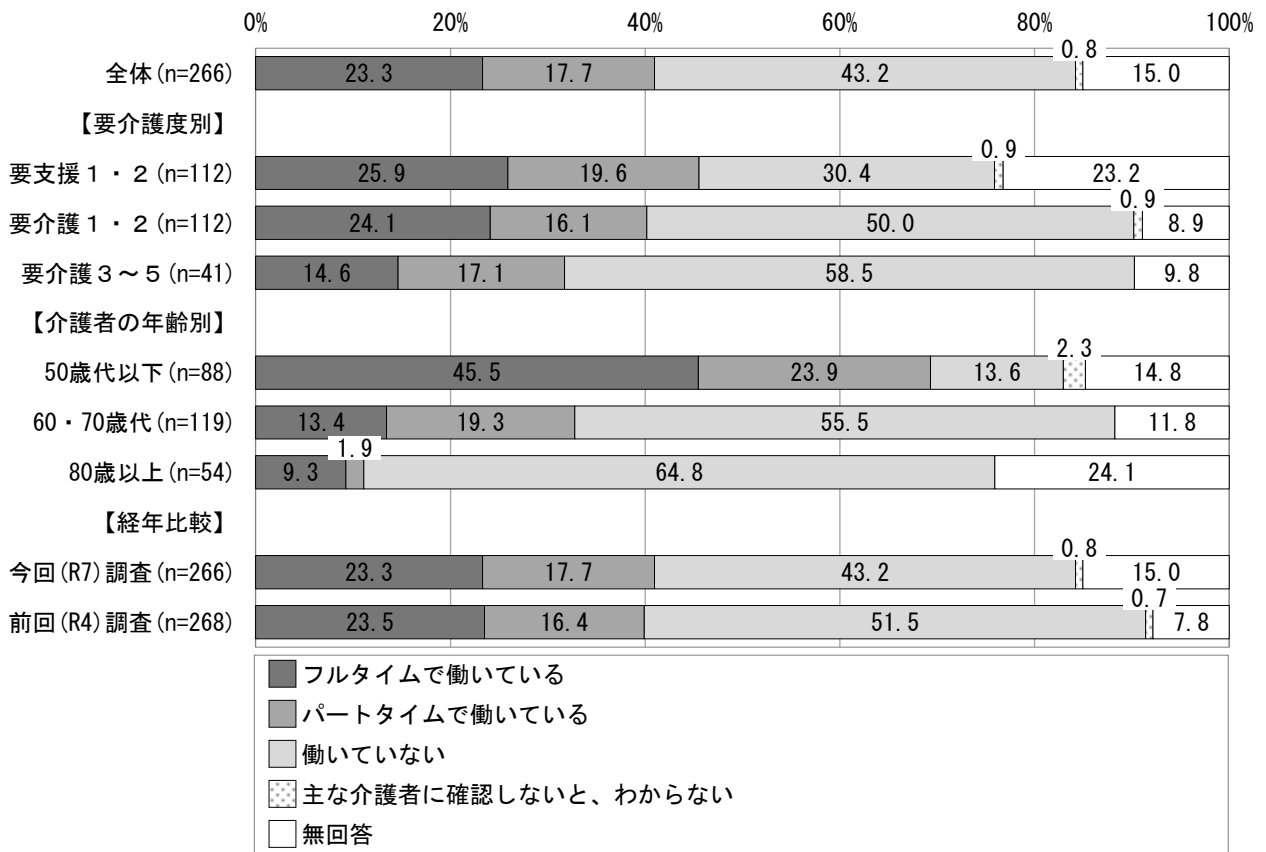
※B票は、A票問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」と回答した方に質問

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

全体では、「働いていない」が43.2%と最も高く、「フルタイムで働いている」が23.3%、「パートタイムで働いている」が17.7%と続いている。

介護者の年齢別では、50歳代以下で「フルタイムで働いている」が45.5%と高くなっている。

経年比較では「働いていない」は、今回(R7)調査(43.2%)が前回(R4)調査(51.5%)を8.3ポイント下回っている。



※問2～問4は、
問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に質問

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(いくつでも)

全体では、「特に行っていない」が33.9%と最も高く、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が25.7%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が22.9%と続いている。

(%)	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記以外の調整をしている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体 (n=109)	33.9	22.9	25.7	8.3	15.6	1.8	4.6
【要介護度別】							
要支援 1・2 (n=51)	37.3	17.6	31.4	2.0	17.6	2.0	3.9
要介護 1・2 (n=45)	33.3	24.4	22.2	13.3	15.6	2.2	4.4
要介護 3～5 (n=13)	23.1	38.5	15.4	15.4	7.7	0.0	7.7
【経年比較】							
今回 (R7) 調査 (n=109)	33.9	22.9	25.7	8.3	15.6	1.8	4.6
前回 (R4) 調査 (n=107)	30.8	29.9	26.2	15.9	11.2	1.9	3.7

第4章 在宅介護実態調査

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで)

全体では、「介護をしている従業員への経済的な支援」が33.0%と最も高く、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と「制度を利用しやすい職場づくり」と「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が、それぞれ27.5%と続いている。

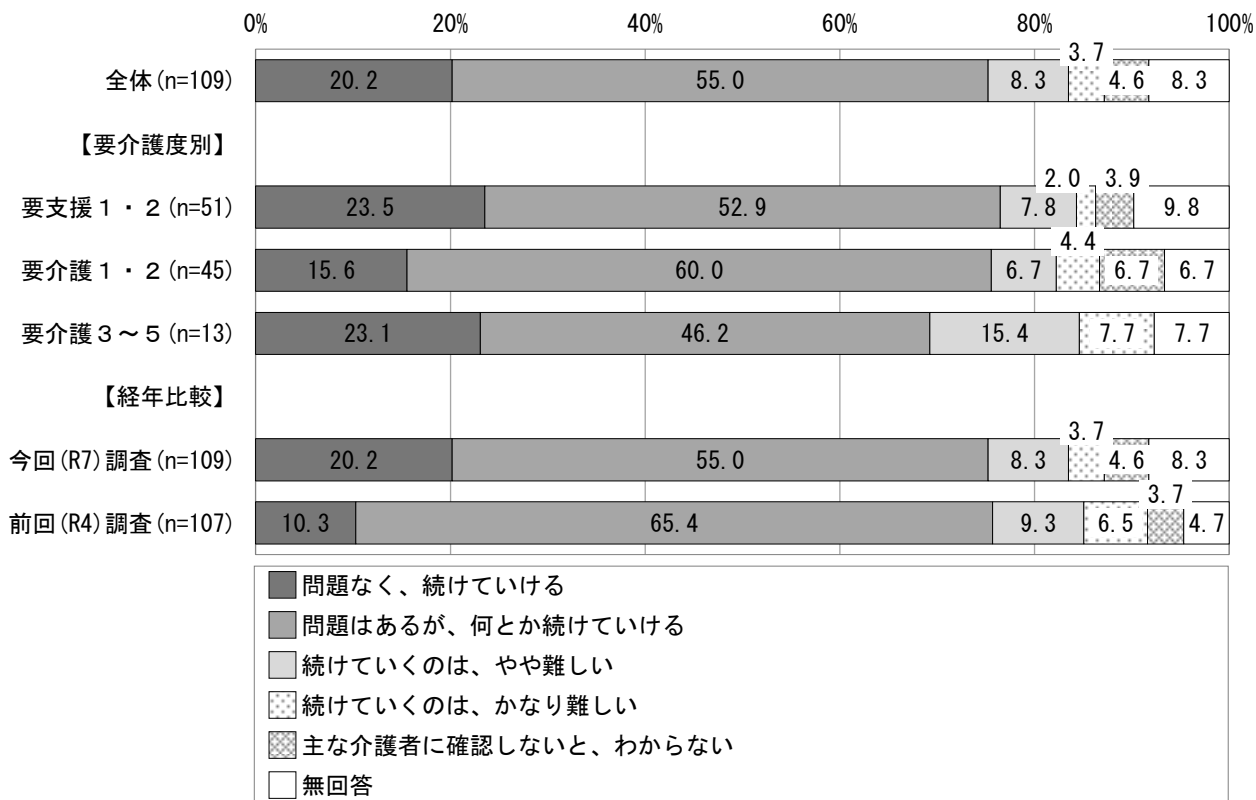
要介護度別では、要介護3～5で「介護をしている従業員への経済的な支援」が61.5%と高くなっている。

	介護をしている従業員への経済的な支援	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	(フレックスタイム制など)	(在宅勤務・テレワークなど)	働く場所の多様化	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者への設置	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	その他	特になし	わからない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体 (n=109)	33.0	27.5	27.5	27.5	18.3	10.1	10.1	7.3	0.0	15.6	5.5	10.1		
【要介護度別】														
要支援1・2 (n=51)	23.5	29.4	25.5	25.5	9.8	9.8	11.8	7.8	0.0	19.6	7.8	9.8		
要介護1・2 (n=45)	35.6	26.7	22.2	26.7	26.7	13.3	11.1	8.9	0.0	13.3	4.4	11.1		
要介護3～5 (n=13)	61.5	23.1	53.8	38.5	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7		
【経年比較】														
今回(R7)調査 (n=109)	33.0	27.5	27.5	27.5	18.3	10.1	10.1	7.3	0.0	15.6	5.5	10.1		
前回(R4)調査 (n=107)	13.1	29.9	23.4	30.8	17.8	2.8	8.4	14.0	3.7	18.7	0.9	9.3		

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.0%と最も高く、「問題なく、続けていける」が20.2%、「続けていくのは、やや難しい」が8.3%と続いている。

経年比較では「問題なく、続けていける」は、今回(R7)調査(20.2%)が前回(R4)調査(10.3%)を9.9ポイント上回っている。



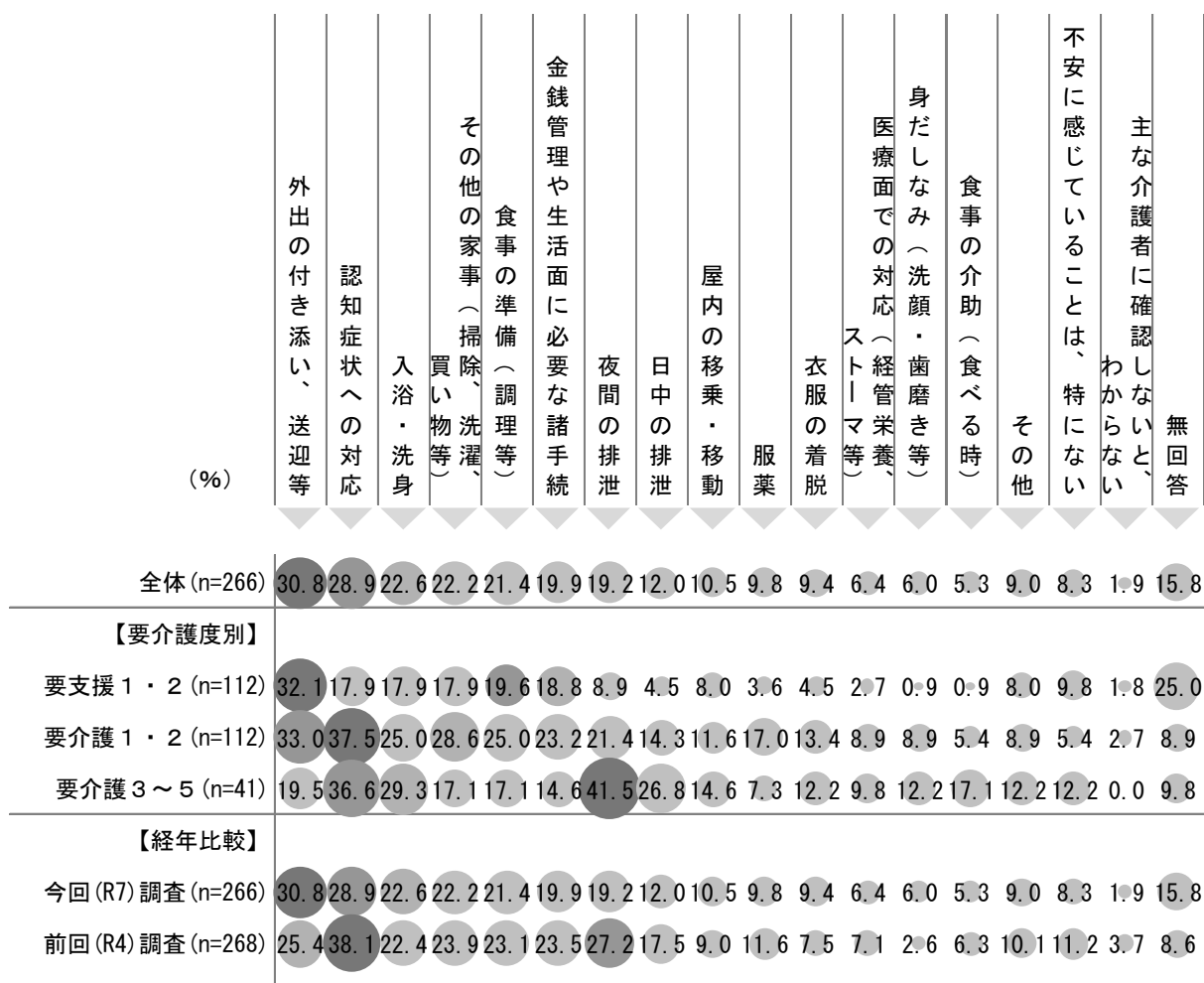
第4章 在宅介護実態調査

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません) (3つまで)

全体では、「外出の付き添い、送迎等」が30.8%と最も高く、「認知症状への対応」が28.9%、「入浴・洗身」が22.6%と続いている。

要介護度別では、要介護3～5で「夜間の排泄」が41.5%と高くなっている。

経年比較では「認知症状への対応」は、今回(R7)調査(28.9%)が前回(R4)調査(38.1%)を9.2ポイント下回っている。



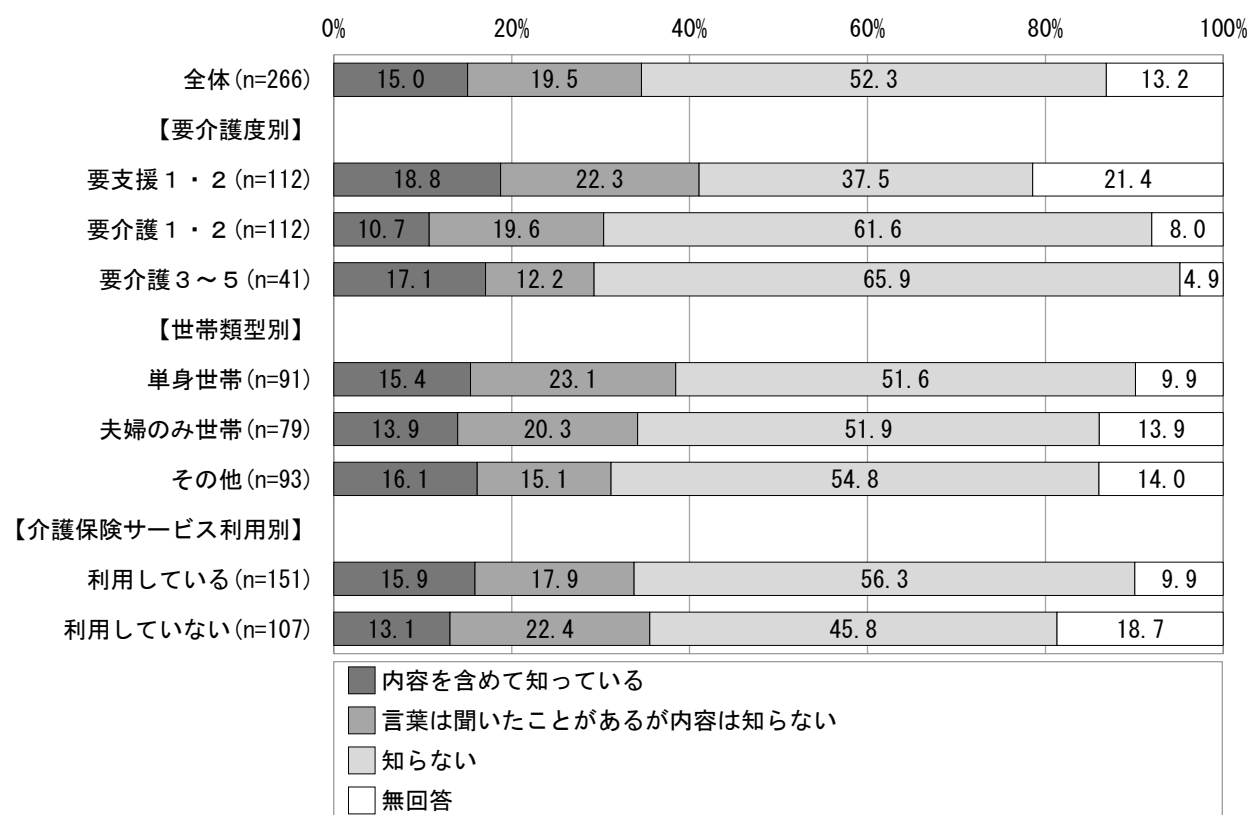
問6 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。その内容についてご存じですか。
 ※認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方

全体では、「知らない」が52.3%と最も高く、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が19.5%、「内容を含めて知っている」が15.0%と続いている。

要介護度別では、要介護3～5で「知らない」が65.9%と高くなっている。

世帯類型別では、その他で「知らない」が54.8%と高くなっている。

介護保険サービス利用別では「知らない」は、利用している(56.3%)が利用していない(45.8%)を10.5ポイント上回っている。



問7 認知症の人及び家族等が地域において安心して日常生活を営むにあたり、地域において実現できていると思うこと（ある程度実現できていることを含む）は次のどれですか。（いくつでも）

全体では、「わからない」が35.3%と最も高く、「認知症の人が自分らしく暮らせること」が17.3%、「認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていること」が16.5%と続いている。

介護保険サービス利用別では「認知症の人が自分らしく暮らせること」は、利用している（22.5%）が利用していない（11.2%）を11.3ポイント上回っている。

(%)	わからない	認知症の人が自分らしく暮らせること	認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていること	認知症の人が自分の思いを伝えられる家族、友人、仲間がいること	いずれも実現できていない	「新しい認知症観」市民が理解している多くのこと	認知症の人が地域で役割を果たしていること	無回答
全体 (n=266)	35.3	17.3	16.5	15.0	13.5	6.4	2.3	17.7
【要介護度別】								
要支援1・2 (n=112)	41.1	11.6	11.6	8.0	8.9	6.3	1.8	25.9
要介護1・2 (n=112)	31.3	23.2	19.6	19.6	15.2	5.4	1.8	11.6
要介護3～5 (n=41)	29.3	17.1	22.0	22.0	22.0	9.8	4.9	12.2
【世帯類型別】								
単身世帯 (n=91)	30.8	14.3	16.5	14.3	19.8	4.4	5.5	18.7
夫婦のみ世帯 (n=79)	32.9	20.3	20.3	21.5	10.1	7.6	0.0	17.7
その他 (n=93)	43.0	18.3	12.9	10.8	10.8	7.5	1.1	15.1
【介護保険サービス利用別】								
利用している (n=151)	33.8	22.5	18.5	14.6	15.2	8.6	4.0	13.2
利用していない (n=107)	36.4	11.2	14.0	15.9	11.2	3.7	0.0	23.4

問8 認知症についてどのようなことを知りたいですか。(いくつでも)

全体では、「認知症の人に対する介護の方法」が35.0%と最も高く、「認知症の人が利用できるサービス」が33.8%、「認知症の人に対する接し方」が33.1%と続いている。

要介護度別では、要介護1・2で「認知症の人に対する接し方」が37.5%と高くなっている。

世帯類型別では、夫婦のみ世帯で「認知症の人が利用できるサービス」が38.0%と高くなっている。

介護保険サービス利用別では「認知症の人に対する介護の方法」は、利用している(39.7%)が利用していない(28.0%)を11.7ポイント上回っている。

(%)	認知症の人に対する介護の方法	認知症の人が利用できるサービス	認知症の人に対する接し方	認知症に関する相談窓口	グループホームなどの施設や	認知症の症状	その他	特に知りたいことはない・わからない	無回答
全体 (n=266)	35.0	33.8	33.1	28.2	25.6	24.4	1.5	12.4	16.2
【要介護度別】									
要支援1・2 (n=112)	31.3	33.0	27.7	24.1	25.0	27.7	0.9	12.5	25.0
要介護1・2 (n=112)	36.6	36.6	37.5	35.7	28.6	25.0	2.7	8.0	10.7
要介護3～5 (n=41)	41.5	29.3	36.6	19.5	19.5	14.6	0.0	22.0	7.3
【世帯類型別】									
単身世帯 (n=91)	30.8	33.0	37.4	27.5	33.0	27.5	1.1	11.0	16.5
夫婦のみ世帯 (n=79)	36.7	38.0	26.6	26.6	25.3	17.7	0.0	11.4	15.2
その他 (n=93)	38.7	32.3	35.5	30.1	18.3	26.9	3.2	15.1	15.1
【介護保険サービス利用別】									
利用している (n=151)	39.7	35.1	36.4	28.5	26.5	25.8	0.7	13.2	11.3
利用していない (n=107)	28.0	30.8	29.0	29.0	25.2	22.4	2.8	11.2	23.4

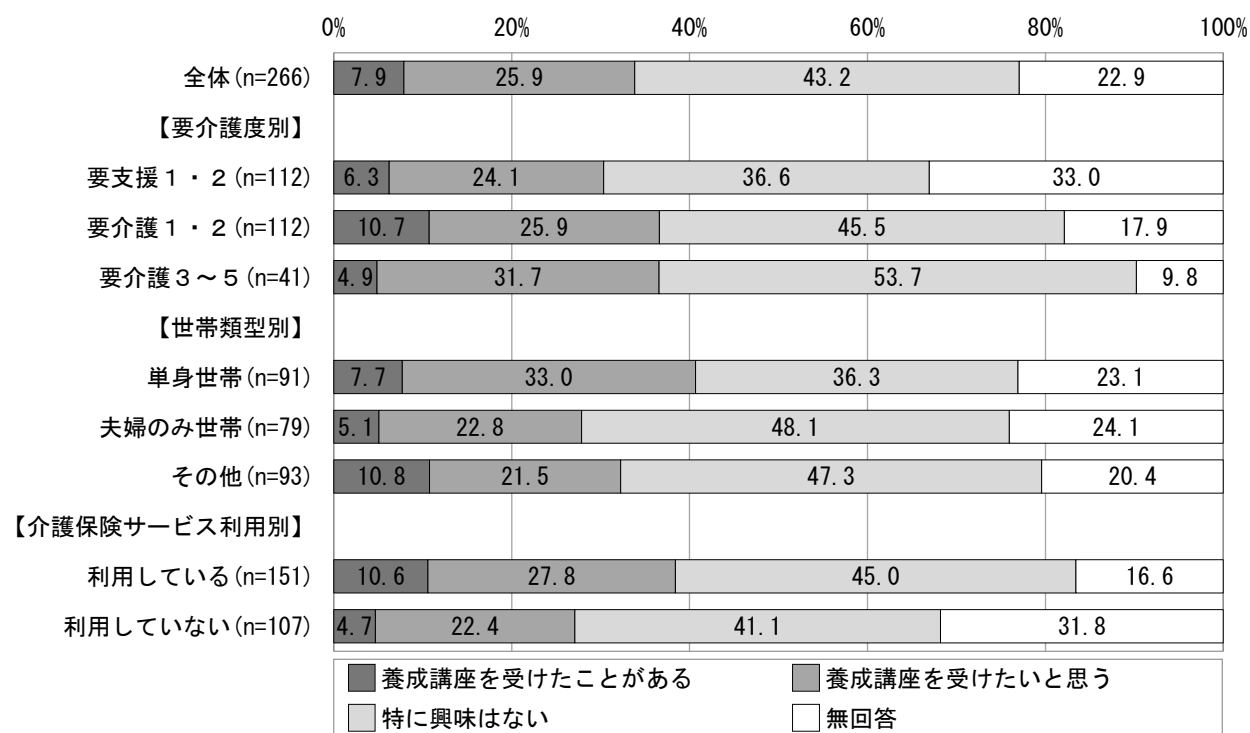
第4章 在宅介護実態調査

問9 「認知症サポーター」についてどのように思いますか。

全体では、「特に興味はない」が43.2%と最も高く、「養成講座を受けたいと思う」が25.9%、「養成講座を受けたことがある」が7.9%と続いている。

要介護度別では、要介護3～5で「特に興味はない」が53.7%と高くなっている。

世帯類型別では、夫婦のみ世帯で「特に興味はない」が48.1%と高くなっている。



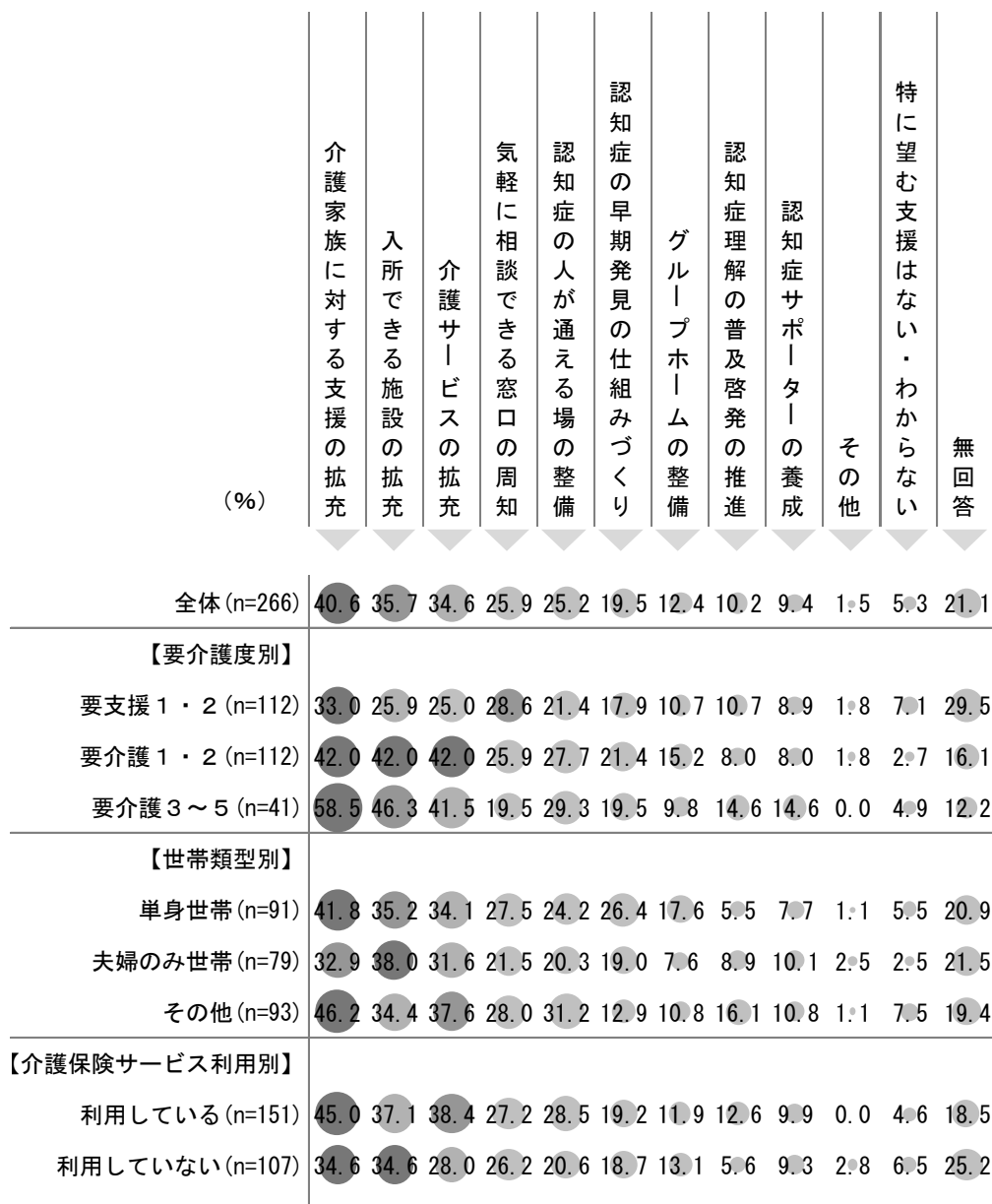
※「養成講座を受ける予定がある」との回答は見られない

問 10 認知症の人や認知症の人がいる家族に対して、どのような支援を望みますか。(いくつでも)

全体では、「介護家族に対する支援の拡充」が40.6%と最も高く、「入所できる施設の拡充」が35.7%、「介護サービスの拡充」が34.6%と続いている。

世帯類型別では、夫婦のみ世帯で「入所できる施設の拡充」が38.0%と高くなっている。

介護保険サービス利用別では「介護サービスの拡充」は、利用している(38.4%)が利用していない(28.0%)を10.4ポイント上回っている。

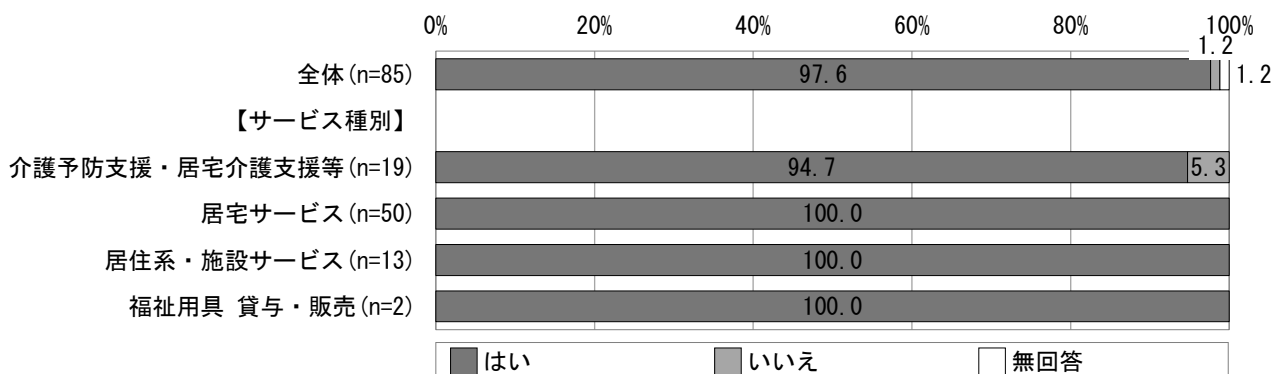


第5章 事業者に対する調査

1. 貴事業所の基本情報について

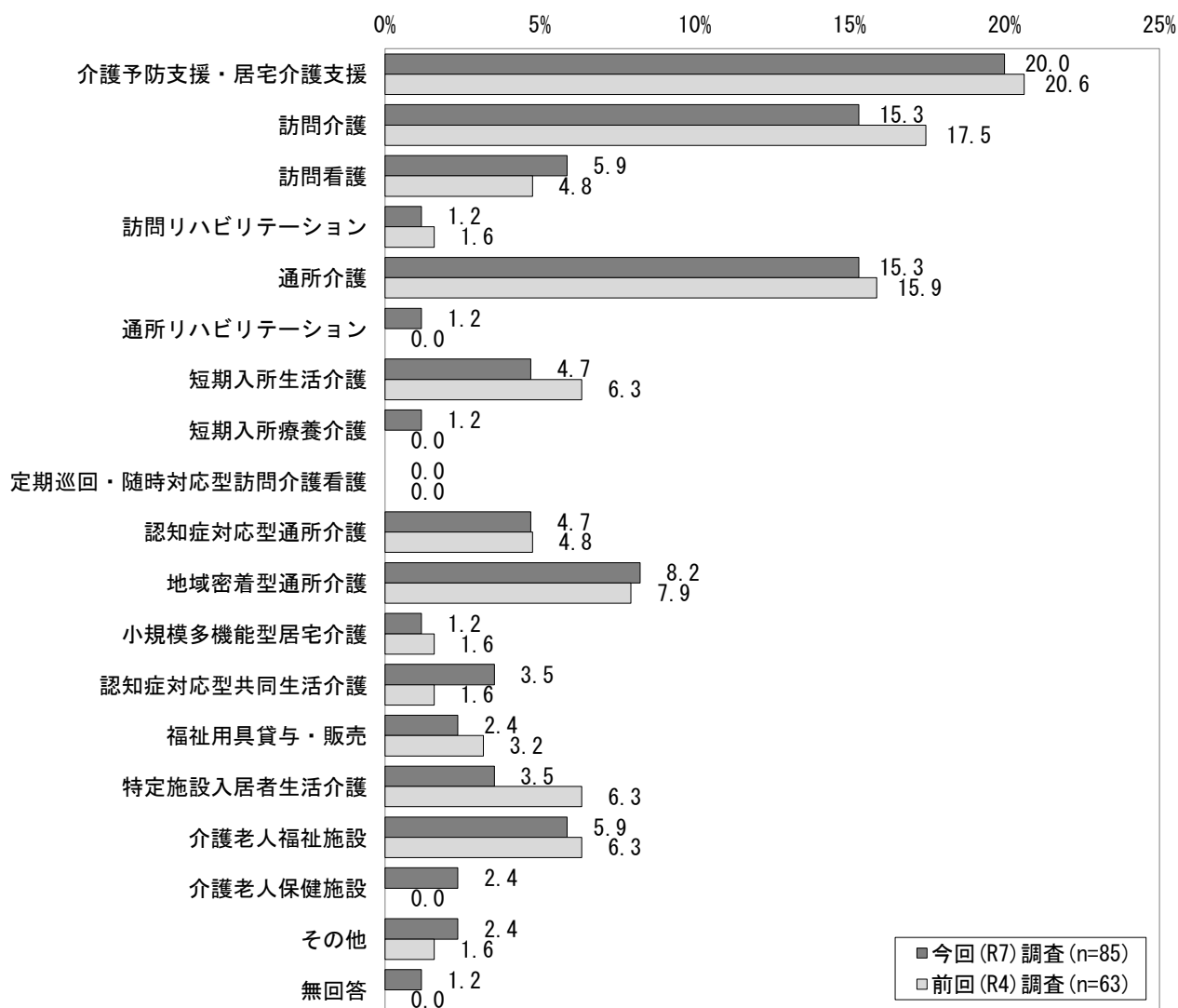
問2 貴事業所は、令和7年12月1日時点で、開設から1年以上経過していますか。

全体では、「はい」が97.6%、「いいえ」が1.2%となっている。



問3 貴事業所のサービス種別は、以下のうちどちらですか。

全体では、「介護予防支援・居宅介護支援」が20.0%と最も高く、「訪問介護」と「通所介護」が、それぞれ15.3%と続いている。



※以下、数値回答の設問について、「無回答」は「0」として平均値を算出している

問4 貴事業所の「介護職員」の数（令和7年12月1日時点）をご記入ください。

（1）介護職員の総数

介護職員の総数の平均は13.6人となっている。

	平均値		平均値	
介護職員の総数	13.6人	左記のうち常勤	男性	2.8人
			女性	5.1人
		左記のうち非常勤	男性	0.6人
			女性	5.4人

（2）介護職員の総数のうち外国人・派遣職員

介護職員の総数のうち外国人・派遣職員の平均はそれぞれ、0.8人、0.2人となっている。

	平均値
介護職員の総数のうち外国人	0.8人
介護職員の総数のうち派遣職員	0.2人

問5 貴事業所の過去1週間（令和7年12月1日～12月7日）における「介護職員」1人あたり勤務時間をご記入ください。

「介護職員」1人あたり勤務時間をみると、常勤職員で36.4時間／週、非常勤職員で18.7時間／週となっている。

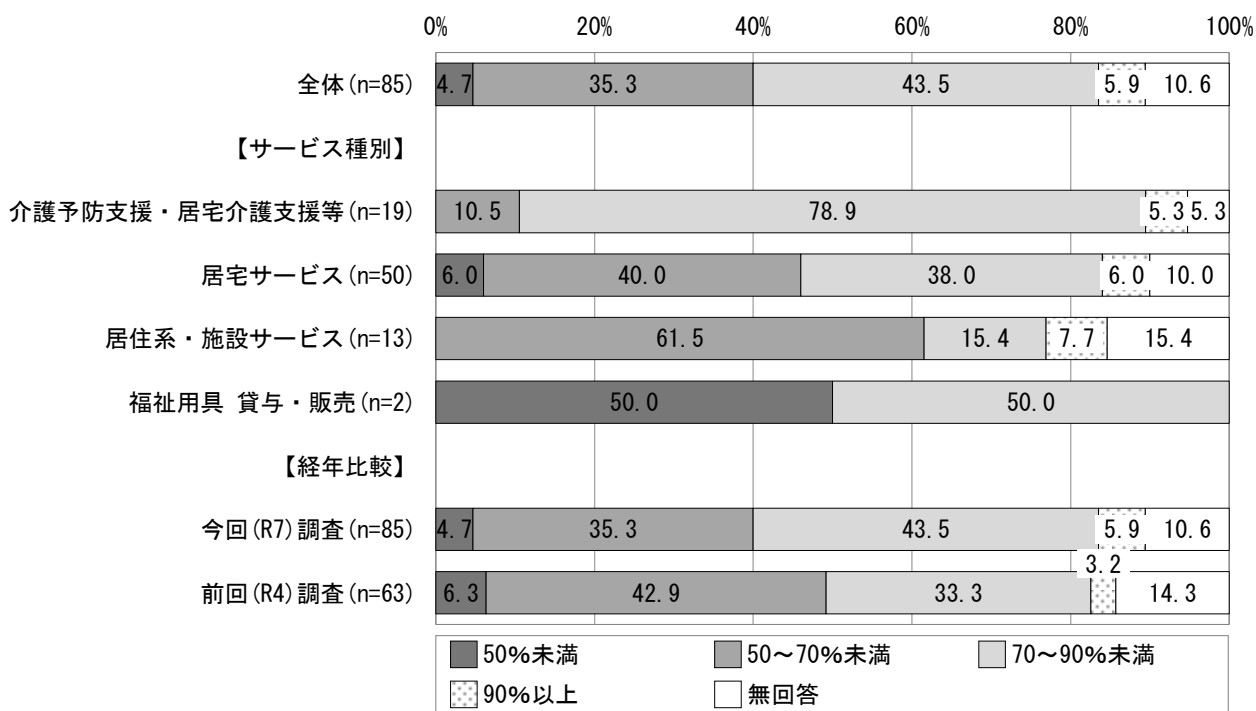
	平均値
常勤職員	36.4時間／週
非常勤職員	18.7時間／週

問6 貴事業所の令和6年度における介護報酬（介護保険適用外での収入は除きます。）に対する人件費の割合は、以下のどちらですか。

全体では、「70～90%未満」が43.5%と最も高く、「50～70%未満」が35.3%、「90%以上」が5.9%と続いている。

サービス種別では、居住系・施設サービスで「50～70%未満」が61.5%と高くなっている。

経年比較では「70～90%未満」は、今回(R7)調査（43.5%）が前回(R4)調査（33.3%）を10.2ポイント上回っている。



2. 人材確保・定着等について

問1 過去1年間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）の「介護職員」の採用者数と離職者数をご記入ください。

「介護職員」の採用者数と離職者数の平均をみると、それぞれ、1.7人、1.2人となっている。

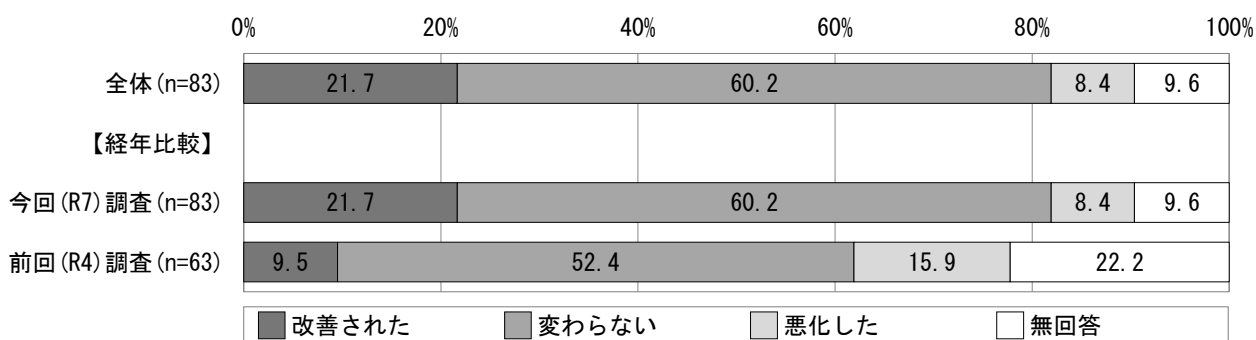
採用者数	平均値
合計	1.7人
うち常勤	1.5人
うち非常勤	0.8人

離職者数	平均値
合計	1.2人
うち常勤	0.5人
うち非常勤	0.7人

問1-1 過去1年間の「介護職員」の離職率は、前の1年間と比較していかがでしたか。
 ※問2で「はい」と回答した方に質問

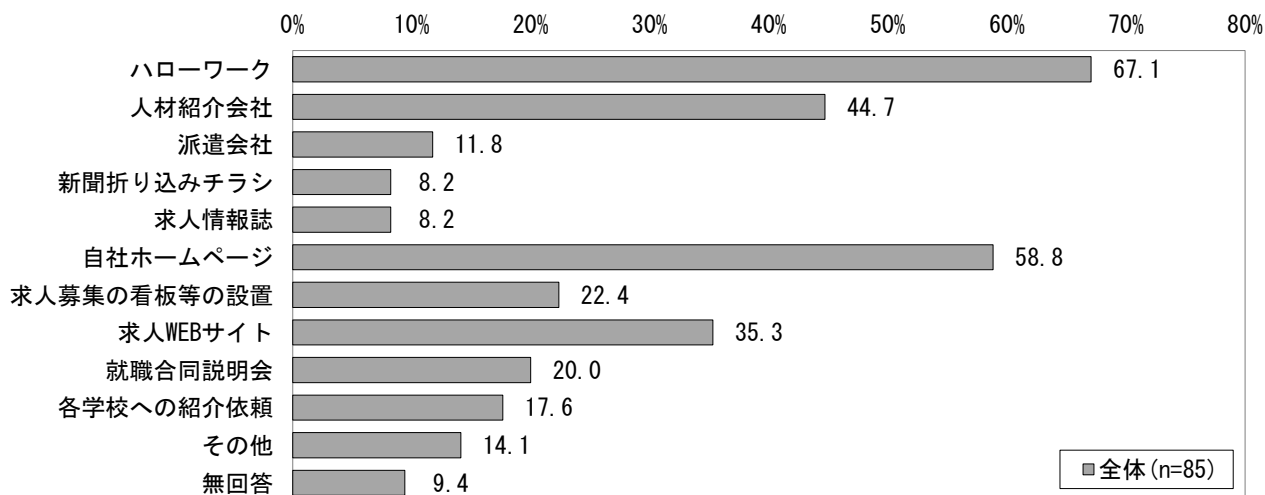
全体では、「変わらない」が60.2%と最も高く、「改善された」が21.7%、「悪化した」が8.4%と続いている。

経年比較では「改善された」は、今回(R7)調査(21.7%)が前回(R4)調査(9.5%)を12.2ポイント上回っている。



問2 「介護職員」の人材募集に活用しているものは何ですか。(いくつでも)

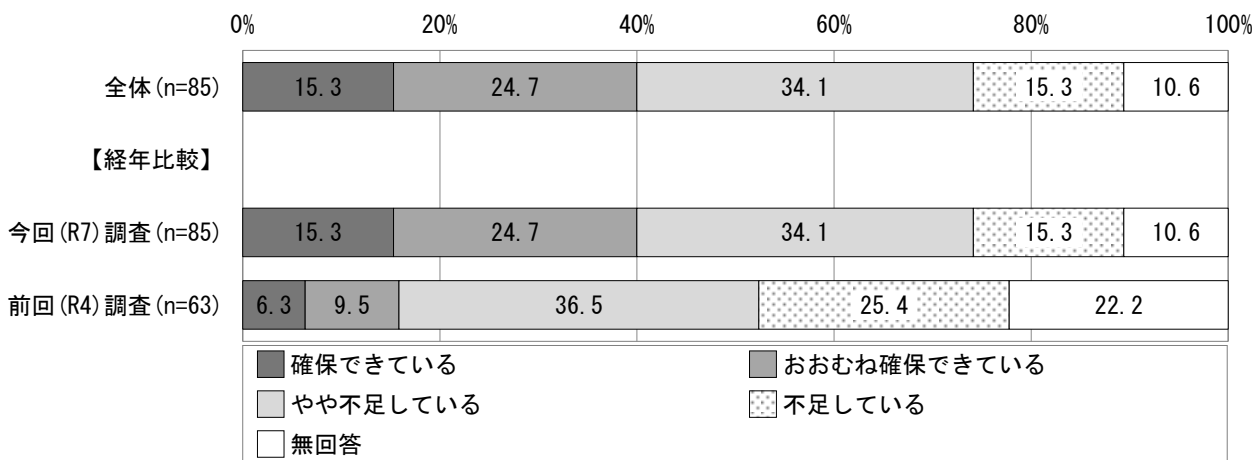
全体では、「ハローワーク」が67.1%と最も高く、「自社ホームページ」が58.8%、「人材紹介会社」が44.7%と続いている。



問3 貴事業所の「介護職員」の人材確保の状況は、いかがですか。

全体では、「やや不足している」が34.1%と最も高く、「おおむね確保できている」が24.7%、「確保できている」と「不足している」が、それぞれ15.3%と続いている。

経年比較では「おおむね確保できている」は、今回(R7)調査(24.7%)が前回(R4)調査(9.5%)を15.2ポイント上回っている。

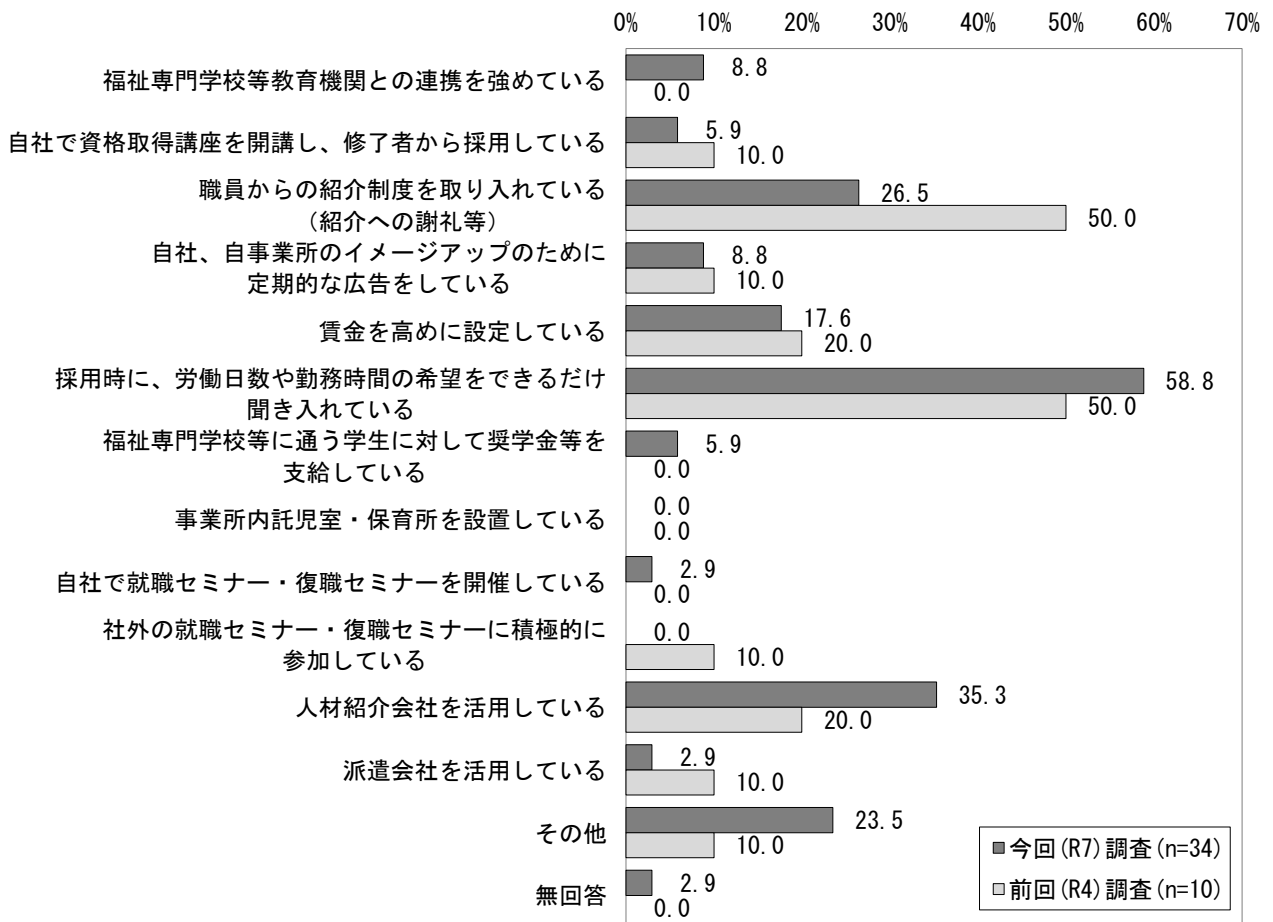


第5章 事業者に対する調査

問3-1 貴事業所のどのような方策が確保につながっているとお考えですか。(いくつでも)
 ※問3で「確保できている」「おおむね確保できている」と回答した方に質問

全体では、「採用時に、労働日数や勤務時間の希望をできるだけ聞き入れている」が58.8%と最も高く、「人材紹介会社を活用している」が35.3%、「職員からの紹介制度を取り入れている(紹介への謝礼等)」が26.5%と続いている。

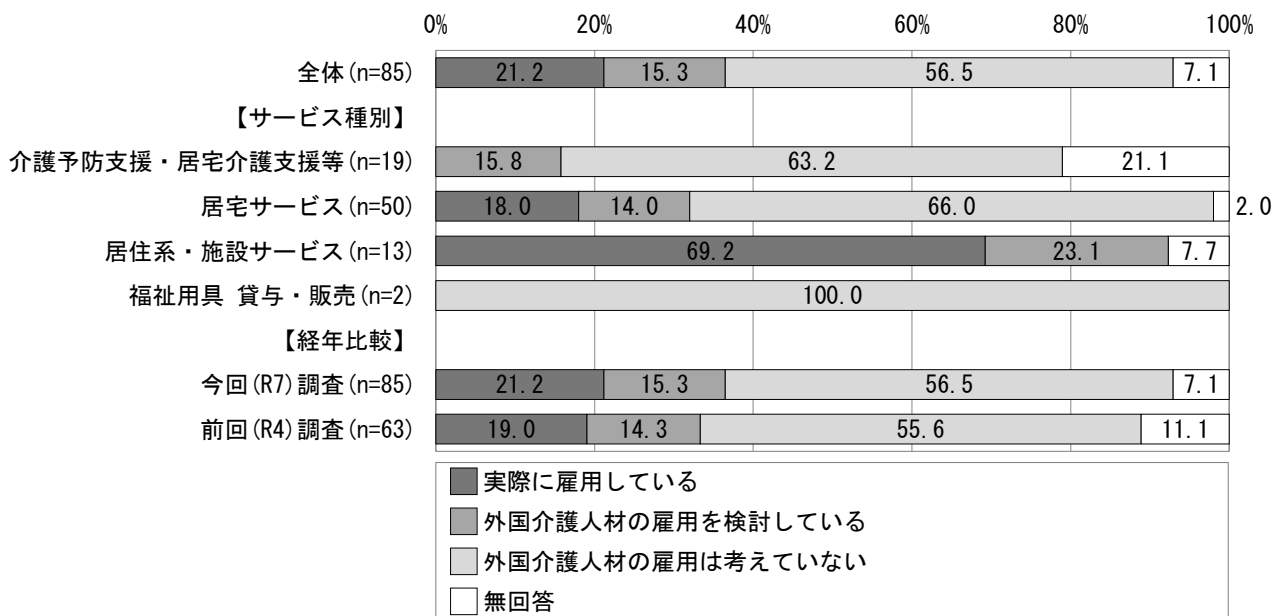
経年比較では「職員からの紹介制度を取り入れている(紹介への謝礼等)」は、今回(R7)調査(26.5%)が前回(R4)調査(50.0%)を23.5ポイント下回っている。



問4 外国介護人材の受入れを検討されていますか。

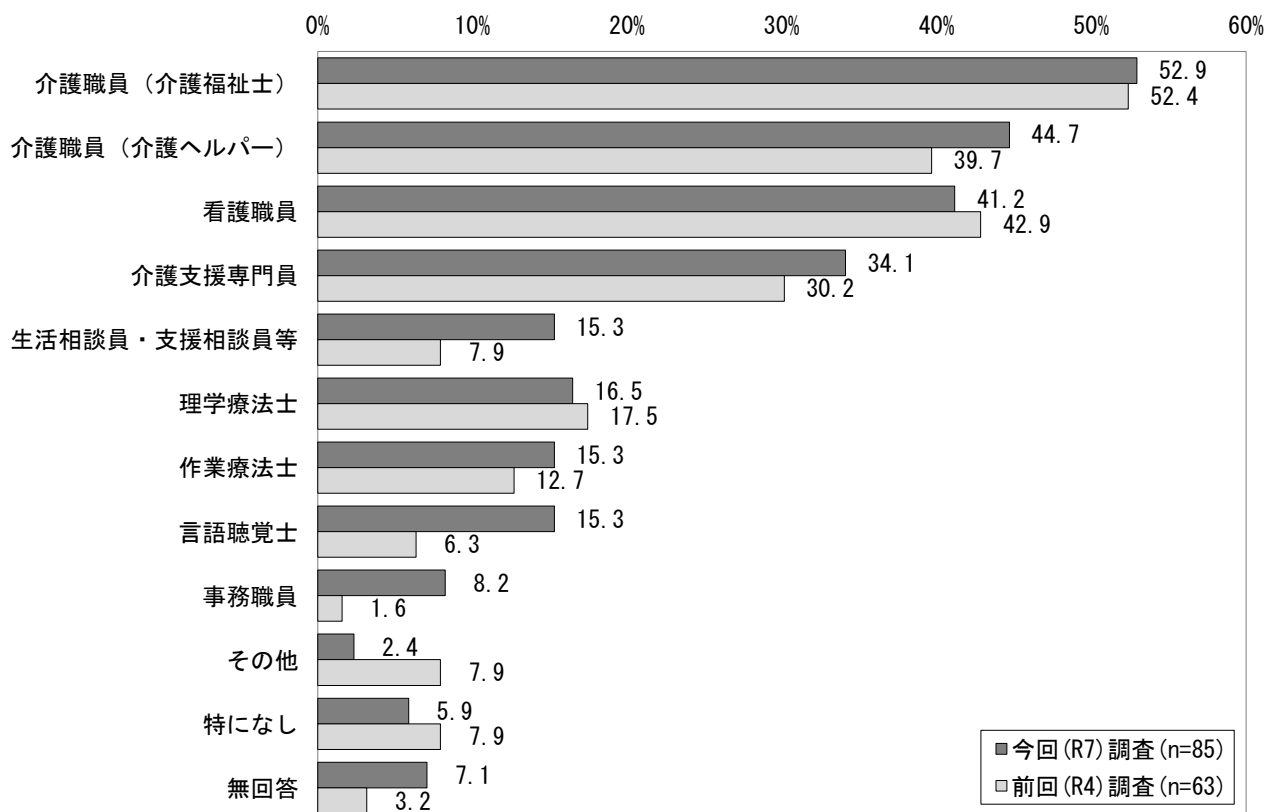
全体では、「外国介護人材の雇用は考えていない」が 56.5%と最も高く、「実際に雇用している」が 21.2%、「外国介護人材の雇用を検討している」が 15.3%と続いている。

サービス種別では、居住系・施設サービスで「実際に雇用している」が 69.2%と高くなっている。



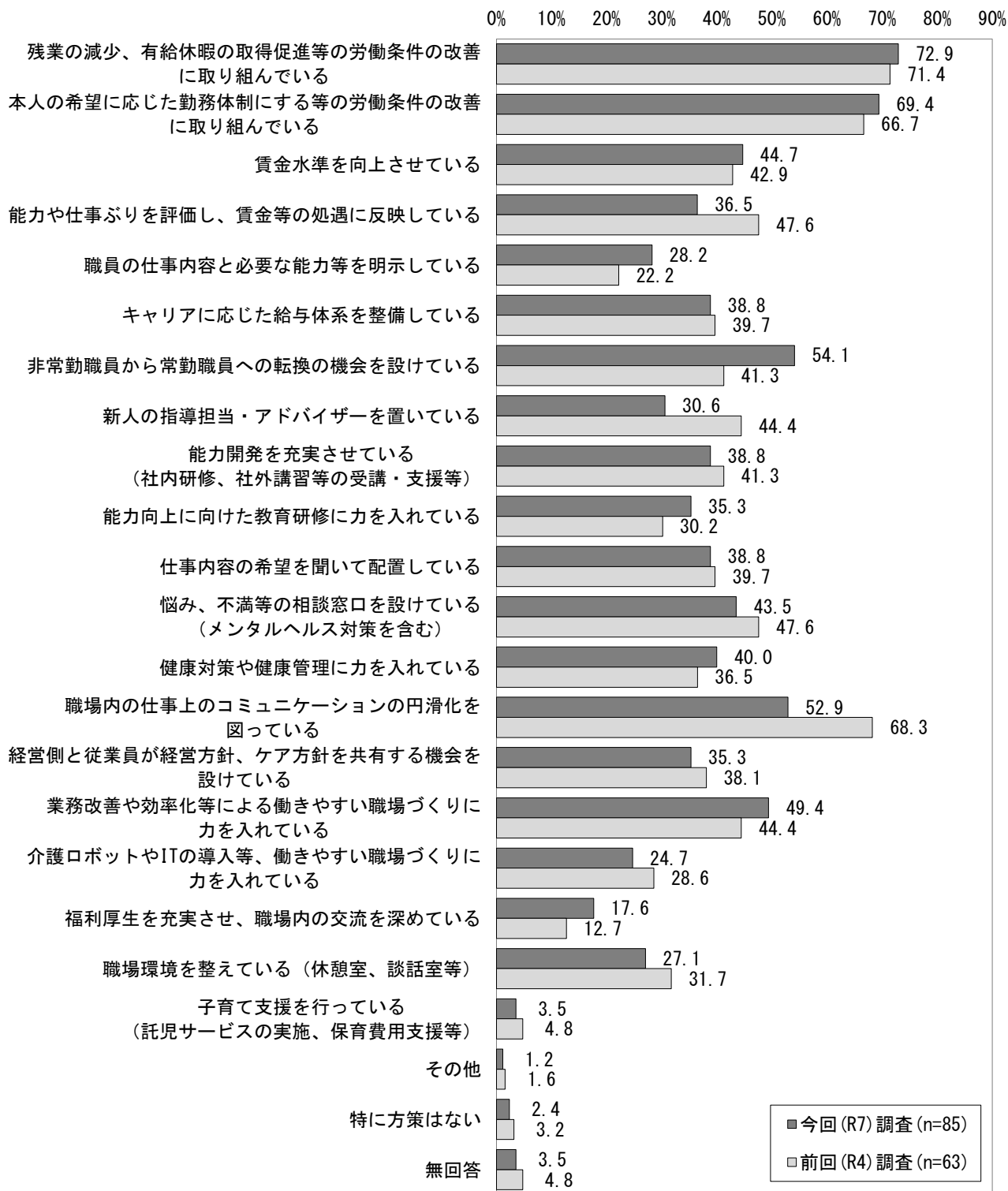
問5 雇用することが難しいと思う職種は、以下のうちどちらですか。(いくつでも)

全体では、「介護職員（介護福祉士）」が 52.9%と最も高く、「介護職員（介護ヘルパー）」が 44.7%、「看護職員」が 41.2%と続いている。



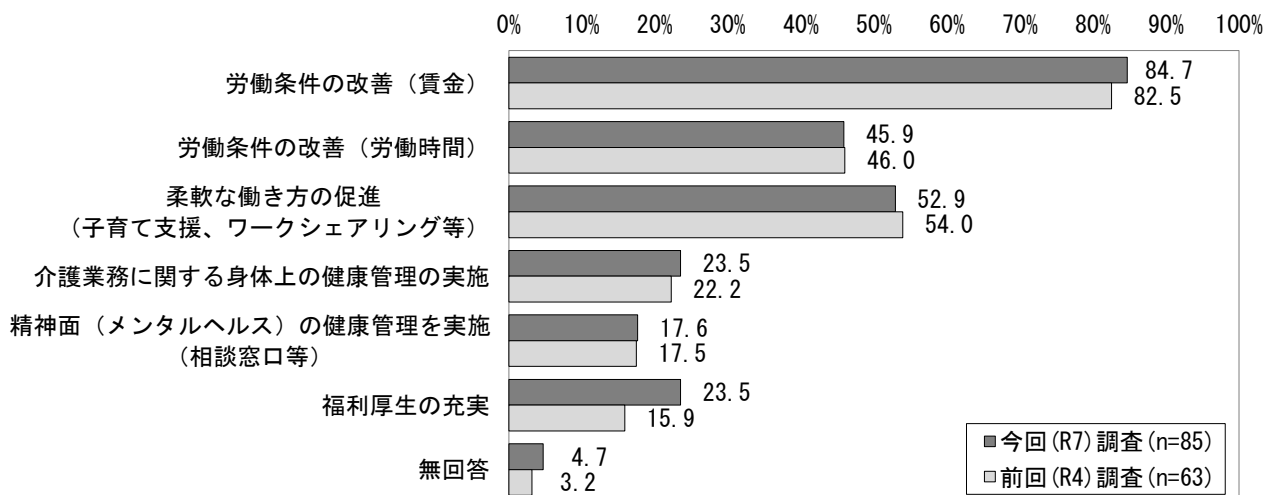
問6 貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るためにどのような方策を取っていますか。(いくつでも)

全体では、「残業の減少、有給休暇の取得促進等の労働条件の改善に取り組んでいる」が72.9%と最も高く、「本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる」が69.4%、「非常勤職員から常勤職員への転換の機会を設けている」が54.1%と続いている。



問7 労働環境整備・改善のために必要な取組みは、以下のうちどちらだと思いますか。(3つまで)

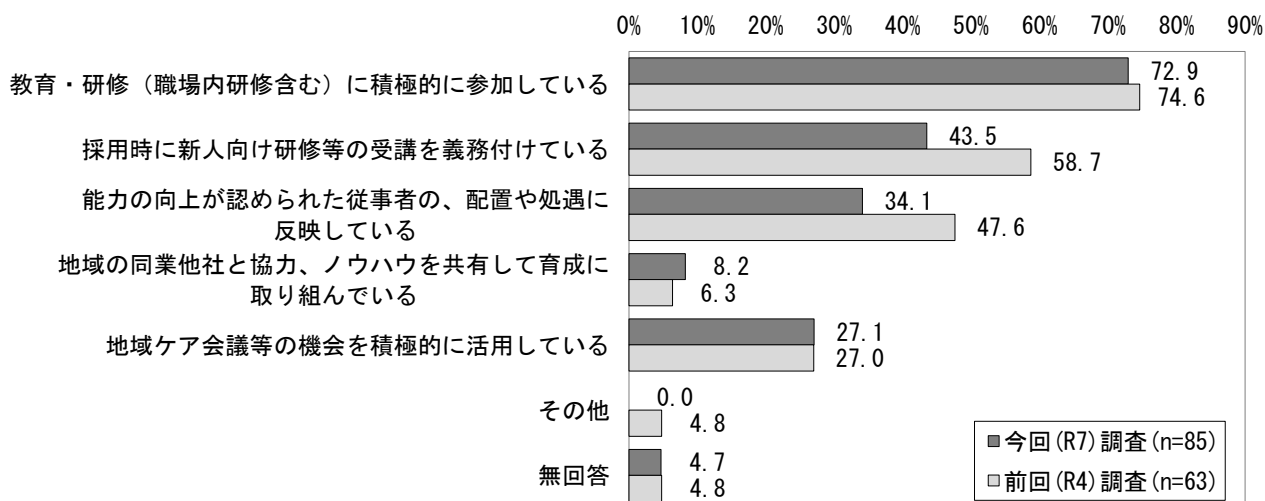
全体では、「労働条件の改善（賃金）」が84.7%と最も高く、「柔軟な働き方の促進（子育て支援、ワークシェアリング等）」が52.9%、「労働条件の改善（労働時間）」が45.9%と続いている。



問8 人材育成のためにどのようなことを行っていますか。(いくつでも)

全体では、「教育・研修（職場内研修含む）に積極的に参加している」が72.9%と最も高く、「採用時に新人向け研修等の受講を義務付けている」が43.5%、「能力の向上が認められた従事者の、配置や処遇に反映している」が34.1%と続いている。

経年比較では「採用時に新人向け研修等の受講を義務付けている」は、今回 (R7) 調査 (43.5%) が前回 (R4) 調査 (58.7%) を15.2ポイント下回っている。

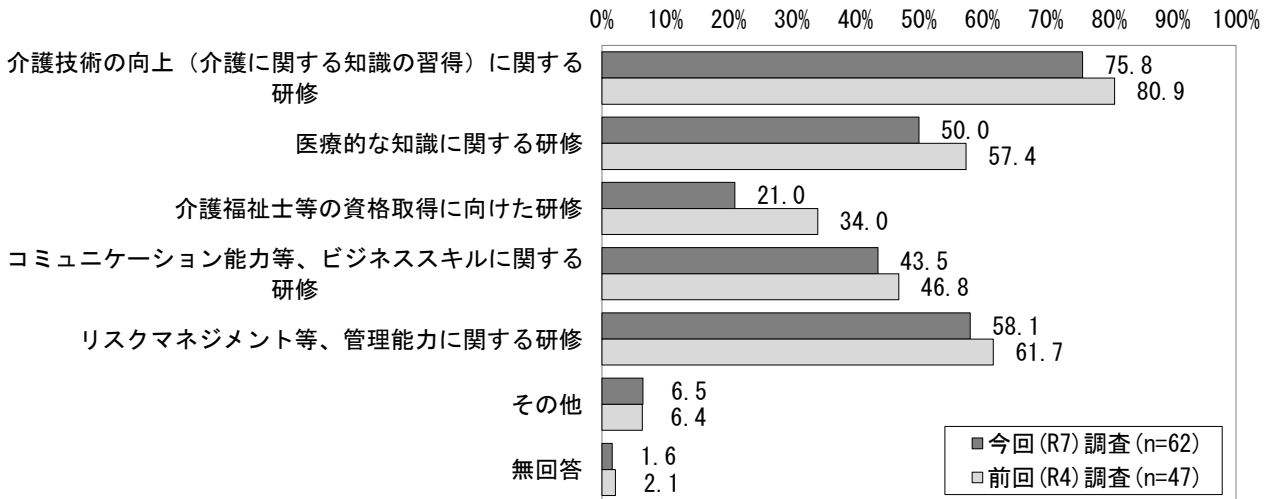


第5章 事業者に対する調査

問8-1 従事者にはどのような研修を実施していますか。(いくつでも)
 ※問8で「教育・研修（職場内研修含む）に積極的に参加している」と回答した方に質問

全体では、「介護技術の向上（介護に関する知識の習得）に関する研修」が75.8%と最も高く、「リスクマネジメント等、管理能力に関する研修」が58.1%、「医療的な知識に関する研修」が50.0%と続いている。

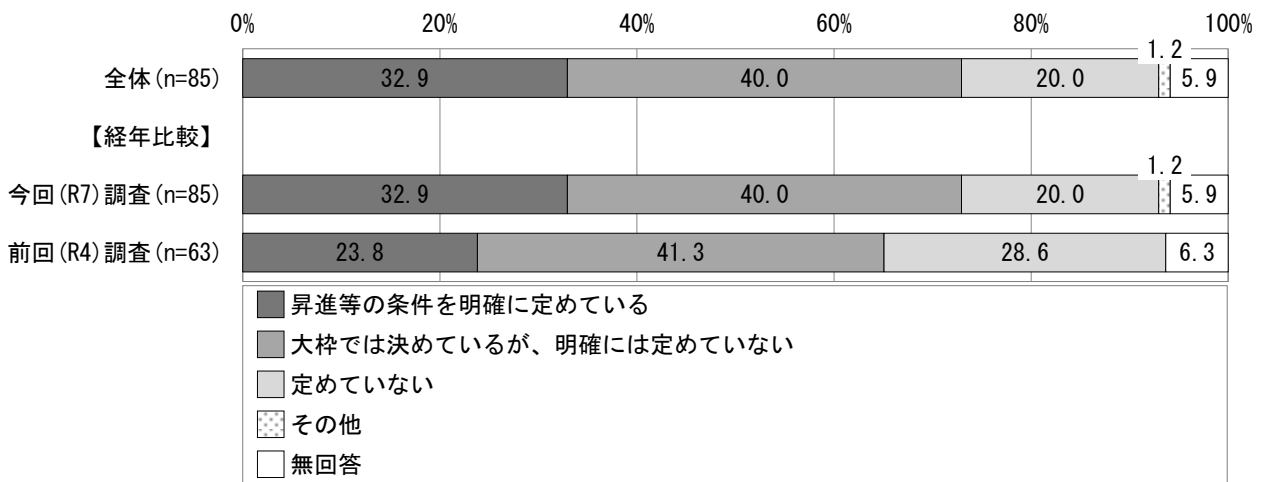
経年比較では「介護福祉士等の資格取得に向けた研修」は、今回(R7)調査(21.0%)が前回(R4)調査(34.0%)を13.0ポイント下回っている。



問9 職場でのキャリアアップに関する整備状況はいかがですか。

全体では、「大枠では決めているが、明確には定めていない」が40.0%と最も高く、「昇進等の条件を明確に定めている」が32.9%、「定めていない」が20.0%と続いている。

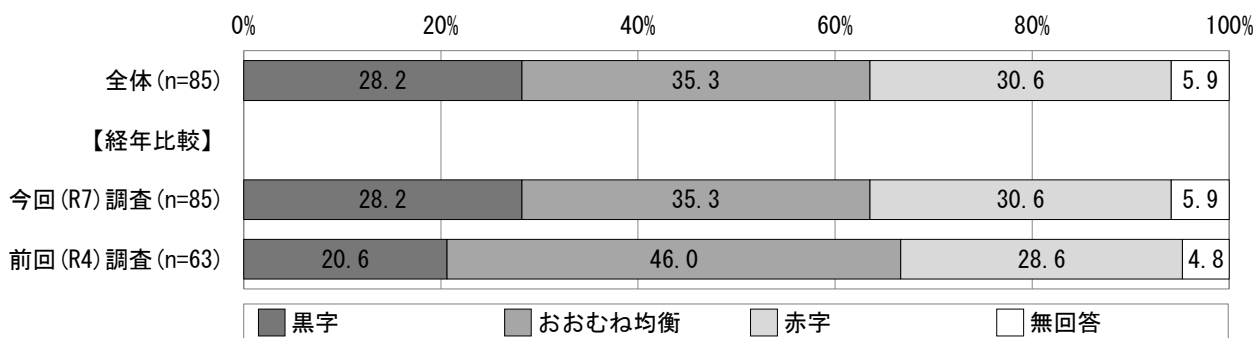
経年比較では「昇進等の条件を明確に定めている」は、今回(R7)調査(32.9%)が前回(R4)調査(23.8%)を9.1ポイント上回っている。



3. 経営状態や課題等について

問1 令和6年度の貴事業所の経営状態は以下のうちどちらですか。

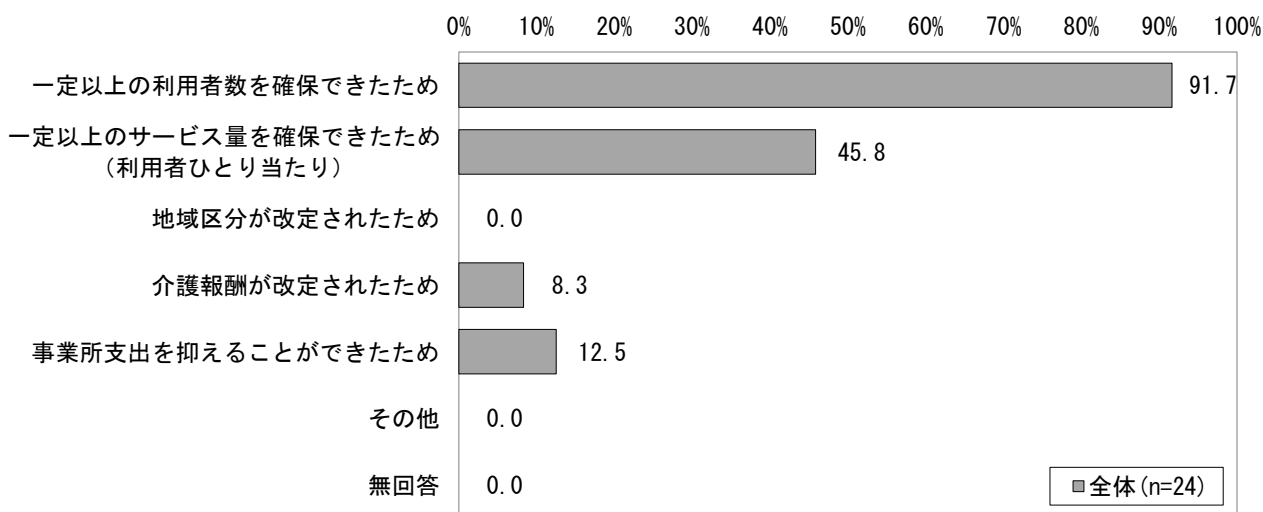
全体では、「おおむね均衡」が35.3%と最も高く、「赤字」が30.6%、「黒字」が28.2%と続いている。
 経年比較では「おおむね均衡」は、今回(R7)調査(35.3%)が前回(R4)調査(46.0%)を10.7ポイント下回っている。



問1-1 その理由として該当するものは、以下のうちどちらですか。(2つまで)

※問1で「黒字」と回答した方に質問

全体では、「一定以上の利用者数を確保できたため」が91.7%と最も高く、「一定以上のサービス量を確保できたため(利用者ひとり当たり)」が45.8%、「事業所支出を抑えることができたため」が12.5%と続いている。

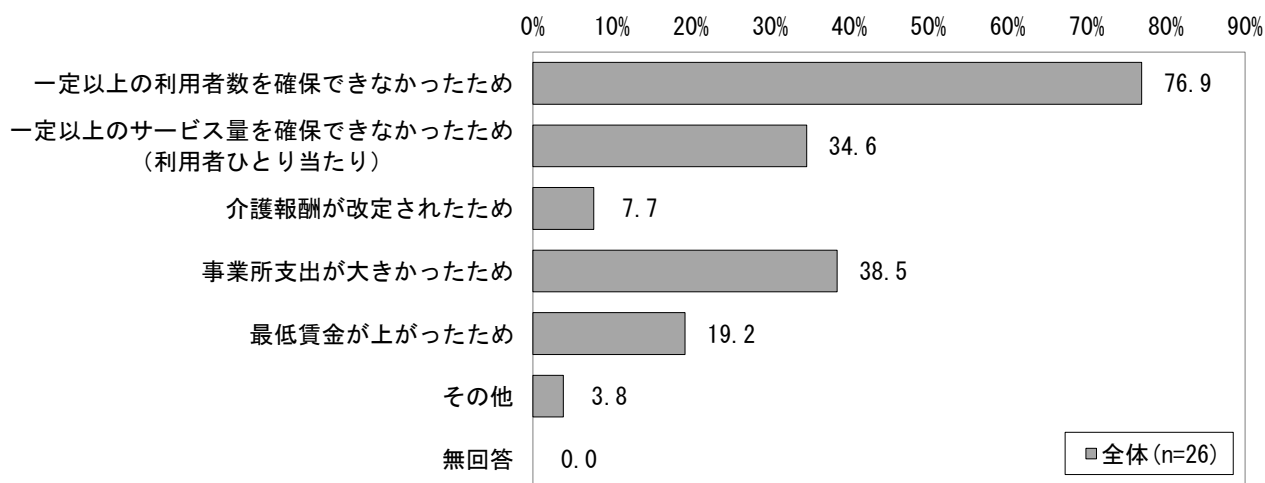


第5章 事業者に対する調査

問1-2 その理由として該当するものは、以下のうちどちらですか。(2つまで)

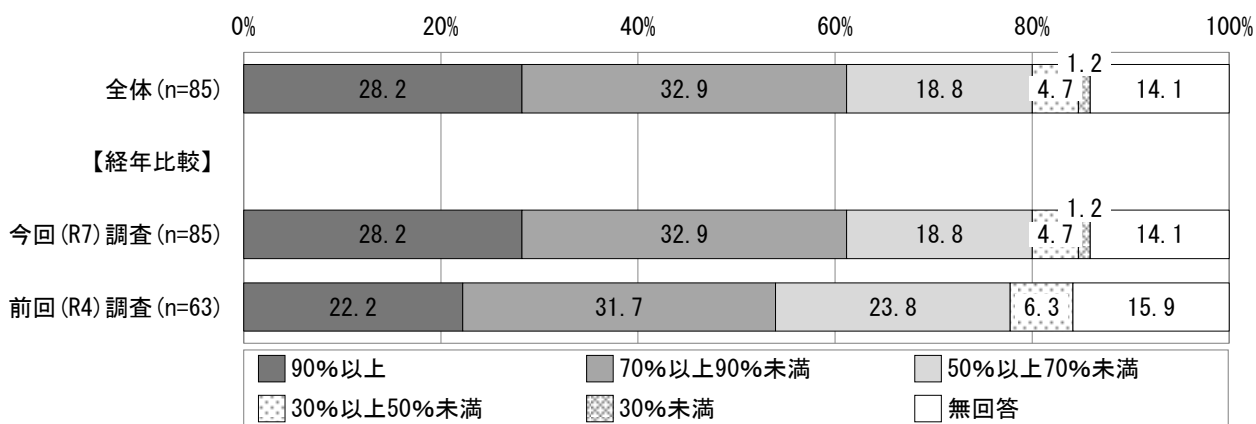
※問1で「赤字」と回答した方に質問

全体では、「一定以上の利用者数を確保できなかったため」が76.9%と最も高く、「事業所支出が大きかったため」が38.5%、「一定以上のサービス量を確保できなかったため(利用者ひとり当たり)」が34.6%と続いている。



問2 令和7年度現在、貴事業所での定員に対する稼働状況 (月の稼働率) は、以下のうちどちらですか。

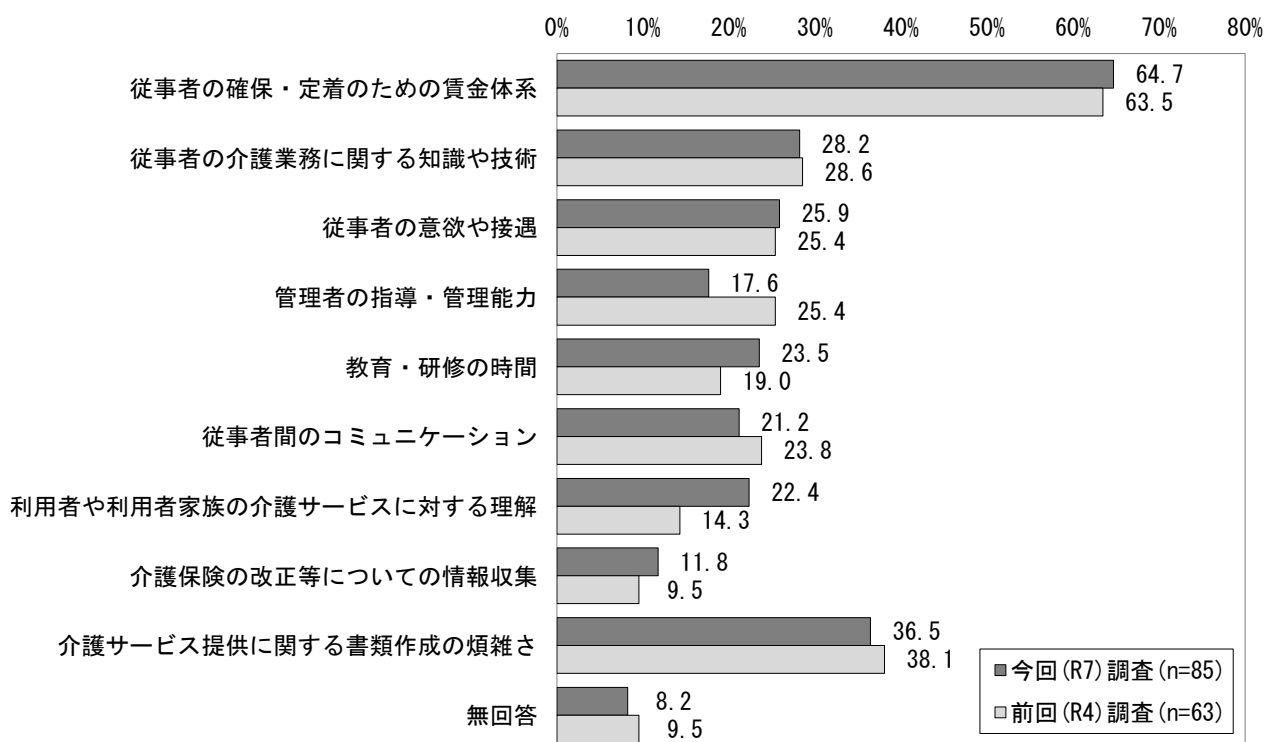
全体では、「70%以上 90%未満」が32.9%と最も高く、「90%以上」が28.2%、「50%以上 70%未満」が18.8%と続いている。



問3 貴事業所を運営する上での課題は、以下のうちどちらですか。(3つまで)

全体では、「従事者の確保・定着のための賃金体系」が64.7%と最も高く、「介護サービス提供に関する書類作成の煩雑さ」が36.5%、「従事者の介護業務に関する知識や技術」が28.2%と続いている。

経年比較では「利用者や利用者家族の介護サービスに対する理解」は、今回(R7)調査(22.4%)が前回(R4)調査(14.3%)を8.1ポイント上回っている。

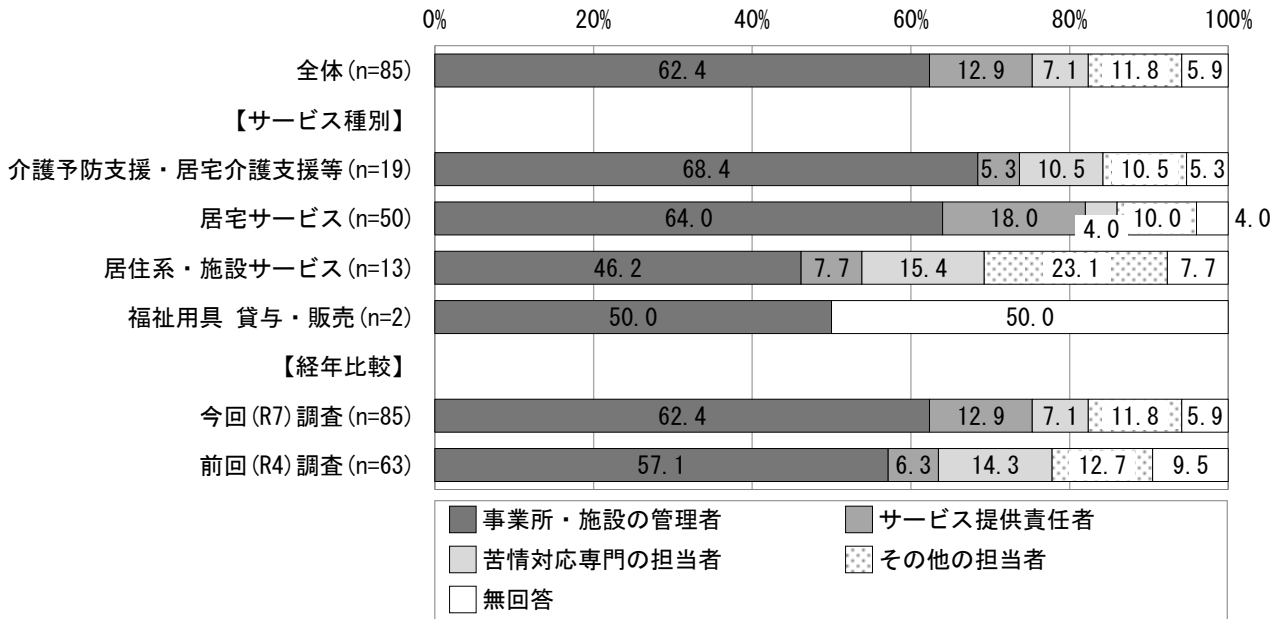


第5章 事業者に対する調査

問4 利用者からの苦情や要望、意見等を受け付ける窓口となっている方は、以下のうちどちらですか。

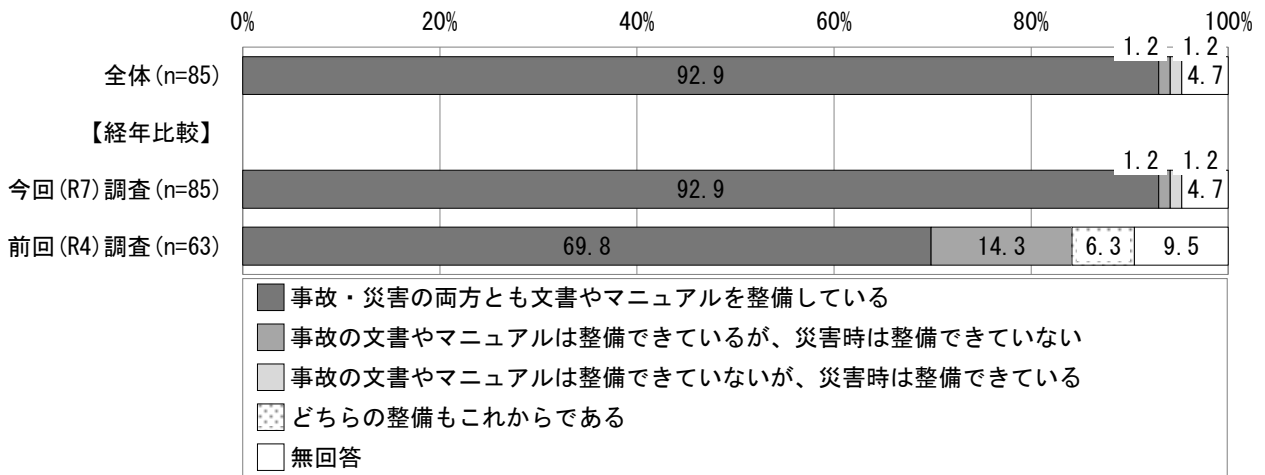
全体では、「事業所・施設の管理者」が62.4%と最も高く、「サービス提供責任者」が12.9%、「その他の担当者」が11.8%と続いている。

サービス種別では、介護予防支援・居宅介護支援等で「事業所・施設の管理者」が68.4%と高くなっている。



問5 サービス提供中の事故、災害時の対応方法について、文書やマニュアルは整備されていますか。

全体では、「事故・災害の両方とも文書やマニュアルを整備している」が92.9%と最も高く、「事故の文書やマニュアルは整備できているが、災害時は整備できていない」と「事故の文書やマニュアルは整備できていないが、災害時は整備できている」が、それぞれ1.2%と続いている。



4. 在宅生活の継続と利用者のニーズ等について

※本節の問1～問7は

「1. 貴事業所の基本情報について」問3で「介護予防支援・居宅介護支援」と回答した方に質問

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数および利用者数についてご記入ください。

ケアマネジャーの人数の平均をみると、5.1人となっている。

また、自宅等にお住まいの利用者数の平均は171人となっている。

	平均値
①所属するケアマネジャーの人数	5.1人
②自宅等（サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームを除く）にお住まいの利用者数	171人
③サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームにお住まいの利用者数	1.2人

問2 貴事業所において、過去1年間（令和6年12月1日～令和7年11月30日）の「①自宅等（サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「②自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。①自宅等から、居場所を変更した利用者

自宅等から、居場所を変更した要介護度別の利用者数と自宅等で死亡した利用者数の平均※は以下のとおりである。

自宅等で死亡した利用者数（10.6人）が半分以上を占めていることがわかる。

	平均値	
①自宅等から、居場所を変更した利用者	要支援1	0.1人
	要支援2	0人
	要介護1	2.5人
	要介護2	2.4人
	要介護3	2.7人
	要介護4	1.9人
	要介護5	1.7人
	申請中・不明	0.1人
②自宅等での死亡	10.6人	
①と②の合計	16.9人	

※回答をそのまま使用しているため、各選択肢の平均値の合算と合計欄の値に差が生じる場合がある。

第5章 事業者に対する調査

問3 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等（サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。

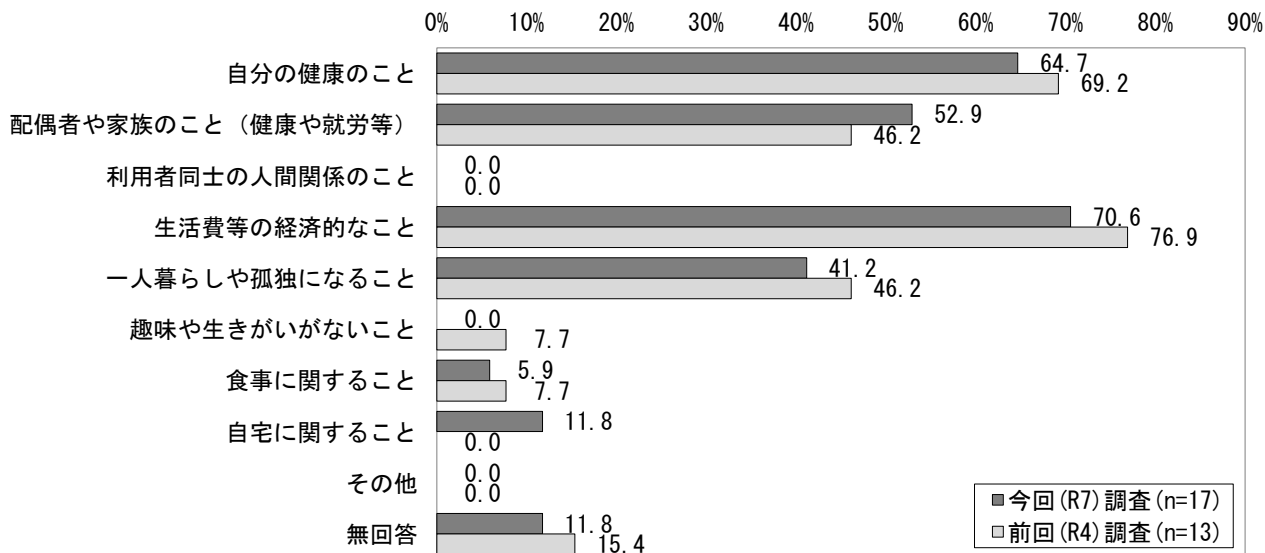
自宅等から、居場所を変更した行先別の利用者数の平均※は、以下のとおりである。

	平均値	
	市内	市外
①兄弟・子ども・親戚等の家	0.1人	0.2人
②住宅型有料老人ホーム	0.2人	0.4人
③軽費老人ホーム（特定施設除く）	0人	0人
④サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	0.2人	0.6人
⑤グループホーム	0.3人	0人
⑥特定施設	0.4人	0.2人
⑦地域密着型特定施設	0.1人	0人
⑧介護老人保健施設	3.2人	0.4人
⑨介護医療院	0人	0.1人
⑩特別養護老人ホーム	2.8人	0.6人
⑪地域密着型特別養護老人ホーム	0人	0人
⑫病院・診療所※一時的な入院を除く	1.4人	0.8人
⑬その他	0.1人	0人
⑭行先を把握していない	0.1人	0人
⑮自宅等での死亡※搬送先での死亡を含む	4.4人	0.8人
合計	12.6人	3.8人

※回答をそのまま使用しているため、各選択肢の平均値の合算と合計欄の値に差が生じる場合がある。

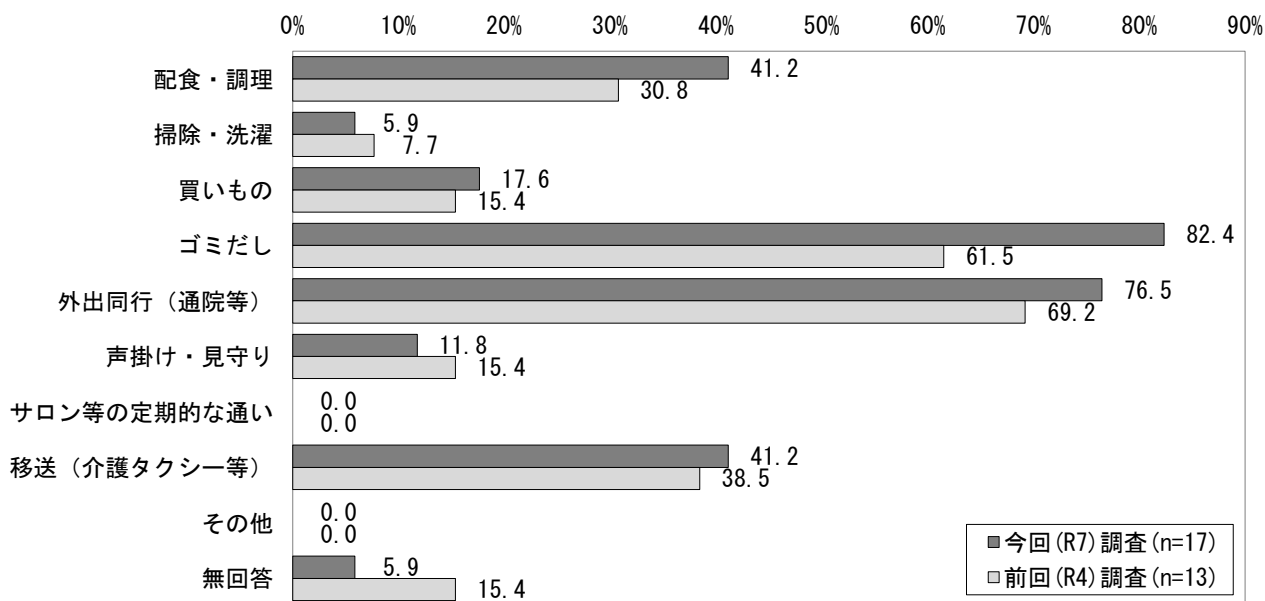
問4 貴事業所からみた利用者の心配ごとや悩みごとは、以下のうちどちらですか。（3つまで）

全体では、「生活費等の経済的なこと」が70.6%と最も高く、「自分の健康のこと」が64.7%、「配偶者や家族のこと（健康や就労等）」が52.9%と続いている。



問5 介護保険適用以外のサービスでニーズの高いと思うものは、以下のうちどちらですか。（3つまで）

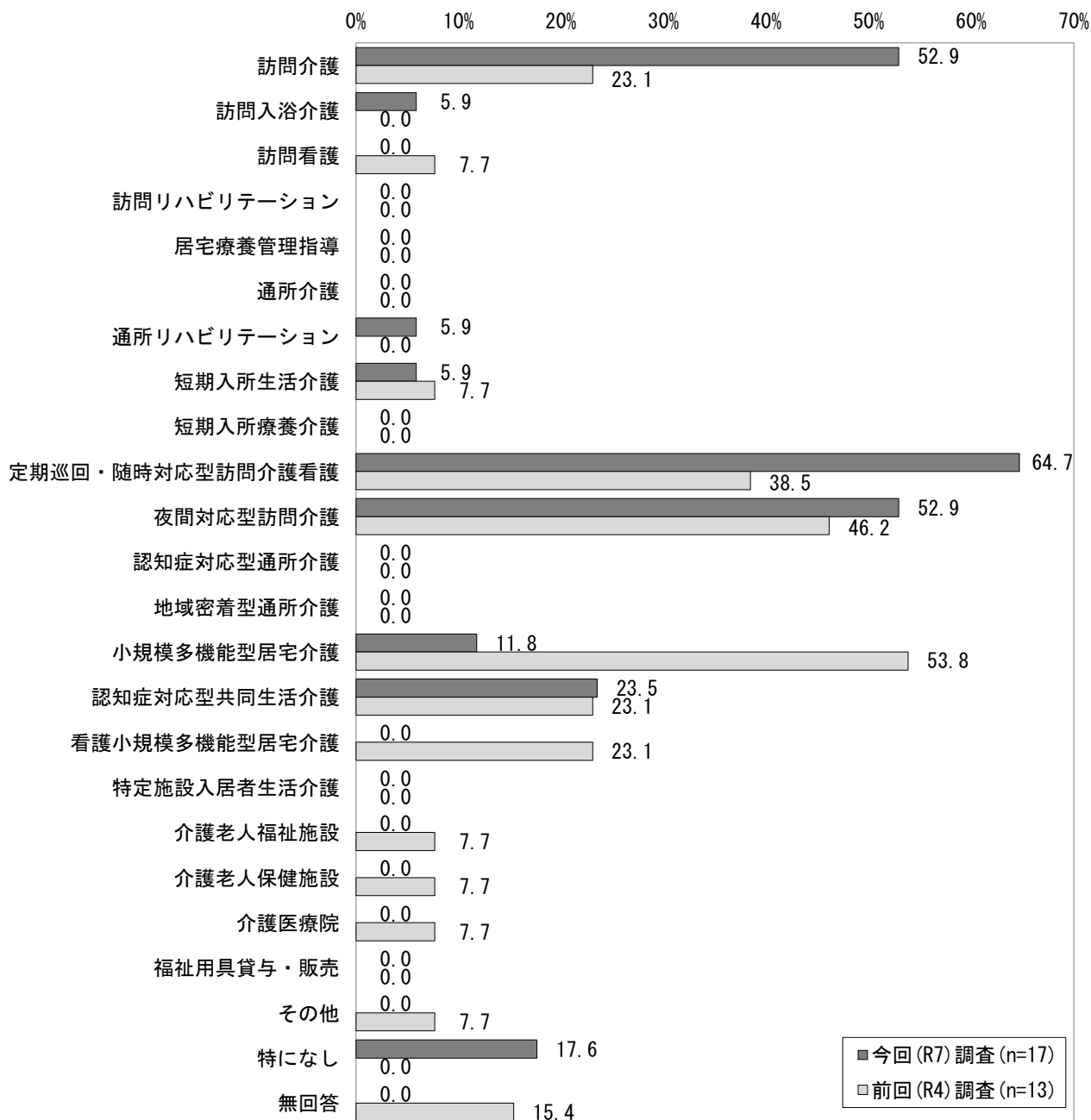
全体では、「ゴミだし」が82.4%と最も高く、「外出同行（通院等）」が76.5%、「配食・調理」と「移送（介護タクシー等）」が、それぞれ41.2%と続いている。



問6 貴事業所からみて不足しているサービスは、以下のうちどちらだと思いますか。(3つまで)

全体では、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が64.7%と最も高く、「訪問介護」と「夜間対応型訪問介護」が、それぞれ52.9%と続いている。

経年比較では「小規模多機能型居宅介護」は、今回(R7)調査(11.8%)が前回(R4)調査(53.8%)を42.0ポイント下回っている。



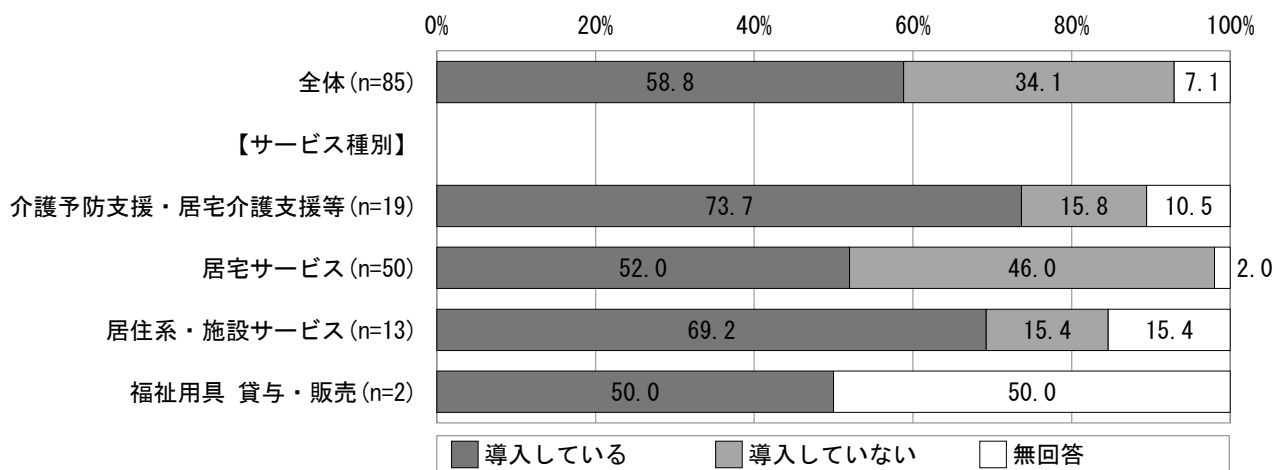
問7 貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合が多いですか。
よくあるケースについてご記入ください。

回答	件数
認知症の進行による生活困難について	5件
家族の介護負担増加について	3件
心身機能の低下について	3件
在宅生活の継続困難について	3件
排泄や食事の自立困難について	3件
意見総数（回答者数8名）	17件

5. ICT 機器等の活用について

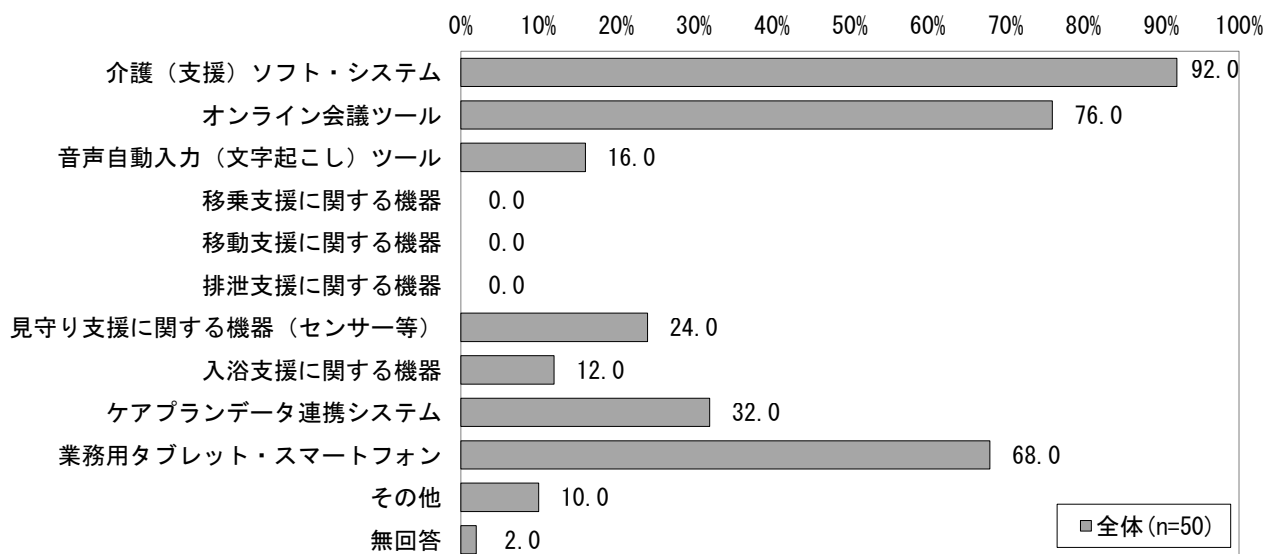
問1 貴事業所では、ICT 機器や介護ロボットを導入していますか。

全体では、「導入している」が 58.8%、「導入していない」が 34.1%となっている。
サービス種別では、介護予防支援・居宅介護支援等で「導入している」が 73.7%と高くなっている。



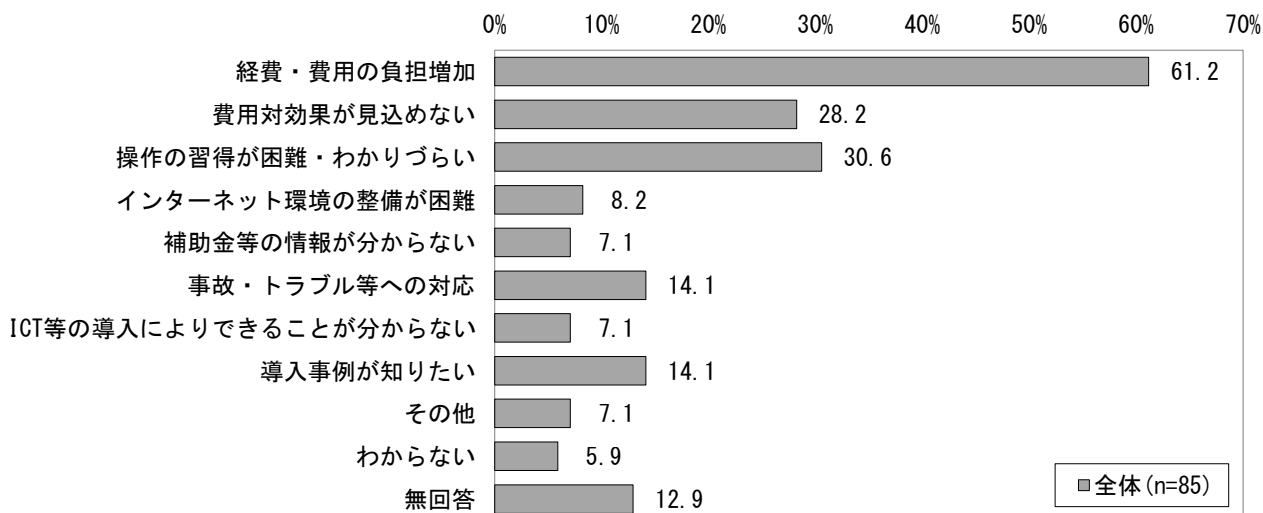
問1-1 貴事業所で導入している ICT 機器や介護ロボットについてお答えください。(いくつでも)
※問1で「導入している」と回答した方に質問

全体では、「介護(支援)ソフト・システム」が 92.0%と最も高く、「オンライン会議ツール」が 76.0%、「業務用タブレット・スマートフォン」が 68.0%と続いている。



問2 ICT機器や介護ロボットの導入にあたり感じる課題等についてお答えください。(いくつでも)

全体では、「経費・費用の負担増加」が61.2%と最も高く、「操作の習得が困難・わかりづらい」が30.6%、「費用対効果が見込めない」が28.2%と続いている。

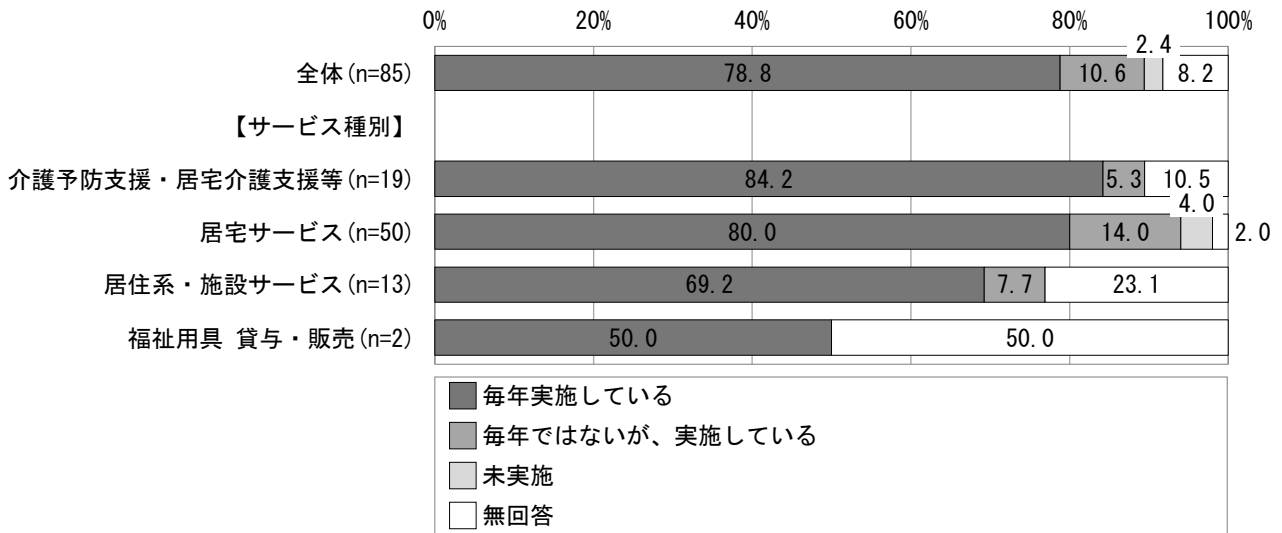


6. BCP（業務継続計画）について

問1 貴事業所では、BCPに基づく研修を実施していますか。

全体では、「毎年実施している」が78.8%と最も高く、「毎年ではないが、実施している」が10.6%、「未実施」が2.4%と続いている。

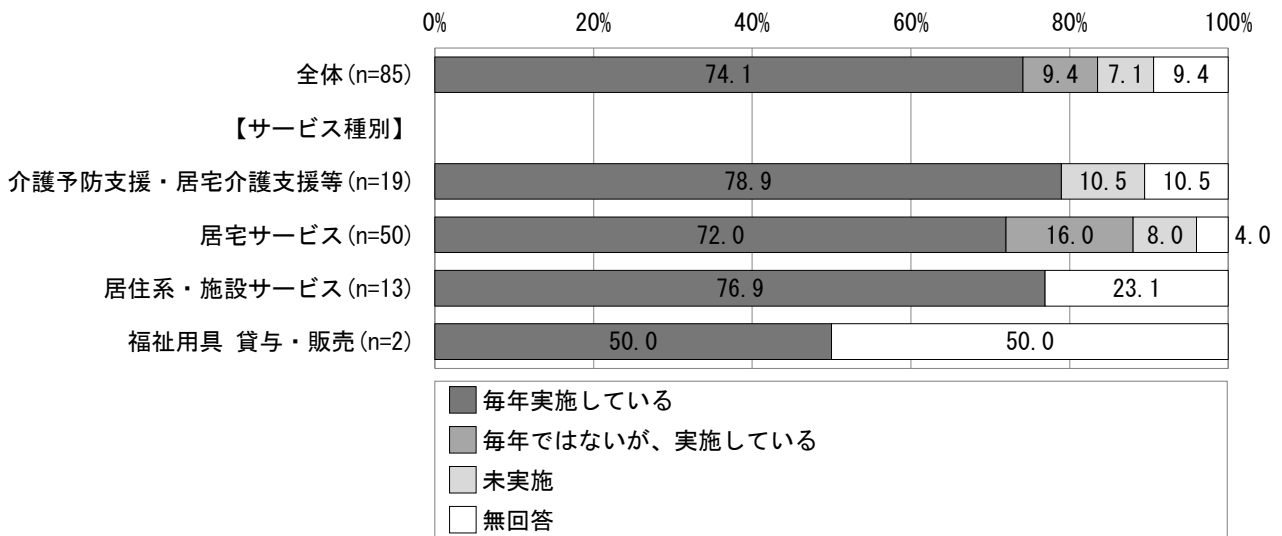
サービス種別では、介護予防支援・居宅介護支援等で「毎年実施している」が84.2%と高くなっている。



問2 貴事業所では、BCPに基づく訓練を実施していますか。

全体では、「毎年実施している」が74.1%と最も高く、「毎年ではないが、実施している」が9.4%、「未実施」が7.1%と続いている。

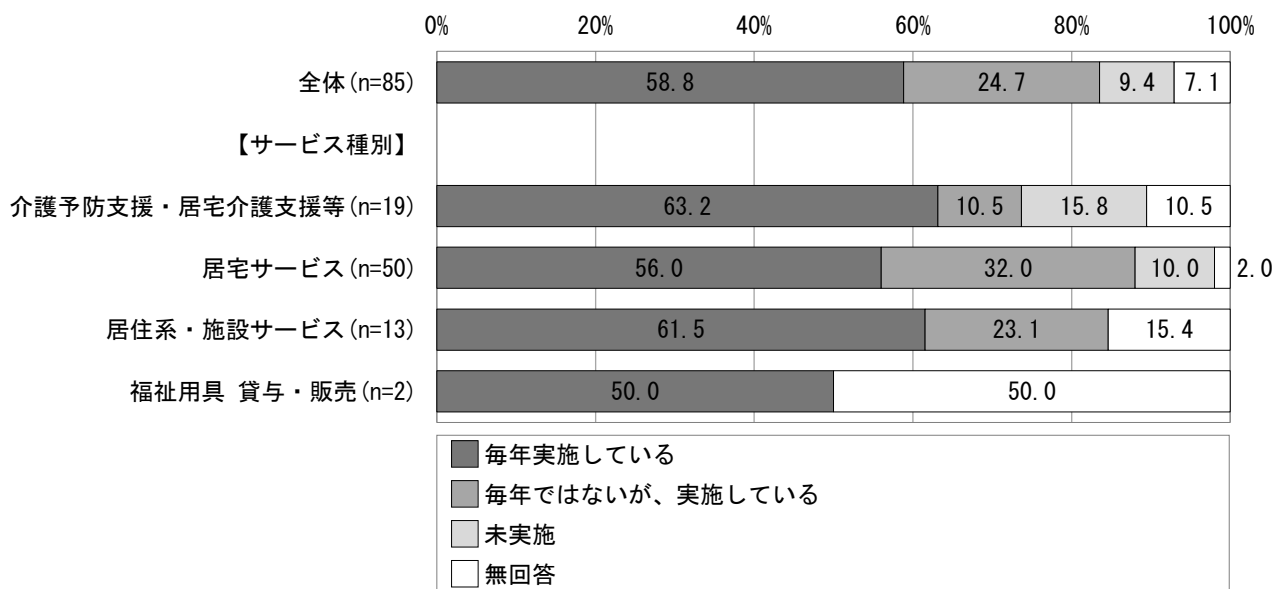
サービス種別では、介護予防支援・居宅介護支援等で「毎年実施している」が78.9%と高くなっている。



問3 貴事業所では、BCPの検証・見直しを実施していますか。

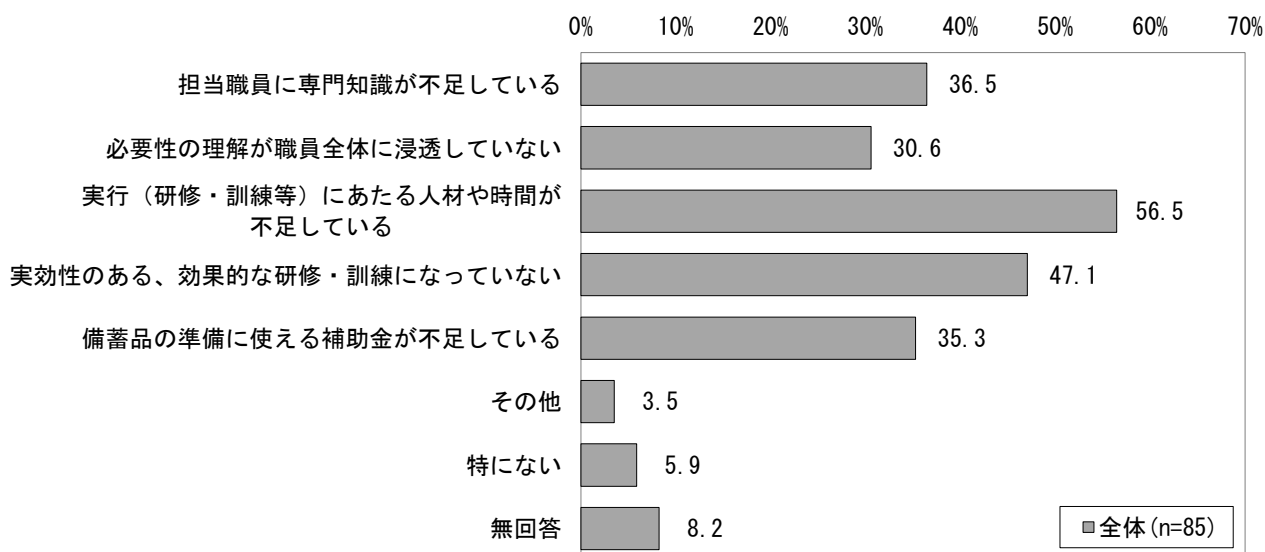
全体では、「毎年実施している」が58.8%と最も高く、「毎年ではないが、実施している」が24.7%、「未実施」が9.4%と続いている。

サービス種別では、介護予防支援・居宅介護支援等で「毎年実施している」が63.2%と高くなっている。



問4 BCPの実行にあたって、困難に感じていることはありますか。(いくつでも)

全体では、「実行（研修・訓練等）にあたる人材や時間が不足している」が56.5%と最も高く、「実効性のある、効果的な研修・訓練になっていない」が47.1%、「担当職員に専門知識が不足している」が36.5%と続いている。

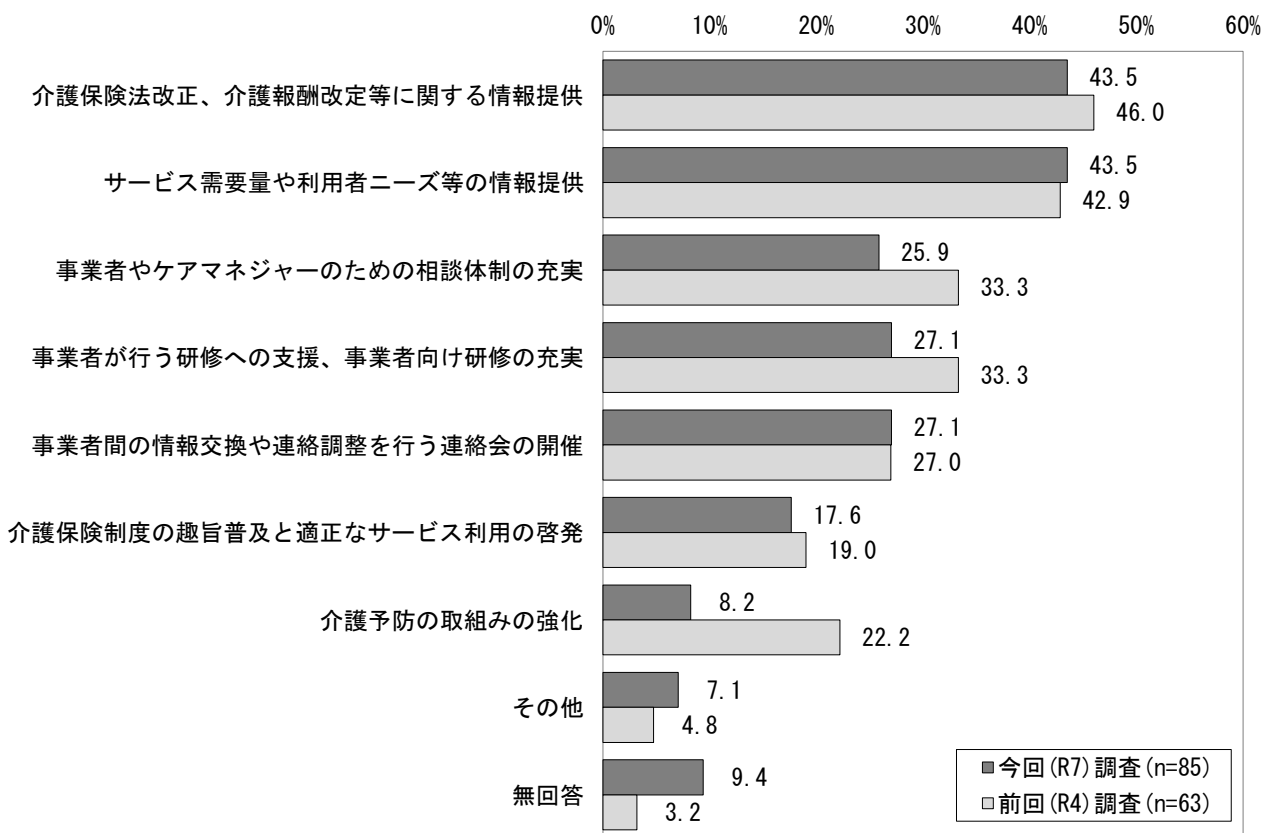


7. 市に望むこと

問1 今後、保険者としての市に対し、貴事業者として特に望むことは、以下のうちどちらですか。
(3つまで)

全体では、「介護保険法改正、介護報酬改定等に関する情報提供」と「サービス需要量や利用者ニーズ等の情報提供」が、それぞれ 43.5%と最も高く、「事業者が行う研修への支援、事業者向け研修の充実」と「事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催」が、それぞれ 27.1%と続いている。

経年比較では「介護予防の取組みの強化」は、今回(R7)調査 (8.2%) が前回(R4)調査 (22.2%) を 14.0ポイント下回っている。



自由にご意見をご記入ください。

回答	件数
行政との情報共有・意見交換について	6件
介護職員の処遇改善について	2件
認知症ケアや研修の充実について	2件
物価高騰による経営圧迫と助成について	2件
介護人材確保の困難と支援について	2件
事業所撤退時の利用者支援策について	1件
訪問介護報酬の引き上げについて	1件
ICT導入やランニングコスト支援について	1件
地域密着型サービスへの補助について	1件
その他	2件
意見総数（回答者数10名）	20件

東大和市高齢者福祉計画・
第10期介護保険事業計画準備調査
調査結果報告書

発行日／令和8年3月
編集・発行／東大和市健幸福祉部介護保険課
